第6次四條畷市総合計画策定のための
中学生アンケート及び市民意識調査
結果報告書

平成27年1月

四 條 畷 市

第６次四條畷市総合計画策定のための中学生アンケート

結果報告書

◆報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下１位で表示しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- グラフ中のＮは構成比を表示する際の母数を示す。
- 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。

目　次

Ⅰ　調査の概要・・・

Ⅰ　調査の概要

1　調査目的

本調査は、新しい総合計画策定の基礎資料とするため、市立中学校の２年生全員を対象にアンケート調査を行い、市の現状や将来のまちづくりに対する意識やニーズを把握することを目的とする。

2　調査項目

○性別と通学している中学校について
○住んでいる「まち(近所)」の好きなところについて
○住んでいる「まち(近所)」の嫌いなところについて
○四條畷市の印象について
○将来の定住意向について
○四條畷市の将来像について

3　調査の設計

①調査対象地域
　市全域
②調査対象
　市立中学校の２年生全員
③調査方法
　校内配布、回収
④調査時期
　平成 26 年７月

4　回収結果

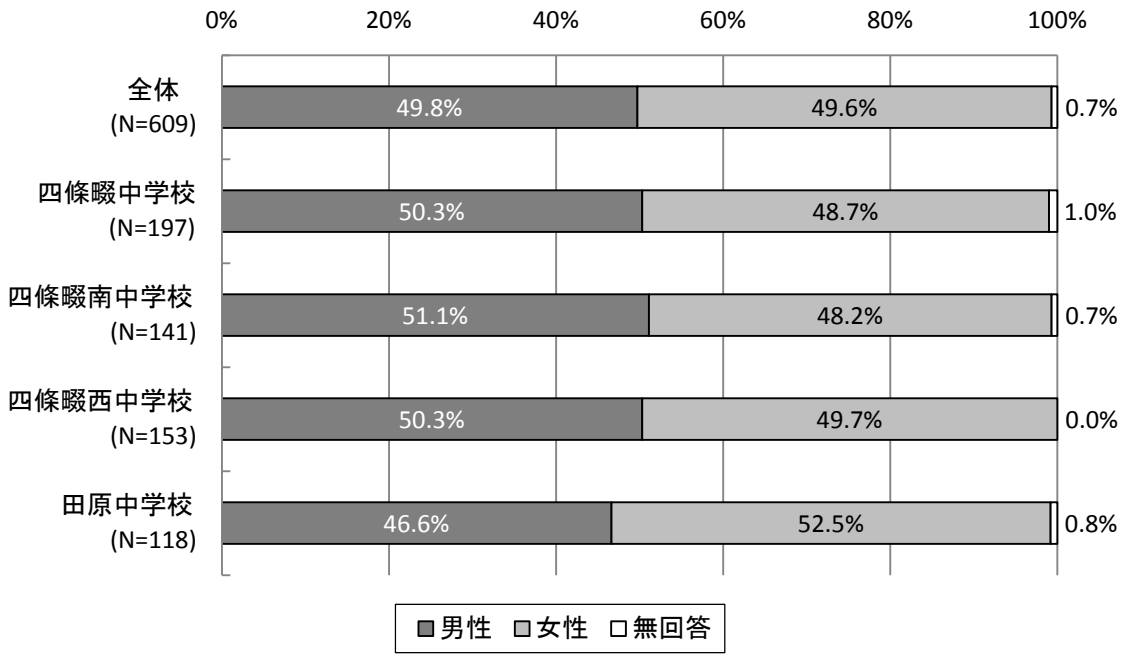
①配布数　645
②回収数　609
③回収率　94.4%

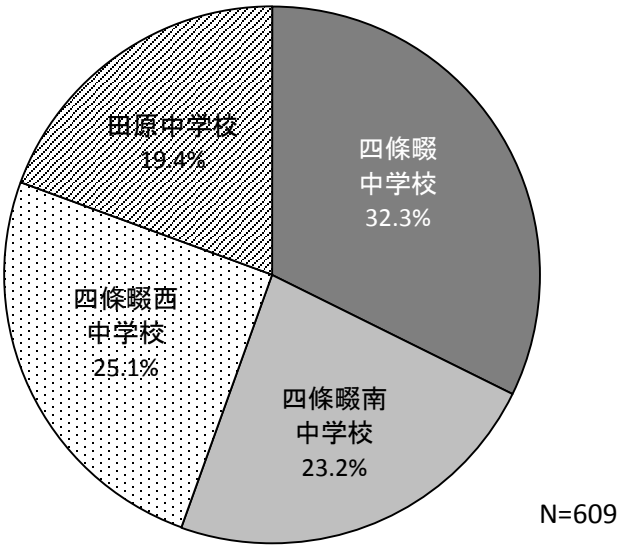
Ⅱ　調査の結果

問１　あなたの性別と通学している中学校についてお答えください。

性別は、〔男性〕が 49.8%、〔女性〕が 49.6%となっている。

中学校の内訳は、〔四條畷〕が 32.3%、〔四條畷南〕が 23.2%、〔四條畷西〕が 25.1%、〔田原〕が 19.4%となっている。





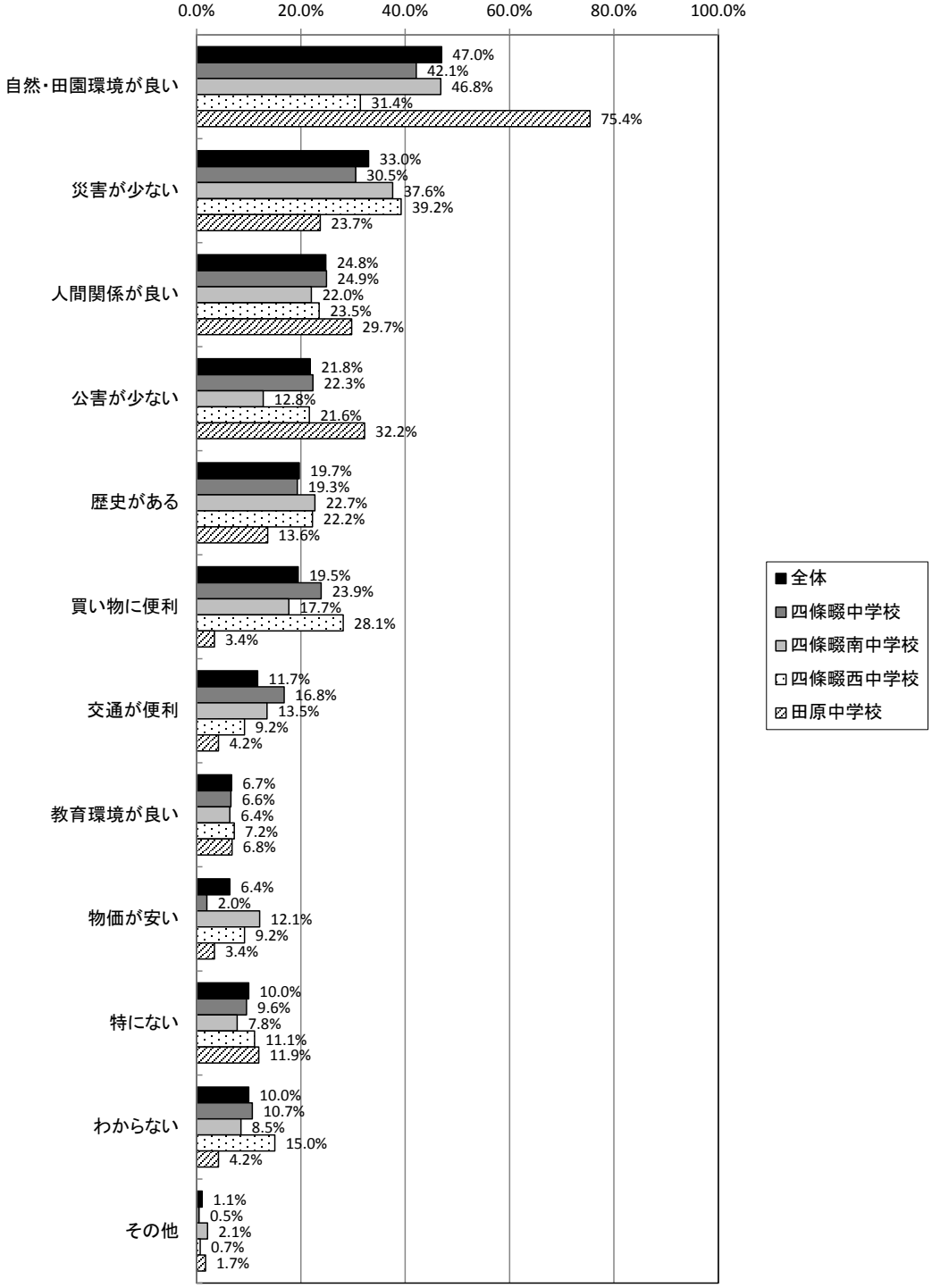
問２　あなたが住んでいる「まち(近所)」の好きなところはどこですか。＜○は３つまで＞

【全　体】

比率が最も高いのは「自然・田園環境が良い」の 47.0%で、「災害が少ない」が 33.0%、「人間関係が良い」が 24.8%、「公害が少ない」が 21.8%、「歴史がある」が 19.7%で続いている。「教育環境が良い」は 6.7%である。

【中学校別にみた特徴】

田原中学校が「自然・田園環境が良い」では 75.4%で突出して高く、「物価が安い」「買い物に便利」は３.4%で最も低い。



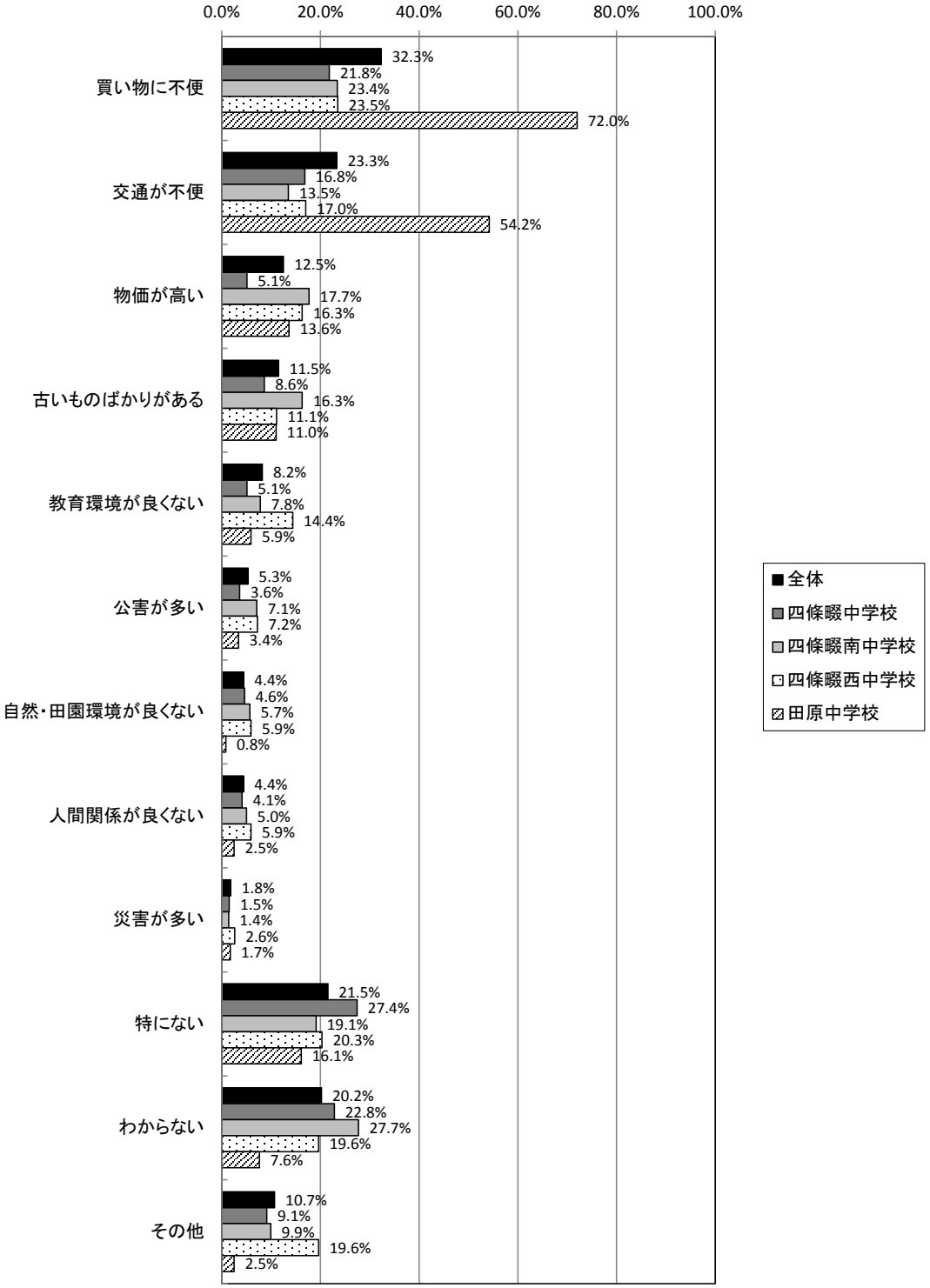
問３　あなたが住んでいる「まち(近所)」の嫌いなところはどこですか。＜○は３つまで＞

【全　体】

比率が最も高いのは「買い物に不便」の 32.3%で、「交通が不便」が 23.3%、「物価が高い」が１2.5%、「古いものばかりがある」が１1.5%で続いている。「特にない」は 21.5%である。

【中学校別にみた特徴】

田原中学校の「買い物に不便」72.0%、「交通が不便」54.2%が突出して高い。



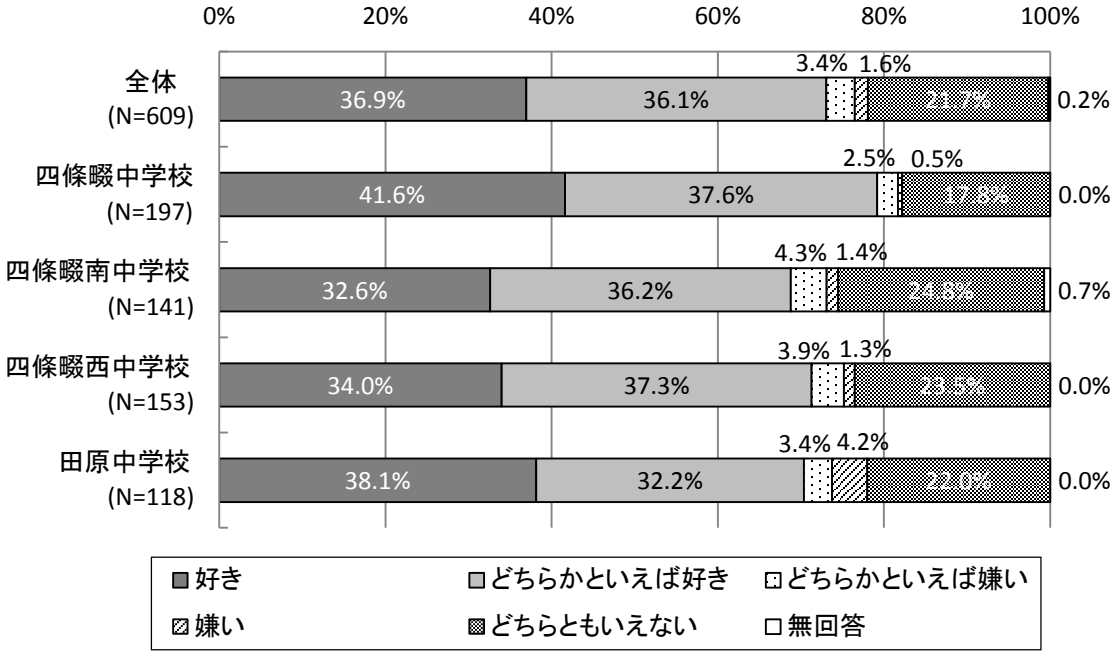
問４　あなたは、四條畷市のことをどのように思っていますか。＜○は１つ＞

【全　体】

「好き」が 36.9%､「どちらかといえば好き」の 36.１%を合わせると７割以上が好感を持っている。

【中学校別にみた特徴】

四條畷中学校の「好き」が 41.6%、「どちらかといえば好き」の 37.6%を合わせると 79.2%で、最も高い。



問５　あなたは、将来、大人になっても四條畷市に住み続けたいと思いますか。

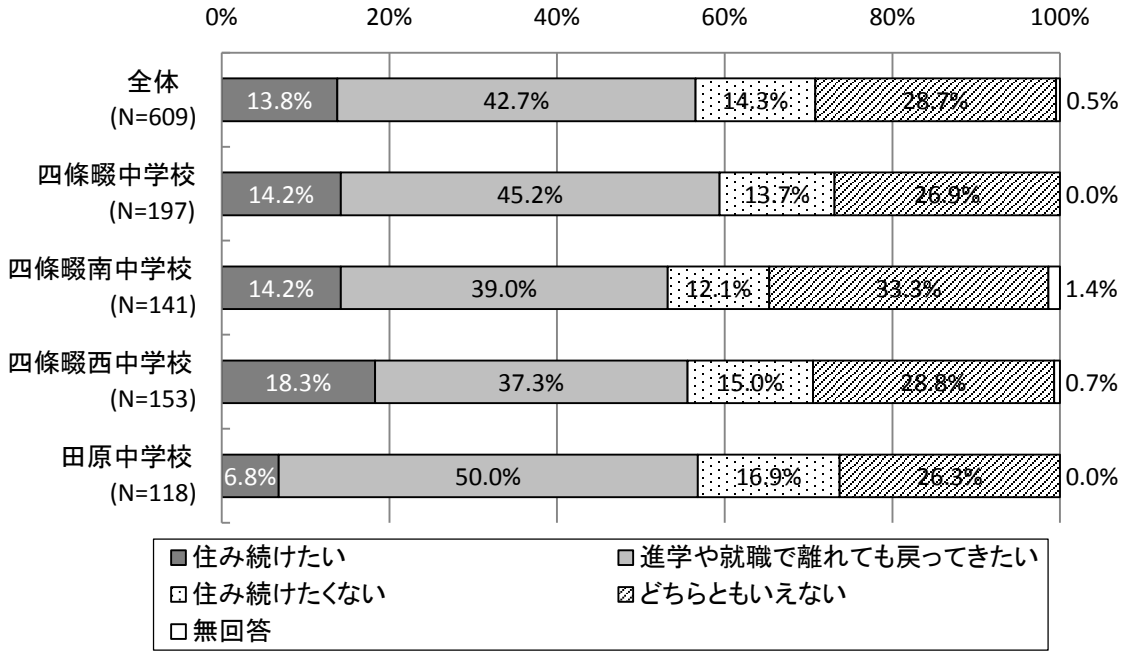
＜○は１つ＞

【全　体】

「進学や就職で離れても戻ってきたい」が 42.7%で、「住み続けたい」の 13.8%を合わせると５割以上が将来の居住を意識している。「住み続けたくない」は 14.3%である。

【中学校別にみた特徴】

田原中学校の「住み続けたい」が 6.8%で最も低いが、「進学や就職で離れても戻ってきたい」は 50.0%で最も高い。



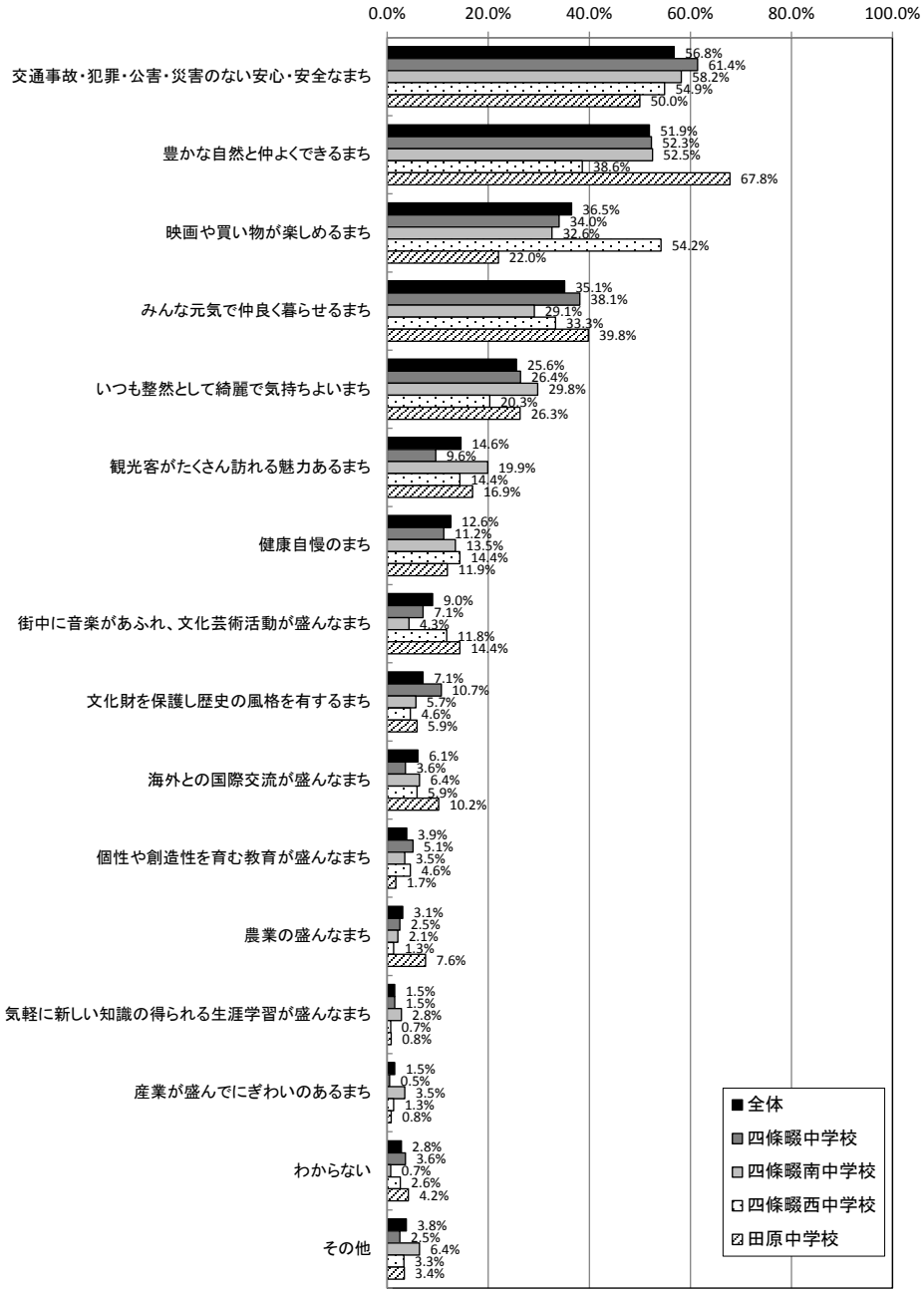
問 6　四條畷市の将来像についておたずねします。あなたは、将来、四條畷市がどんなまちであってほしいと思いますか。<○は３つまで>

【全　体】

まちの将来像の１位は「交通事故・犯罪・公害・災害のない安心・安全なまち」の 56.8%で、以下「豊かな自然と仲よくできるまち」が 51.9%、「映画や買い物が楽しめるまち」が 36.5%、「みんな元気で仲良く暮らせるまち」が 35.1%、「いつも整然として綺麗で気持ちよいまち」が 25.6%と続いている。

【中学校別にみた特徴】

「豊かな自然と仲よくできるまち」では田原中学校が 67.8%で最も高く、四條畷西中学校が 38.6%で最も低い。「映画や買い物が楽しめるまち」では四條畷西中学校が 54.2%で最も高く、田原中学校が 22.0%で最も低い。田原中学校は自然重視、四條畷西中学校はにぎわい重視の傾向がうかがえる。



問７　あなたの「２０５０年にかなえたい夢」や「２０５０年にあなたが市長だったらしてみたいこと」について自由に書いてください。

＜主な意見＞

２０５０年にかなえたい夢

・遠い所まで行かなくても近くにお店がたくさんあって、自然もとてもあるまちがいい。
・今よりも自然がもっとあってほしい。田舎は好きだから。
・南中が残っていて欲しい。もし家庭を築いたら、子どもを通わせたい。
・自然が破壊されていないことを願う。
・四條畷市にサッカーや色々なスポーツができる施設を作って欲しい。
・自然が豊かで、ごみが落ちていないきれいな四條畷にしたい。
・有名な人になって、みんなに四條畷市を少しでも知ってもらいたい。
・2050 年には私は 50 歳。早ければもう孫ができているかもしれない。だから小さな子からお年寄りまでみんなが楽しく気持ちよく過ごせるまちがいいと思う。
・害虫がすくなく気持ちのいい自然が味わえるまちがいい。
・健康で生きていればそれで OK！　など

２０５０年にあなたが市長だったらしてみたいこと

・大きな公園やボール遊びができる場所をつくる。
・スポーツに力を入れて、子どもたちが家に閉じこもらないようにしたい。事故や犯罪のないまちにしたい。
・映画や買い物が楽しめるまちにしたい。あと、大きな公園を作れたらいい。
・四條畷の郷土史カルタ大会を開きたい。
・市民の意見をできるだけ取り入れて、より良いまちをつくりたい。
・みんなが安全で安心な四條畷って思えるようにしたい。
・子供が遊べる公園をつくる。
・市内のごみ拾いボランティアなどをつくりたい。
・みんなが安心して暮らせるような良いまちにしたい。あとは、自分の子どもや孫を自分の母校になるこの南中に通わせたい。
・皆が楽しく便利に過ごせるまちにする。　など

アンケート調査票

四條畷市　まちづくりアンケート

ー四條畷市次期総合計画策定のための中学生アンケートー

四條畷市では、平成２８年度からスタートするまちづくり計画（総合計画）の策定に取り組んでいます。

この計画は、みなさんが５０歳になる２０５０年を期限に、四條畷市のまちづくりについて、大きな方向性を示すものとなります。

そこで、次の時代を担う子どもたちに、将来の四條畷市のイメージや夢のある意見などをお聞きするため、アンケートを実施します。

なお、アンケートの実施にあたっては、四條畷市立中学校の２年生全員にお願いしており、回答いただいた内容は統計データとしてのみ使わせていただきます。

よって、みなさんにご迷惑をかけることはありませんので、普段考えていることをありのままに答えてください。

平成２６年７月

四條畷市長　　土井　一憲

※総合計画とは？？

四條畷市の今後のまちづくりの基本となる計画で、その内容に沿って四條畷市すべての仕事が行われています。今回策定する計画は、２０５０年を目標年としています。

アンケートに回答のうえ、担任の先生に提出してください。

回答にあたっての注意

○各質問の項目について、これだと思った番号を○で囲むか、または具体的に記入してください。

○質問文の後に、例えば＜○は１つ＞、＜○は３つまで＞というように○の数の指定がありますので、注意してください。

○「その他」を選んだときは、（　　）内に自分の考えを書いてください。

○調査票にお名前を記入していただく必要はありません。

問１　あなたの性別と通学している中学校についてお答えください。

あなたの性別	1．男	2．女
通学している中学校	中学校	

問２　あなたが住んでいる「まち(近所)」の好きなところはどこですか。
＜○は３つまで＞

1．自然・田園環境が良い　2．公害が少ない　3．災害が少ない
4．交通が便利　5．教育環境が良い　6．人間関係が良い
7．物価が安い　8．買い物に便利　9．歴史がある
10．その他（具体的に：　　）
11．特にない　12．わからない

問３　あなたが住んでいる「まち(近所)」の嫌いなところはどこですか。
＜○は３つまで＞

1．自然・田園環境が良くない　2．公害が多い　3．災害が多い
4．交通が不便　5．教育環境が良くない　6．人間関係が良くない
7．物価が高い　8．買い物に不便　9．古いものばかりがある
10．その他（具体的に：　　）
11．特にない　12．わからない

問４　あなたは、四條畷市のことをどのように思っていますか。＜○は１つ＞

1．好き　2．どちらかといえば好き　3．どちらかといえば嫌い
4．嫌い　5．どちらともいえない

問５　あなたは、将来、大人になっても四條畷市に住み続けたいと思いますか。
＜○は１つ＞

1．住み続けたい
2．進学や就職で一時的に離れることはあるかもしれないが、戻ってきたい
3．住み続けたくない
4．どちらともいえない

問５－１　前問で「4　どちらともいえない」以外を答えた方にお聞きします。
そう感じる理由について教えてください。

具体的に（　　）

問６　四條畷市の将来像についておたずねします。
あなたは、将来、四條畷市がどんなまちであってほしいと思いますか。
＜○は３つまで＞

1. 豊かな自然と仲よくできるまち
2. 映画や買い物が楽しめるまち
3. 街中に音楽があふれ、文化芸術活動が盛んなまち
4. いつも整然として綺麗で気持ちよいまち
5. 交通事故・犯罪・公害・災害のない安心・安全なまち
6. みんな元気で仲良く暮らせるまち
7. 病気が少ない健康自慢のまち
8. 個性や創造性を育む教育が盛んなまち
9. 気軽に新しい知識の得られる生涯学習が盛んなまち
10. 農業の盛んなまち
11. 産業が盛んでにぎわいのあるまち
12. 観光客がたくさん訪れる魅力あるまち
13. 海外との国際交流が盛んなまち
14. 文化財を保護し、歴史の風格を有するまち
15. その他（具体的に：　　）
16. わからない

問７　あなたの「２０５０年にかなえたい夢」や「２０５０年にあなたが市長だったらしてみたいこと」について自由に書いてください。

例えば…
暮らしの夢
仕事と家庭を両立しながら、趣味も充実した生活を送っていたい。
料理が好きなので、休日は家族においしい料理やお菓子を振る舞うため、四條畷で採れた新鮮な野菜などの食材が集まる朝市などがたくさん開催されていたらいいと思う…。

ご協力ありがとうございました。

第６次四條畷市総合計画策定のための市民意識調査

結果報告書

◆報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下１位で表示しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- グラフ中のＮは構成比を表示する際の母数を示す。合計には無回答を含むため、各項目の合計と一致しない場合がある。
- 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。

目　次

Ⅰ　調査の概要・・・

21　市民が高齢者や障がい者、子どもなどを見守る仕組みやネットワークについて・・・・　75
22　生涯学習等に関する活動や行動・・・・

Ⅰ　調査の概要

1　調査目的

本調査は、新しい総合計画策定の基礎資料とするため、無作為に抽出した 15 歳以上の市民 3,000 人を対象にアンケート調査を行い、市の現状や将来のまちづくりに対する意識やニーズを把握することを目的とする。

2　調査項目

○四條畷市のまちづくりについて(８問)
○自然環境の保全を図り、快適な暮らしを実現する基盤づくりについて(４問)
○賑わいと魅力を創造し、まちを元気にする活力づくりについて(６問)
○地域が、潤い、安らぎ、生きがいに包まれる環境づくりについて(４問)
○学び、文化、スポーツから働きかける夢づくりについて(３問)
○身の周りの 10 年間の変化について（第 5 次総合計画関連）(２問)
○あなたご自身のことについて

3　調査の設計

①調査対象地域
　市全域
②調査対象
　平成 26 年 5 月 15 日現在　四條畷市内在住の 15 歳以上の市民 3,000 人
③抽出方法
　住民基本台帳による無作為抽出
④調査方法
　郵送配布、回収
⑤調査時期
　平成 26 年 6 月 11 日（水）～6 月 25 日（水）までを基本とし、7 月 25 日（金）まで回収

4　回収結果

①配布数　　3,000
②回収数　　1,047
③未到達数　　15
④回収率　　35.1%（葉書による督促を１回実施）

Ⅱ　調査の総括

主な項目の傾向をまとめると以下のとおりである。

○回答者の属性

回答者の属性は、女性、高齢者の比率が高い。世帯は、核家族などの 2 世代世帯がほぼ半数を占め、持ち家、市内での居住年数 10 年以上が大半である。

○住みよさの評価、定住意向

大半が住みよさを評価し、７割弱に定住意向がある。

○好きなところ、よくないところ等

好きなところは「自然環境がよい」、「交通の便利さ」、「歴史や伝統が感じられる」が多く、よくないところは「余暇を楽しむ場所が少ない」、「買い物に不便」、「交通の不便さ」が多い。

「交通の便利さ」と「買い物に便利」については居住校区によって評価が分かれる。

○まちの将来像

キーワードは、福祉・医療・コミュニティ等の「安心」、自然があり住環境が整備された「快適」、交通や防犯の「安全」、「子育て」及び「活力」である。

○活用すべき地域資源等

四條畷らしさをイメージする言葉は、山等の「自然」と神社等の「歴史」で、活用すべき地域資源としては、「自然資源」、「特産品」、「歴史遺産」、「伝統文化」などである。知人・友人を案内したい市内の観光地は、「四條畷神社」、「緑の文化園」、「室池」、「飯盛山」が多い。

○重要な課題

重要な課題は、「少子高齢化」、「地域福祉」、「安全・安心な都市」、「経済の活性化」が順に並ぶ。

○施策の重要度と現状の満足度

課題となる「重要度が高いが満足度が低い」施策は、「交通」「都市整備」「道路整備」といったインフラ関連と「労働」などが挙げられる。

○生活の実感等

日ごろの意識では、省エネ、ごみの分別収集や資源回収への協力意識は高いが、美化活動への参加意識は比較的低い。

協働のまちづくり指針についての関心は低く、地域課題解決の中心となるべき組織は、「行政」、「隣近所」、「地域団体」、「一人ひとりや家族」の順に意向が高い。

○行政への参加・協力の現状と今後

行政への参加・協力の現状で高いのは、「アンケートへの協力や施策への提言」、「環境に配慮した取組みの実施」、「環境美化活動への参加」、「非営利団体での活動」、「地域の防災活動への参加」の順に並ぶ。

今後の参加・協力の意向で高いのは、「環境に配慮した取組みの実施」、「アンケートへの協力や施策への提言」、「環境美化活動への参加」、「学校安全対策への協力」、「地域の防災活動への参加」の順に並ぶ。

○安全・安心活動

安全・安心活動に対しては、すべての項目で 7 割以上が意識しており、中でも「自分や家族の健康管理に心がけること」への意識が最も高い。

○子育てのしやすさ

子育てのしやすさについては、半数近くが評価している。

○生涯学習等に関する活動や行動

生涯学習等に関する活動や行動については、生涯学習への参加が 3 割で、市の歴史・文化の継承活動への参加が 1 割弱である。

○身の回りの 10 年間の変化

身の回りの 10 年間の変化については、良くなったという評価が、「生活環境」、「交通環境」、「福祉サービス」、「健康づくり意識」、「暮らしの安全性」、「地域の交流活動」、「教育環境」、「生涯学習環境」、「産業活動」の順に並ぶ。

Ⅲ　調査の結果

1　回答者の属性

（1）男女・年齢

<男女>

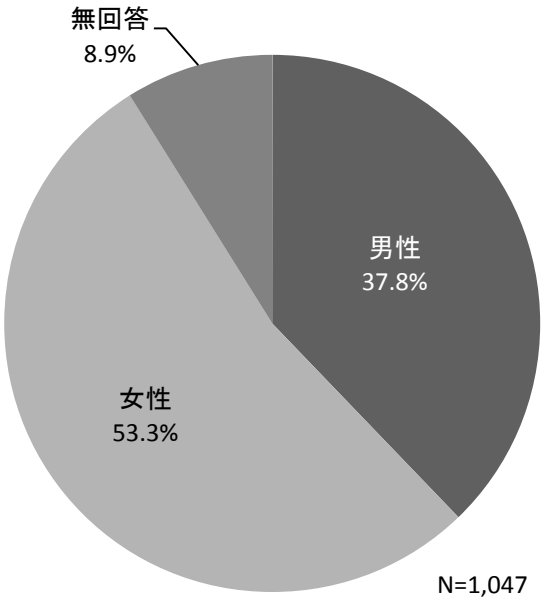
〔男性〕が 37.8%、〔女性〕が 53.3%で〔女性〕の方が１５.5 ポイント高い。

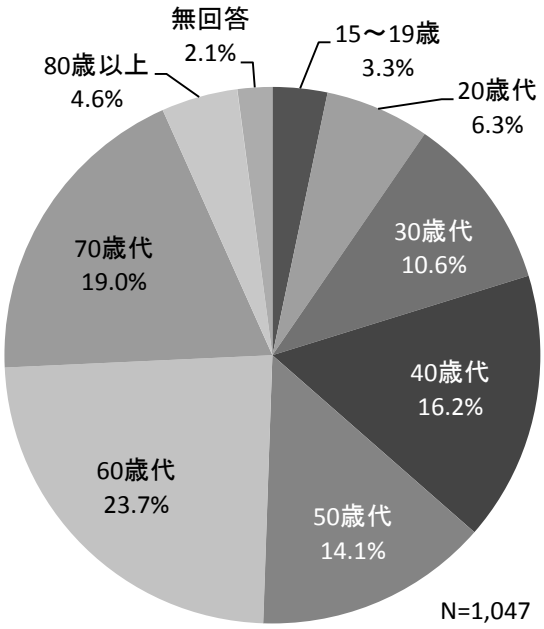
<年齢>

年齢構成は、〔15～19 歳〕が 3.3%、〔20 歳代〕が 6.3%、〔30 歳代〕が 10.6%、〔40 歳代〕が 16.2%、〔50 歳代〕が 14.1%、〔60 歳代〕が 23.7%、〔70 歳代〕が 19.0%、〔80 歳以上〕が 4.6%となっている。〔60 歳代〕が最も高く、これに〔70 歳代〕〔40 歳代〕〔50 歳代〕が続き、60 歳以上が 47.3%と半数近くになっている。

※カテゴリーの統合

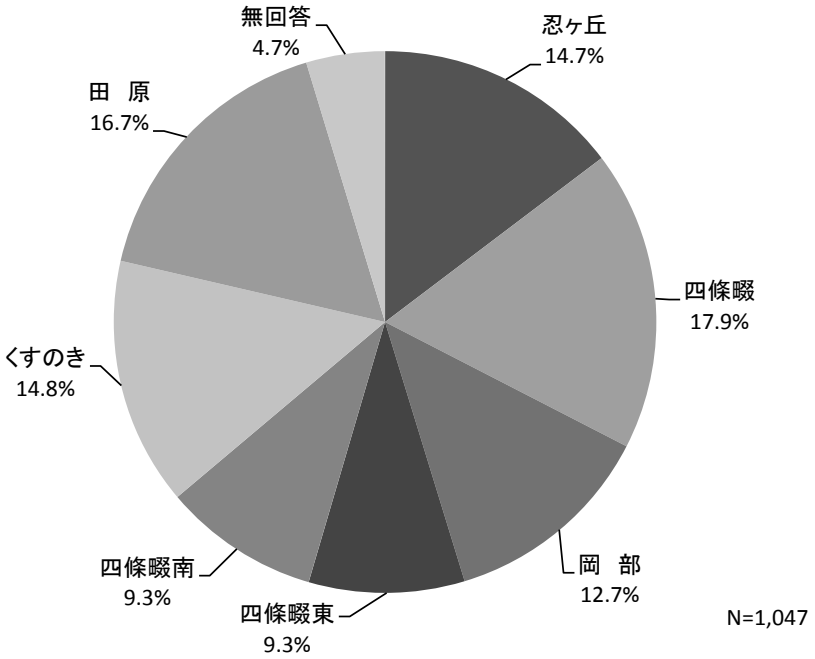
〔80 歳以上〕の回答数が 48 件（4.6%）あるが、回答状況をみると、「無回答」が多いため、以降の集計では〔70 歳代〕と〔80 歳以上〕を統合して〔70 歳以上〕とする。





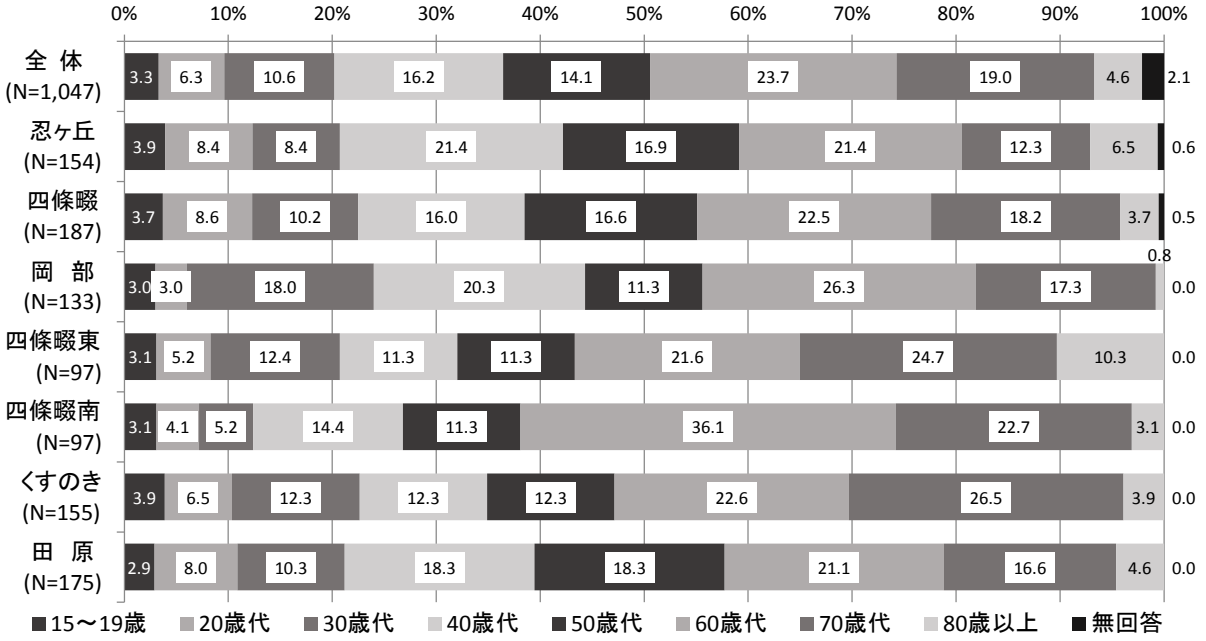
（2）居住校区

構成比の高い順に、〔四條畷〕が 17.9%、〔田原〕が 16.7%、〔くすのき〕が 14.8%、〔忍ヶ丘〕が 14.7%、〔岡部〕が 12.7%、〔四條畷東〕と〔四條畷南〕が 9.3%となっている。



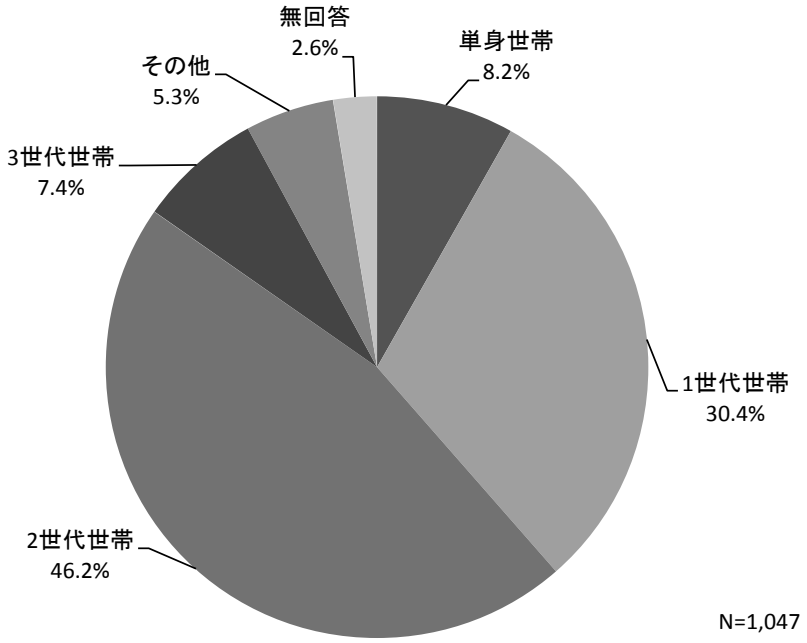
<年齢とのクロス>

〔四條畷南〕の 60 歳以上の比率が 61.9%で、〔四條畷東〕〔くすのき〕でも 5 割を超えている。〔岡部〕では〔30 歳代〕と〔40 歳代〕の比率が高く、〔忍ヶ丘〕と〔四條畷〕は他の校区よりも〔15～19 歳〕と〔20 歳代〕の比率が高い。



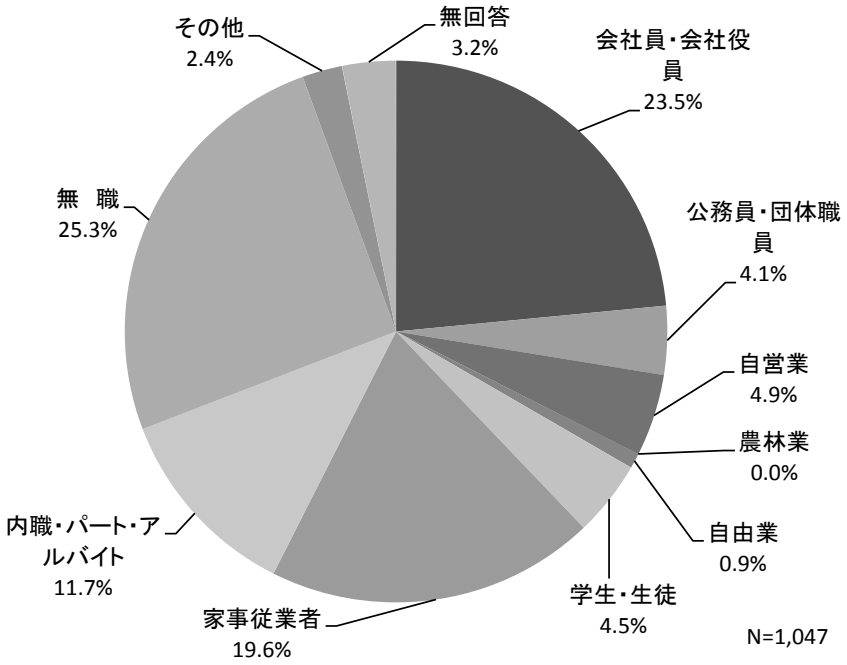
（3）家族構成

〔単身世帯〕が 8.2%、夫婦のみなどの〔1 世代世帯〕が 30.4%、核家族などの〔2 世代世帯〕が 46.2%、〔3 世代世帯〕が 7.4%となっていて、〔2 世代世帯〕がほぼ半数を占めている。



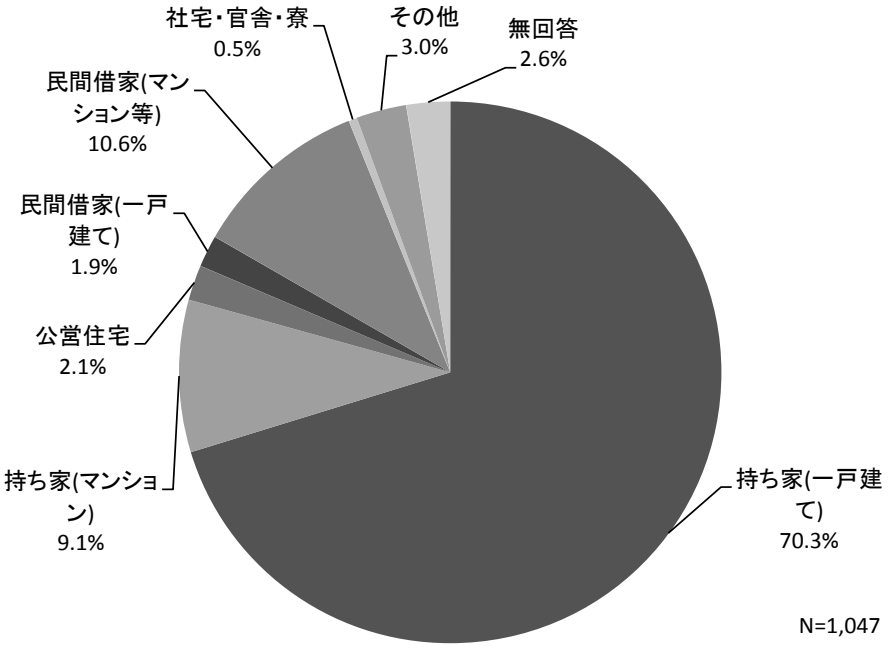
（4）職　業

多い順に〔無職〕が 25.3%、〔会社員・会社役員〕が 23.5%、〔家事従業者〕が 19.6%、〔内職・パート・アルバイト〕が 11.7%、〔自営業〕が 4.9%、〔学生・生徒〕が 4.5%、〔公務員・団体職員〕が 4.1%となっている。〔農林業〕という回答はなかった。



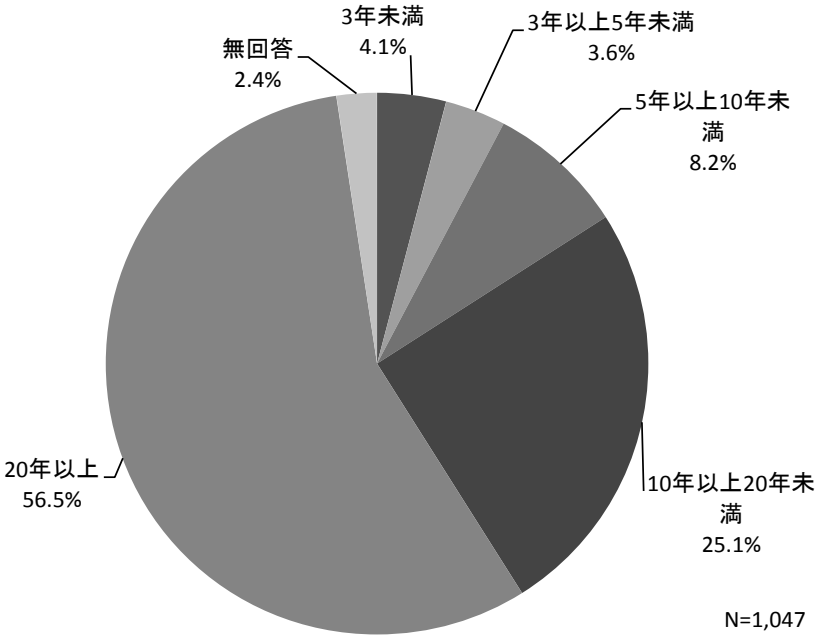
（5）住居の種類

〔持ち家(一戸建て)〕が 70.3%を占めており、〔持ち家(マンション)〕の 9.1%を合わせると持ち家が 8 割近い。〔民間借家(マンション等)〕は 10.6%である。



（6）市内での居住年数

〔20 年以上〕が 56.5%で過半数を占めている。〔10 年以上 20 年未満〕の 25.1%と合わせると 8 割以上が 10 年以上である。5 年未満は 1 割に満たない。



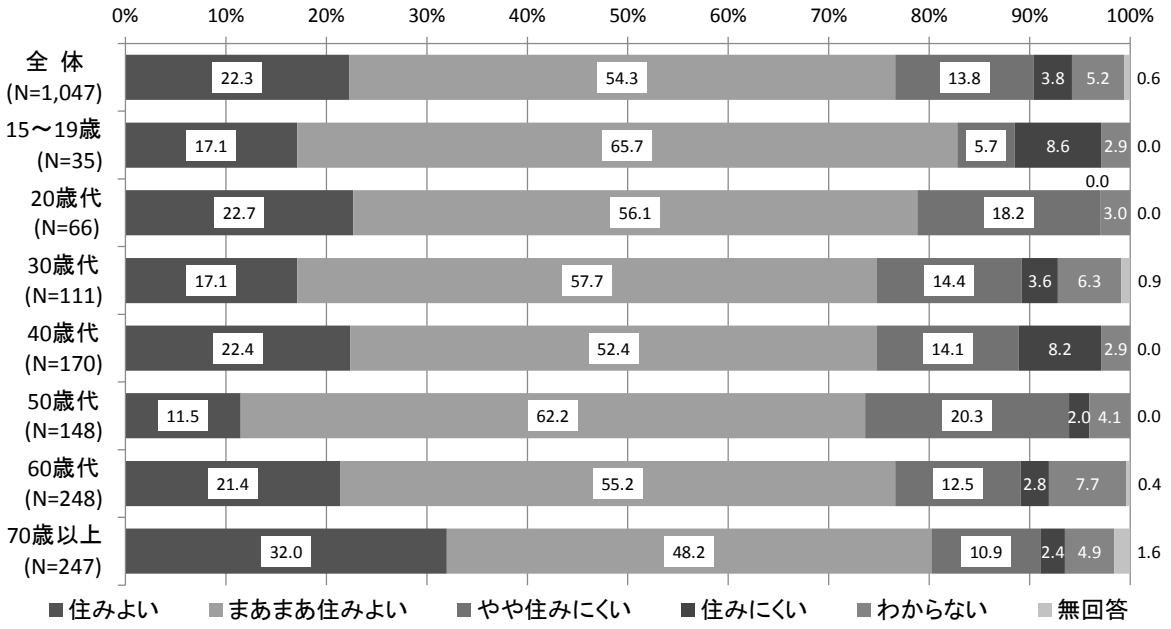
2　住みよさの評価

【全　体】

「住みよい」が 22.3%、「まあまあ住みよい」が 54.3%で、合わせて 76.6%が住みよさを評価している。

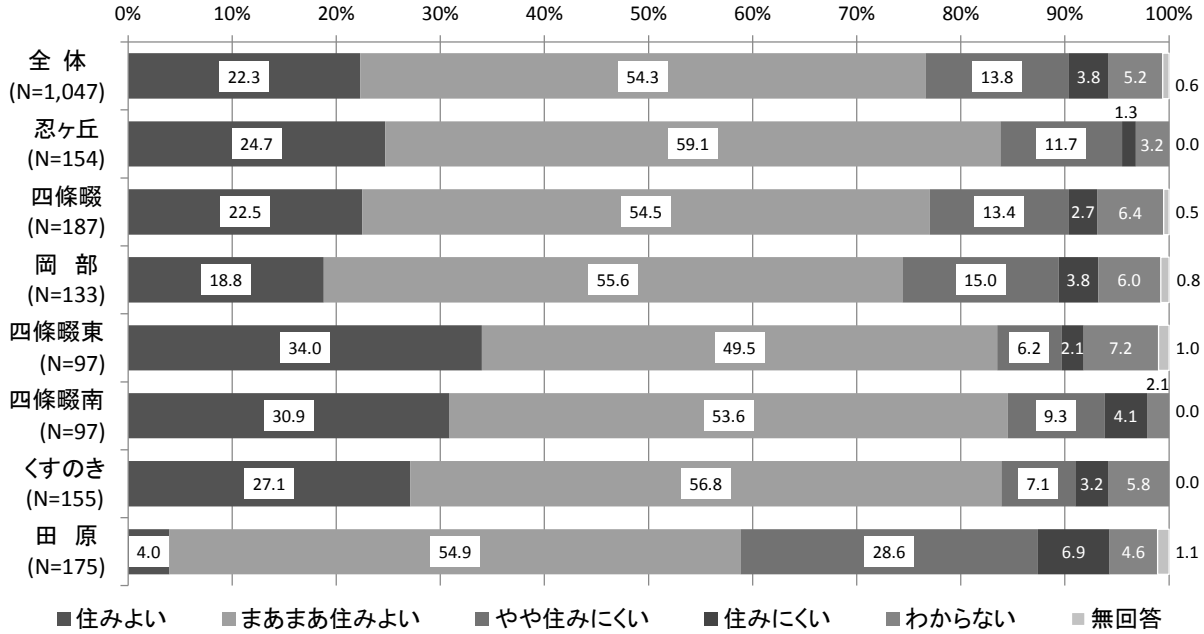
【年齢別にみた特徴】

「住みよい」は〔70 歳以上〕で最も高く 32.0%で、〔20 歳代〕〔40 歳代〕〔60 歳代〕が 20%前半となっている。〔50 歳代〕は最も低く 11.5%である。



【居住校区別にみた特徴】

「住みよい」が最も高いのは〔四條畷東〕の 34.0%で、〔四條畷南〕〔くすのき〕が続いている。一方で、〔田原〕は「住みよい」が 4.0%と低く、「やや住みにくい」が 28.6%と他よりも高くなっている。



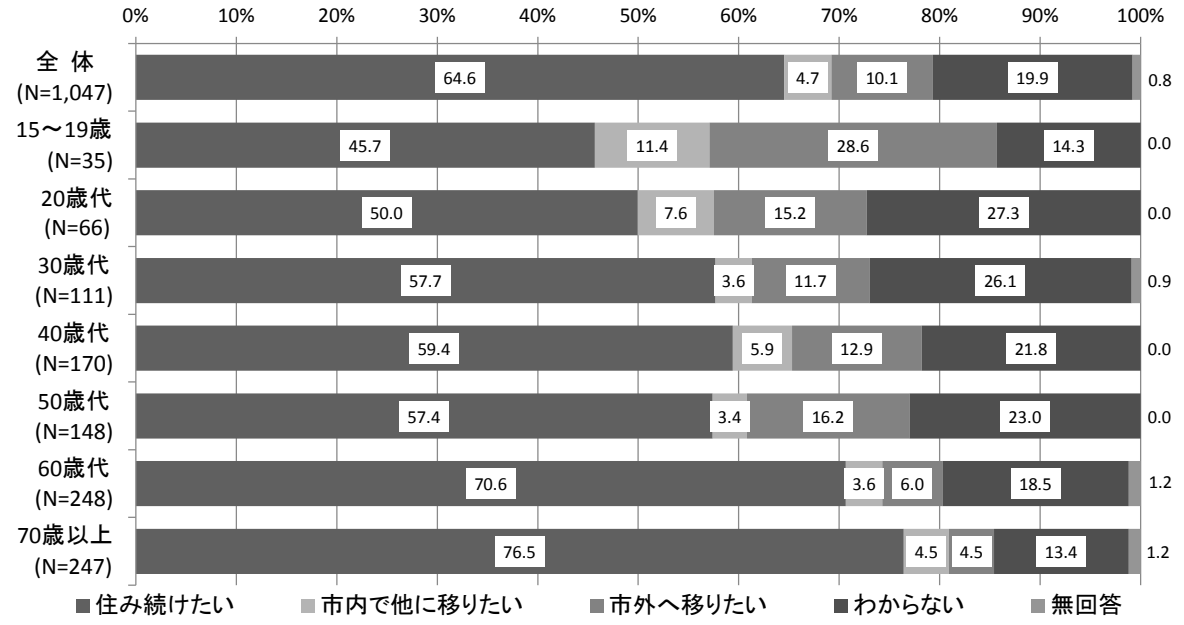
3　定住意向

【全　体】

「住み続けたい」が 64.6%、「市内で他に移りたい」が 4.7%、「市外へ移りたい」が 10.1%、「わからない」が 19.9%となっている。

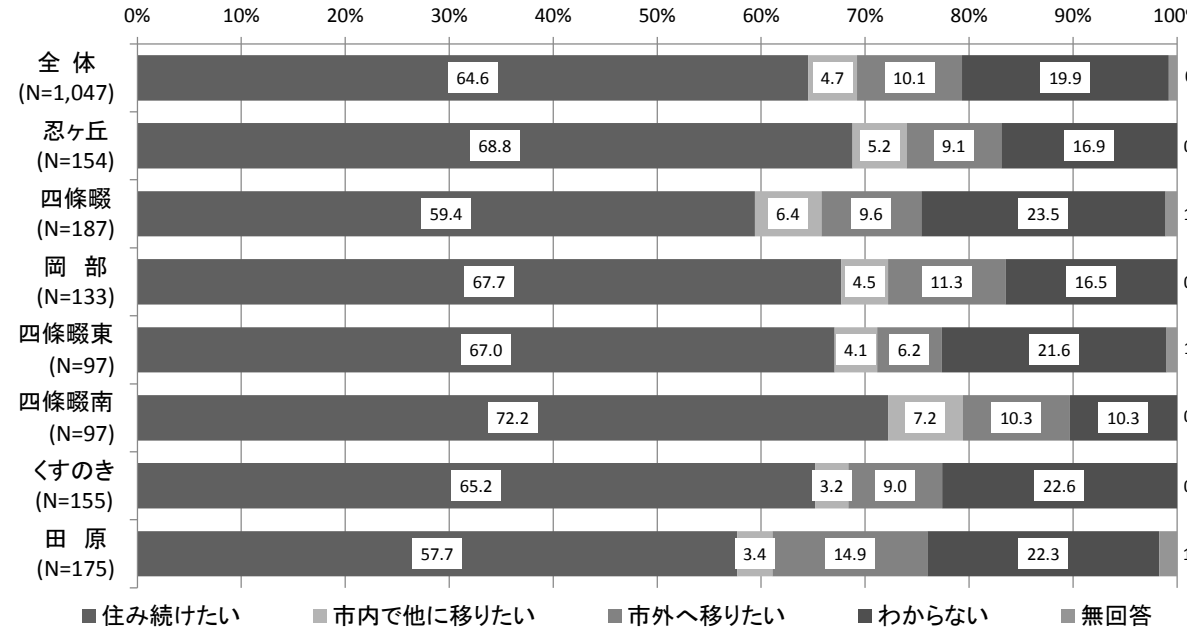
【年齢別にみた特徴】

〔20 歳代〕から〔50 歳代〕までは５～６割弱の定住意向だが、60 歳代以上では７割以上が「住み続けたい」と回答している。



【居住校区別にみた特徴】

「住み続けたい」が最も高いのは〔四條畷南〕の 72.2%で、最も低いのは〔田原〕の 57.7%である。「市外へ移りたい」が最も高いのは〔田原〕の 14.9%で、最も低いのは〔四條畷東〕の 6.2%である。



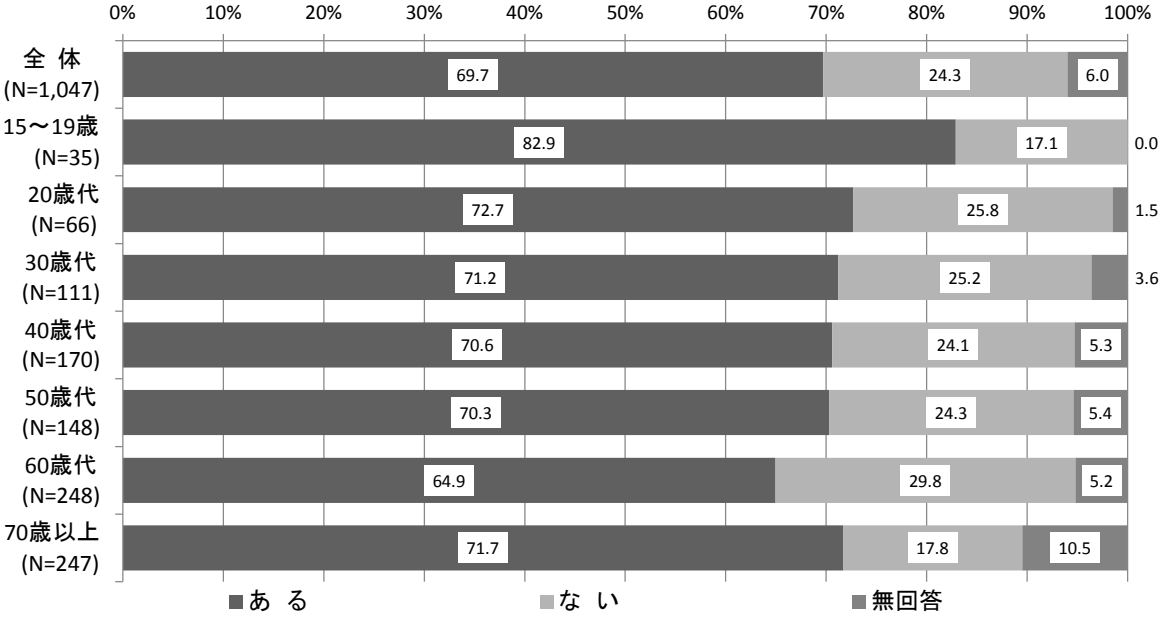
4　四條畷らしさをイメージする言葉

【全　体】

「ある」が 69.7%、「ない」が 24.3%となっている。具体的には、「山」、「四條畷神社」、「自然」、「緑」が多い。自然と歴史のイメージが高い状況がうかがえる。

【年齢別にみた特徴】

「ある」は〔15～19 歳〕で最も比率が高く、〔60 歳代〕で最も低い。



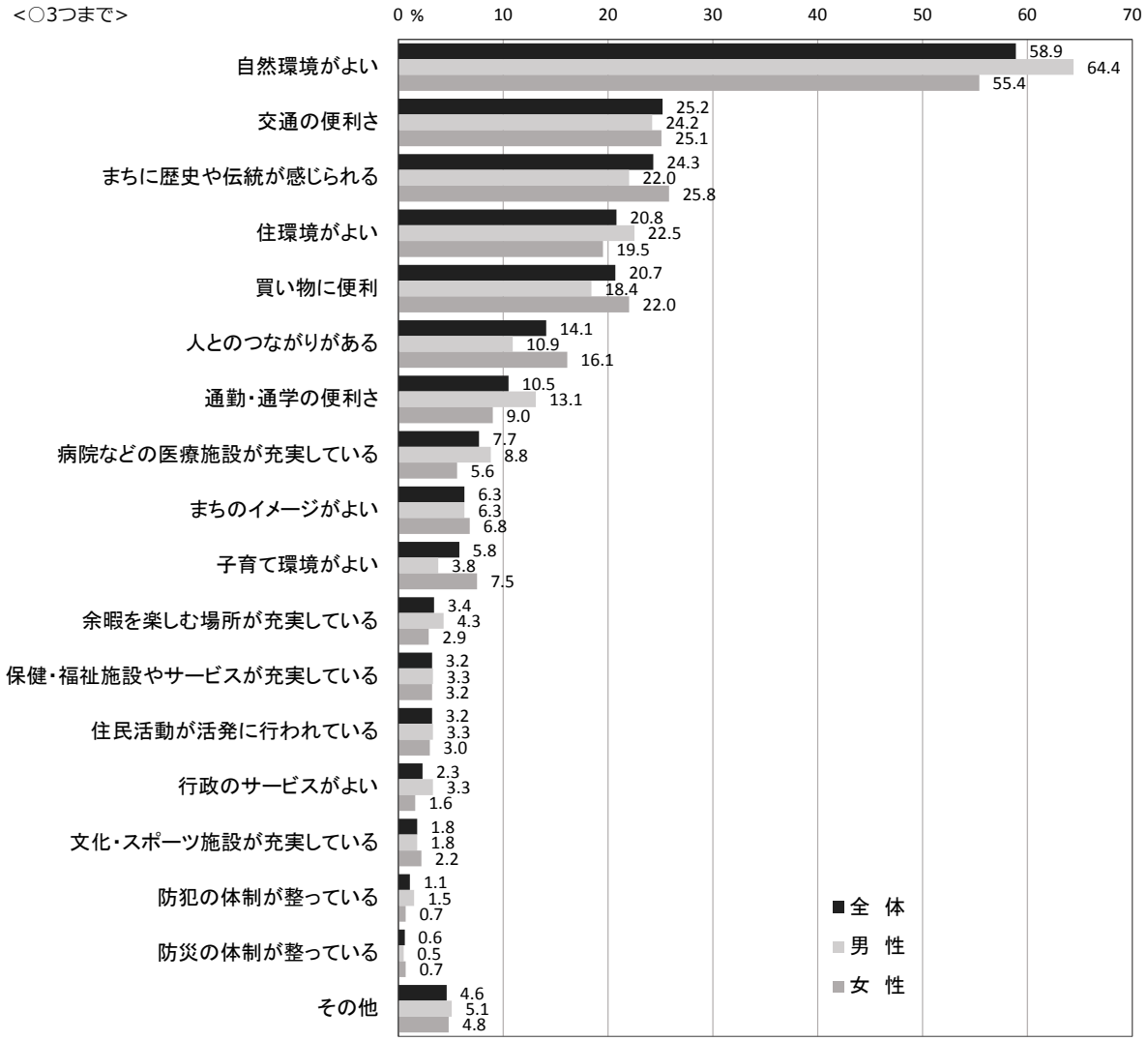
5　好きなところ・誇れるところ

【全　体】

比率が高いものから順に「自然環境がよい」が 58.9%、「交通の便利さ」が 25.2%、「まちに歴史や伝統が感じられる」が 24.3%、「住環境がよい」が 20.8%、「買い物に便利」が 20.7%となっている。防災・防犯体制や文化・スポーツ施設については比率が低い。

【男女別にみた特徴】

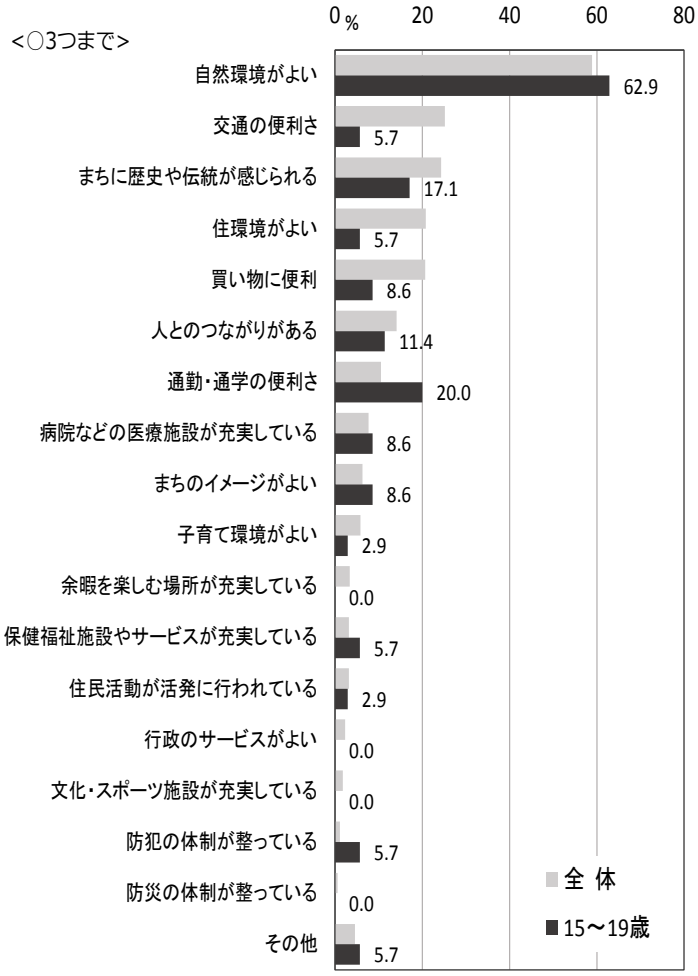
〔男性〕の比率が最も高いのは「自然環境がよい」の 64.4%で、上位の項目で〔女性〕の比率が〔男性〕よりも高いのは「まちに歴史や伝統が感じられる」「交通の便利さ」「買い物に便利」「人とのつながりがある」などである。〔男性〕は自然、〔女性〕は利便性、歴史、コミュニティの良さを評価している傾向がある。

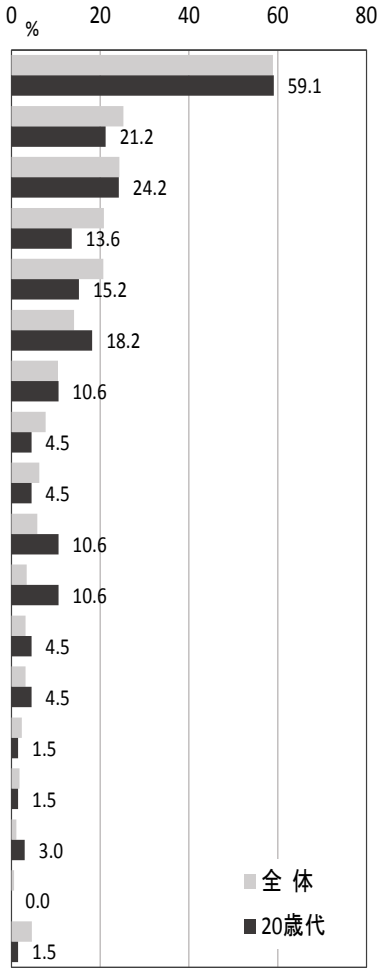


【年齢別にみた特徴】

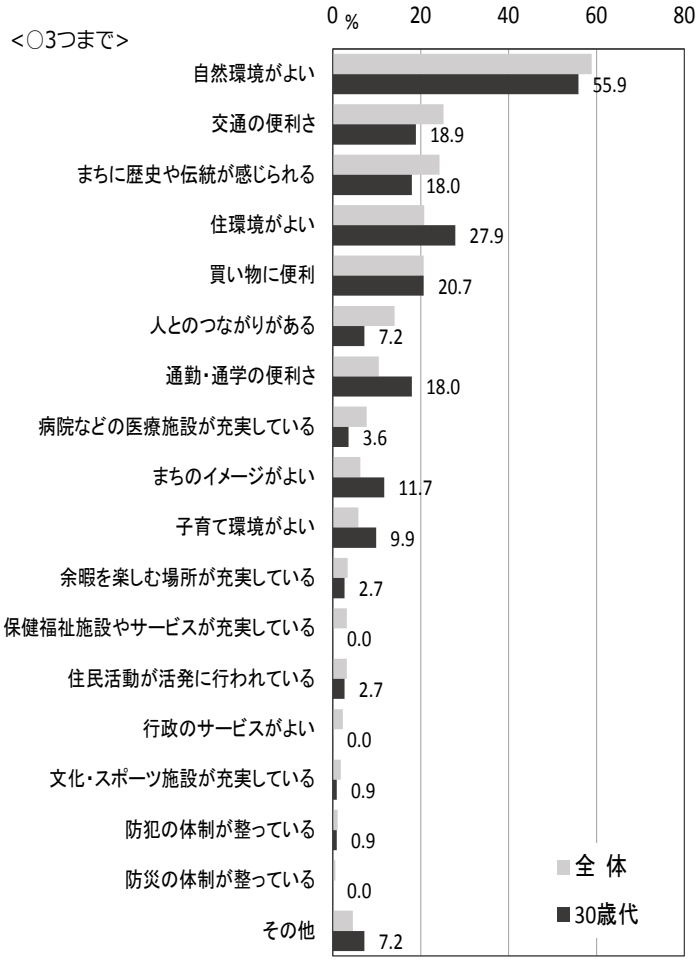
「交通の便利さ」の比率が〔50 歳代〕までで〔全体〕よりも比率が低く、60 歳代以上で高くなっている。「住環境がよい」は〔30 歳代〕〔40 歳代〕〔50 歳代〕で〔全体〕よりも比率が高い。

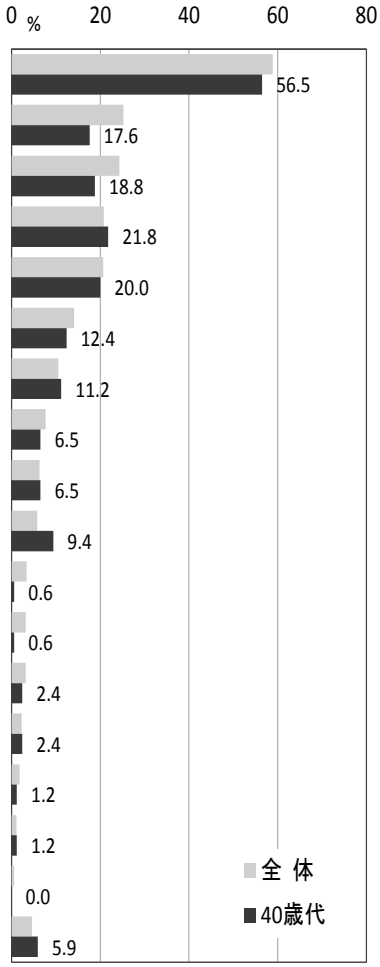
<○3つまで>


0 % 20 40 60 80
自然環境がよい 62.9
交通の便利さ 5.7
まちに歴史や伝統が感じられる 17.1
住環境がよい 5.7
買い物に便利 8.6
人とのつながりがある 11.4
通勤・通学の便利さ 20.0
病院などの医療施設が充実している 8.6
まちのイメージがよい 8.6
子育て環境がよい 2.9
余暇を楽しむ場所が充実している 0.0
保健福祉施設やサービスが充実している 5.7
住民活動が活発に行われている 2.9
行政のサービスがよい 0.0
文化・スポーツ施設が充実している 0.0
防犯の体制が整っている 5.7
防災の体制が整っている 0.0
その他 5.7
全 体
15～19歳

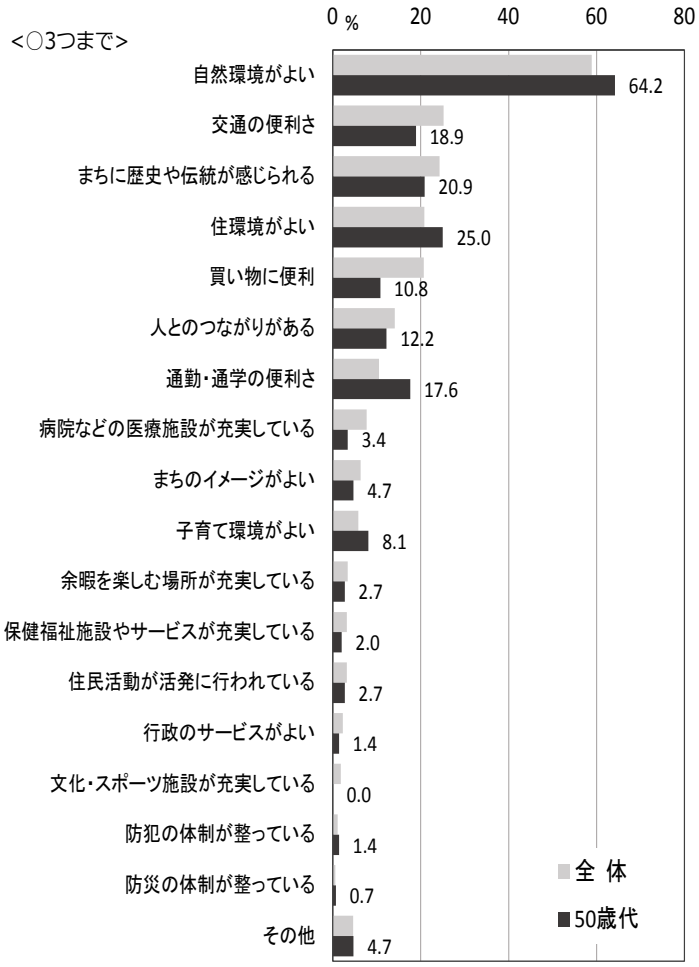

0 % 20 40 60 80
59.1
21.2
24.2
13.6
15.2
18.2
10.6
4.5
4.5
10.6
10.6
4.5
4.5
1.5
1.5
3.0
0.0
1.5
全 体
20歳代

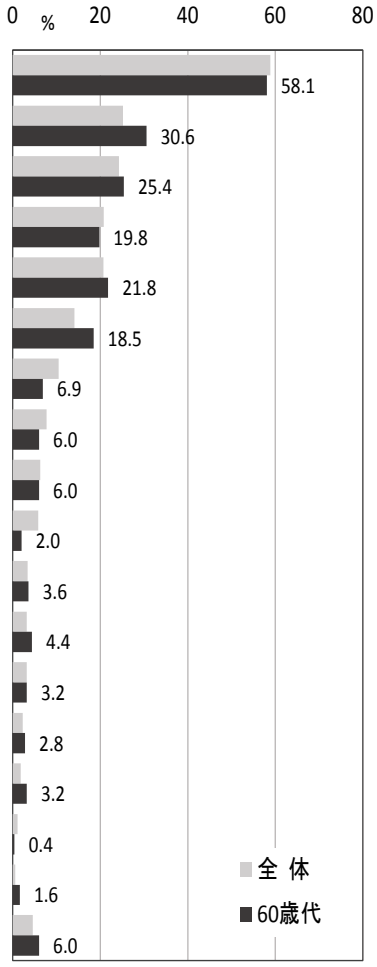
<○3つまで>


0 % 20 40 60 80
自然環境がよい 55.9
交通の便利さ 18.9
まちに歴史や伝統が感じられる 18.0
住環境がよい 27.9
買い物に便利 20.7
人とのつながりがある 7.2
通勤・通学の便利さ 18.0
病院などの医療施設が充実している 3.6
まちのイメージがよい 11.7
子育て環境がよい 9.9
余暇を楽しむ場所が充実している 2.7
保健福祉施設やサービスが充実している 0.0
住民活動が活発に行われている 2.7
行政のサービスがよい 0.0
文化・スポーツ施設が充実している 0.9
防犯の体制が整っている 0.9
防災の体制が整っている 0.0
その他 7.2
全 体
30歳代

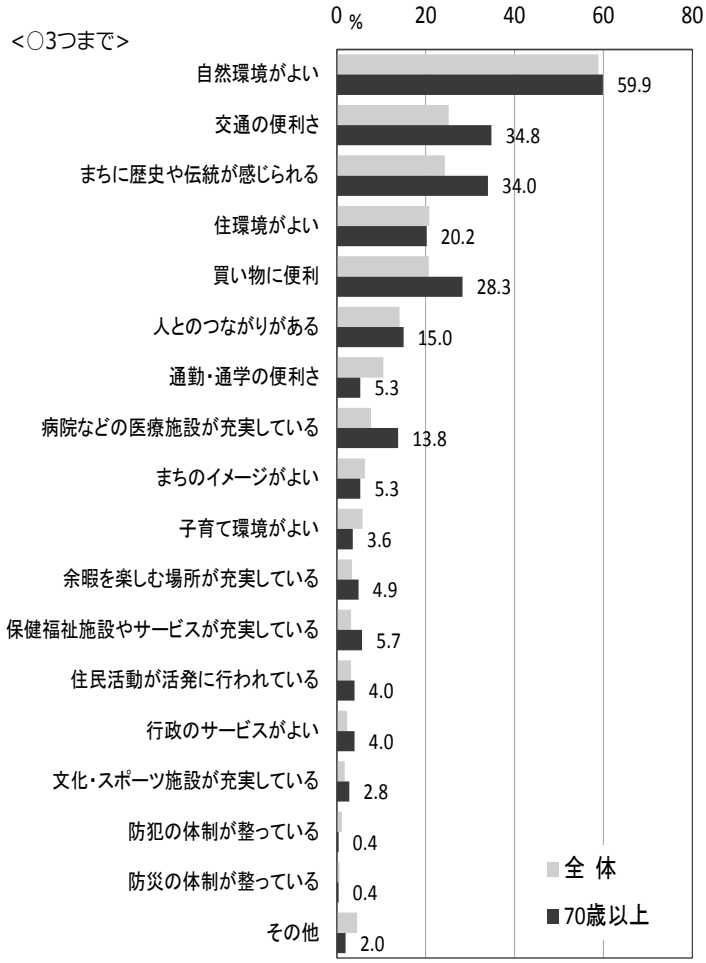

0 % 20 40 60 80
56.5
17.6
18.8
21.8
20.0
12.4
11.2
6.5
6.5
9.4
0.6
0.6
2.4
2.4
1.2
1.2
0.0
5.9
全 体
40歳代

<○3つまで>


0 % 20 40 60 80
自然環境がよい 64.2
交通の便利さ 18.9
まちに歴史や伝統が感じられる 20.9
住環境がよい 25.0
買い物に便利 10.8
人とのつながりがある 12.2
通勤・通学の便利さ 17.6
病院などの医療施設が充実している 3.4
まちのイメージがよい 4.7
子育て環境がよい 8.1
余暇を楽しむ場所が充実している 2.7
保健福祉施設やサービスが充実している 2.0
住民活動が活発に行われている 2.7
行政のサービスがよい 1.4
文化・スポーツ施設が充実している 0.0
防犯の体制が整っている 1.4
防災の体制が整っている 0.7
その他 4.7
全 体
50歳代

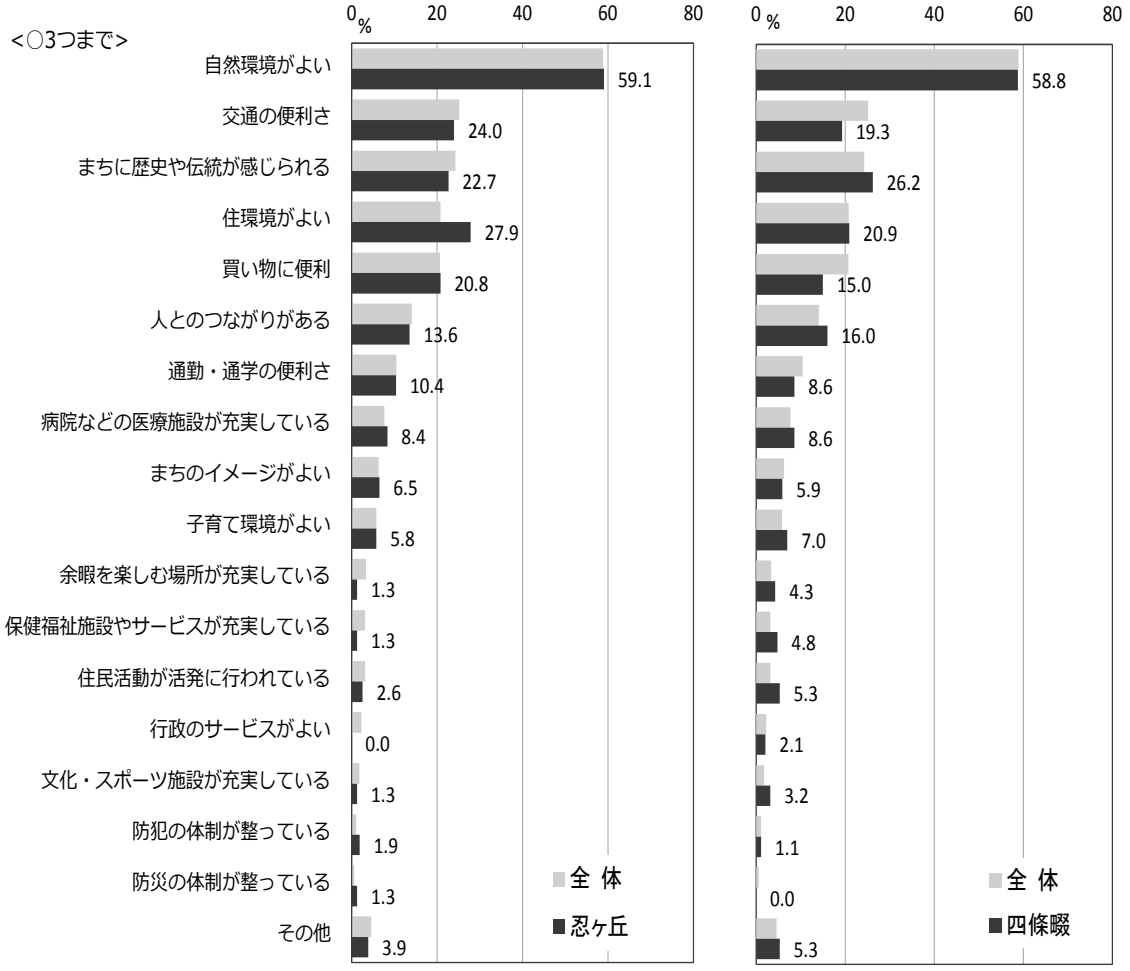

0 % 20 40 60 80
自然環境がよい 58.1
交通の便利さ 30.6
まちに歴史や伝統が感じられる 25.4
住環境がよい 19.8
買い物に便利 21.8
人とのつながりがある 18.5
通勤・通学の便利さ 6.9
病院などの医療施設が充実している 6.0
まちのイメージがよい 6.0
子育て環境がよい 2.0
余暇を楽しむ場所が充実している 3.6
保健福祉施設やサービスが充実している 4.4
住民活動が活発に行われている 3.2
行政のサービスがよい 2.8
文化・スポーツ施設が充実している 3.2
防犯の体制が整っている 0.4
防災の体制が整っている 1.6
その他 6.0
全 体
60歳代

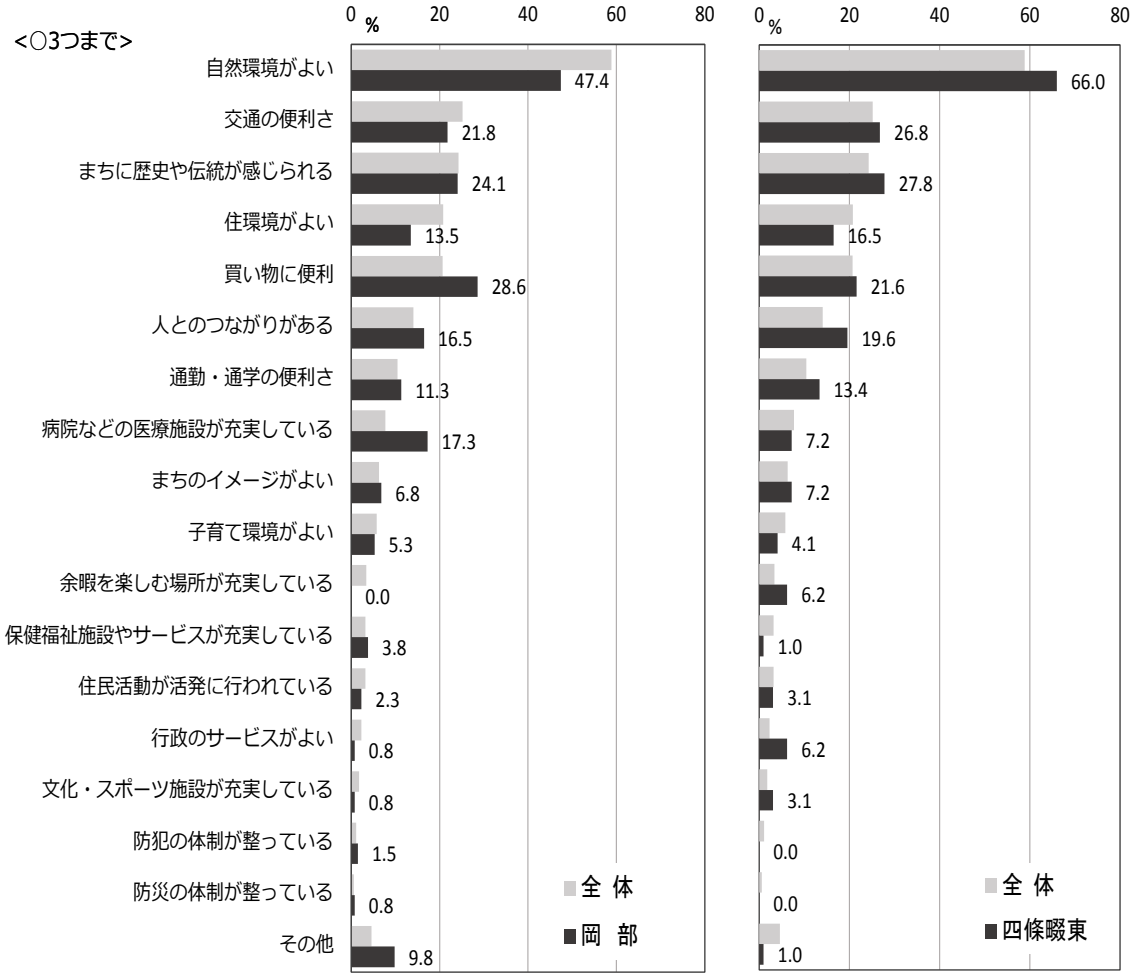
<○3つまで>

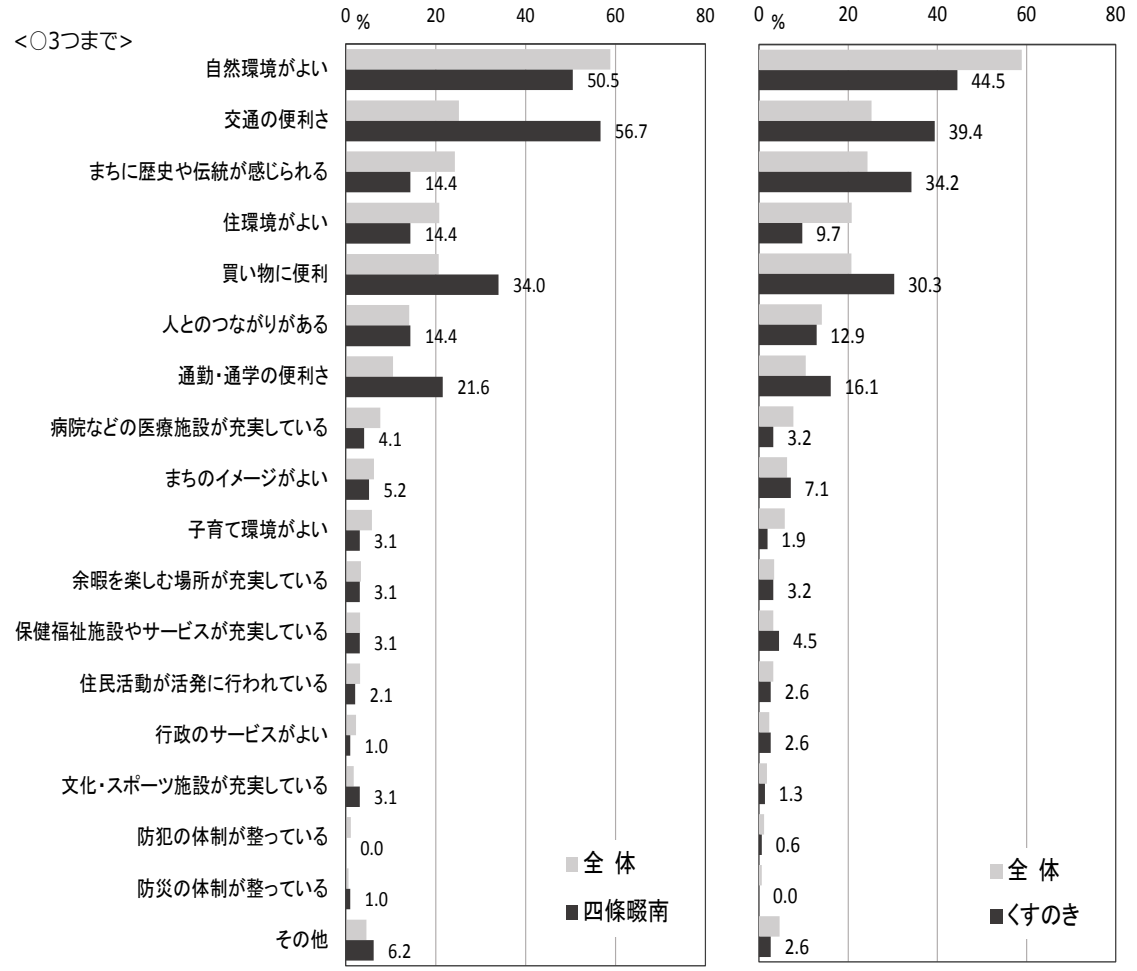

0 % 20 40 60 80
自然環境がよい 59.9
交通の便利さ 34.8
まちに歴史や伝統が感じられる 34.0
住環境がよい 20.2
買い物に便利 28.3
人とのつながりがある 15.0
通勤・通学の便利さ 5.3
病院などの医療施設が充実している 13.8
まちのイメージがよい 5.3
子育て環境がよい 3.6
余暇を楽しむ場所が充実している 4.9
保健福祉施設やサービスが充実している 5.7
住民活動が活発に行われている 4.0
行政のサービスがよい 4.0
文化・スポーツ施設が充実している 2.8
防犯の体制が整っている 0.4
防災の体制が整っている 0.4
その他 2.0
全 体
70歳以上

【居住校区別にみた特徴】

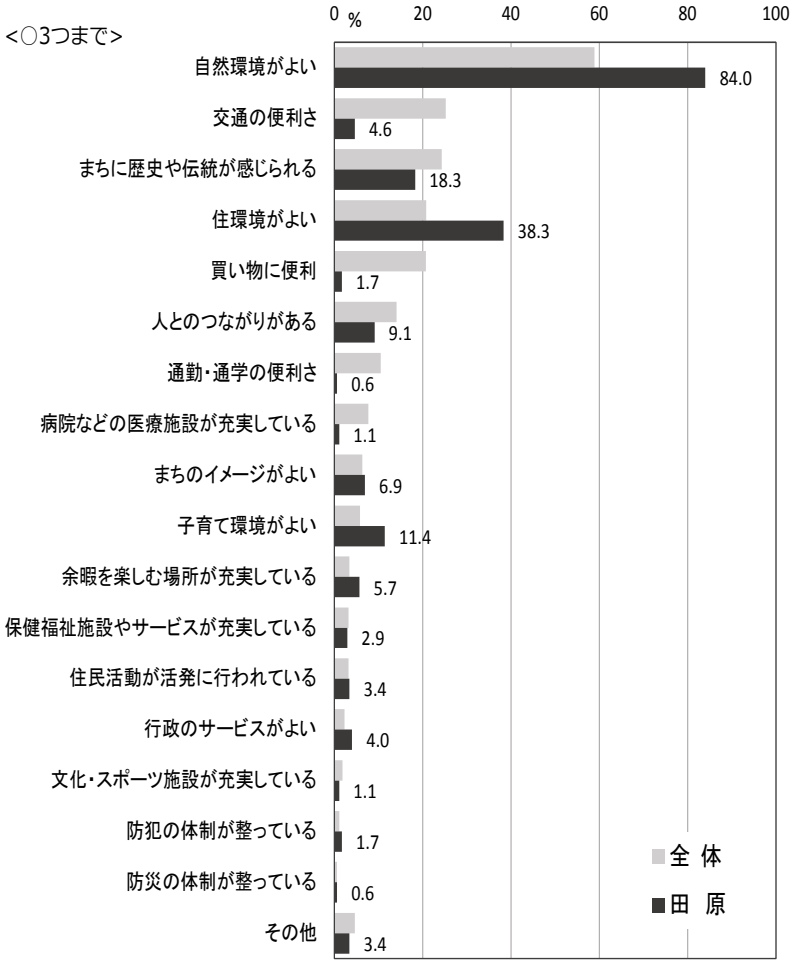
「自然環境がよい」は〔田原〕〔四條畷東〕〔忍ヶ丘〕で、「交通の便利さ」は〔四條畷南〕〔くすのき〕〔四條畷東〕で、「まちに歴史や伝統が感じられる」は〔くすのき〕〔四條畷東〕〔四條畷〕で〔全体〕に比べ比率が高くなっている。




<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
自然環境がよい 47.4 66.0
交通の便利さ 21.8 26.8
まちに歴史や伝統が感じられる 24.1 27.8
住環境がよい 13.5 16.5
買い物に便利 28.6 21.6
人とのつながりがある 16.5 19.6
通勤・通学の便利さ 11.3 13.4
病院などの医療施設が充実している 17.3 7.2
まちのイメージがよい 6.8 7.2
子育て環境がよい 5.3 4.1
余暇を楽しむ場所が充実している 0.0 6.2
保健福祉施設やサービスが充実している 3.8 1.0
住民活動が活発に行われている 2.3 3.1
行政のサービスがよい 0.8 6.2
文化・スポーツ施設が充実している 0.8 3.1
防犯の体制が整っている 1.5 0.0
防災の体制が整っている 0.8 0.0
その他 9.8 1.0
全 体
岡 部
四條畷東


<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
自然環境がよい 50.5 44.5
交通の便利さ 56.7 39.4
まちに歴史や伝統が感じられる 14.4 34.2
住環境がよい 14.4 9.7
買い物に便利 34.0 30.3
人とのつながりがある 14.4 12.9
通勤・通学の便利さ 21.6 16.1
病院などの医療施設が充実している 4.1 3.2
まちのイメージがよい 5.2 7.1
子育て環境がよい 3.1 1.9
余暇を楽しむ場所が充実している 3.1 3.2
保健福祉施設やサービスが充実している 3.1 4.5
住民活動が活発に行われている 2.1 2.6
行政のサービスがよい 1.0 2.6
文化・スポーツ施設が充実している 3.1 1.3
防犯の体制が整っている 0.0 0.6
防災の体制が整っている 1.0 0.0
その他 6.2 2.6
全 体
四條畷南
くすのき

<○3つまで>


0
%
20
40
60
80
100
自然環境がよい
84.0
交通の便利さ
4.6
まちに歴史や伝統が感じられる
18.3
住環境がよい
38.3
買い物に便利
1.7
人とのつながりがある
9.1
通勤・通学の便利さ
0.6
病院などの医療施設が充実している
1.1
まちのイメージがよい
6.9
子育て環境がよい
11.4
余暇を楽しむ場所が充実している
5.7
保健福祉施設やサービスが充実している
2.9
住民活動が活発に行われている
3.4
行政のサービスがよい
4.0
文化・スポーツ施設が充実している
1.1
防犯の体制が整っている
1.7
防災の体制が整っている
0.6
その他
3.4
全 体
田 原

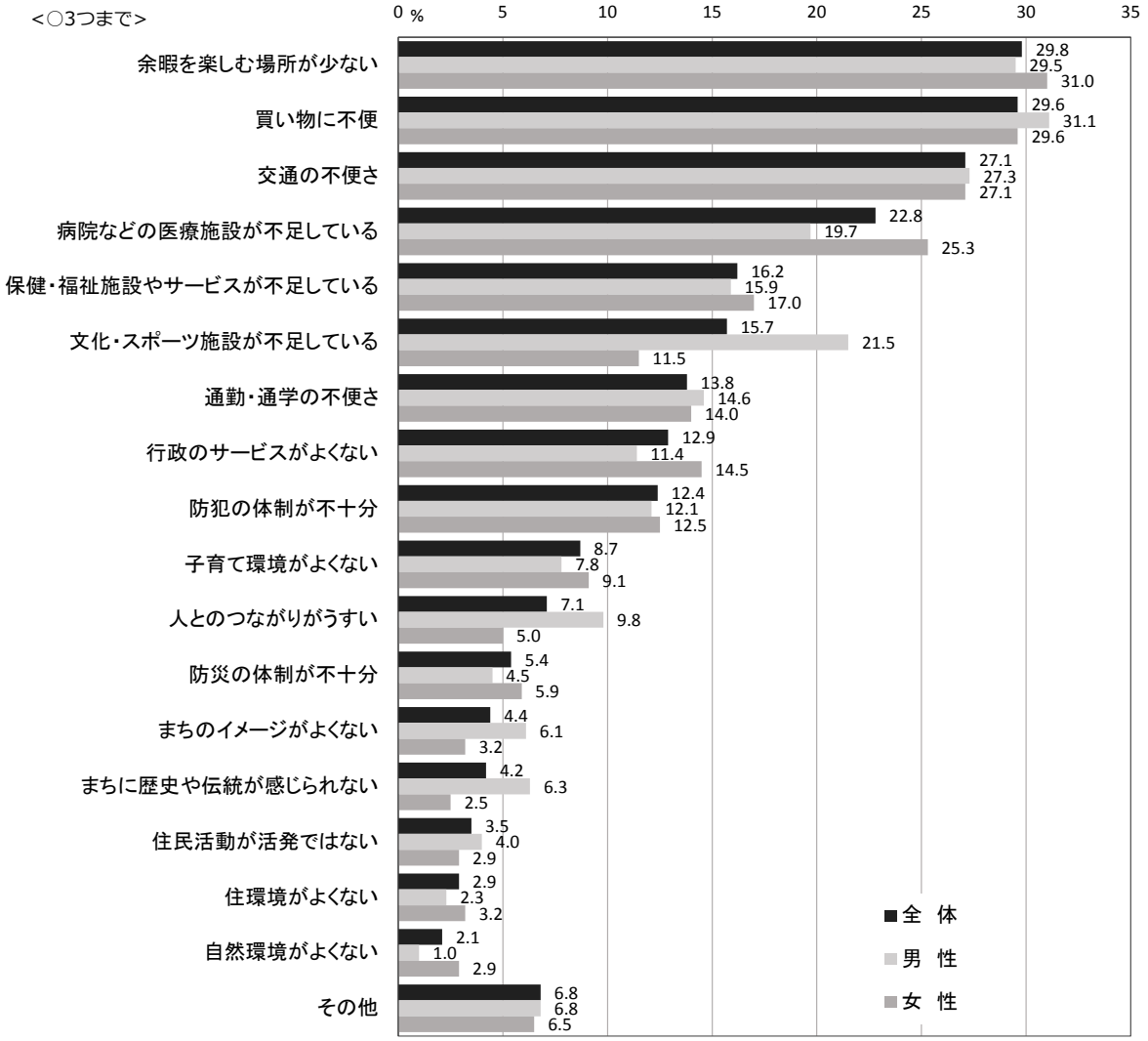
6　よくないところ・改善すべきところ

【全　体】

比率の高いものから順に「余暇を楽しむ場所が少ない」が 29.8%、「買い物に不便」が 29.6%、「交通の不便さ」が 27.1%、「病院などの医療施設が不足している」が 22.8%となっている。「保健・福祉施設やサービスが不足している」「文化・スポーツ施設が不足している」「通勤・通学の不便さ」「行政のサービスがよくない」「防犯の体制が不十分」は 10%台である。

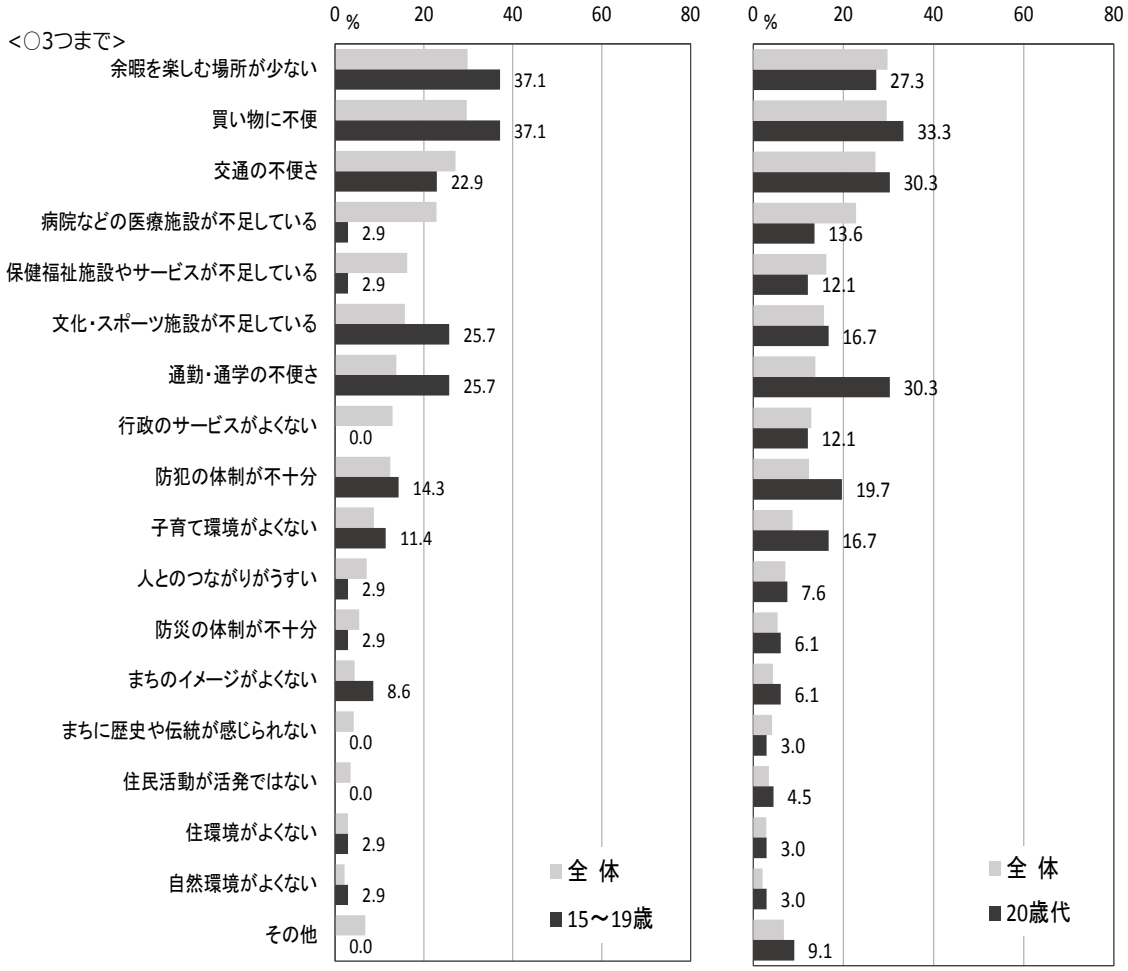
【男女別にみた特徴】

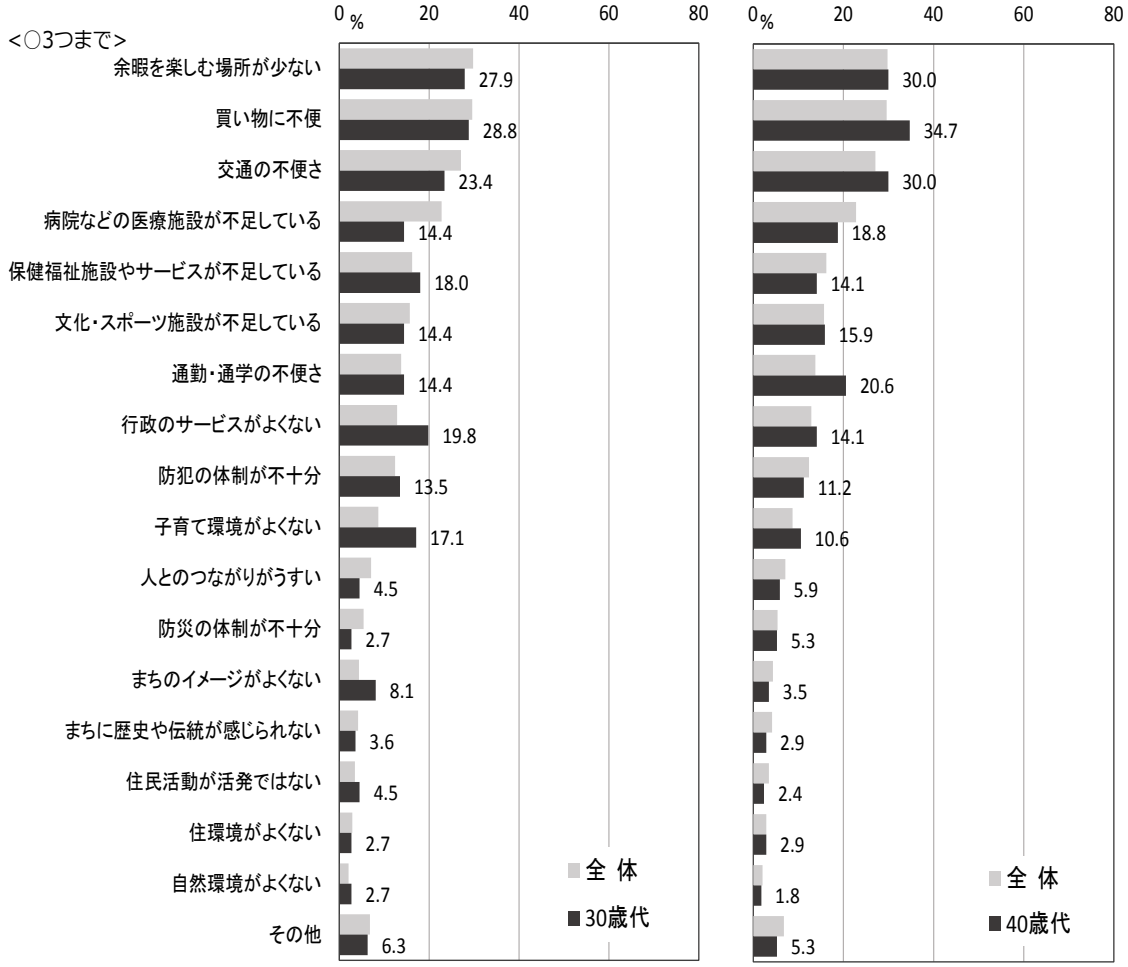
〔男性〕では「文化・スポーツ施設が不足している」、〔女性〕では「病院などの医療施設が不足している」の比率が高くなっている。

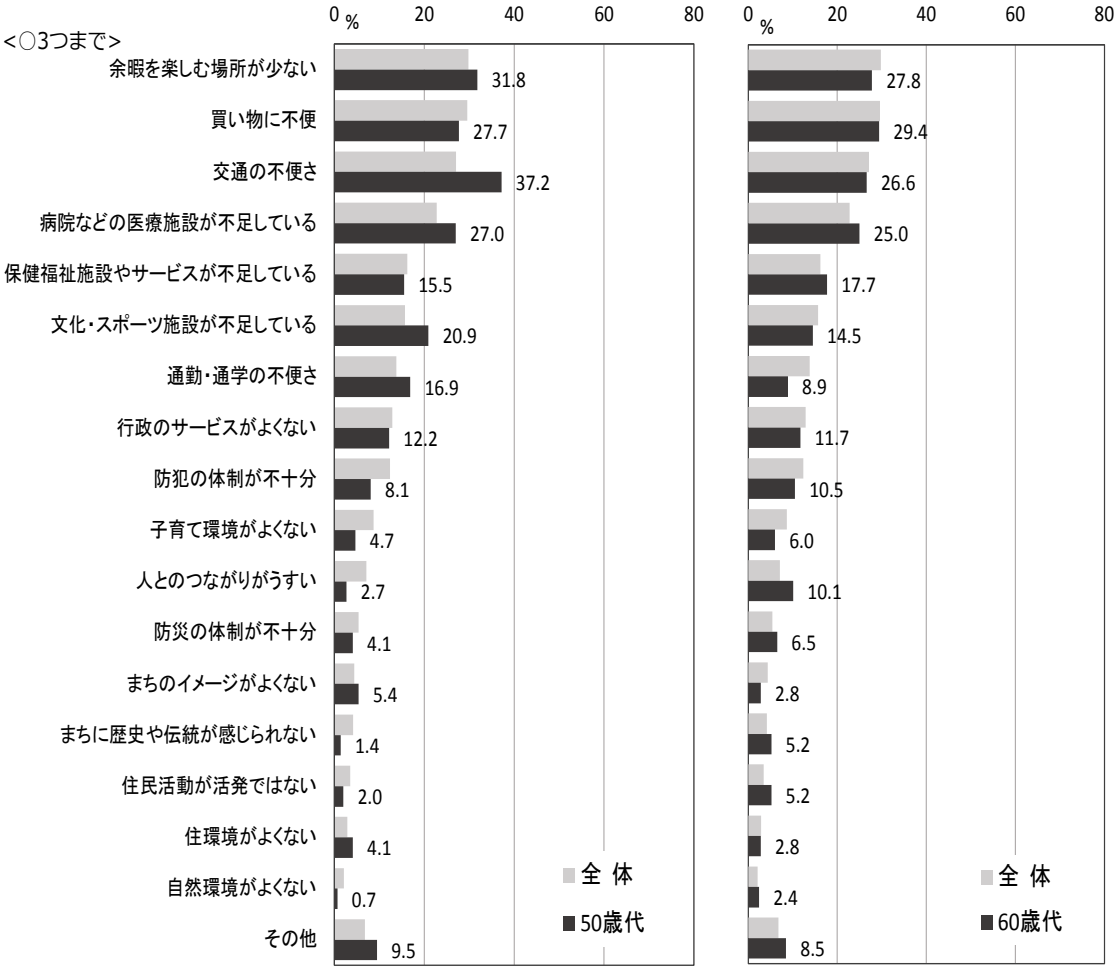


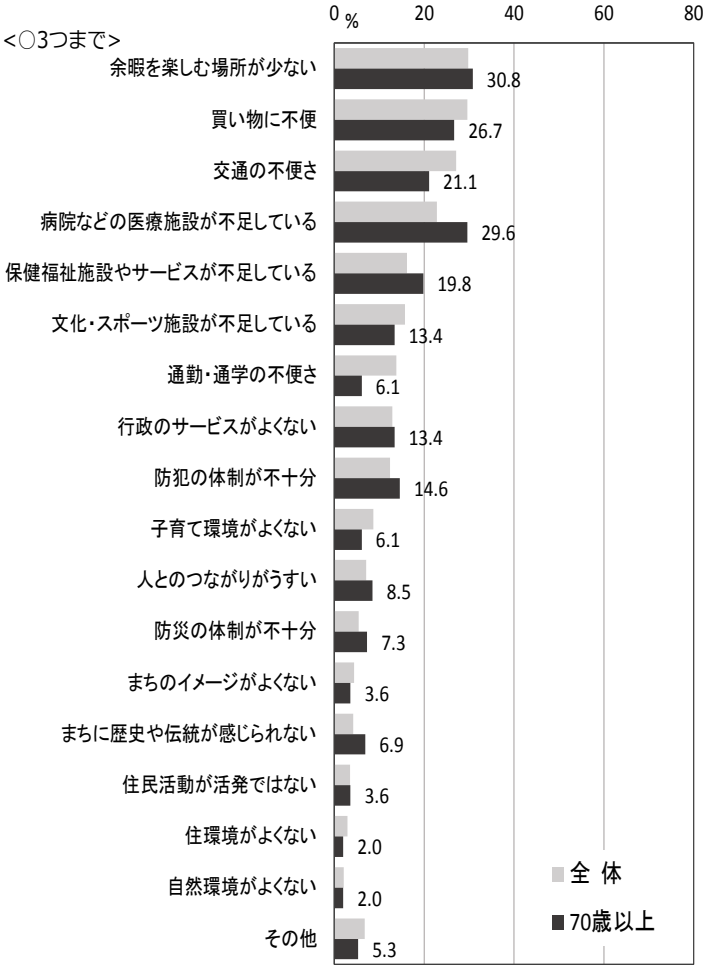
【年齢別にみた特徴】

50 歳代以上で「病院などの医療施設が不足している」の比率が高くなっている。


<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
余暇を楽しむ場所が少ない 37.1 27.3
買い物に不便 37.1 33.3
交通の不便さ 22.9 30.3
病院などの医療施設が不足している 2.9 13.6
保健福祉施設やサービスが不足している 2.9 12.1
文化・スポーツ施設が不足している 25.7 16.7
通勤・通学の不便さ 25.7 30.3
行政のサービスがよくない 0.0 12.1
防犯の体制が不十分 14.3 19.7
子育て環境がよくない 11.4 16.7
人とのつながりがうすい 2.9 7.6
防災の体制が不十分 2.9 6.1
まちのイメージがよくない 8.6 6.1
まちに歴史や伝統が感じられない 0.0 3.0
住民活動が活発ではない 0.0 4.5
住環境がよくない 2.9 3.0
自然環境がよくない 2.9 3.0
その他 0.0 9.1
全 体
15～19歳
20歳代

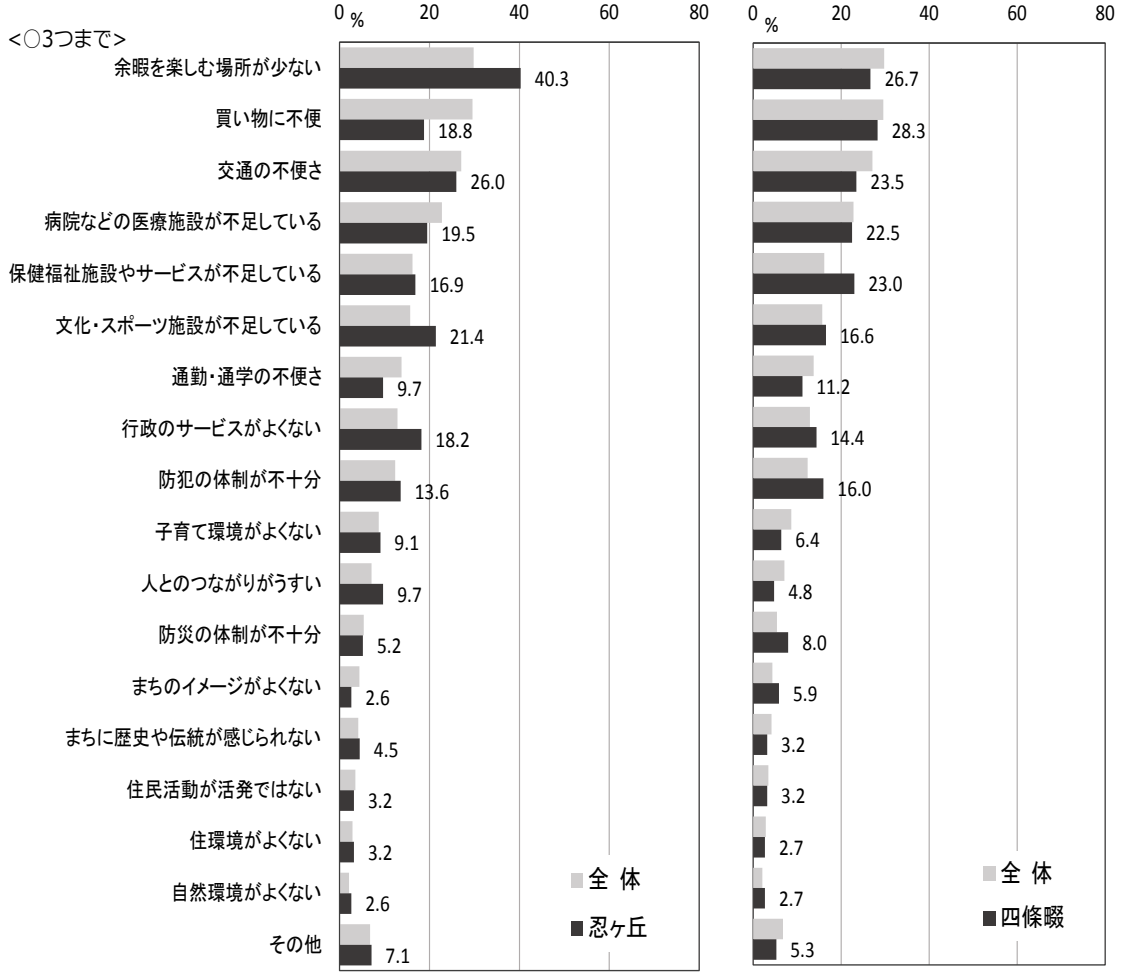

<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
余暇を楽しむ場所が少ない 27.9 30.0
買い物に不便 28.8 34.7
交通の不便さ 23.4 30.0
病院などの医療施設が不足している 14.4 18.8
保健福祉施設やサービスが不足している 18.0 14.1
文化・スポーツ施設が不足している 14.4 15.9
通勤・通学の不便さ 14.4 20.6
行政のサービスがよくない 19.8 14.1
防犯の体制が不十分 13.5 11.2
子育て環境がよくない 17.1 10.6
人とのつながりがうすい 4.5 5.9
防災の体制が不十分 2.7 5.3
まちのイメージがよくない 8.1 3.5
まちに歴史や伝統が感じられない 3.6 2.9
住民活動が活発ではない 4.5 2.4
住環境がよくない 2.7 2.9
自然環境がよくない 2.7 1.8
その他 6.3 5.3
全 体
30歳代
40歳代

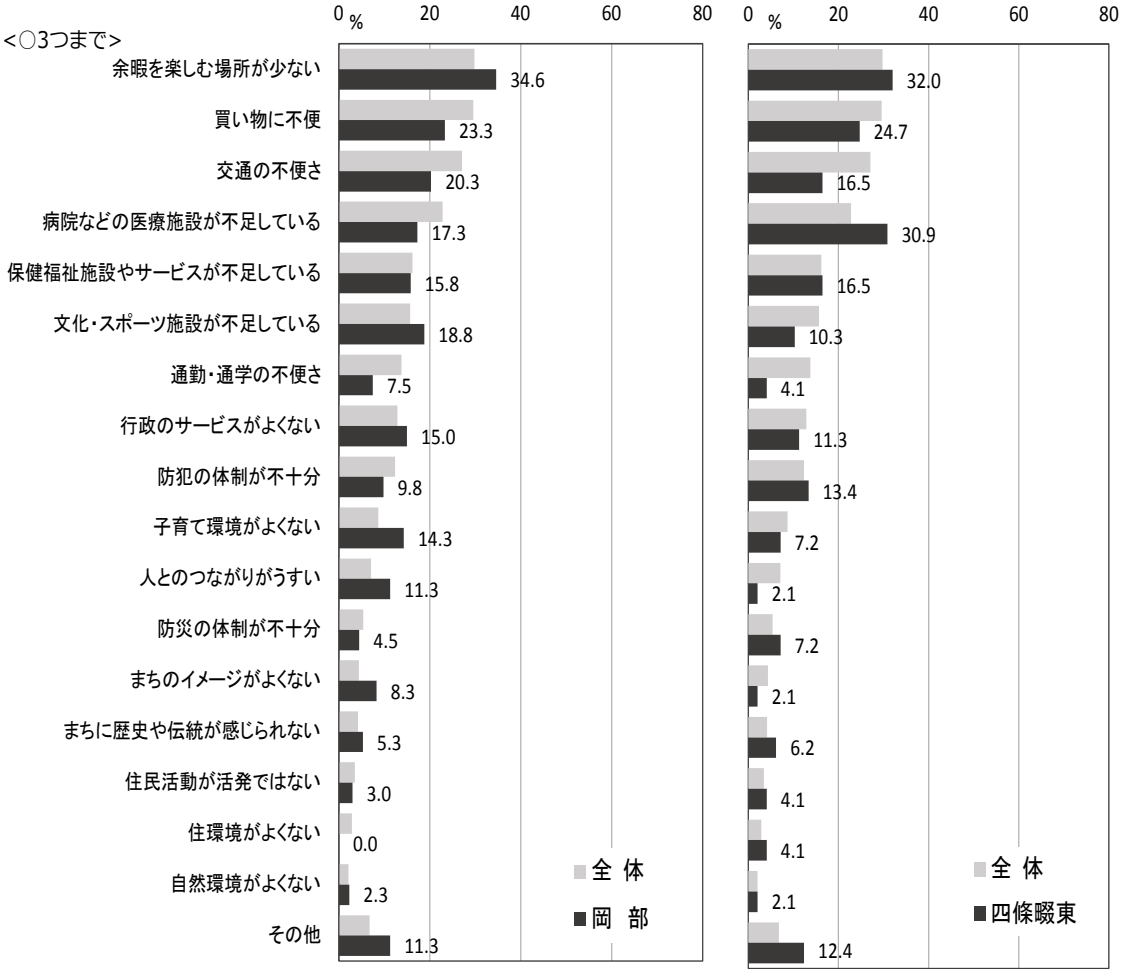

<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
余暇を楽しむ場所が少ない 31.8 27.8
買い物に不便 27.7 29.4
交通の不便さ 37.2 26.6
病院などの医療施設が不足している 27.0 25.0
保健福祉施設やサービスが不足している 15.5 17.7
文化・スポーツ施設が不足している 20.9 14.5
通勤・通学の不便さ 16.9 8.9
行政のサービスがよくない 12.2 11.7
防犯の体制が不十分 8.1 10.5
子育て環境がよくない 4.7 6.0
人とのつながりがうすい 2.7 10.1
防災の体制が不十分 4.1 6.5
まちのイメージがよくない 5.4 2.8
まちに歴史や伝統が感じられない 1.4 5.2
住民活動が活発ではない 2.0 5.2
住環境がよくない 4.1 2.8
自然環境がよくない 0.7 2.4
その他 9.5 8.5
全 体
50歳代
60歳代

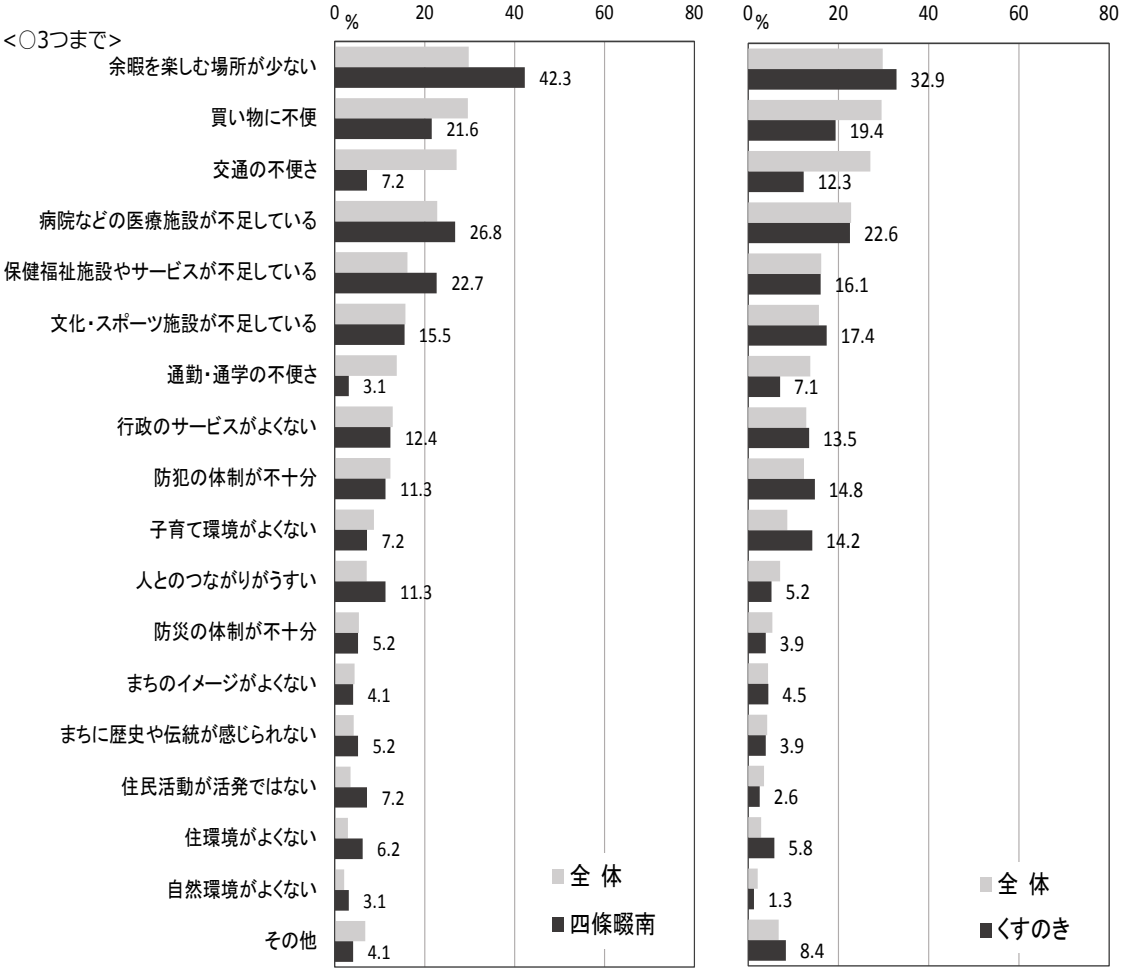

<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
余暇を楽しむ場所が少ない 30.8
買い物に不便 26.7
交通の不便さ 21.1
病院などの医療施設が不足している 29.6
保健福祉施設やサービスが不足している 19.8
文化・スポーツ施設が不足している 13.4
通勤・通学の不便さ 6.1
行政のサービスがよくない 13.4
防犯の体制が不十分 14.6
子育て環境がよくない 6.1
人とのつながりがうすい 8.5
防災の体制が不十分 7.3
まちのイメージがよくない 3.6
まちに歴史や伝統が感じられない 6.9
住民活動が活発ではない 3.6
住環境がよくない 2.0
自然環境がよくない 2.0
その他 5.3
全 体
70歳以上

【居住校区別にみた特徴】

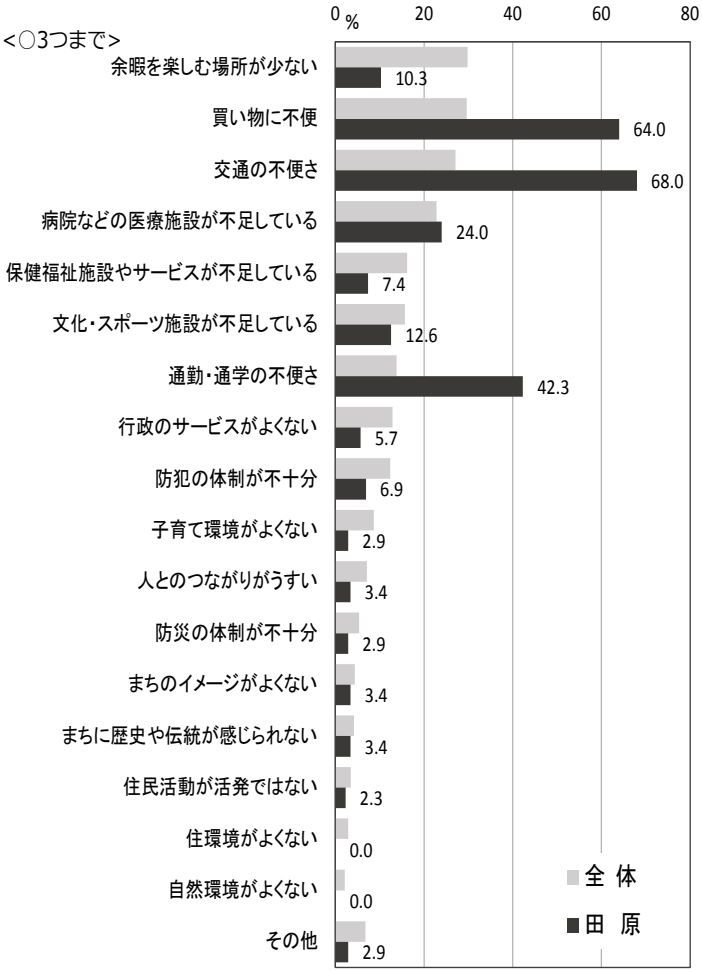
「交通の不便さ」「買い物に不便」「通勤・通学の不便さ」は〔田原〕で、「病院などの医療施設が不足している」は〔四條畷東〕〔四條畷南〕〔田原〕で、「保健福祉施設サービスが不足している」は〔四條畷〕〔四條畷南〕〔忍ヶ丘〕〔四條畷東〕で〔全体〕に比べ比率が高い。




<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
余暇を楽しむ場所が少ない 34.6
買い物に不便 23.3
交通の不便さ 20.3
病院などの医療施設が不足している 17.3
保健福祉施設やサービスが不足している 15.8
文化・スポーツ施設が不足している 18.8
通勤・通学の不便さ 7.5
行政のサービスがよくない 15.0
防犯の体制が不十分 9.8
子育て環境がよくない 14.3
人とのつながりがうすい 11.3
防災の体制が不十分 4.5
まちのイメージがよくない 8.3
まちに歴史や伝統が感じられない 5.3
住民活動が活発ではない 3.0
住環境がよくない 0.0
自然環境がよくない 2.3
その他 11.3
全 体
岡 部
0 % 20 40 60 80
32.0
24.7
16.5
30.9
16.5
10.3
4.1
11.3
13.4
7.2
2.1
7.2
2.1
6.2
4.1
4.1
2.1
12.4
全 体
四條畷東


<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
余暇を楽しむ場所が少ない 42.3
買い物に不便 21.6
交通の不便さ 7.2
病院などの医療施設が不足している 26.8
保健福祉施設やサービスが不足している 22.7
文化・スポーツ施設が不足している 15.5
通勤・通学の不便さ 3.1
行政のサービスがよくない 12.4
防犯の体制が不十分 11.3
子育て環境がよくない 7.2
人とのつながりがうすい 11.3
防災の体制が不十分 5.2
まちのイメージがよくない 4.1
まちに歴史や伝統が感じられない 5.2
住民活動が活発ではない 7.2
住環境がよくない 6.2
自然環境がよくない 3.1
その他 4.1
全 体
四條畷南
0 % 20 40 60 80
32.9
19.4
12.3
22.6
16.1
17.4
7.1
13.5
14.8
14.2
5.2
3.9
4.5
3.9
2.6
5.8
1.3
8.4
全 体
くすのき

<○3つまで>


0
%
20
40
60
80
余暇を楽しむ場所が少ない
10.3
買い物に不便
64.0
交通の不便さ
68.0
病院などの医療施設が不足している
24.0
保健福祉施設やサービスが不足している
7.4
文化・スポーツ施設が不足している
12.6
通勤・通学の不便さ
42.3
行政のサービスがよくない
5.7
防犯の体制が不十分
6.9
子育て環境がよくない
2.9
人とのつながりがうすい
3.4
防災の体制が不十分
2.9
まちのイメージがよくない
3.4
まちに歴史や伝統が感じられない
3.4
住民活動が活発ではない
2.3
住環境がよくない
0.0
自然環境がよくない
0.0
その他
2.9
全 体
田 原

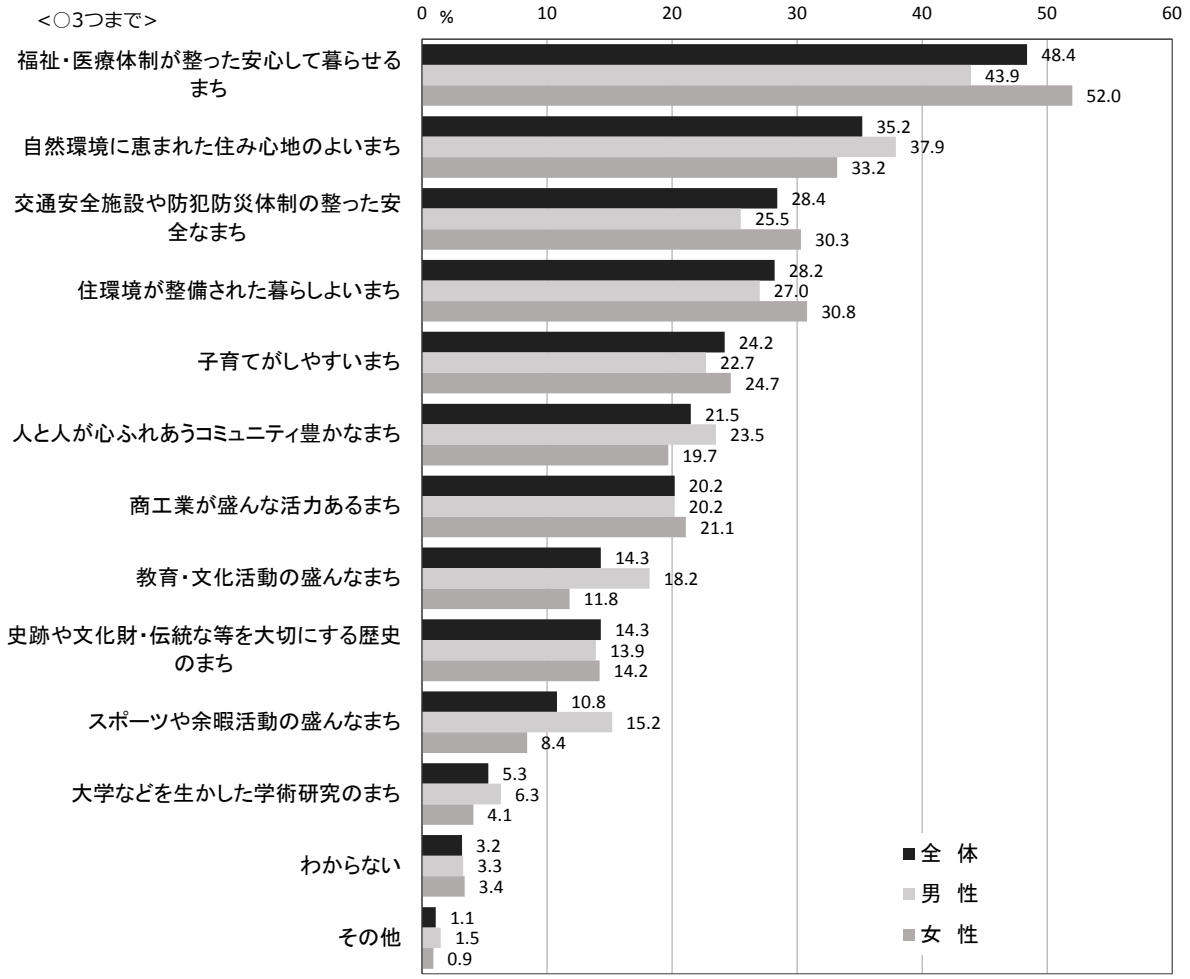
7　まちの将来像

【全　体】

比率の高いものから順に「福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち」が 48.4%、「自然環境に恵まれた住み心地のよいまち」が 35.2%、「交通安全施設や防犯防災体制の整った安全なまち」が 28.4%、「住環境が整備された暮らしよいまち」が 28.2%、「子育てがしやすいまち」が 24.2%、「人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち」が 21.5%、「商工業が盛んな活力あるまち」が 20.2%となっている。

【男女別にみた特徴】

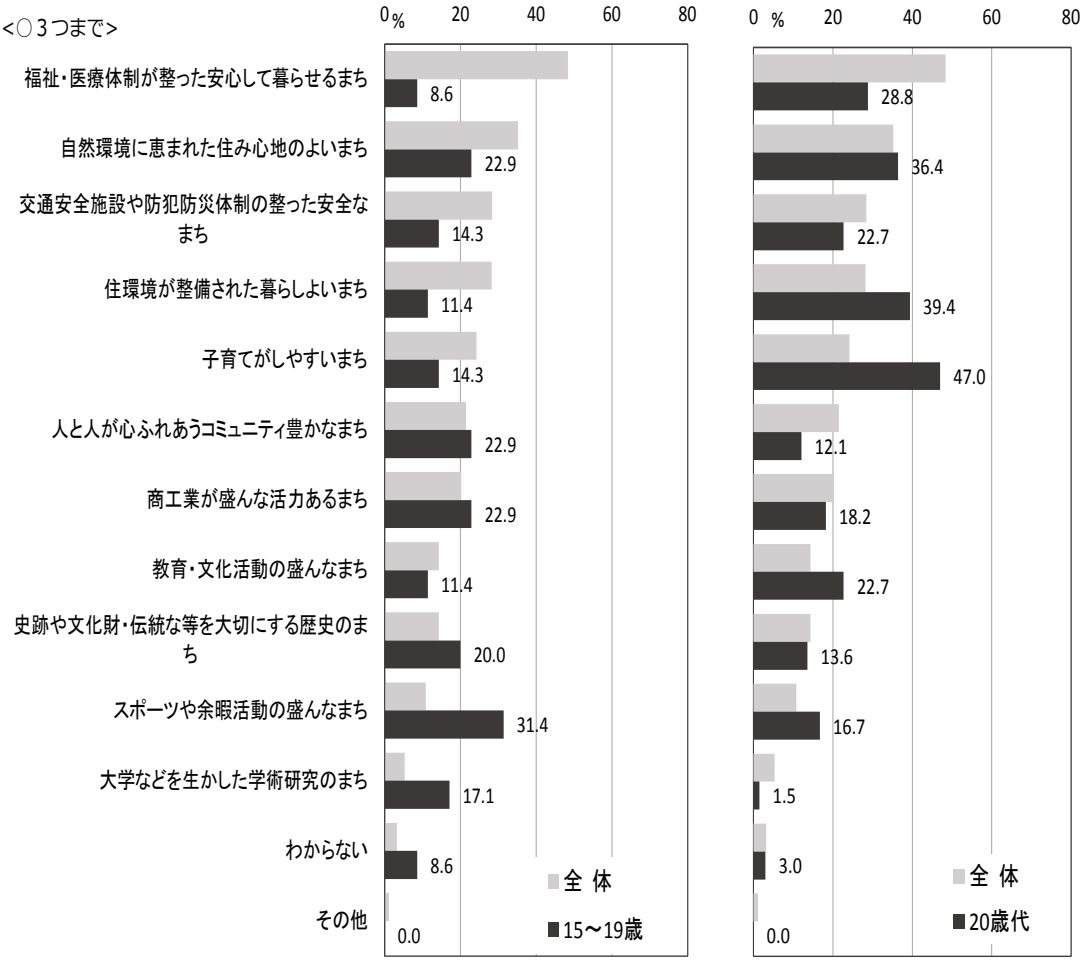
〔女性〕は〔男性〕より「福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち」「交通安全施設や防犯防災体制の整った安全なまち」「住環境が整備された暮らしよいまち」「子育てがしやすいまち」などで比率が高い。



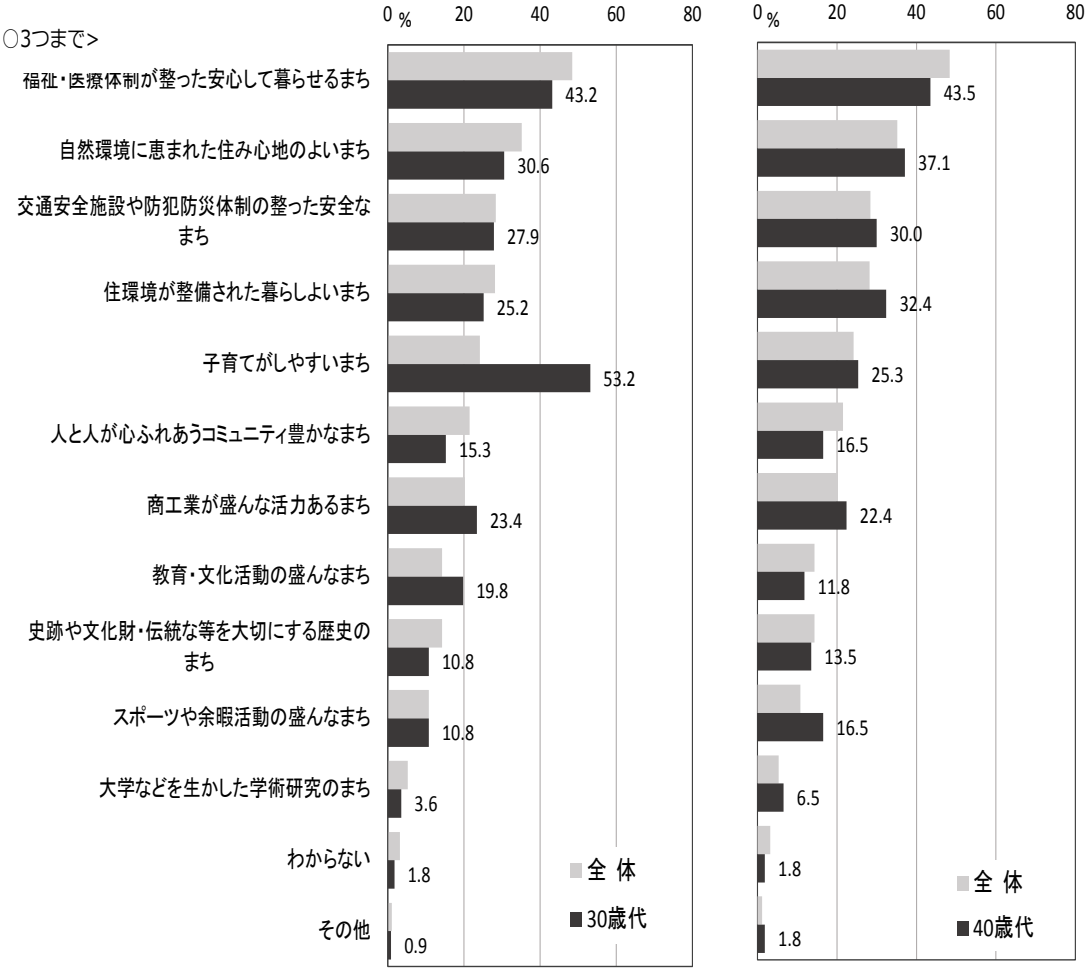
【年齢別にみた特徴】

「福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち」が 70 歳以上で高い比率である。また、「子育てがしやすいまち」も〔20 歳代〕が 47.0%、〔30 歳代〕が 53.2%と高い比率である。〔15～19 歳〕では「スポーツや余暇活動の盛んなまち」の 31.4%が最も高い比率である。

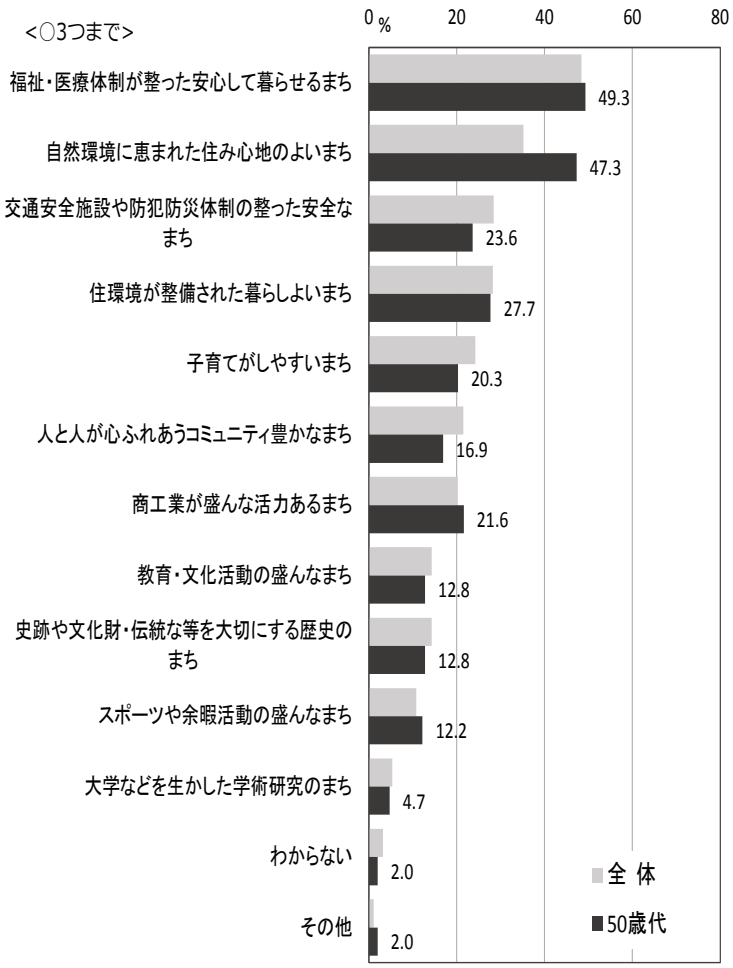
<○３つまで>

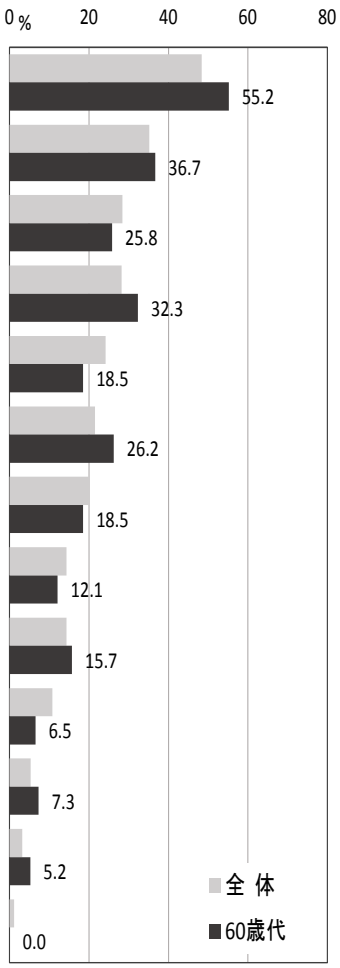

0 % 20 40 60 80
福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち
自然環境に恵まれた住み心地のよいまち
交通安全施設や防犯防災体制の整った安全なまち
住環境が整備された暮らしよいまち
子育てがしやすいまち
人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち
商工業が盛んな活力あるまち
教育・文化活動の盛んなまち
史跡や文化財・伝統な等を大切にする歴史のまち
スポーツや余暇活動の盛んなまち
大学などを生かした学術研究のまち
わからない
その他
8.6
22.9
14.3
11.4
14.3
22.9
22.9
11.4
20.0
31.4
17.1
8.6
0.0
全 体
15～19歳
28.8
36.4
22.7
39.4
47.0
12.1
18.2
22.7
13.6
16.7
1.5
3.0
0.0
全 体
20歳代

<○3つまで>

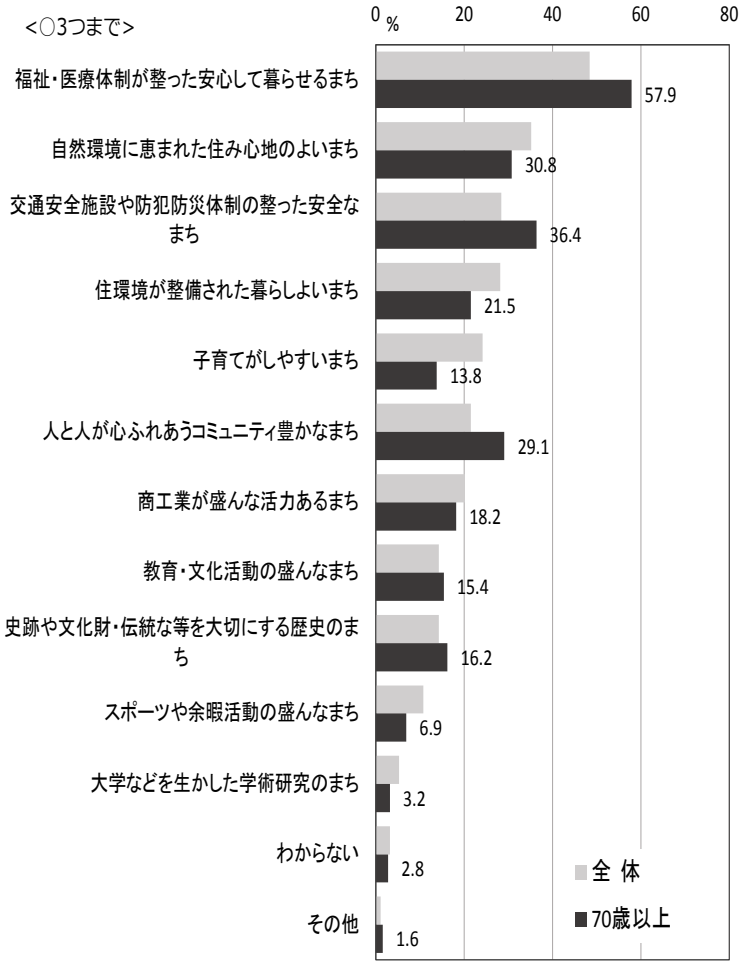

0 % 20 40 60 80
福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち
自然環境に恵まれた住み心地のよいまち
交通安全施設や防犯防災体制の整った安全なまち
住環境が整備された暮らしよいまち
子育てがしやすいまち
人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち
商工業が盛んな活力あるまち
教育・文化活動の盛んなまち
史跡や文化財・伝統な等を大切にする歴史のまち
スポーツや余暇活動の盛んなまち
大学などを生かした学術研究のまち
わからない
その他
43.2
30.6
27.9
25.2
53.2
15.3
23.4
19.8
10.8
10.8
3.6
1.8
0.9
全 体
30歳代
43.5
37.1
30.0
32.4
25.3
16.5
22.4
11.8
13.5
16.5
6.5
1.8
1.8
全 体
40歳代

<○3つまで>


0 % 20 40 60 80
福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち 49.3
自然環境に恵まれた住み心地のよいまち 47.3
交通安全施設や防犯防災体制の整った安全なまち 23.6
住環境が整備された暮らしよいまち 27.7
子育てがしやすいまち 20.3
人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち 16.9
商工業が盛んな活力あるまち 21.6
教育・文化活動の盛んなまち 12.8
史跡や文化財・伝統な等を大切にする歴史のまち 12.8
スポーツや余暇活動の盛んなまち 12.2
大学などを生かした学術研究のまち 4.7
わからない 2.0
その他 2.0
全 体
50歳代

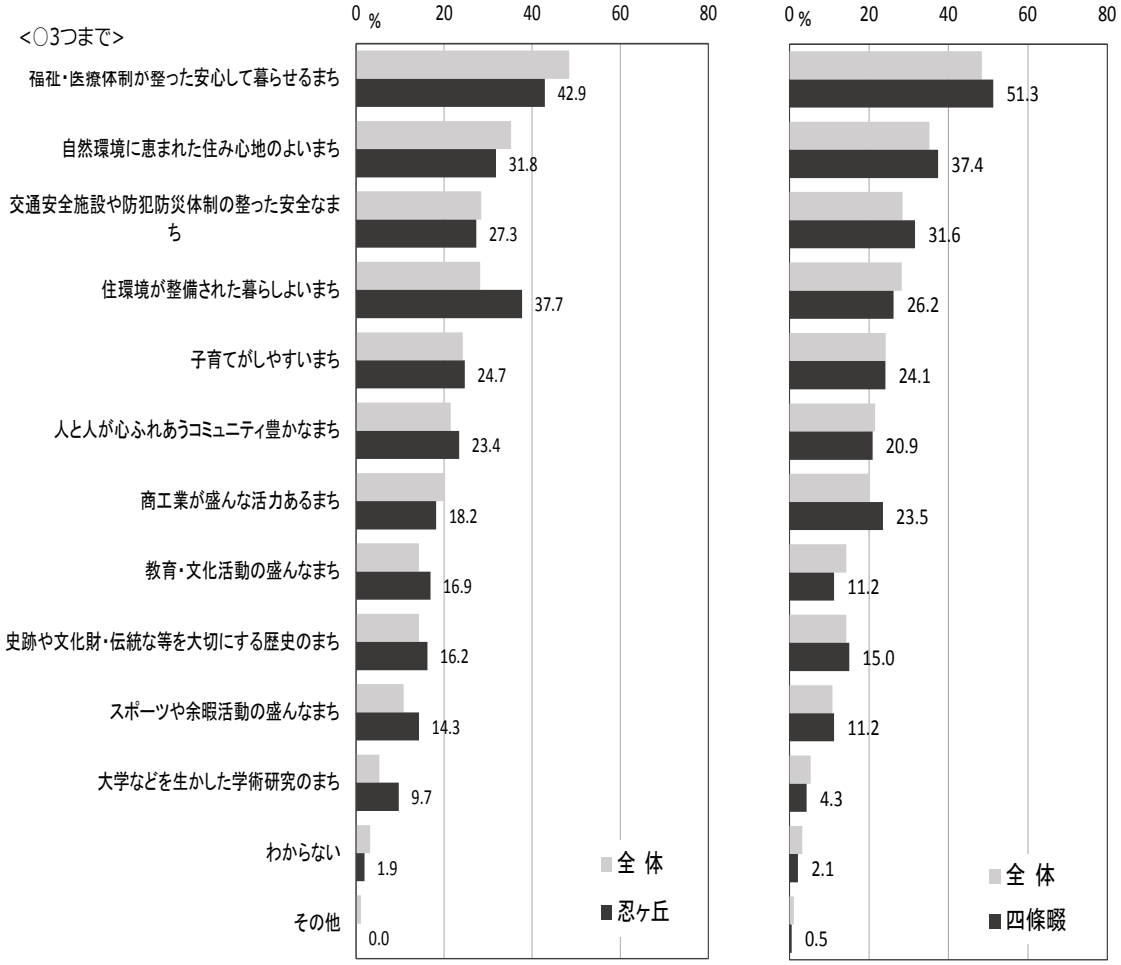

0 % 20 40 60 80
55.2
36.7
25.8
32.3
18.5
26.2
18.5
12.1
15.7
6.5
7.3
5.2
0.0
全 体
60歳代

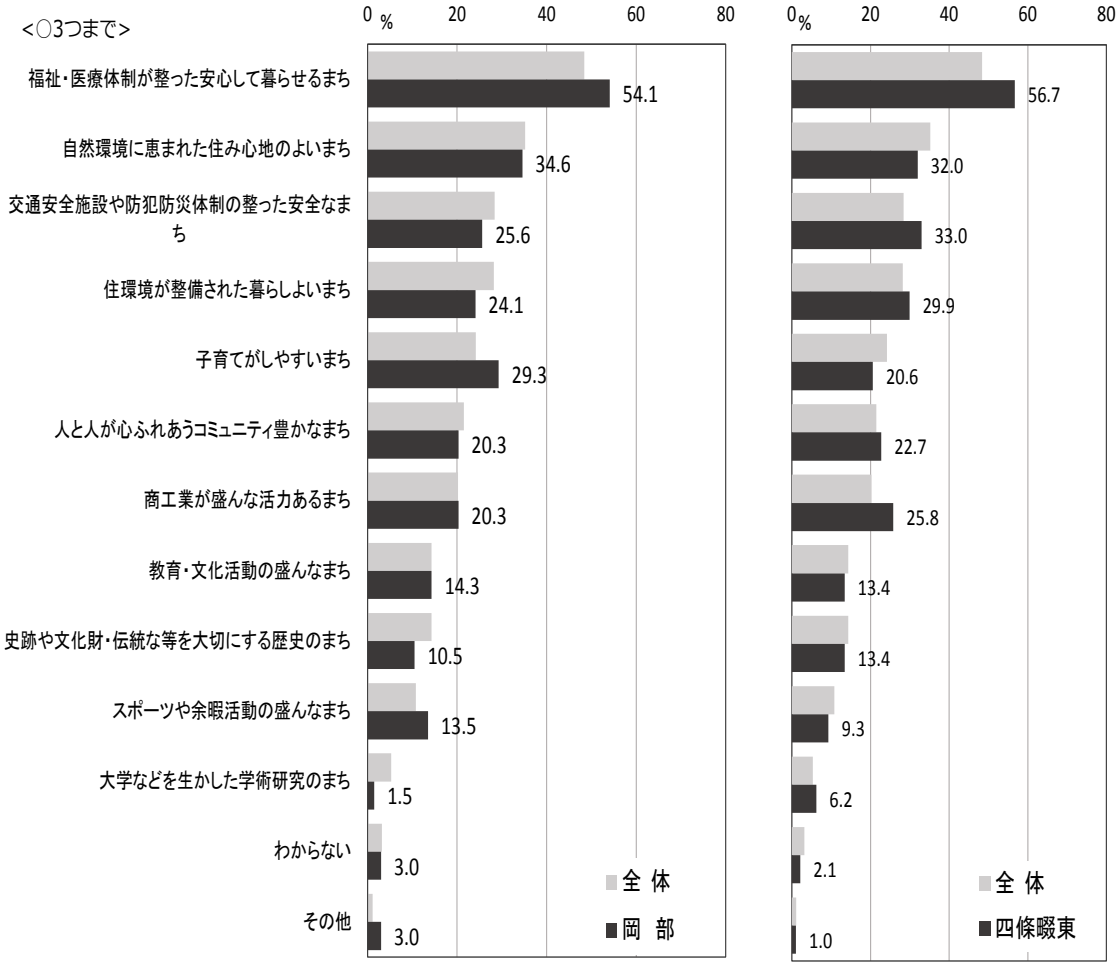
<○3つまで>

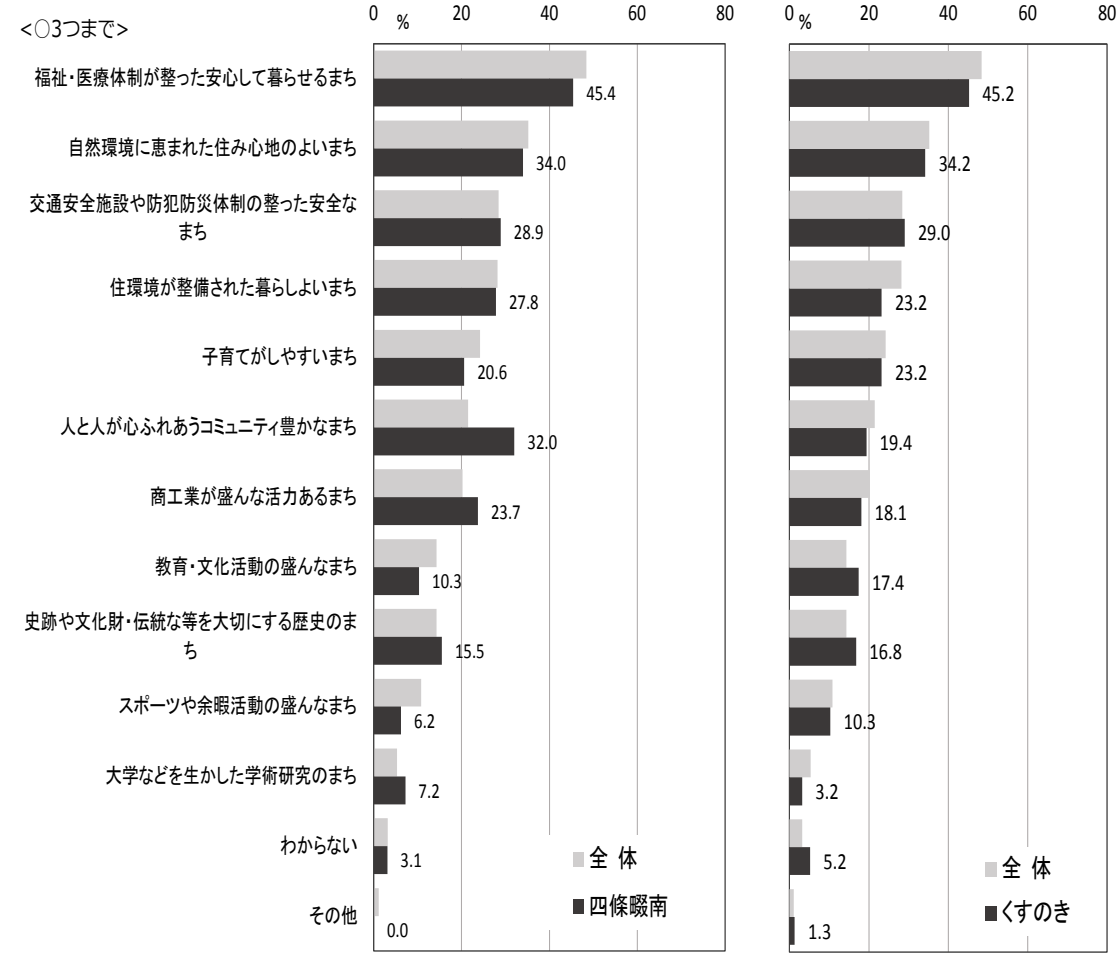

0 % 20 40 60 80
福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち 57.9
自然環境に恵まれた住み心地のよいまち 30.8
交通安全施設や防犯防災体制の整った安全なまち 36.4
住環境が整備された暮らしよいまち 21.5
子育てがしやすいまち 13.8
人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち 29.1
商工業が盛んな活力あるまち 18.2
教育・文化活動の盛んなまち 15.4
史跡や文化財・伝統な等を大切にする歴史のまち 16.2
スポーツや余暇活動の盛んなまち 6.9
大学などを生かした学術研究のまち 3.2
わからない 2.8
その他 1.6
全 体
70歳以上

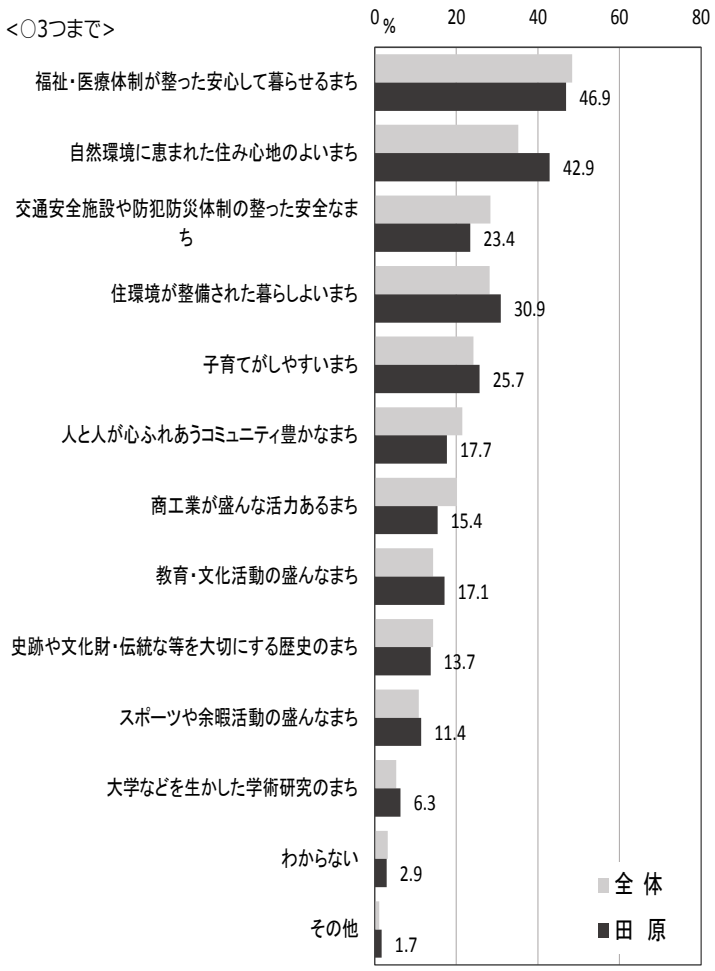
【居住校区別にみた特徴】

「福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち」は〔四條畷東〕〔岡部〕〔四條畷〕で〔全体〕よりも高くなっている。また、「自然環境に恵まれた住み心地のよいまち」は〔田原〕〔四條畷〕で〔全体〕よりも比率が高い。




<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち
自然環境に恵まれた住み心地のよいまち
交通安全施設や防犯防災体制の整った安全なまち
住環境が整備された暮らしよいまち
子育てがしやすいまち
人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち
商工業が盛んな活力あるまち
教育・文化活動の盛んなまち
史跡や文化財・伝統な等を大切にする歴史のまち
スポーツや余暇活動の盛んなまち
大学などを生かした学術研究のまち
わからない
その他
54.1
34.6
25.6
24.1
29.3
20.3
20.3
14.3
10.5
13.5
1.5
3.0
3.0
全 体
岡 部
56.7
32.0
33.0
29.9
20.6
22.7
25.8
13.4
13.4
9.3
6.2
2.1
1.0
全 体
四條畷東


<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち
自然環境に恵まれた住み心地のよいまち
交通安全施設や防犯防災体制の整った安全なまち
住環境が整備された暮らしよいまち
子育てがしやすいまち
人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち
商工業が盛んな活力あるまち
教育・文化活動の盛んなまち
史跡や文化財・伝統な等を大切にする歴史のまち
スポーツや余暇活動の盛んなまち
大学などを生かした学術研究のまち
わからない
その他
45.4
34.0
28.9
27.8
20.6
32.0
23.7
10.3
15.5
6.2
7.2
3.1
0.0
全 体
四條畷南
45.2
34.2
29.0
23.2
23.2
19.4
18.1
17.4
16.8
10.3
3.2
5.2
1.3
全 体
くすのき


<○3つまで>
0
%
20
40
60
80
福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち
46.9
自然環境に恵まれた住み心地のよいまち
42.9
交通安全施設や防犯防災体制の整った安全なまち
23.4
住環境が整備された暮らしよいまち
30.9
子育てがしやすいまち
25.7
人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち
17.7
商工業が盛んな活力あるまち
15.4
教育・文化活動の盛んなまち
17.1
史跡や文化財・伝統な等を大切にする歴史のまち
13.7
スポーツや余暇活動の盛んなまち
11.4
大学などを生かした学術研究のまち
6.3
わからない
2.9
その他
1.7
全 体
田 原

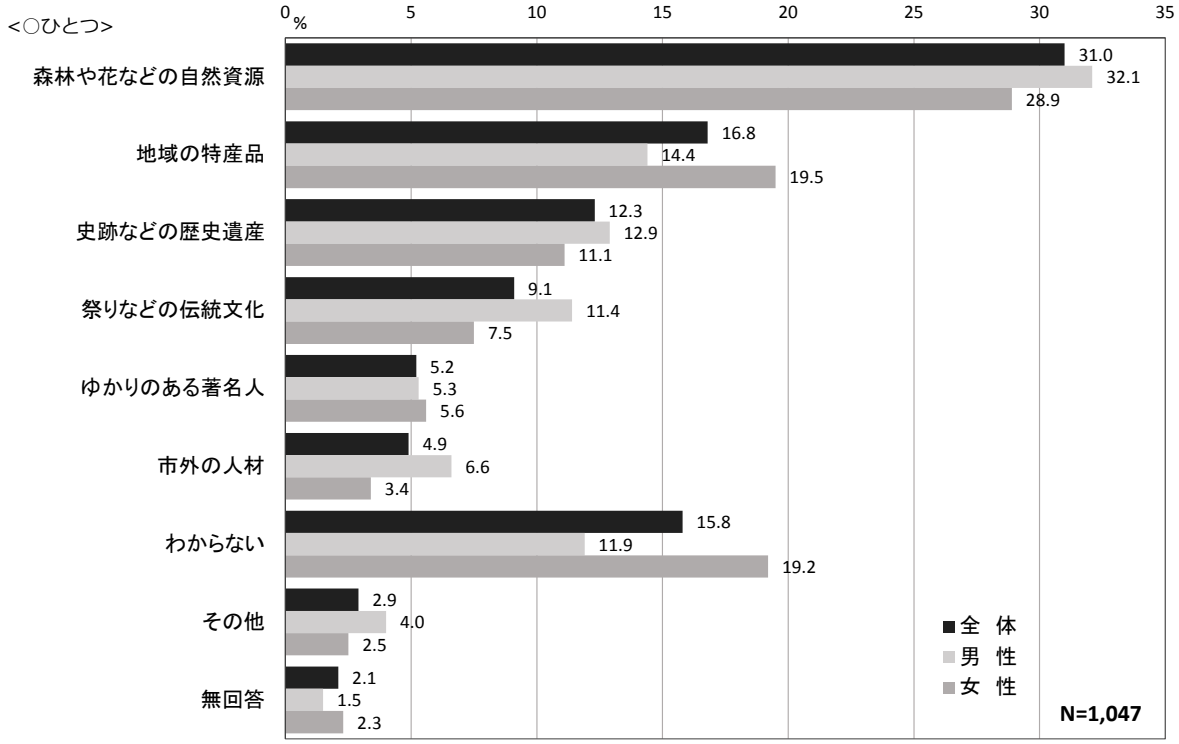
8　活用すべき地域資源

【全　体】

「森林や花などの自然資源」の 31.0%が最も高く、「地域の特産品」が 16.8%、「史跡などの歴史遺産」が 12.3%、「祭りなどの伝統文化」が 9.1%となっている。自然と歴史・文化の活用の意向が高い状況がうかがえる。

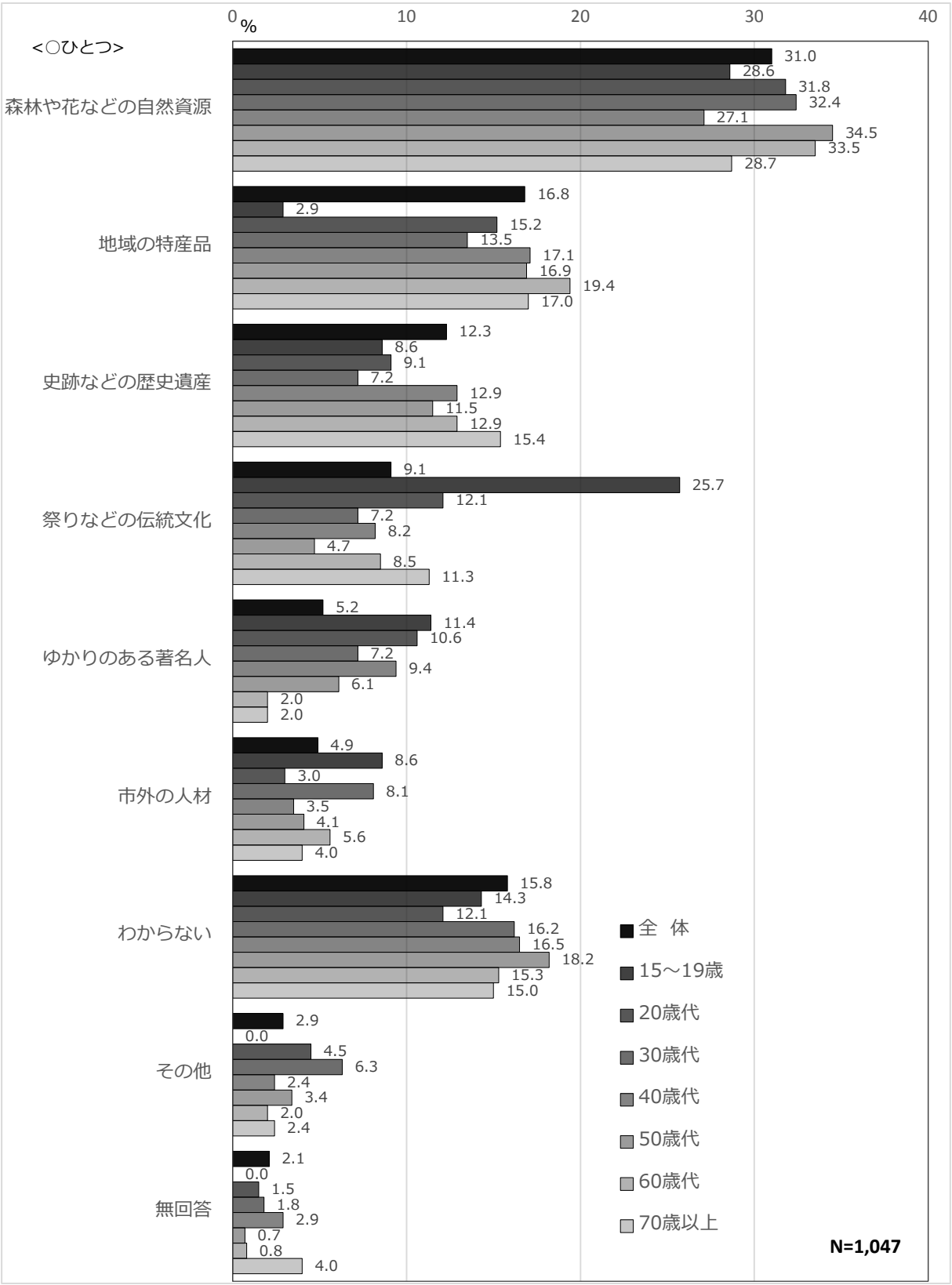
【男女別にみた特徴】

〔女性〕は〔男性〕より「地域の特産品」で比率が高い。



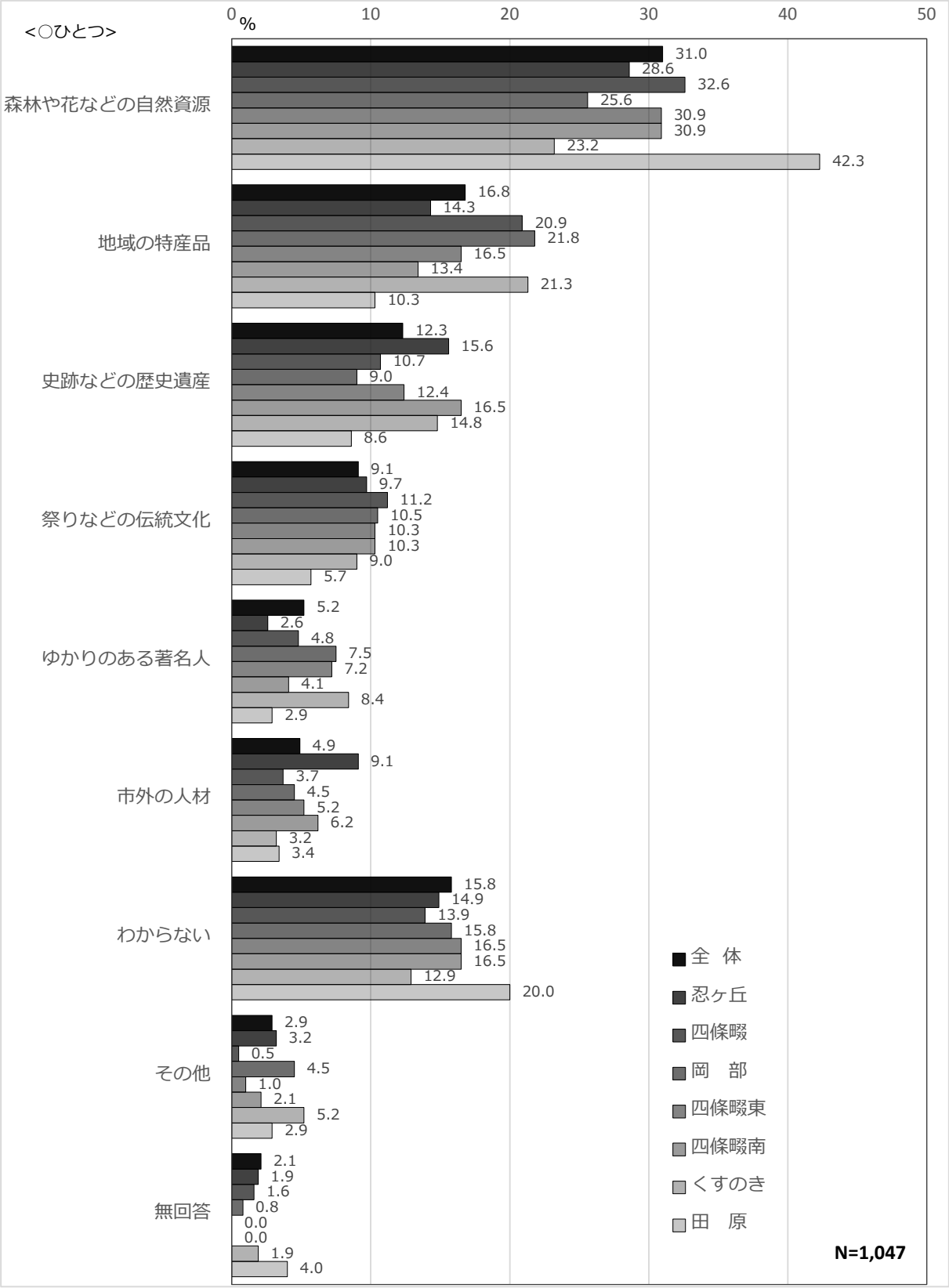
【年齢別にみた特徴】

〔15～19 歳〕では「森林や花などの自然資源」「祭りなどの伝統文化」が高く、「史跡などの歴史遺産」は 40 歳代以上で比率が高い。「ゆかりのある著名人」は 20 歳代以下で比率が高い。



【居住校区別にみた特徴】

「森林や花などの自然資源」は〔田原〕が 42.3%で突出して比率が高い。「地域の特産品」は〔岡部〕〔くすのき〕〔四條畷〕で、「史跡などの歴史遺産」は〔四條畷南〕〔忍ヶ丘〕〔くすのき〕〔四條畷東〕で〔全体〕より比率が高い。



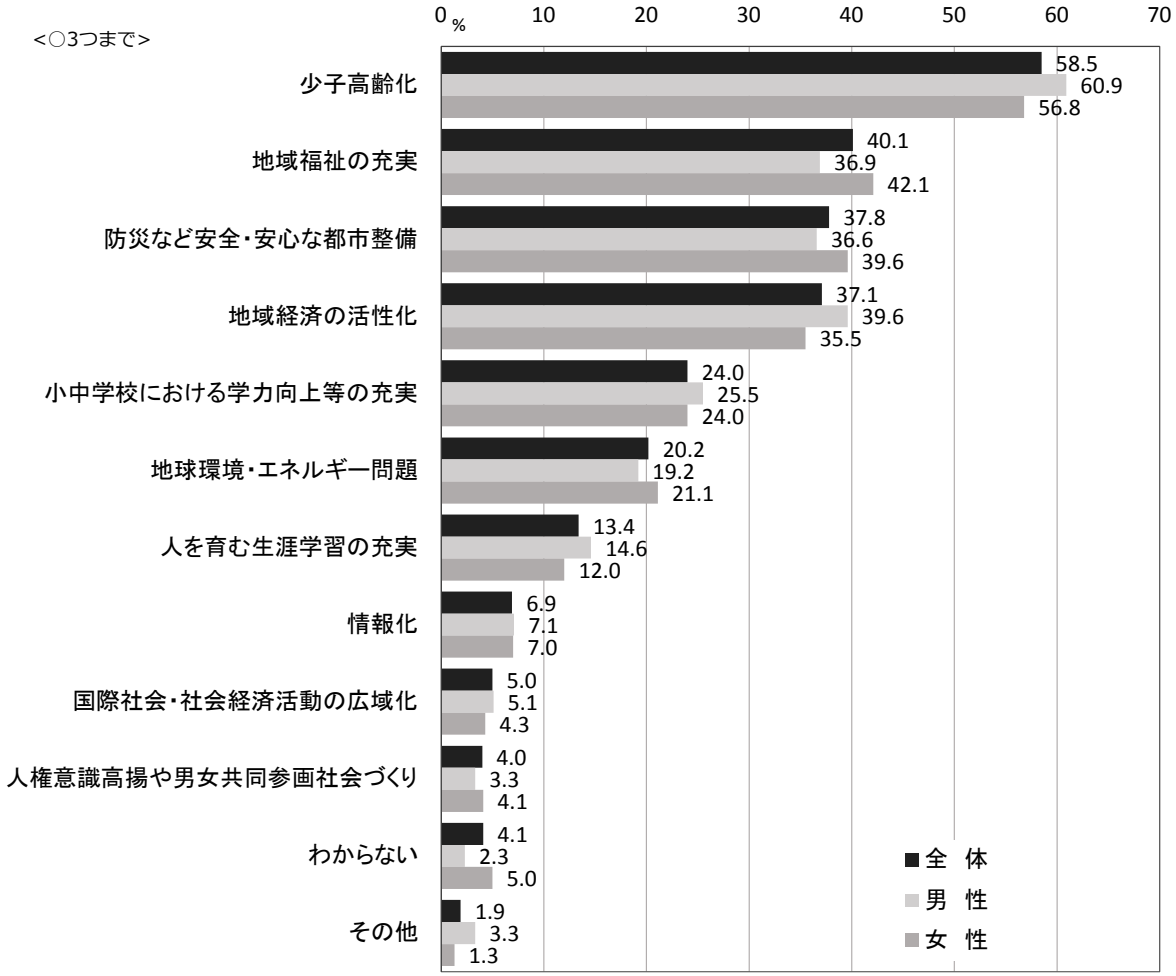
9　重要な課題

【全　体】

比率の高いものから順に「少子高齢化」が 58.5%、「地域福祉の充実」が 40.1%、「防災など安全・安心な都市整備」が 37.8%、「地域経済の活性化」が 37.1%、「小中学校における学力向上等の充実」が 24.0%、「地球環境・エネルギー問題」が 20.2%となっている。

【男女別にみた特徴】

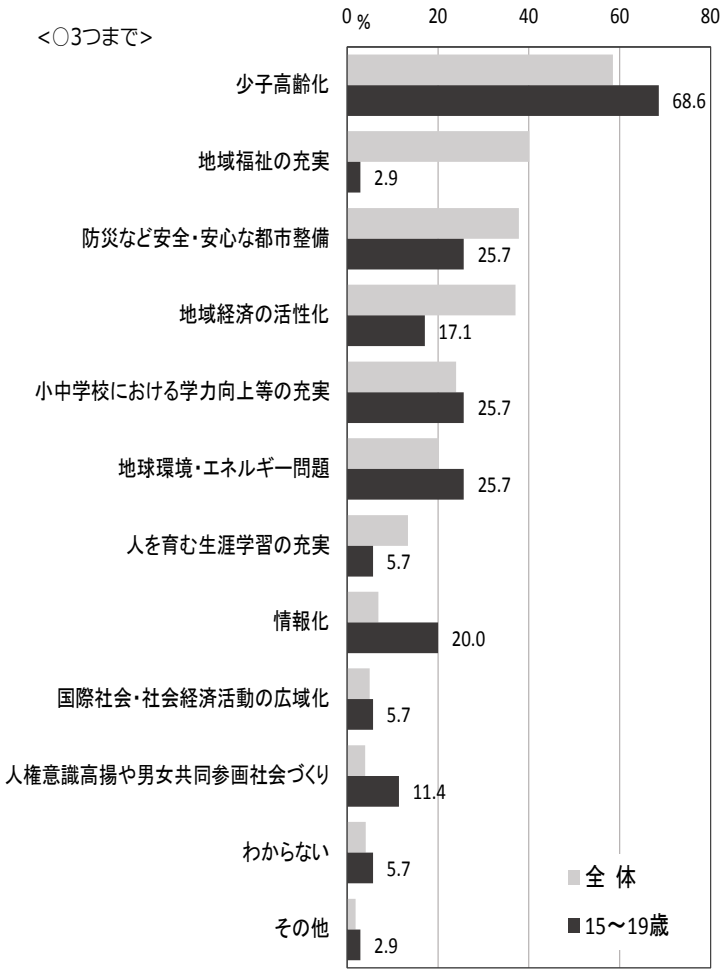
〔女性〕は〔男性〕より「地域福祉の充実」などで比率が高い。

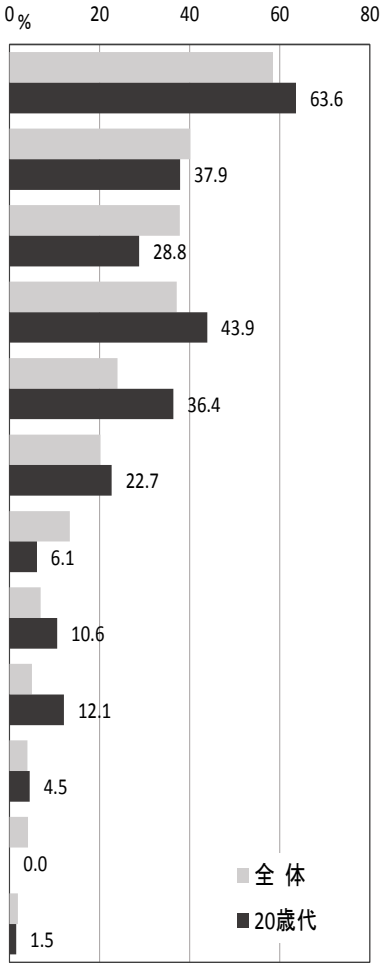


【年齢別にみた特徴】

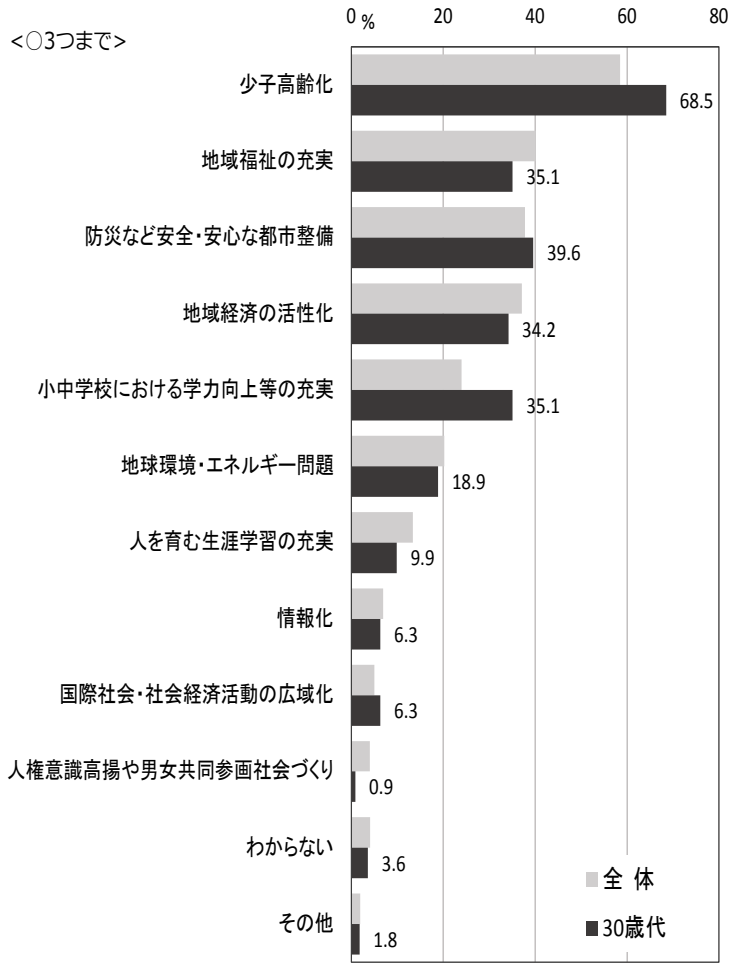
「少子高齢化」は 30 歳代以下で意識している傾向にある。「地域福祉の充実」は 50 歳代以上、「地域経済の活性化」は〔20 歳代〕〔50 歳代〕〔60 歳代〕〔70 歳以上〕で〔全体〕よりも比率が高い。「小中学校における学力向上等の充実」が高い比率を示すのは〔20 歳代〕〔30 歳代〕である。「人を育む生涯学習の充実」は 40 歳代以上で 15%前後となっている。

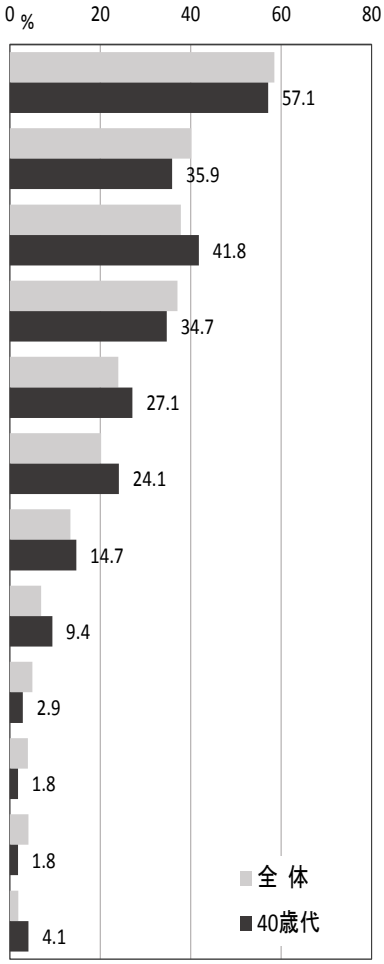
<○3つまで>

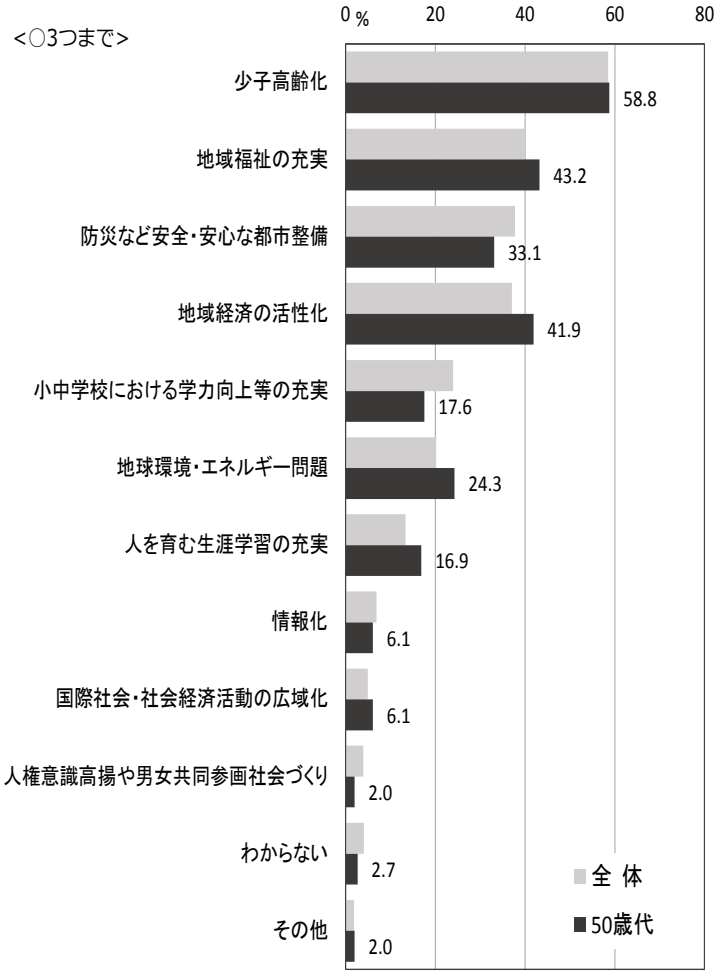

0 % 20 40 60 80
少子高齢化 68.6
地域福祉の充実 2.9
防災など安全・安心な都市整備 25.7
地域経済の活性化 17.1
小中学校における学力向上等の充実 25.7
地球環境・エネルギー問題 25.7
人を育む生涯学習の充実 5.7
情報化 20.0
国際社会・社会経済活動の広域化 5.7
人権意識高揚や男女共同参画社会づくり 11.4
わからない 5.7
その他 2.9
全 体
15～19歳

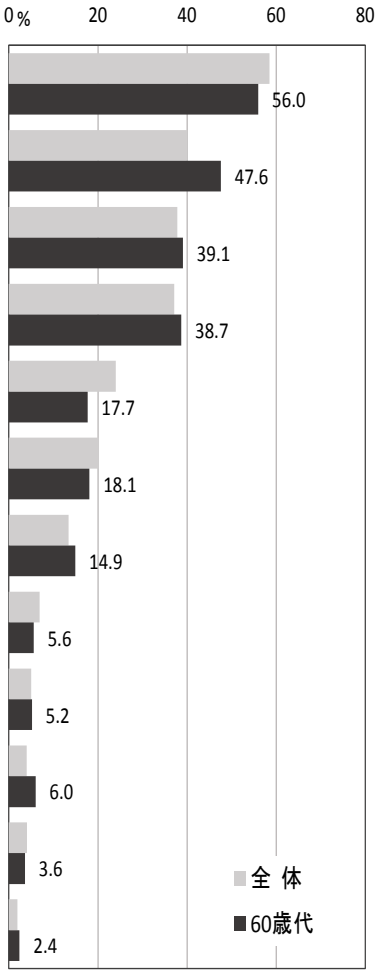

0 % 20 40 60 80
63.6
37.9
28.8
43.9
36.4
22.7
6.1
10.6
12.1
4.5
0.0
1.5
全 体
20歳代

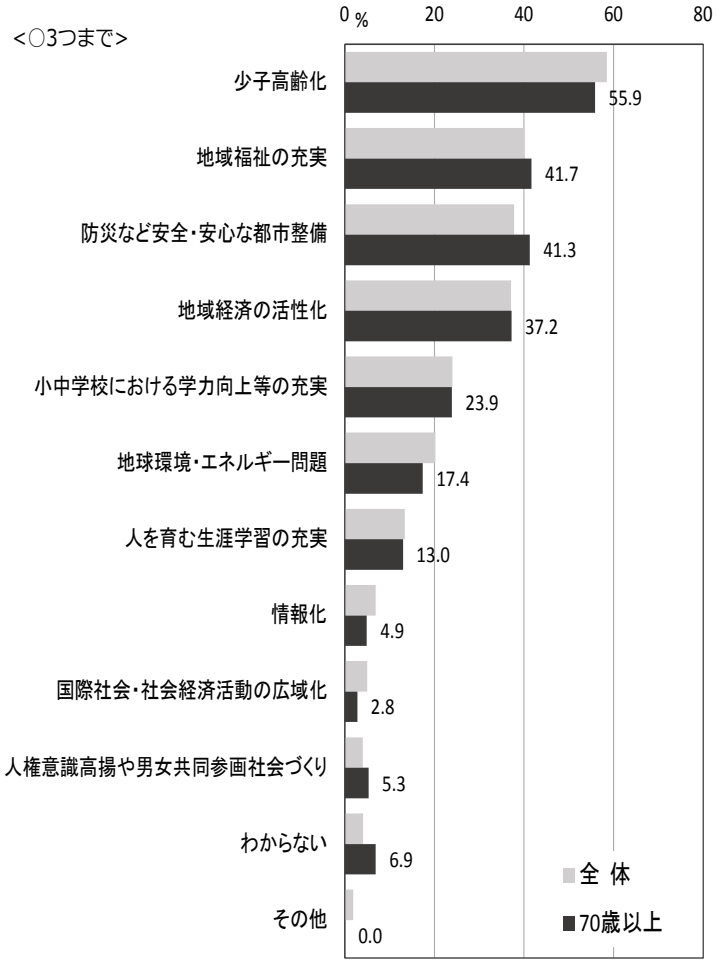
<○3つまで>


0 % 20 40 60 80
少子高齢化 68.5
地域福祉の充実 35.1
防災など安全・安心な都市整備 39.6
地域経済の活性化 34.2
小中学校における学力向上等の充実 35.1
地球環境・エネルギー問題 18.9
人を育む生涯学習の充実 9.9
情報化 6.3
国際社会・社会経済活動の広域化 6.3
人権意識高揚や男女共同参画社会づくり 0.9
わからない 3.6
その他 1.8
全 体
30歳代


0 % 20 40 60 80
57.1
35.9
41.8
34.7
27.1
24.1
14.7
9.4
2.9
1.8
1.8
4.1
全 体
40歳代

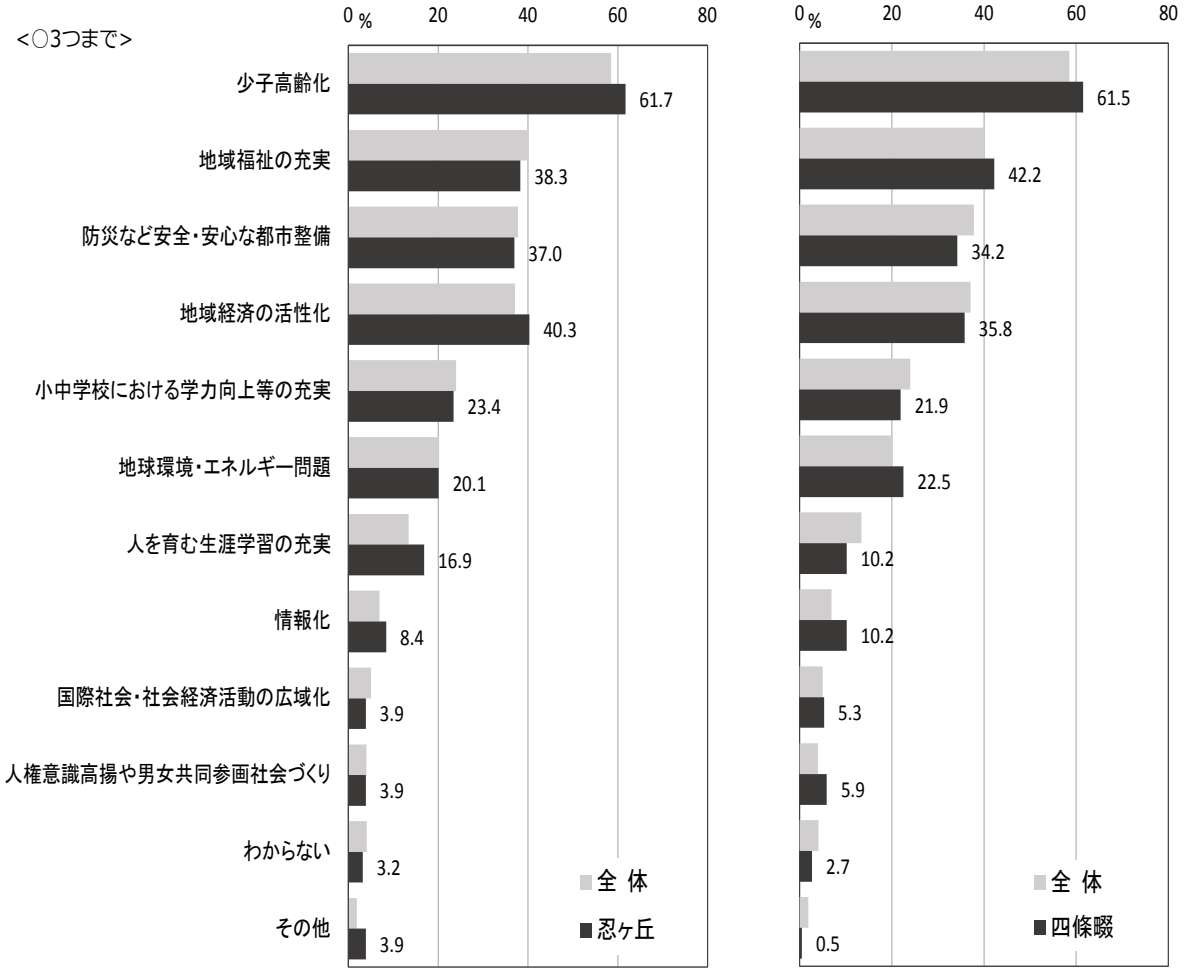

<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
少子高齢化 58.8
地域福祉の充実 43.2
防災など安全・安心な都市整備 33.1
地域経済の活性化 41.9
小中学校における学力向上等の充実 17.6
地球環境・エネルギー問題 24.3
人を育む生涯学習の充実 16.9
情報化 6.1
国際社会・社会経済活動の広域化 6.1
人権意識高揚や男女共同参画社会づくり 2.0
わからない 2.7
その他 2.0
全 体
50歳代


0 % 20 40 60 80
56.0
47.6
39.1
38.7
17.7
18.1
14.9
5.6
5.2
6.0
3.6
2.4
全 体
60歳代

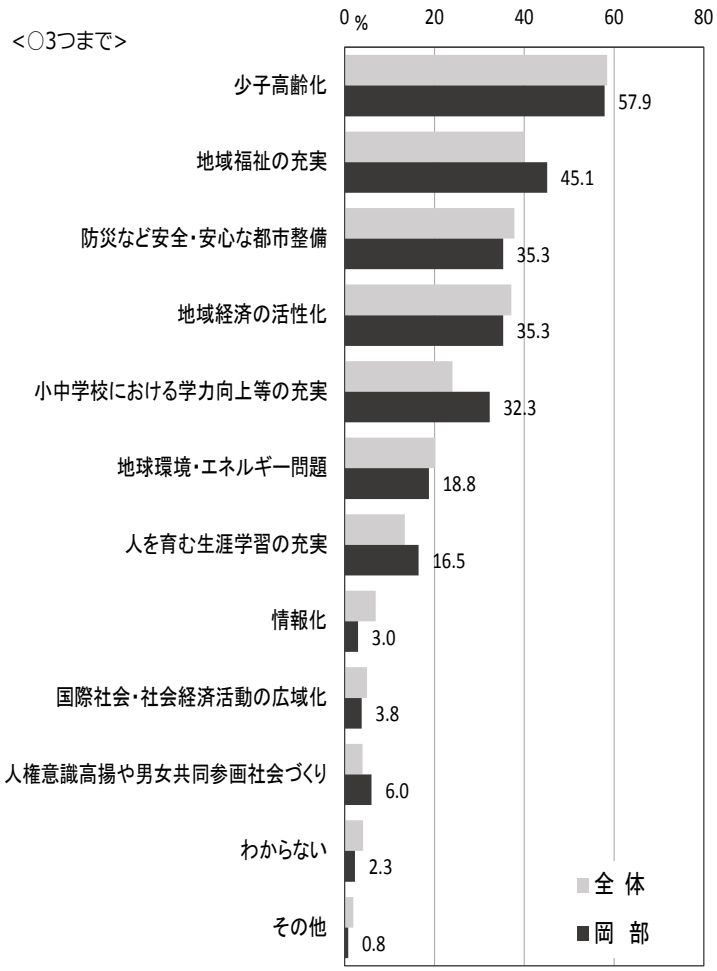

<○3つまで>
0 % 20 40 60 80
少子高齢化 55.9
地域福祉の充実 41.7
防災など安全・安心な都市整備 41.3
地域経済の活性化 37.2
小中学校における学力向上等の充実 23.9
地球環境・エネルギー問題 17.4
人を育む生涯学習の充実 13.0
情報化 4.9
国際社会・社会経済活動の広域化 2.8
人権意識高揚や男女共同参画社会づくり 5.3
わからない 6.9
その他 0.0
全 体
70歳以上

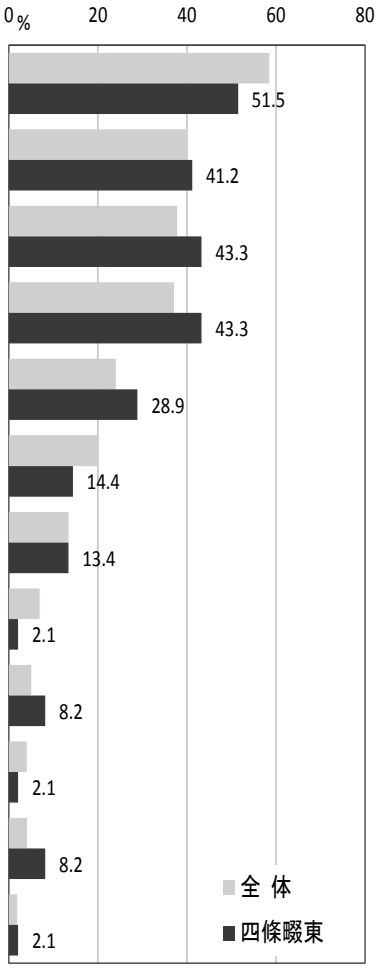
【居住校区別にみた特徴】

「少子高齢化」は〔四條畷南〕〔忍ヶ丘〕〔四條畷〕〔田原〕、「地域福祉の充実」は〔岡部〕〔四條畷〕〔四條畷東〕〔田原〕、「防災など安全・安心な都市整備」は〔四條畷南〕〔四條畷東〕〔くすのき〕で〔全体〕よりも比率が高い。

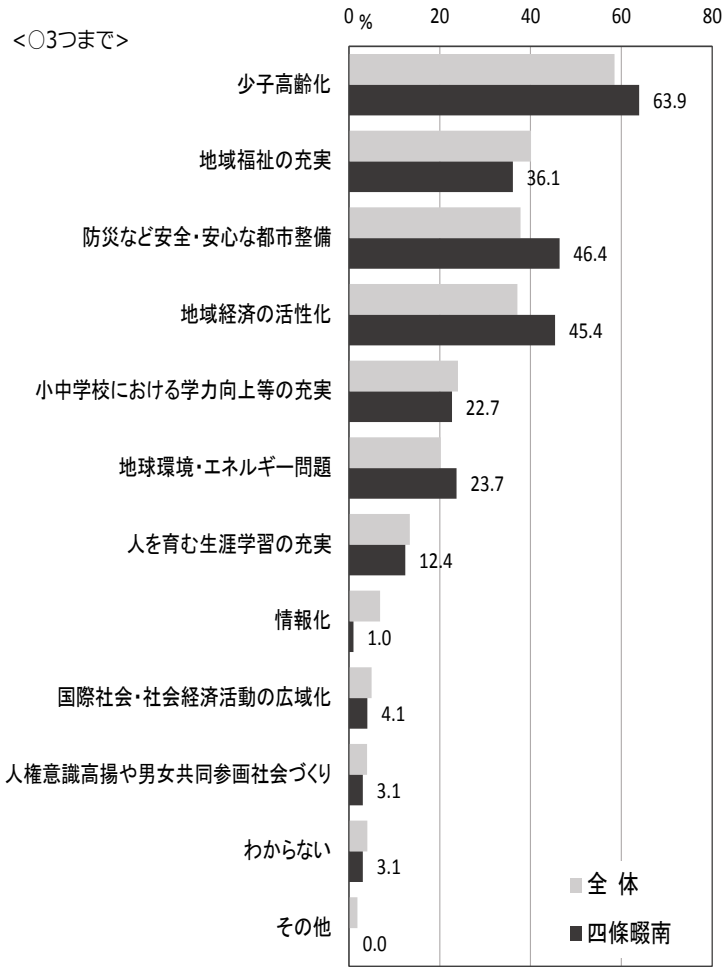


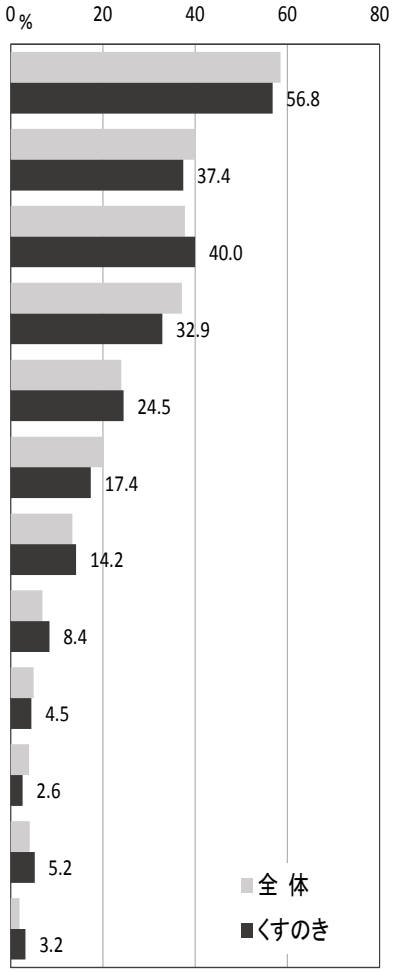
<○3つまで>


0 % 20 40 60 80
少子高齢化 57.9
地域福祉の充実 45.1
防災など安全・安心な都市整備 35.3
地域経済の活性化 35.3
小中学校における学力向上等の充実 32.3
地球環境・エネルギー問題 18.8
人を育む生涯学習の充実 16.5
情報化 3.0
国際社会・社会経済活動の広域化 3.8
人権意識高揚や男女共同参画社会づくり 6.0
わからない 2.3
その他 0.8
全 体
岡 部

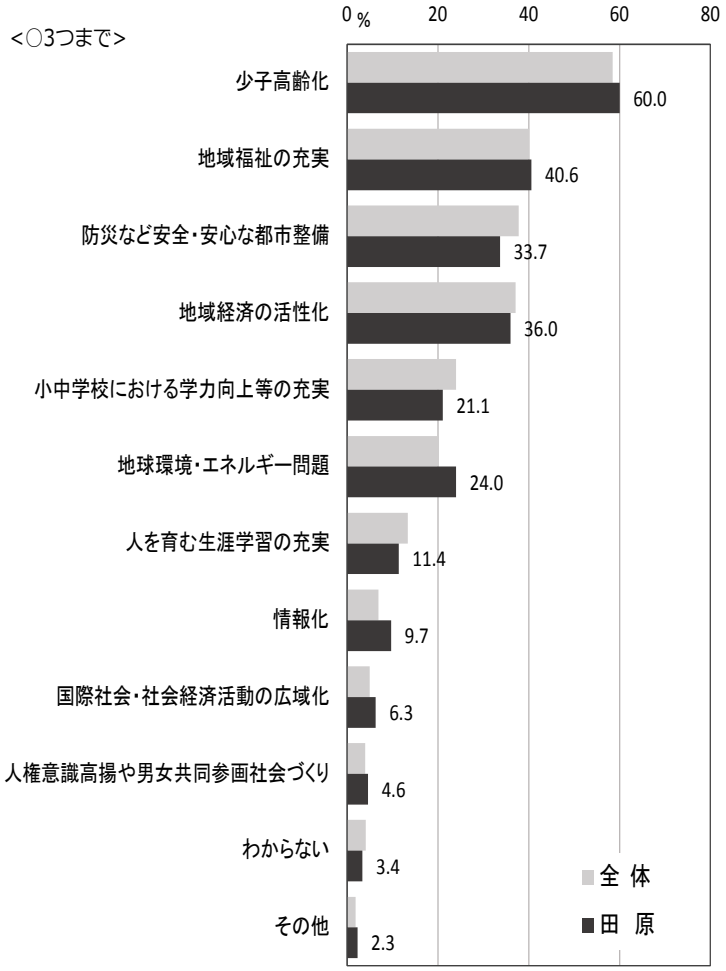

0 % 20 40 60 80
51.5
41.2
43.3
43.3
28.9
14.4
13.4
2.1
8.2
2.1
8.2
2.1
全 体
四條畷東

<○3つまで>


0 % 20 40 60 80
少子高齢化 63.9
地域福祉の充実 36.1
防災など安全・安心な都市整備 46.4
地域経済の活性化 45.4
小中学校における学力向上等の充実 22.7
地球環境・エネルギー問題 23.7
人を育む生涯学習の充実 12.4
情報化 1.0
国際社会・社会経済活動の広域化 4.1
人権意識高揚や男女共同参画社会づくり 3.1
わからない 3.1
その他 0.0
全 体
四條畷南


0 % 20 40 60 80
56.8
37.4
40.0
32.9
24.5
17.4
14.2
8.4
4.5
2.6
5.2
3.2
全 体
くすのき

<○3つまで>


0 %
20
40
60
80
少子高齢化
60.0
地域福祉の充実
40.6
防災など安全・安心な都市整備
33.7
地域経済の活性化
36.0
小中学校における学力向上等の充実
21.1
地球環境・エネルギー問題
24.0
人を育む生涯学習の充実
11.4
情報化
9.7
国際社会・社会経済活動の広域化
6.3
人権意識高揚や男女共同参画社会づくり
4.6
わからない
3.4
その他
2.3
全 体
田 原

10　施策の重要度と現状の満足度

30 の施策についての〔施策の重要度〕と〔現状の満足度〕の回答結果は以下のとおりである。

【重要度】

「重要」と「やや重要」の合計を『重要』（以後『重要』と表す）とすると、最も『重要』が高かったのは、「水の取組み」が 74.6%、次いで「防災の取組み」が 73.3%となっている。

【満足度】

「満足」と「まあ満足」の合計を『満足』（以後『満足』と表す）とすると、最も『満足』が高かったのは、「水の取組み」が 25.0%、次いで「緑地の取組み」が 23.3%となっている。

順位	重要度	満足度
1	水の取組み　74.6% ：良質な水の安定供給や下水道の管理、河川の保全など	水の取組み　25.0% ：良質な水の安定供給や下水道の管理、河川の保全など
2	防災の取組み　73.3% ：災害対策の充実など	緑地の取組み　23.3% ：自然緑地や公園の保全、市街地緑化の推進など
3	交通の取組み　72.0% ：公共交通の充実や交通安全対策など	ごみ・し尿処理の取組み　22.1% ：ごみの適正処理や減量化の推進、し尿処理の充実など
4	防犯の取組み　71.3% ：防犯活動の充実など	道路整備の取組み　15.4% ：幹線道路や生活道路の整備など
5	消防の取組み　69.0% ：消防力や火災予防活動の充実など	消防の取組み　１４．８％ ：消防力や火災予防活動の充実など

施策の重要度

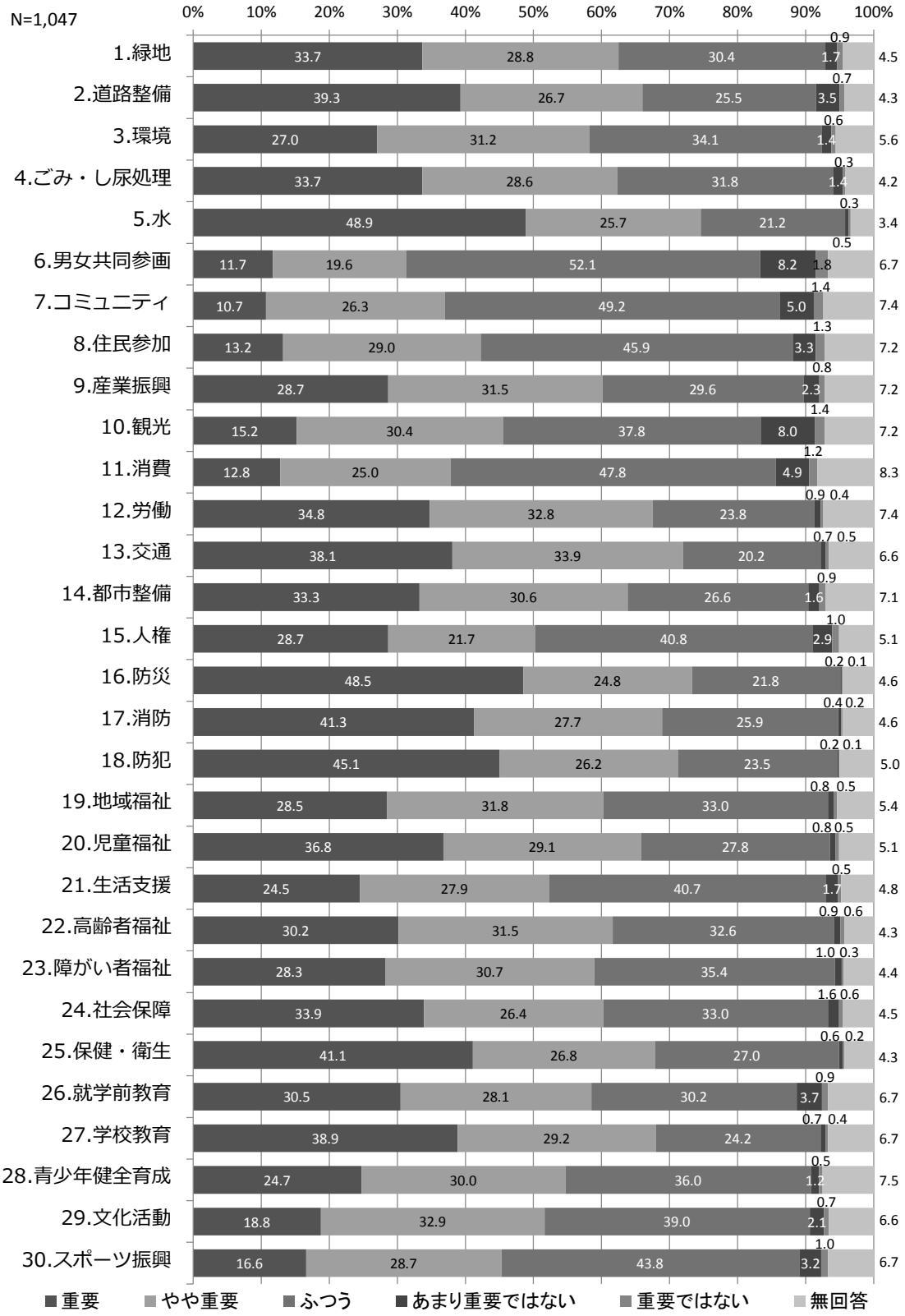

N=1,047
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1.緑地 33.7 28.8 30.4 1.7 0.9 4.5
2.道路整備 39.3 26.7 25.5 3.5 0.7 4.3
3.環境 27.0 31.2 34.1 1.4 0.6 5.6
4.ごみ・し尿処理 33.7 28.6 31.8 1.4 0.3 4.2
5.水 48.9 25.7 21.2 0.3 3.4
6.男女共同参画 11.7 19.6 52.1 8.2 1.8 0.5 6.7
7.コミュニティ 10.7 26.3 49.2 5.0 1.4 7.4
8.住民参加 13.2 29.0 45.9 3.3 1.3 7.2
9.産業振興 28.7 31.5 29.6 2.3 0.8 7.2
10.観光 15.2 30.4 37.8 8.0 1.4 7.2
11.消費 12.8 25.0 47.8 4.9 1.2 8.3
12.労働 34.8 32.8 23.8 0.9 0.4 7.4
13.交通 38.1 33.9 20.2 0.7 0.5 6.6
14.都市整備 33.3 30.6 26.6 1.6 0.9 7.1
15.人権 28.7 21.7 40.8 2.9 1.0 5.1
16.防災 48.5 24.8 21.8 0.2 0.1 4.6
17.消防 41.3 27.7 25.9 0.4 0.2 4.6
18.防犯 45.1 26.2 23.5 0.2 0.1 5.0
19.地域福祉 28.5 31.8 33.0 0.8 0.5 5.4
20.児童福祉 36.8 29.1 27.8 0.8 0.5 5.1
21.生活支援 24.5 27.9 40.7 1.7 0.5 4.8
22.高齢者福祉 30.2 31.5 32.6 0.9 0.6 4.3
23.障がい者福祉 28.3 30.7 35.4 1.0 0.3 4.4
24.社会保障 33.9 26.4 33.0 1.6 0.6 4.5
25.保健・衛生 41.1 26.8 27.0 0.6 0.2 4.3
26.就学前教育 30.5 28.1 30.2 3.7 0.9 6.7
27.学校教育 38.9 29.2 24.2 0.7 0.4 6.7
28.青少年健全育成 24.7 30.0 36.0 1.2 0.5 7.5
29.文化活動 18.8 32.9 39.0 2.1 0.7 6.6
30.スポーツ振興 16.6 28.7 43.8 3.2 1.0 6.7
重要
やや重要
ふつう
あまり重要ではない
重要ではない
無回答

表　　施策の重要度

施策	重要	やや重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	不明
1．緑地	33.7%	28.8%	30.4%	1.7%	0.9%	4.5%
2．道路整備	39.3%	26.7%	25.5%	3.5%	0.7%	4.3%
3．環境	27.0%	31.2%	34.1%	1.4%	0.6%	5.6%
4．ごみ・し尿処理	33.7%	28.6%	31.8%	1.4%	0.3%	4.2%
5．水	48.9%	25.7%	21.2%	0.5%	0.3%	3.4%
6．男女共同参画	11.7%	19.6%	52.1%	8.2%	1.8%	6.7%
7．コミュニティ	10.7%	26.3%	49.2%	5.0%	1.4%	7.4%
8．住民参加	13.2%	29.0%	45.9%	3.3%	1.3%	7.2%
9．産業振興	28.7%	31.5%	29.6%	2.3%	0.8%	7.2%
10．観光	15.2%	30.4%	37.8%	8.0%	1.4%	7.2%
11．消費	12.8%	25.0%	47.8%	4.9%	1.2%	8.3%
12．労働	34.8%	32.8%	23.8%	0.9%	0.4%	7.4%
13．交通	38.1%	33.9%	20.2%	0.7%	0.5%	6.6%
14．都市整備	33.3%	30.6%	26.6%	1.6%	0.9%	7.1%
15．人権	28.7%	21.7%	40.8%	2.9%	1.0%	5.1%
16．防災	48.5%	24.8%	21.8%	0.2%	0.1%	4.6%
17．消防	41.3%	27.7%	25.9%	0.4%	0.2%	4.6%
18．防犯	45.1%	26.2%	23.5%	0.2%	0.1%	5.0%
19．地域福祉	28.5%	31.8%	33.0%	0.8%	0.5%	5.4%
20．児童福祉	36.8%	29.1%	27.8%	0.8%	0.5%	5.1%
21．生活支援	24.5%	27.9%	40.7%	1.7%	0.5%	4.8%
22．高齢者福祉	30.2%	31.5%	32.6%	0.9%	0.6%	4.3%
23．障がい者福祉	28.3%	30.7%	35.4%	1.0%	0.3%	4.4%
24．社会保障	33.9%	26.4%	33.0%	1.6%	0.6%	4.5%
25．保健・衛生	41.1%	26.8%	27.0%	0.6%	0.2%	4.3%
26．就学前教育	30.5%	28.1%	30.2%	3.7%	0.9%	6.7%
27．学校教育	38.9%	29.2%	24.2%	0.7%	0.4%	6.7%
28．青少年健全育成	24.7%	30.0%	36.0%	1.2%	0.5%	7.5%
29．文化活動	18.8%	32.9%	39.0%	2.1%	0.7%	6.6%
30．スポーツ振興	16.6%	28.7%	43.8%	3.2%	1.0%	6.7%

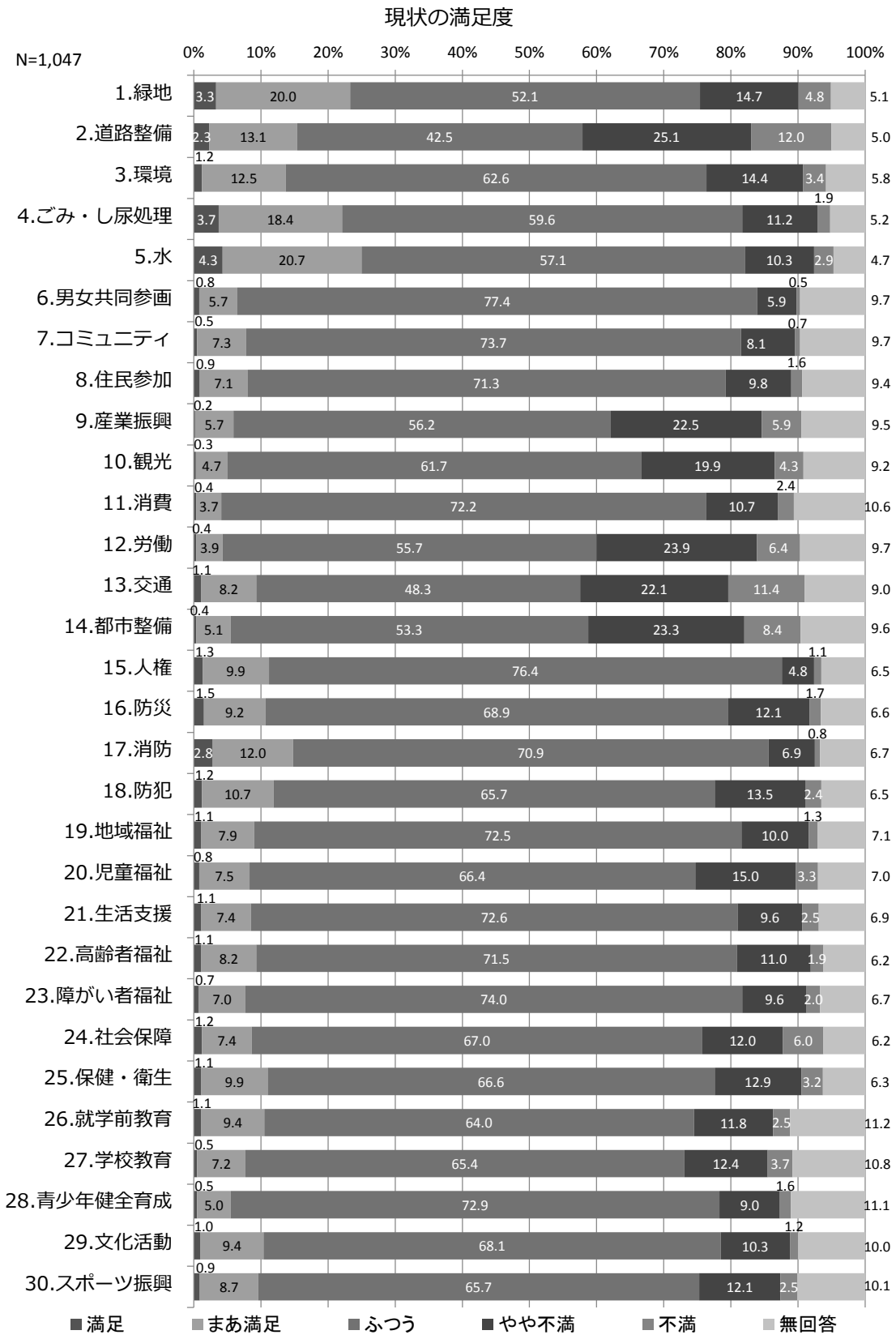

現状の満足度
N=1,047
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1.緑地 3.3 20.0 52.1 14.7 4.8 5.1
2.道路整備 2.3 13.1 42.5 25.1 12.0 5.0
3.環境 1.2 12.5 62.6 14.4 3.4 5.8
4.ごみ・し尿処理 3.7 18.4 59.6 11.2 1.9 5.2
5.水 4.3 20.7 57.1 10.3 2.9 4.7
6.男女共同参画 0.8 5.7 77.4 5.9 0.5 9.7
7.コミュニティ 0.5 7.3 73.7 8.1 0.7 9.7
8.住民参加 0.9 7.1 71.3 9.8 1.6 9.4
9.産業振興 0.2 5.7 56.2 22.5 5.9 9.5
10.観光 0.3 4.7 61.7 19.9 4.3 9.2
11.消費 0.4 3.7 72.2 10.7 2.4 10.6
12.労働 0.4 3.9 55.7 23.9 6.4 9.7
13.交通 1.1 8.2 48.3 22.1 11.4 9.0
14.都市整備 0.4 5.1 53.3 23.3 8.4 9.6
15.人権 1.3 9.9 76.4 4.8 1.1 6.5
16.防災 1.5 9.2 68.9 12.1 1.7 6.6
17.消防 2.8 12.0 70.9 6.9 0.8 6.7
18.防犯 1.2 10.7 65.7 13.5 2.4 6.5
19.地域福祉 1.1 7.9 72.5 10.0 1.3 7.1
20.児童福祉 0.8 7.5 66.4 15.0 3.3 7.0
21.生活支援 1.1 7.4 72.6 9.6 2.5 6.9
22.高齢者福祉 1.1 8.2 71.5 11.0 1.9 6.2
23.障がい者福祉 0.7 7.0 74.0 9.6 2.0 6.7
24.社会保障 1.2 7.4 67.0 12.0 6.0 6.2
25.保健・衛生 1.1 9.9 66.6 12.9 3.2 6.3
26.就学前教育 1.1 9.4 64.0 11.8 2.5 11.2
27.学校教育 0.5 7.2 65.4 12.4 3.7 10.8
28.青少年健全育成 0.5 5.0 72.9 9.0 1.6 11.1
29.文化活動 1.0 9.4 68.1 10.3 1.2 10.0
30.スポーツ振興 0.9 8.7 65.7 12.1 2.5 10.1
満足
まあ満足
ふつう
やや不満
不満
無回答

表　　現状の満足度

施策	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	不明
1．緑地	3.3%	20.0%	52.1%	14.7%	4.8%	5.1%
2．道路整備	2.3%	13.1%	42.5%	25.1%	12.0%	5.0%
3．環境	1.2%	12.5%	62.6%	14.4%	3.4%	5.8%
4．ごみ・し尿処理	3.7%	18.4%	59.6%	11.2%	1.9%	5.2%
5．水	4.3%	20.7%	57.1%	10.3%	2.9%	4.7%
6．男女共同参画	0.8%	5.7%	77.4%	5.9%	0.5%	9.7%
7．コミュニティ	0.5%	7.3%	73.7%	8.1%	0.7%	9.7%
8．住民参加	0.9%	7.1%	71.3%	9.8%	1.6%	9.4%
9．産業振興	0.2%	5.7%	56.2%	22.5%	5.9%	9.5%
10．観光	0.3%	4.7%	61.7%	19.9%	4.3%	9.2%
11．消費	0.4%	3.7%	72.2%	10.7%	2.4%	10.6%
12．労働	0.4%	3.9%	55.7%	23.9%	6.4%	9.7%
13．交通	1.1%	8.2%	48.3%	22.1%	11.4%	9.0%
14．都市整備	0.4%	5.1%	53.3%	23.3%	8.4%	9.6%
15．人権	1.3%	9.9%	76.4%	4.8%	1.1%	6.5%
16．防災	1.5%	9.2%	68.9%	12.1%	1.7%	6.6%
17．消防	2.8%	12.0%	70.9%	6.9%	0.8%	6.7%
18．防犯	1.2%	10.7%	65.7%	13.5%	2.4%	6.5%
19．地域福祉	1.1%	7.9%	72.5%	10.0%	1.3%	7.1%
20．児童福祉	0.8%	7.5%	66.4%	15.0%	3.3%	7.0%
21．生活支援	1.1%	7.4%	72.6%	9.6%	2.5%	6.9%
22．高齢者福祉	1.1%	8.2%	71.5%	11.0%	1.9%	6.2%
23．障がい者福祉	0.7%	7.0%	74.0%	9.6%	2.0%	6.7%
24．社会保障	1.2%	7.4%	67.0%	12.0%	6.0%	6.2%
25．保健・衛生	1.1%	9.9%	66.6%	12.9%	3.2%	6.3%
26．就学前教育	1.1%	9.4%	64.0%	11.8%	2.5%	11.2%
27．学校教育	0.5%	7.2%	65.4%	12.4%	3.7%	10.8%
28．青少年健全育成	0.5%	5.0%	72.9%	9.0%	1.6%	11.1%
29．文化活動	1.0%	9.4%	68.1%	10.3%	1.2%	10.0%
30．スポーツ振興	0.9%	8.7%	65.7%	12.1%	2.5%	10.1%

【得点化方法】

30 の施策についての〔施策の重要度〕と〔現状の満足度〕の回答結果を以下のような方法で得点化した。

	施策の重要度	現状の満足度	得点化基準
1	重要	満足	＋10点
2	やや重要	まあ満足	＋5点
3	ふつう	ふつう	0点
4	あまり重要でない	やや不満	－5点
5	重要ではない	不満	－10点
6	無回答	無回答	母数から除外

$$得点＝\frac{[1件数]*10＋[2件数]*5-[4件数]*5-[5件数]*10}{[件数計]-[6件数]}$$

+10 点に近いほど評価が高く-10 点に近いほど評価が低い。0 点の近辺は評価の高低が拮抗しているか、「ふつう」の回答が多い場合などである。

【得点化結果】

30 の施策の得点概要は以下のとおりである。

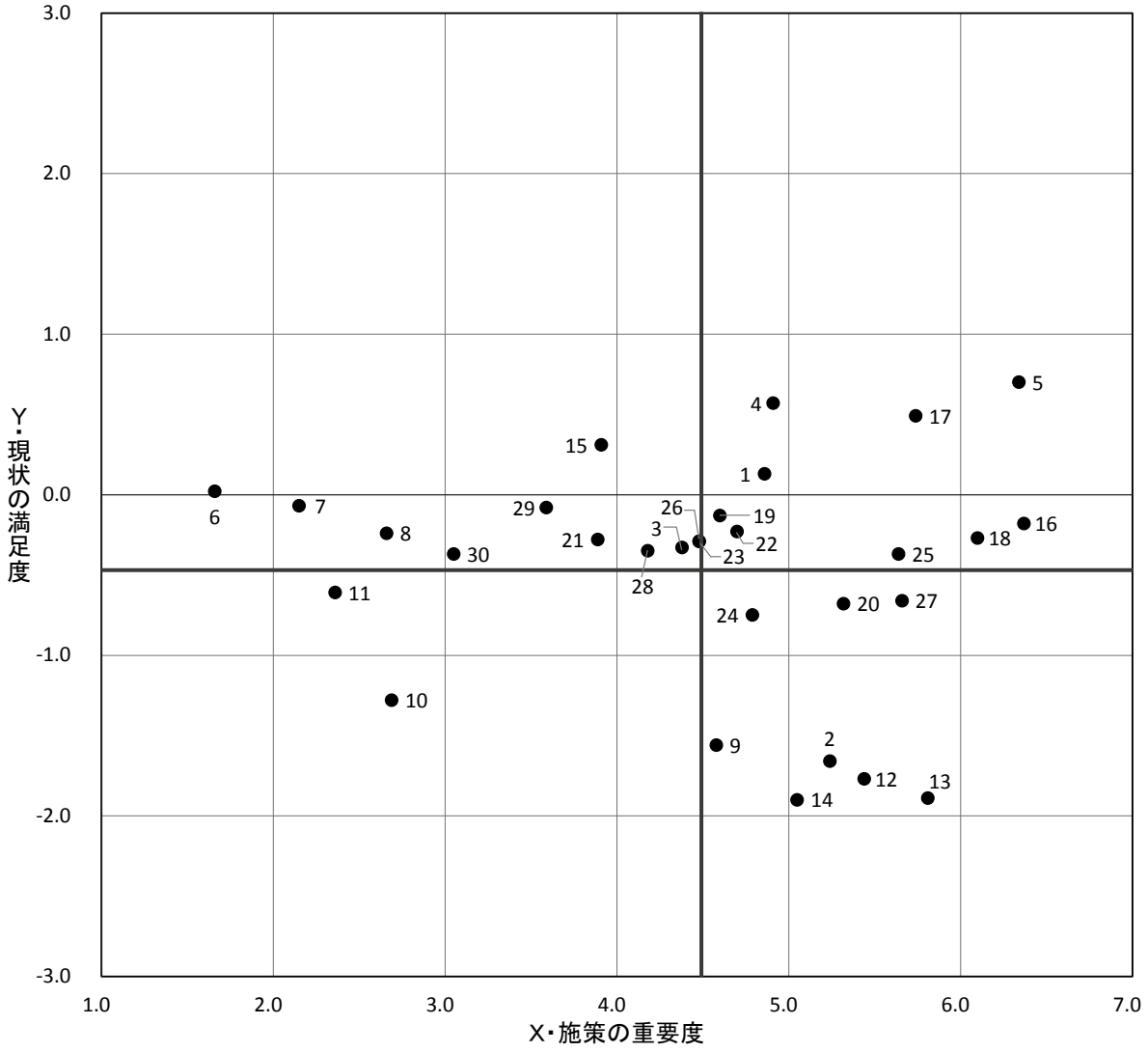
施　策		施策の重要度	現状の満足度	得点差
1	緑地	4.86	0.13	4.73
2	道路環境	5.24	-1.66	6.90
3	環境	4.38	-0.33	4.71
4	ごみ・し尿処理	4.91	0.57	4.34
5	水	6.34	0.70	5.64
6	男女共同参画	1.66	0.02	1.64
7	コミュニティ	2.15	-0.07	2.22
8	住民参加	2.66	-0.24	2.90
9	産業振興	4.58	-1.56	6.14
10	観光	2.69	-1.28	3.97
11	消費	2.36	-0.61	2.97
12	労働	5.44	-1.77	7.21
13	交通	5.81	-1.89	7.70
14	都市整備	5.05	-1.90	6.95
15	人権	3.91	0.31	3.60
16	防災	6.37	-0.18	6.55
17	消防	5.74	0.49	5.25
18	防犯	6.10	-0.27	6.37
19	地域福祉	4.60	-0.13	4.73
20	児童福祉	5.32	-0.68	6.00
21	生活支援	3.89	-0.28	4.17
22	高齢者福祉	4.70	-0.23	4.93
23	障がい者福祉	4.48	-0.29	4.77
24	社会保障	4.79	-0.75	5.54
25	保健・衛生	5.64	-0.37	6.01
26	就学前教育	4.48	-0.29	4.77
27	学校教育	5.66	-0.66	6.32
28	青少年健全育成	4.18	-0.35	4.53
29	文化活動	3.59	-0.08	3.67
30	スポーツ振興	3.05	-0.37	3.42

※得点差が大きい施策はさらなる充実が必要といえる。

【満足度・重要度の相関】

３０の施策についての〔施策の重要度〕をＸ軸、〔現状の満足度〕をＹ軸にプロットした図は以下のとおりとなる。

図　　満足度・重要度相関



１.緑地	11.消費	21.生活支援
２.道路整備	12.労働	22.高齢者福祉
３.環境	13.交通	23.障がい者福祉
４.ごみ・し尿処理	14.都市整備	24.社会保障
５.水	15.人権	25.保健・衛生
６.男女共同参画	16.防災	26.就学前教育
７.コミュニティ	17.消防	27.学校教育
８.住民参加	18.防犯	28.青少年健全育成
９.産業振興	19.地域福祉	29.文化活動
10.観光	20.児童福祉	30.スポーツ振興

〔施策の重要度〕の平均を縦軸、〔現状の満足度〕の平均を横軸として図を 4 つの領域に分けると、右上は「重要度と満足度がともに高い」領域であり、最も右上の「水」のほかに「消防」「防災」「防犯」「ごみ・し尿処理」「緑地」など安全・安心・環境関連の分野が位置している。右下は「重要度が高いが満足度が低い」領域であり、「交通」「都市整備」「道路整備」といったインフラ関連と「労働」などが位置している。ふたつの領域の境界付近に「保健・衛生」「学校教育」「児童福祉」などがある。

領域の左側は、X 軸〔施策の重要度〕の左右の広がりに対して Y 軸〔現状の満足度〕は概ね軸周辺にかたまっていて、「男女共同参画」「コミュニティ」「住民参加」「スポーツ振興」「文化活動」などソフト施策が位置している。最も左下にあるのが「観光」で「重要度も満足度もともに低い」と評価されている。

〔施策の重要度〕と〔現状の満足度〕がともに平均近辺なのが「就学前教育」「障がい者福祉」「環境」「高齢者福祉」「地域福祉」「青少年健全育成」などである。

なお、〔施策の重要度〕と〔現状の満足度〕の得点差の上位 5 つと下位 5 つは以下のとおりであり、上位のものは施策のさらなる充実が必要といえる。

得点差順位	上　位					下　位				
区分	交　通	労　働	都市整備	道路整備	防　災	スポーツ振興	消　費	住民参加	コミュニティ	男女共同参画
施策の重要度	5.81	5.44	5.05	5.24	6.37	3.05	2.36	2.66	2.15	1.66
現状の満足度	-1.89	-1.77	-1.90	-1.66	-0.18	-0.37	-0.61	-0.24	-0.07	0.02
得点差	7.70	7.21	6.95	6.90	6.55	3.42	2.97	2.90	2.22	1.64
順位	1	2	3	4	5	26	27	28	29	30

〔施策の重要度〕の 30 分野平均は 4.49 点で「やや重要」に近い評価となっている。最大は「防災」の 6.37 点、最小は「男女共同参画」の 1.66 点で最大最小の差は 4.71 点である。

〔現状の満足度〕の 30 分野平均は-0.47 点で「ふつう」に近い評価となっている。最大は「水」の 0.70 点、最小は「都市整備」の-1.90 点で最大最小の差は 2.60 点であり、〔施策の重要度〕より分野による差は小さい。

区分	平均得点	最大得点	施策	最小得点	施策	得点差	標準偏差
施策の重要度	4.49	6.37	防災	1.66	男女共同参画	4.71	1.27
現状の満足度	-0.47	0.70	水	-1.90	都市整備	2.60	0.71

11　日ごろの意識

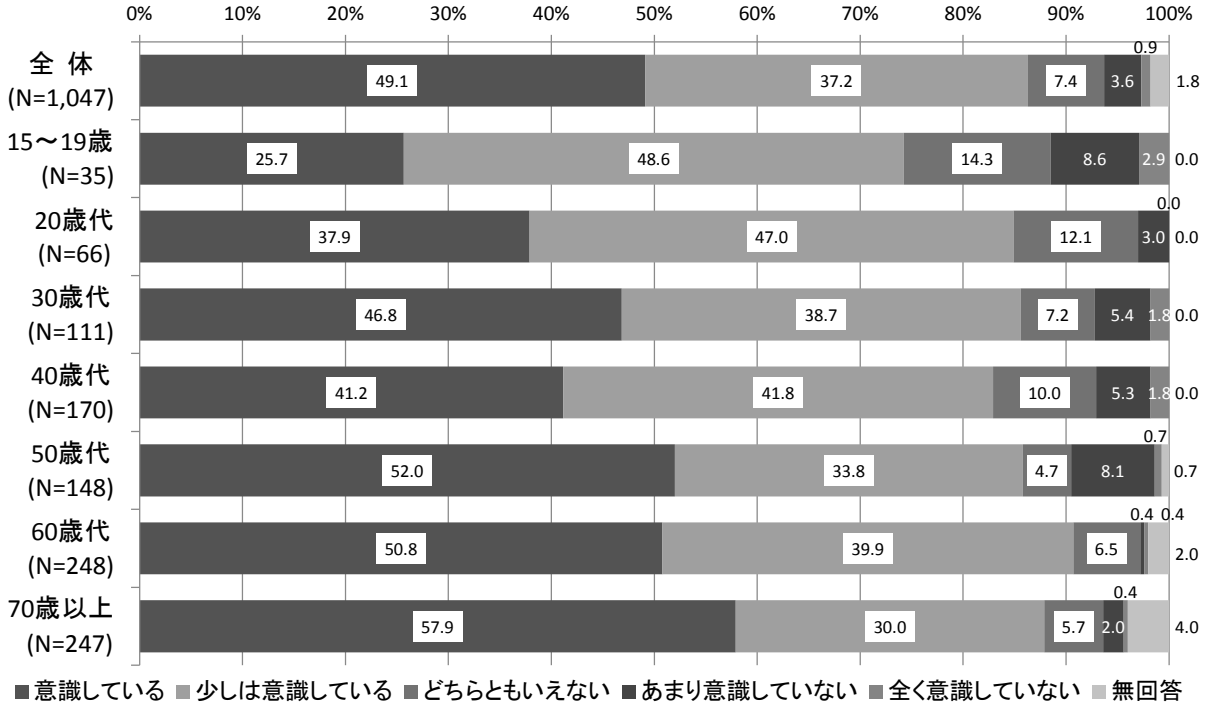
（1）部屋の温度設定など省エネへの協力

【全　体】

「意識している」が 49.1%で、「少しは意識している」の 37.2%を合わせると 9 割近くが省エネを意識している。

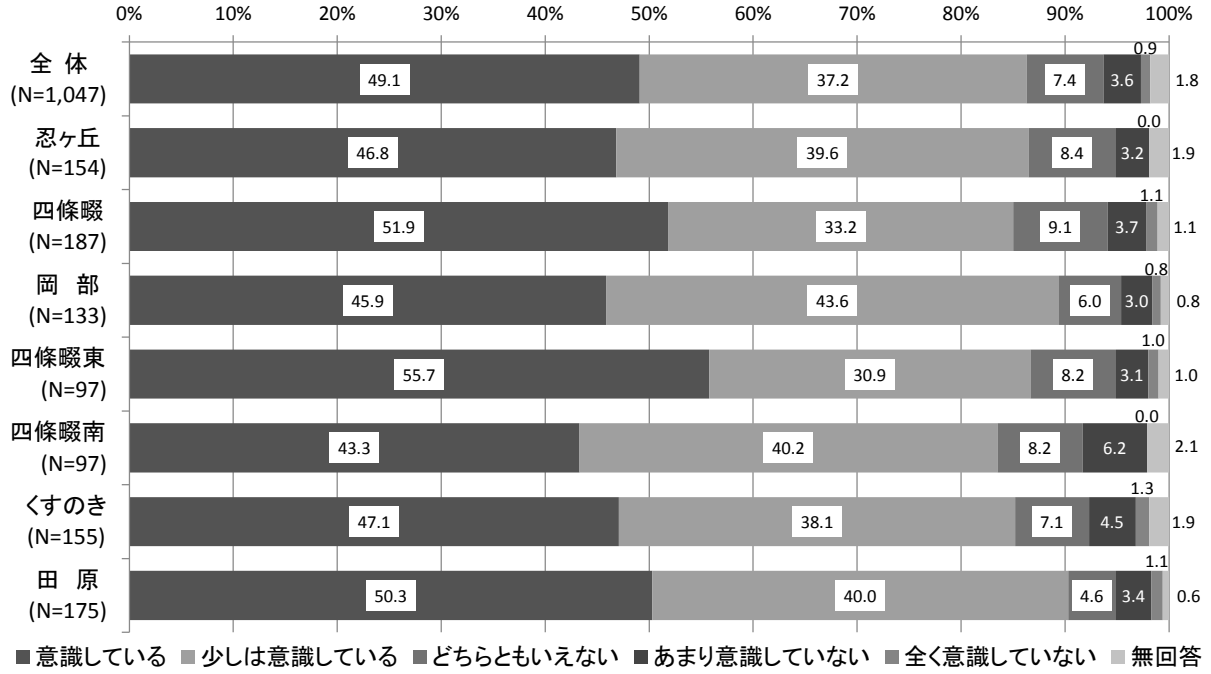
【年齢別にみた特徴】

年齢が上がるほど「意識している」の比率が高い。



【居住校区別にみた特徴】

「意識している」は〔四條畷東〕が最も高く、〔四條畷〕〔田原〕が続いている。



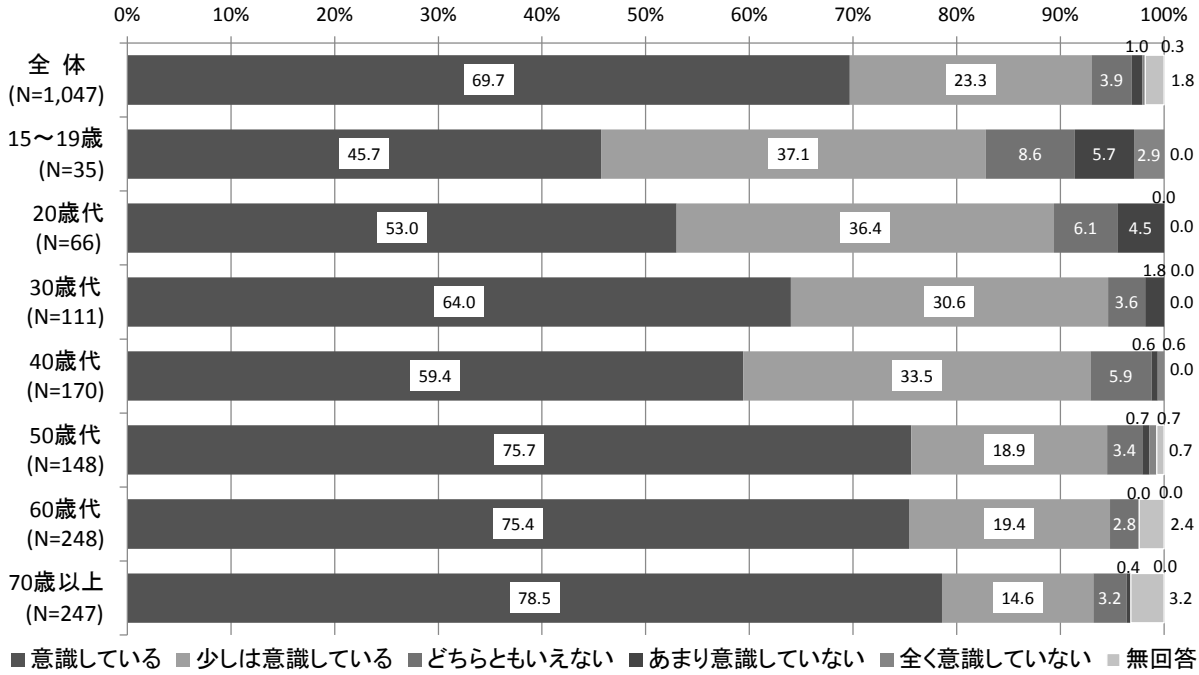
（2）ごみ分別収集や資源回収への協力

【全　体】

「意識している」が 69.7%で「少し意識している」の 23.3%を合わせると 9 割以上がごみ分別収集や資源回収への協力を意識している。

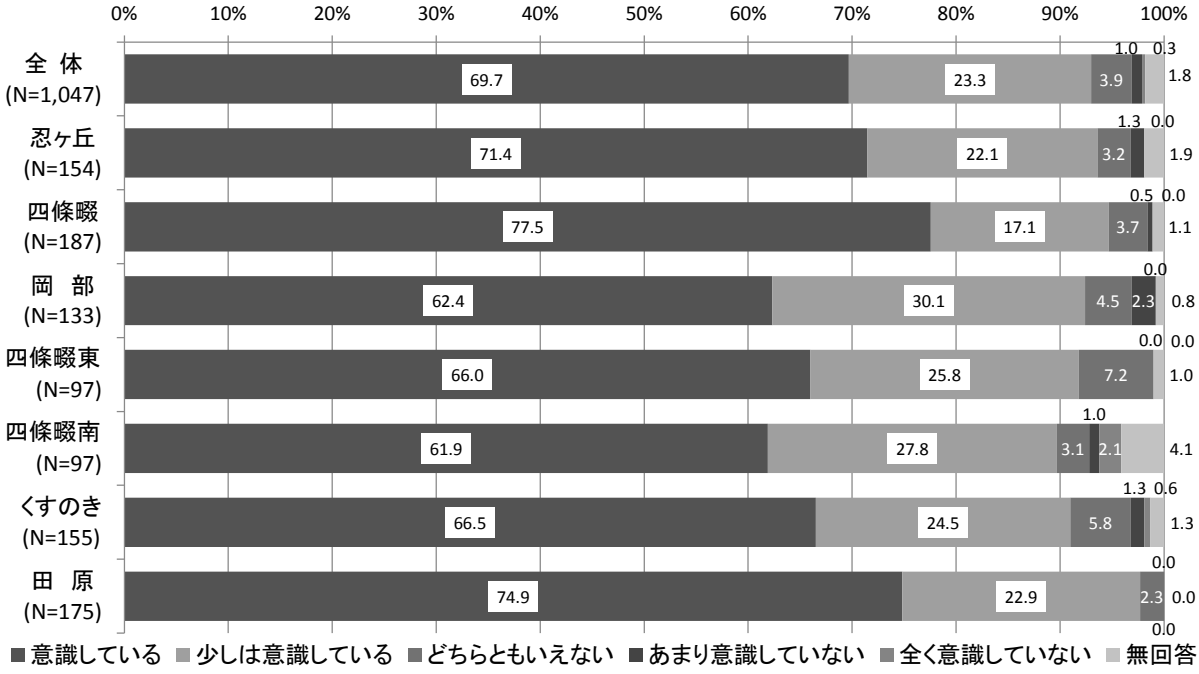
【年齢別にみた特徴】

年齢が上がるほど「意識している」の比率が高い。最も低い〔15～19 歳〕でも 45.7%と半数近い。



【居住校区別にみた特徴】

「意識している」は〔四條畷〕が最も比率が高く、〔田原〕〔忍ヶ丘〕が続いている。



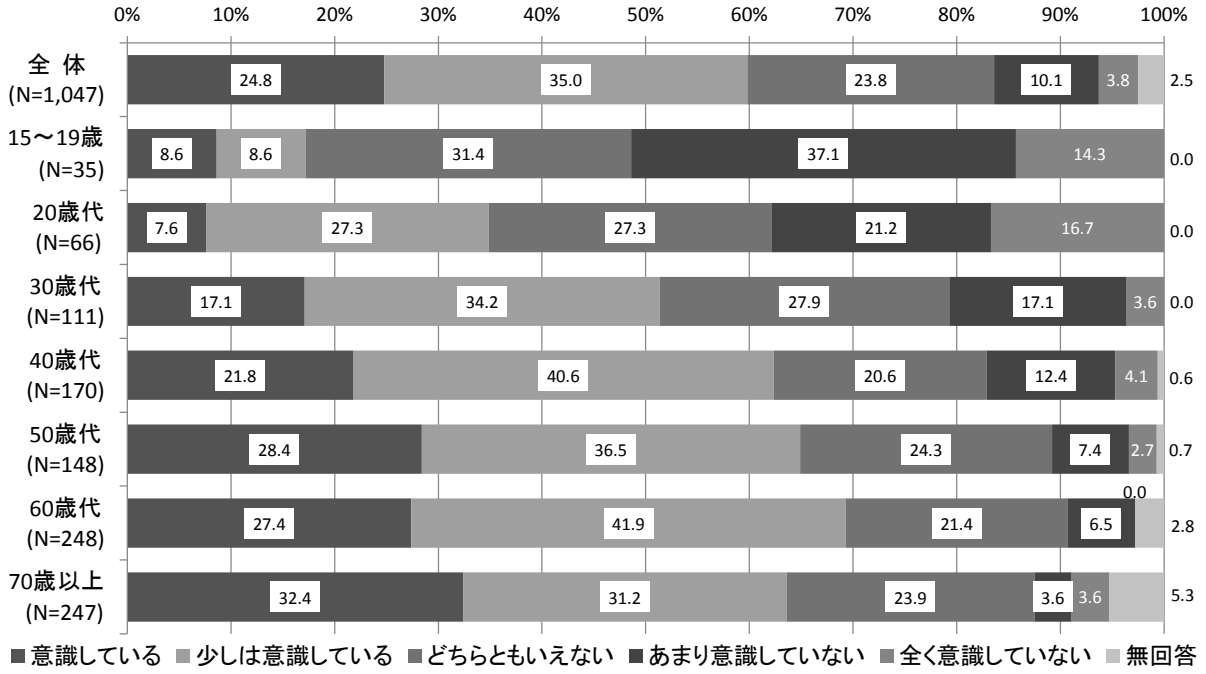
（3）地域の美化活動への参加

【全　体】

「意識している」が 24.8%で「少しは意識している」の 35.0%を合わせると６割弱が地域の美化活動への参加を意識している。

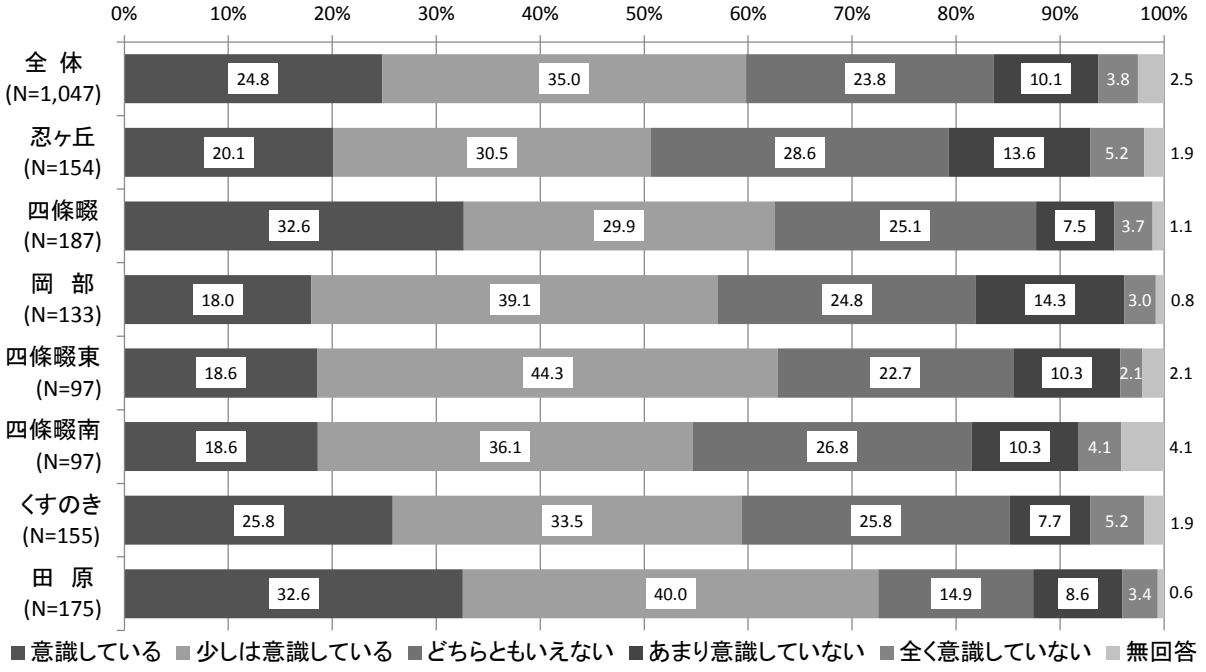
【年齢別にみた特徴】

年齢が上がるほど「意識している」の比率が高い。最低は〔20 歳代〕の 7.6%、最高は〔70 歳以上〕の 32.4%で 4 倍程度の違いがある。



【居住校区別にみた特徴】

「意識している」は〔田原〕〔四條畷〕が最も比率が高く、〔くすのき〕〔忍ヶ丘〕が続いている。



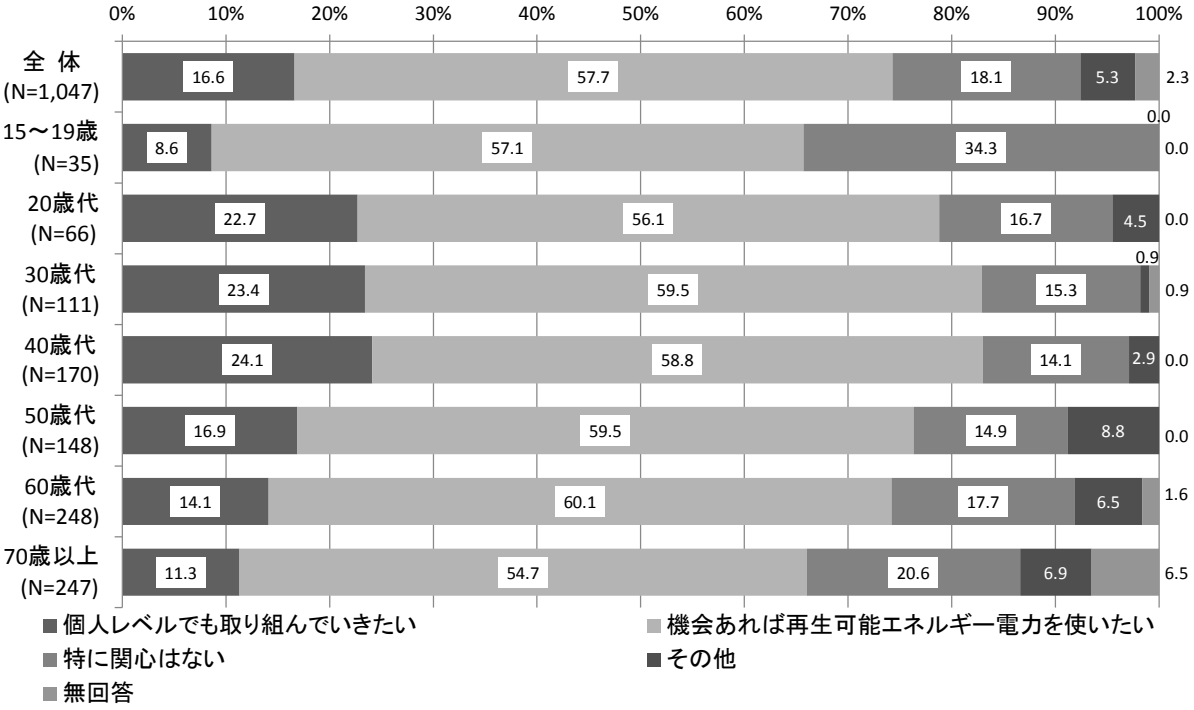
12　再生可能エネルギーについて

【全　体】

「個人レベルでも取り組んでいきたい」が 16.6%、「機会があれば再生可能エネルギー電力を使いたい」が 57.7%で合わせて 7 割を超える。

【年齢別にみた特徴】

「個人レベルでも取り組んでいきたい」は〔20 歳代〕〔30 歳代〕〔40 歳代〕で 2 割を超えている。「機会があれば再生可能エネルギー電力を使いたい」はいずれの年齢でも 6 割前後である。



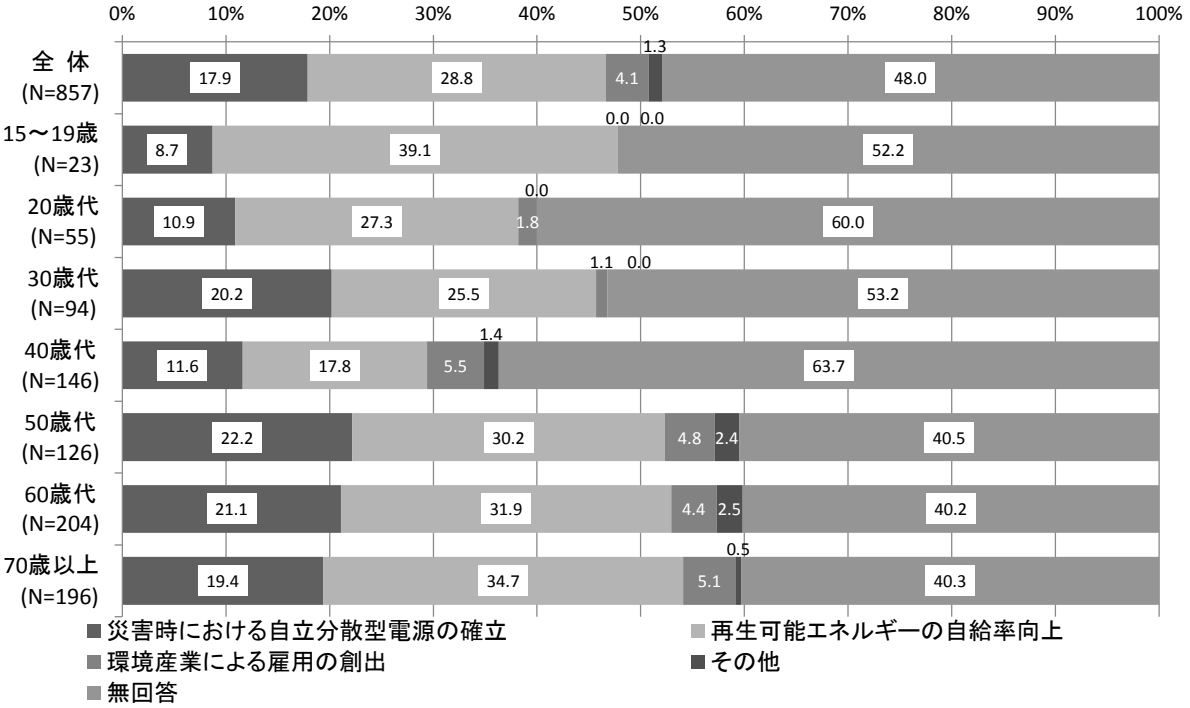
13　環境への取組みで期待すること

【全　体】

前項で「特に関心はない」と答えた人以外（857 件）への副問であるが、「無回答」が多い（411 件=48.0%）。なお、「災害時における自立分散型電源の確立」は 17.9%、「再生可能エネルギーの自給率向上」は 28.8%、「環境産業による雇用の創出」は 4.1%である。

【年齢別にみた特徴】

「災害時における自立分散型電源の確立」は〔50 歳代〕〔60 歳代〕〔30 歳代〕が 2 割超で、「再生可能エネルギーの自給率向上」は〔15～19 歳〕〔70 歳以上〕〔60 歳代〕〔50 歳代〕が 3 割超である。



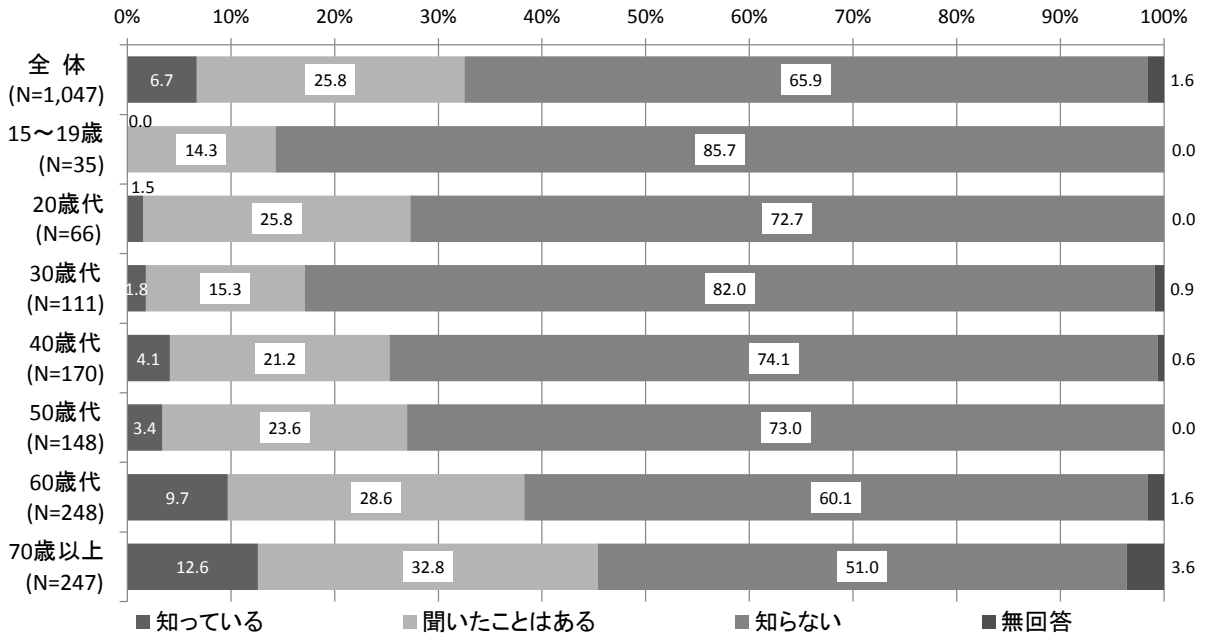
14　協働のまちづくり指針について

【全　体】

「知っている」が 6.7%、「聞いたことはある」も 25.8%にとどまり、65.9%が「知らない」としている。

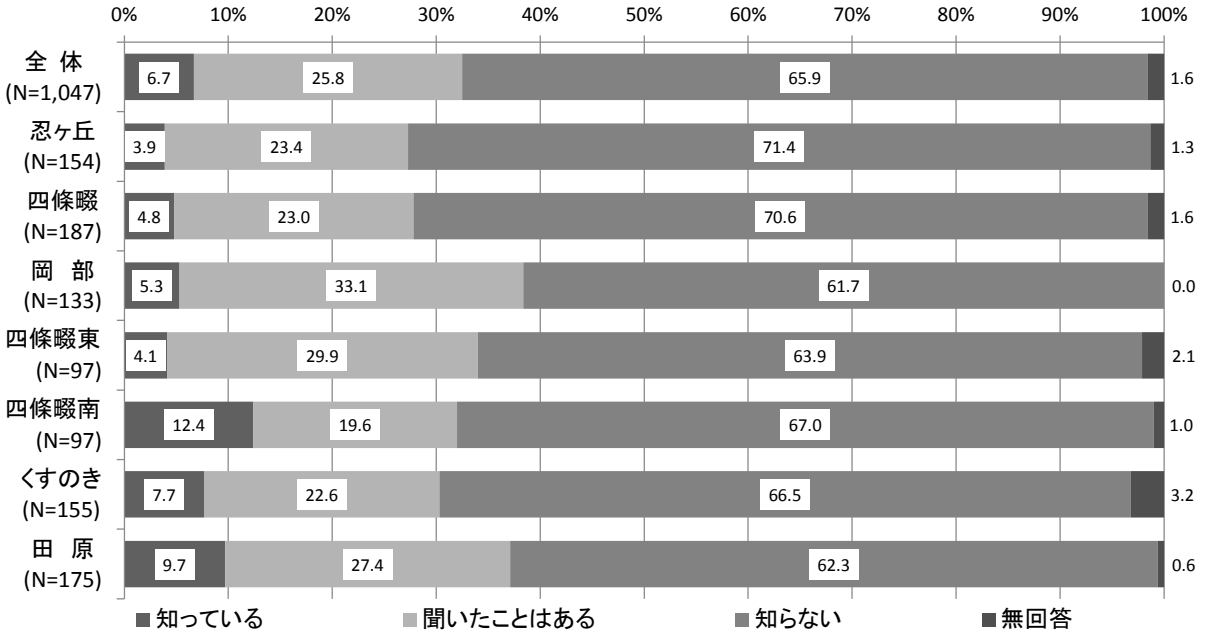
【年齢別にみた特徴】

〔70 歳以上〕〔60 歳代〕で「知っている」が 1 割程度、「聞いたことはある」も 3 割程度である。なお、〔15～19 歳〕の 85.7%が「知らない」としている。



【居住校区別にみた特徴】

「知っている」と「聞いたことはある」を合わせると〔岡部〕〔田原〕〔四條畷東〕が〔全体〕よりも比率が高い。



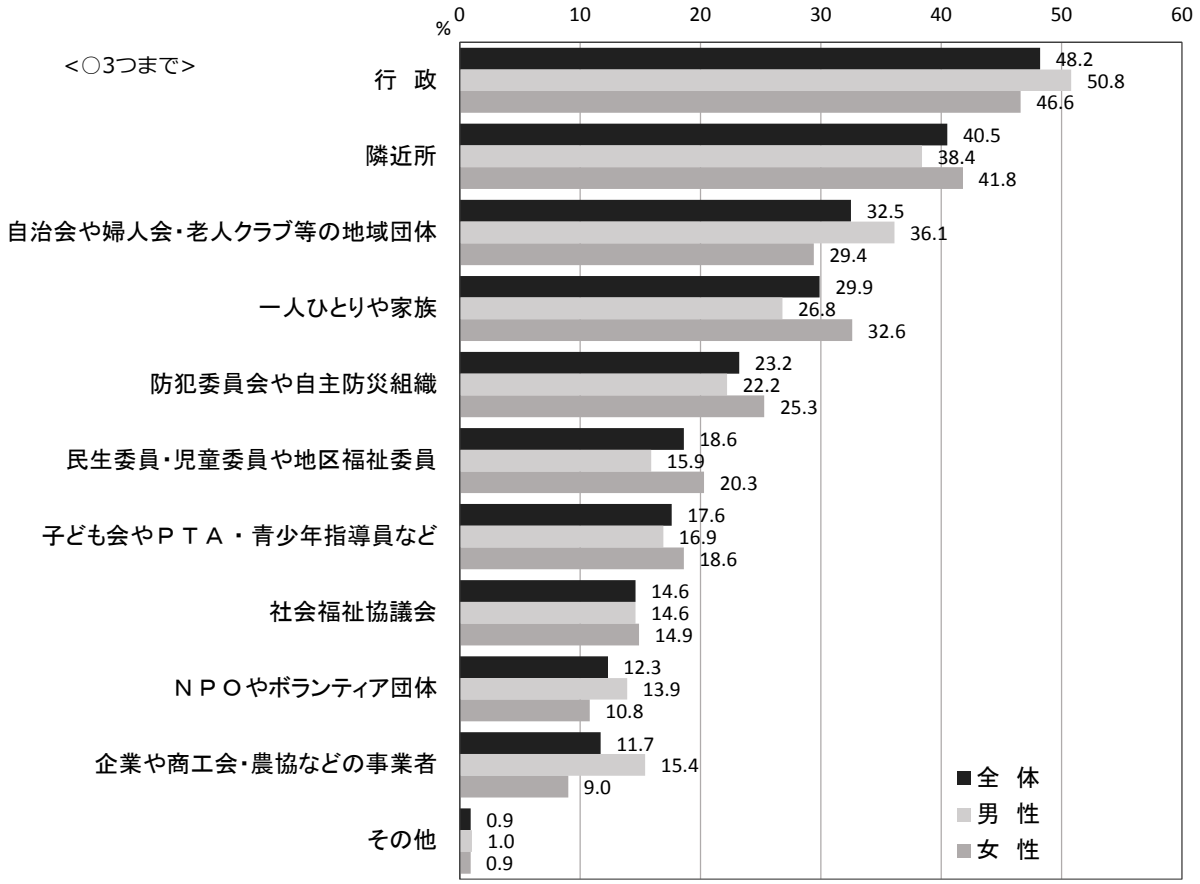
15　地域課題解決の中心となるべき組織

【全　体】

比率の高いものから順に「行政」が 48.2%、「隣近所」が 40.5%、「自治会や婦人会・老人クラブ等の地域団体」が 32.5%、「一人ひとりや家族」が 29.9%、「防犯委員会や自主防災組織」が 23.2%となっている。

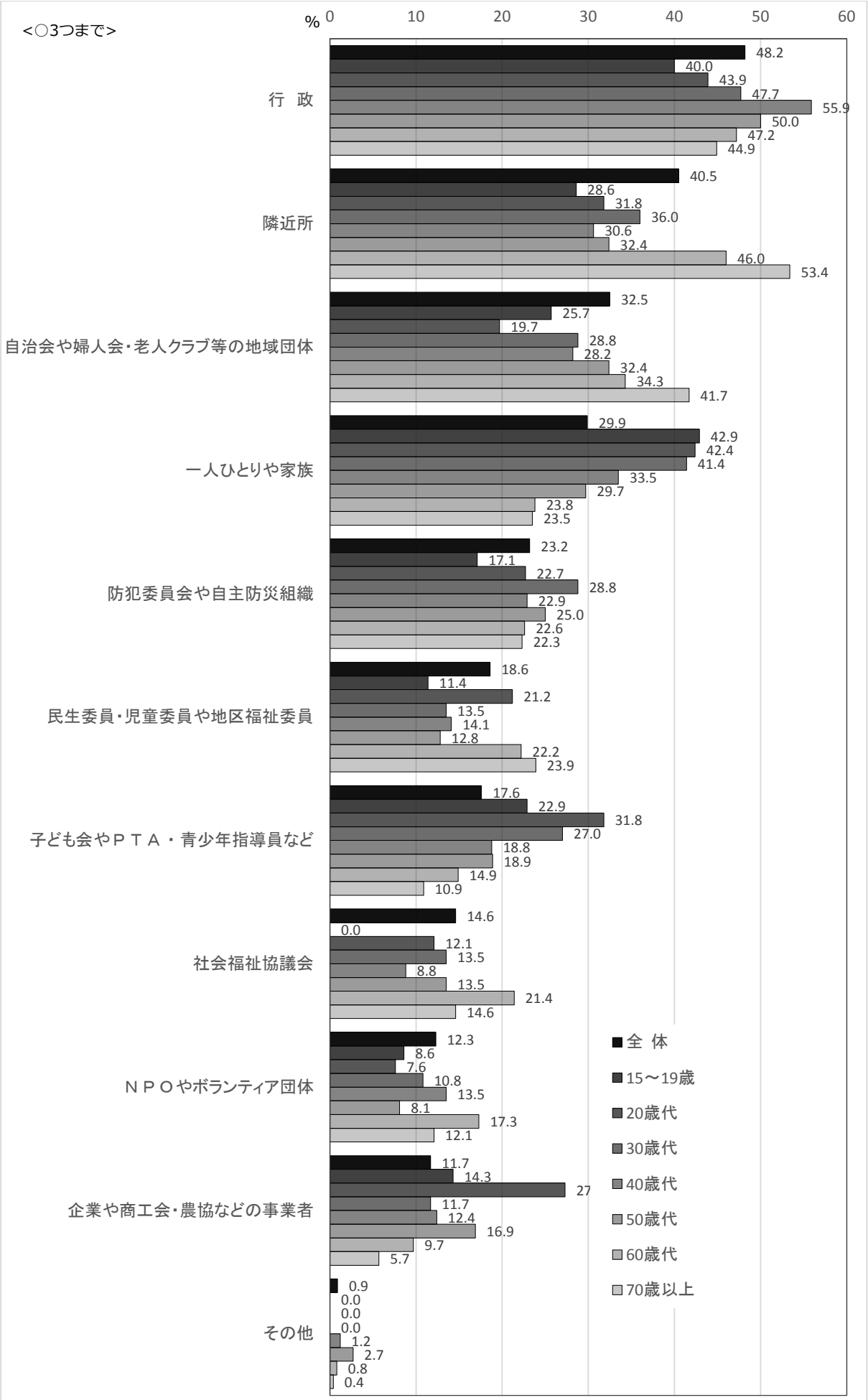
【男女別にみた特徴】

〔男性〕は「行政」や「自治会や婦人会・老人クラブ等の地域団体」の比率が高く、〔女性〕は「隣近所」や「一人ひとりや家族」の比率が高い。



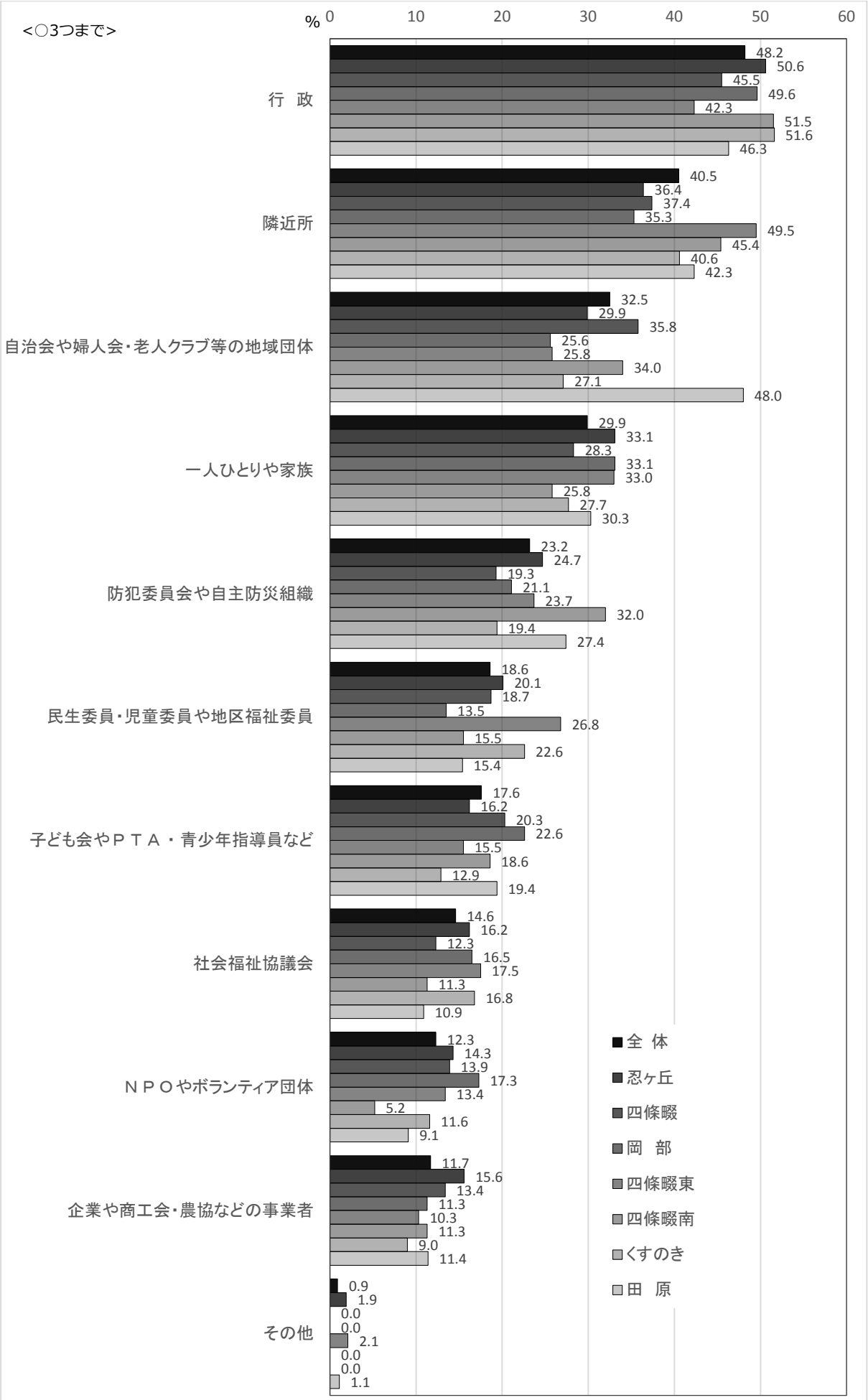
【年齢別にみた特徴】

〔40 歳代〕では「行政」、60 歳代以上では「隣近所」の比率が高い。また、30 歳代以下については「一人ひとりや家族」の比率が高い傾向にある。


<○3つまで>
%
0
10
20
30
40
50
60
行　政
48.2
40.0
43.9
47.7
55.9
50.0
47.2
44.9
隣近所
40.5
28.6
31.8
36.0
30.6
32.4
46.0
53.4
自治会や婦人会・老人クラブ等の地域団体
32.5
25.7
19.7
28.8
28.2
32.4
34.3
41.7
一人ひとりや家族
29.9
42.9
42.4
41.4
33.5
29.7
23.8
23.5
防犯委員会や自主防災組織
23.2
17.1
22.7
28.8
22.9
25.0
22.6
22.3
民生委員・児童委員や地区福祉委員
18.6
11.4
21.2
13.5
14.1
12.8
22.2
23.9
子ども会やＰＴＡ・青少年指導員など
17.6
22.9
31.8
27.0
18.8
18.9
14.9
10.9
社会福祉協議会
14.6
0.0
12.1
13.5
8.8
13.5
21.4
14.6
ＮＰＯやボランティア団体
12.3
8.6
7.6
10.8
13.5
8.1
17.3
12.1
企業や商工会・農協などの事業者
11.7
14.3
27
11.7
12.4
16.9
9.7
5.7
その他
0.9
0.0
0.0
0.0
1.2
2.7
0.8
0.4
全 体
15～19歳
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳以上

【居住校区別にみた特徴】

「行政」は〔くすのき〕〔四條畷南〕〔忍ヶ丘〕〔岡部〕、「隣近所」は〔四條畷東〕〔四條畷南〕〔田原〕〔くすのき〕、「自治会や婦人会・老人クラブ等の地域団体」は〔田原〕〔四條畷〕〔四條畷南〕で〔全体〕よりも比率が高い。


<○3つまで>
%
0
10
20
30
40
50
60
行　政
48.2
50.6
45.5
49.6
42.3
51.5
51.6
46.3
隣近所
40.5
36.4
37.4
35.3
49.5
45.4
40.6
42.3
自治会や婦人会・老人クラブ等の地域団体
32.5
29.9
35.8
25.6
25.8
34.0
27.1
48.0
一人ひとりや家族
29.9
33.1
28.3
33.1
33.0
25.8
27.7
30.3
防犯委員会や自主防災組織
23.2
24.7
19.3
21.1
23.7
32.0
19.4
27.4
民生委員・児童委員や地区福祉委員
18.6
20.1
18.7
13.5
26.8
15.5
22.6
15.4
子ども会やＰＴＡ・青少年指導員など
17.6
16.2
20.3
22.6
15.5
18.6
12.9
19.4
社会福祉協議会
14.6
16.2
12.3
16.5
17.5
11.3
16.8
10.9
ＮＰＯやボランティア団体
12.3
14.3
13.9
17.3
13.4
5.2
11.6
9.1
企業や商工会・農協などの事業者
11.7
15.6
13.4
11.3
10.3
11.3
9.0
11.4
その他
0.9
1.9
0.0
0.0
2.1
0.0
0.0
1.1
全　体
忍ヶ丘
四條畷
岡　部
四條畷東
四條畷南
くすのき
田　原

16　行政への参加・協力の現状と今後

（1）市のアンケートへの協力や施策への提言

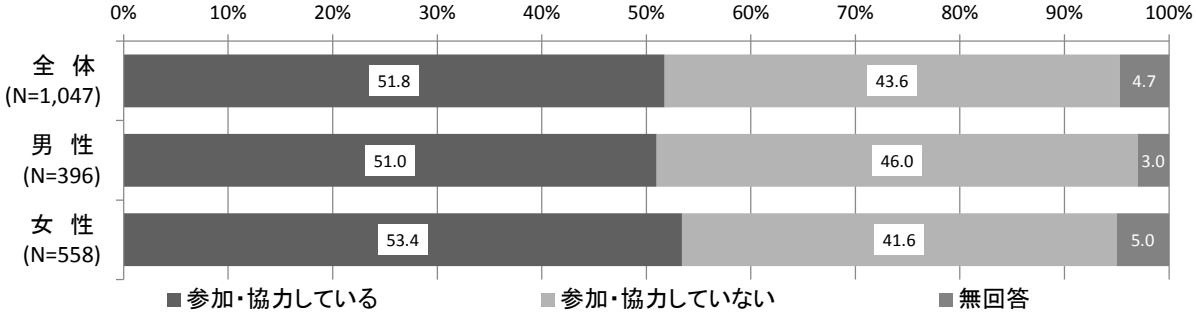
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 51.8%で５割を超えている。

【男女別にみた特徴】

〔女性〕の方が「参加・協力している」の比率がやや高い。



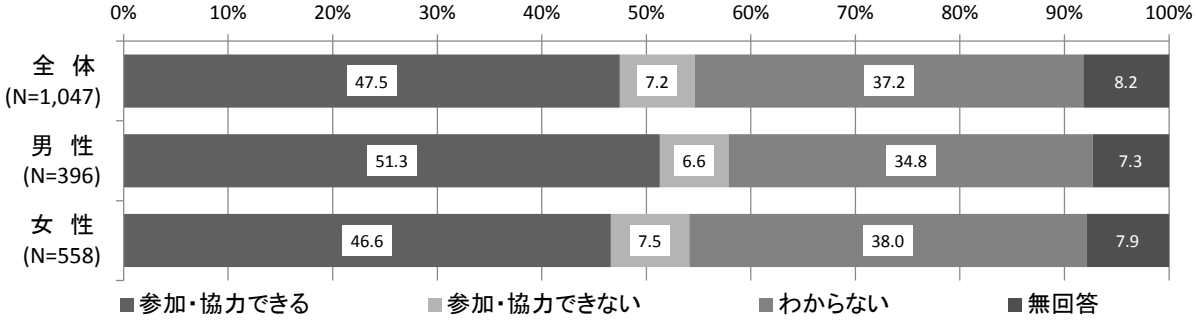
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が「参加・協力している」と同じ程度である。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力できる」の比率がやや高い。



（2）市が公募する検討委員会等への参加

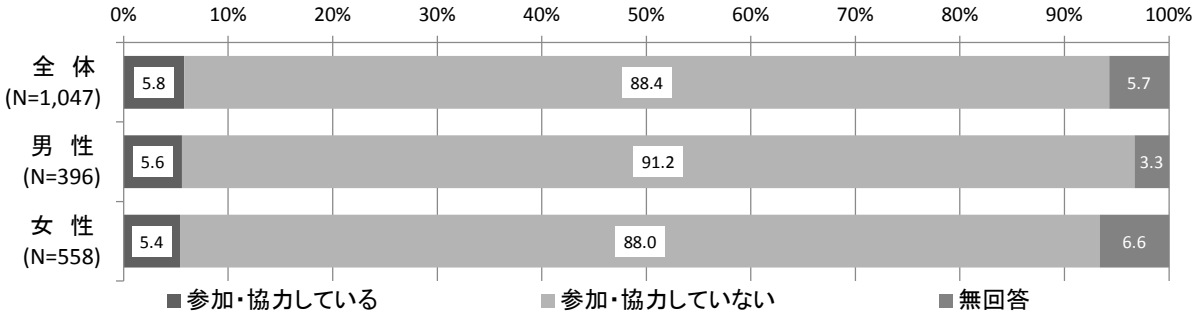
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」は 5.8%と低い。

【男女別にみた特徴】

男女による違いはほとんどない。



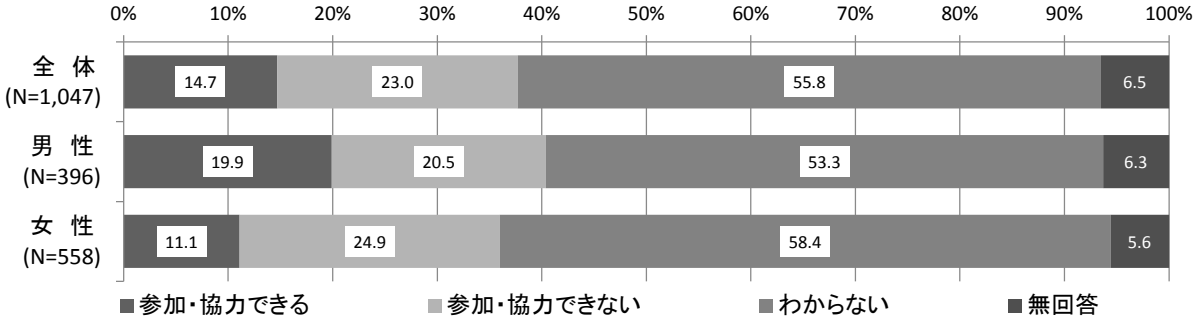
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 14.7%で「参加・協力している」よりも 9 ポイント程度高くなっている。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力できる」の比率が高い。



（3）イベントスタッフとしての参加

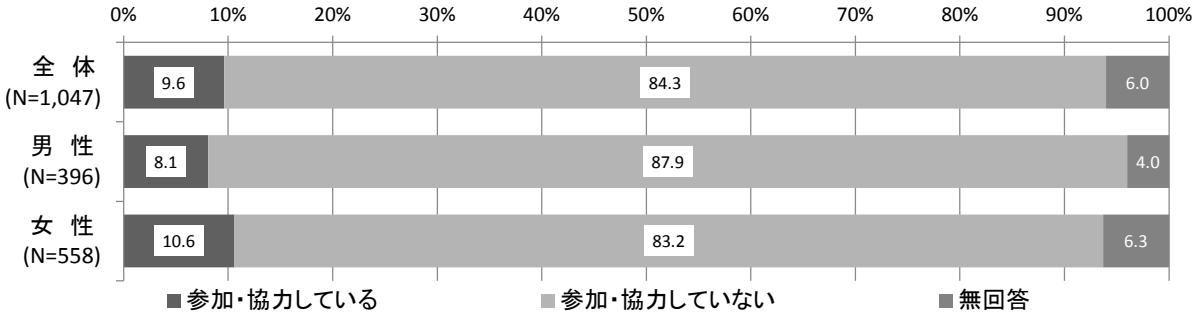
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」は 9.6%で 1 割以下である。

【男女別にみた特徴】

〔女性〕の方が「参加・協力している」の比率がやや高い。



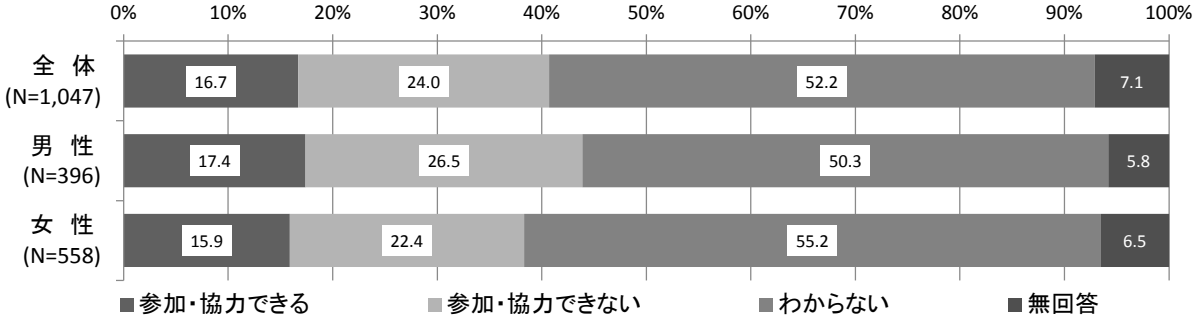
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 16.7%で「参加・協力している」よりも 7 ポイント程度高い。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力できない」の比率がやや高い。



（4）生涯学習などの講座へのボランティアとしての参加

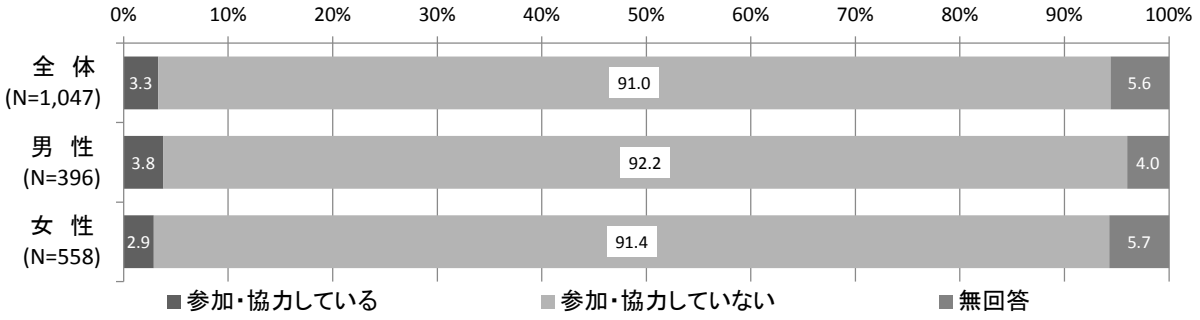
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 3.3%で他の項目と比較して最も低い。

【男女別にみた特徴】

「参加・協力している」は男女ともに低い。



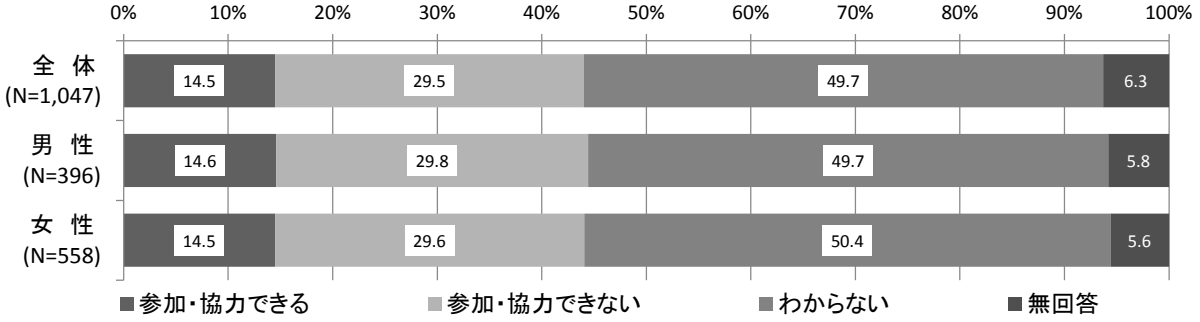
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 14.5%で「参加・協力している」より 10 ポイント程度高い。

【男女別にみた特徴】

男女による違いはほとんどない。



（5）非営利団体での活動

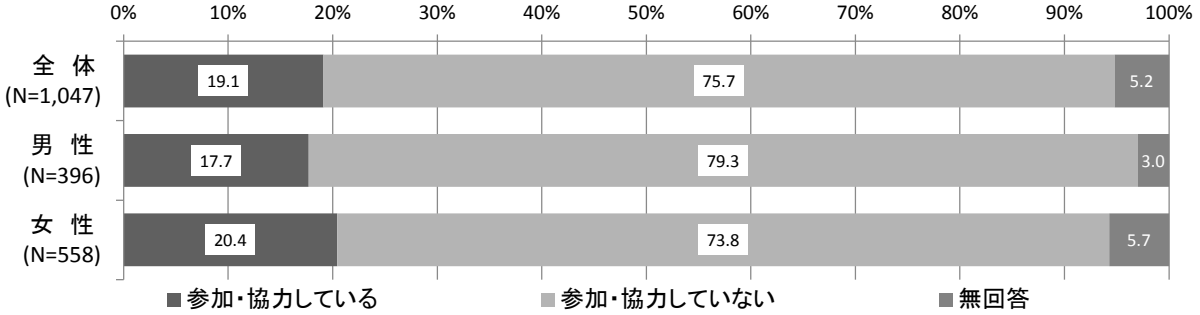
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 19.1%で 2 割弱である。

【男女別にみた特徴】

〔女性〕の方が「参加・協力している」の比率がやや高い。



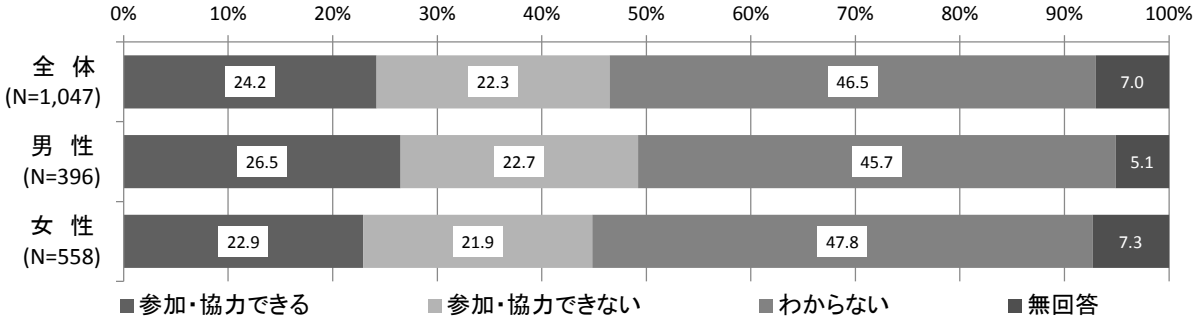
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 24.2%で「参加・協力している」より５ポイント程度高い。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力できる」の比率がやや高い。



（6）学校安全対策への協力

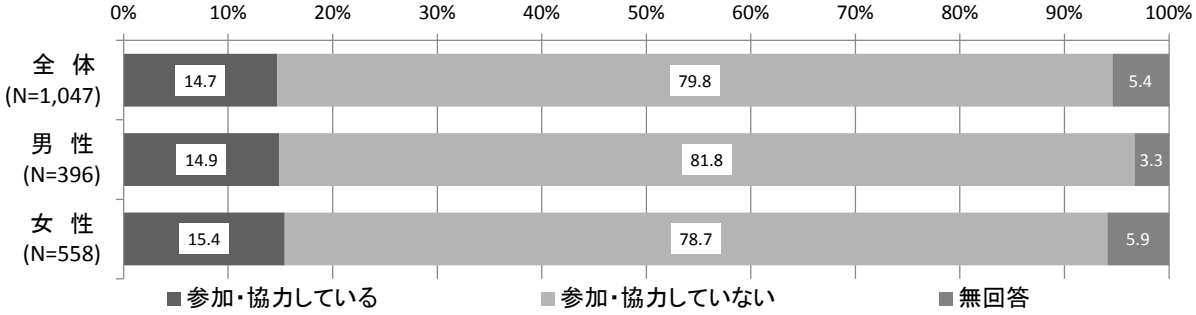
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 14.7%である。

【男女別にみた特徴】

男女による違いはほとんどない。



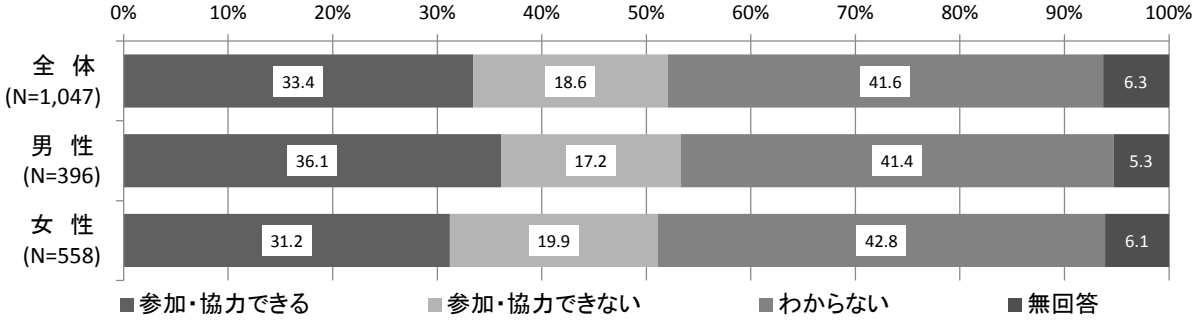
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 33.4%で「参加・協力している」の２倍以上である。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力できる」の比率がやや高い。



（7）教育に関する取組みへの協力

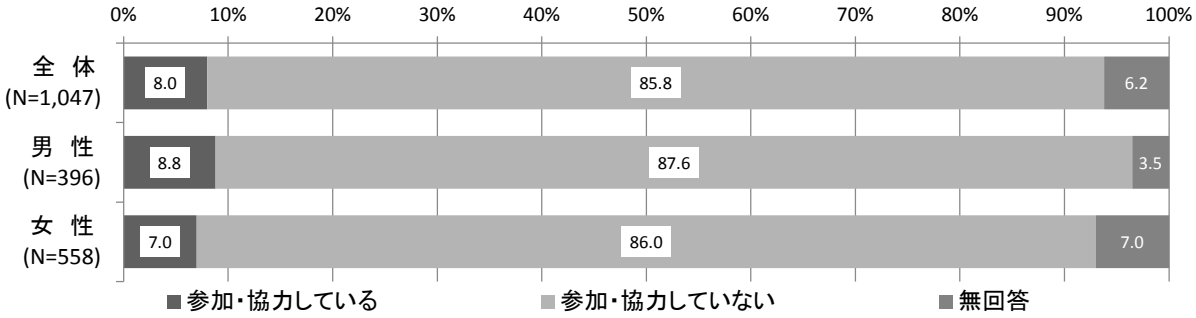
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 8.0%で 1 割以下である。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力している」の比率がやや高い。



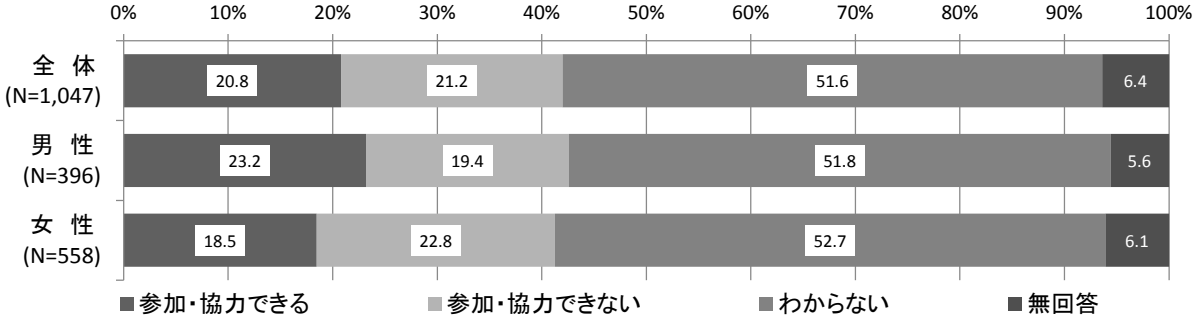
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 20.8%で「参加・協力している」より 13 ポイント程度高くなっている。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力できる」の比率がやや高い。



（8）高齢者・障がい者支援の取組みへの協力

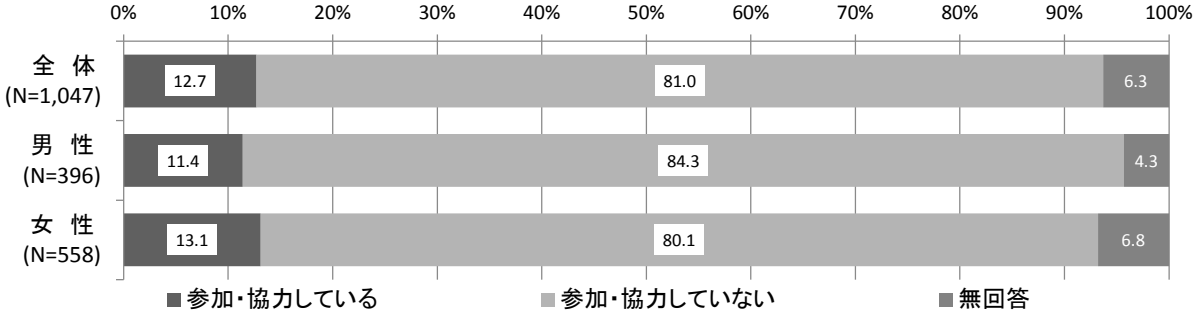
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 12.7%である。

【男女別にみた特徴】

〔女性〕の方が「参加・協力している」の比率がやや高い。



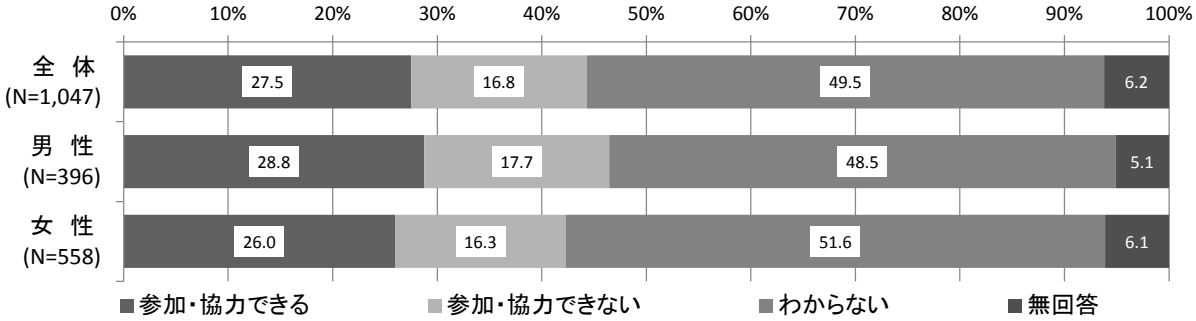
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 27.5%で「参加・協力している」の２倍以上である。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力できる」の比率がやや高い。



（9）子育て支援に関する取組みへの協力

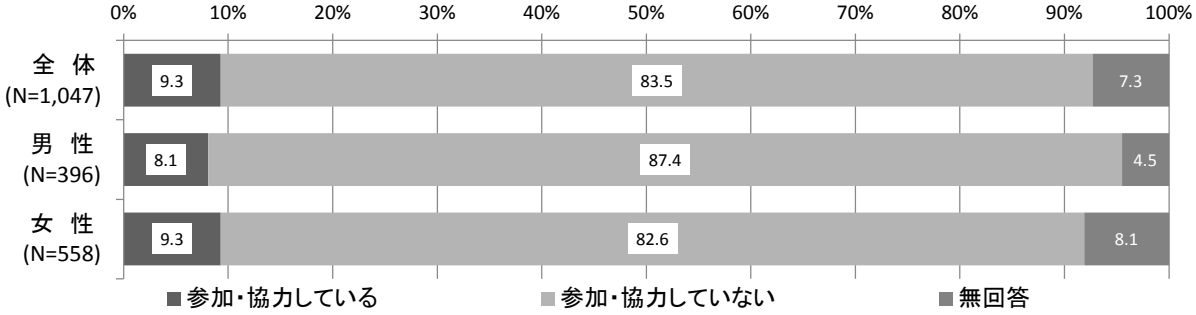
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 9.3%で１割以下である。

【男女別にみた特徴】

〔女性〕の方が「参加・協力している」の比率がやや高い。



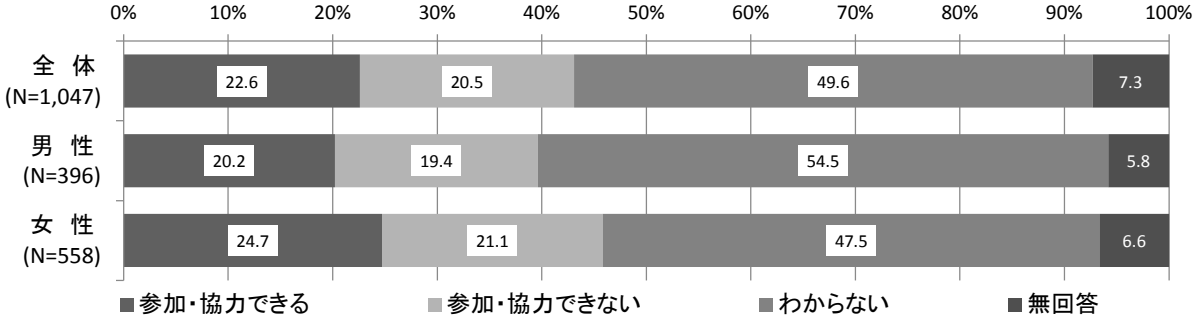
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 22.6%で「参加・協力している」の２倍以上である。

【男女別にみた特徴】

〔女性〕の方が「参加・協力できる」の比率がやや高い。



（10）環境に配慮した取組みの実施

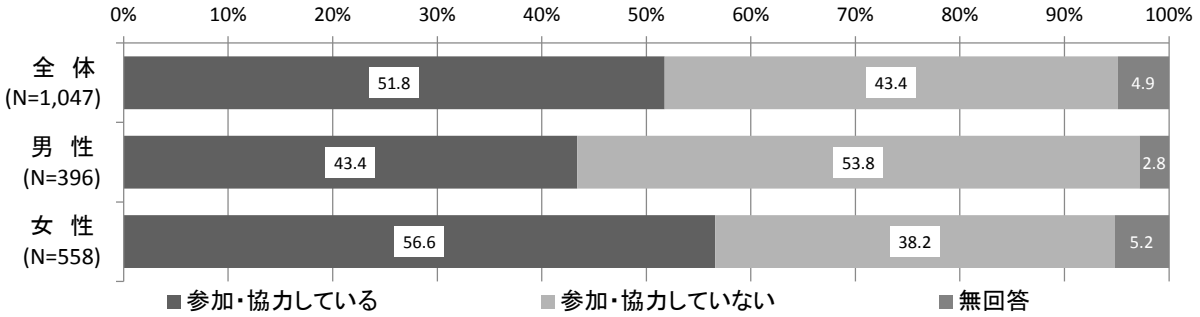
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 51.8%で 5 割を超えている。

【男女別にみた特徴】

「参加・協力している」は〔女性〕が〔男性〕より 13 ポイント程度高く、参加意識の項目の中で最も差が大きい。



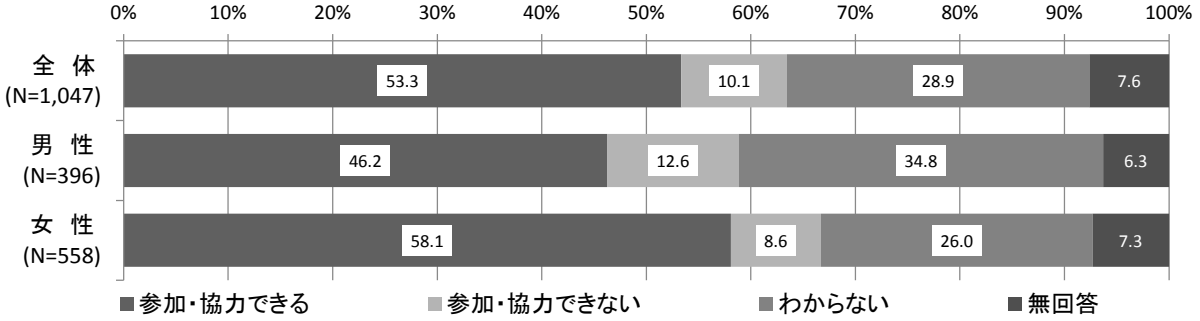
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 53.3%で「参加・協力している」と同じ程度である。

【男女別にみた特徴】

「参加・協力できる」は〔女性〕が〔男性〕より 12 ポイント程度高く、参加意識の項目の中で最も差が大きい。



（11）環境美化活動への参加

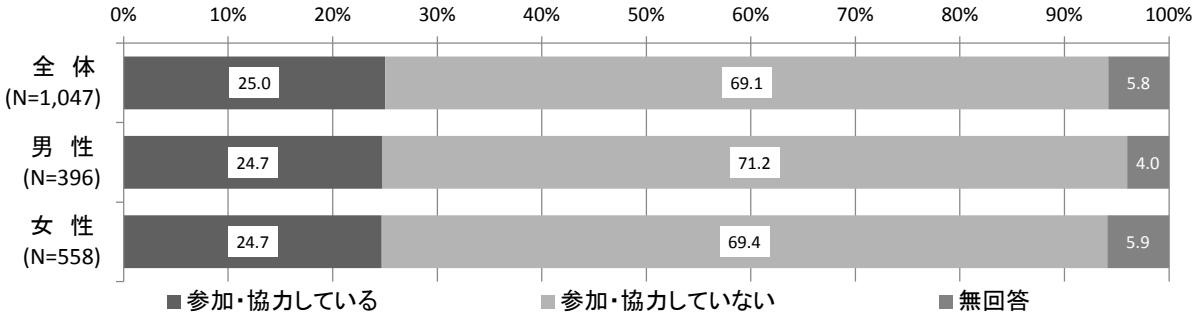
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 25.0%である。

【男女別にみた特徴】

男女による違いはほとんどない。



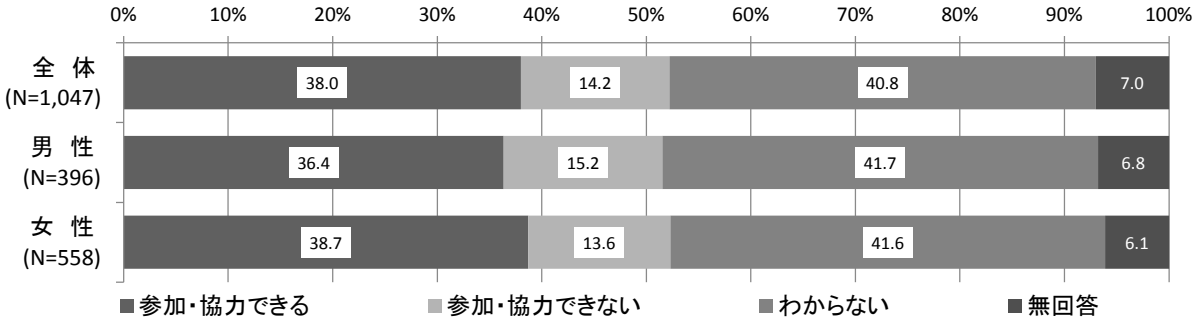
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 38.0%で「参加・協力している」より 13 ポイント高い。

【男女別にみた特徴】

〔女性〕の方が「参加・協力できる」の比率がやや高い。



（12）地域の防災活動への参加

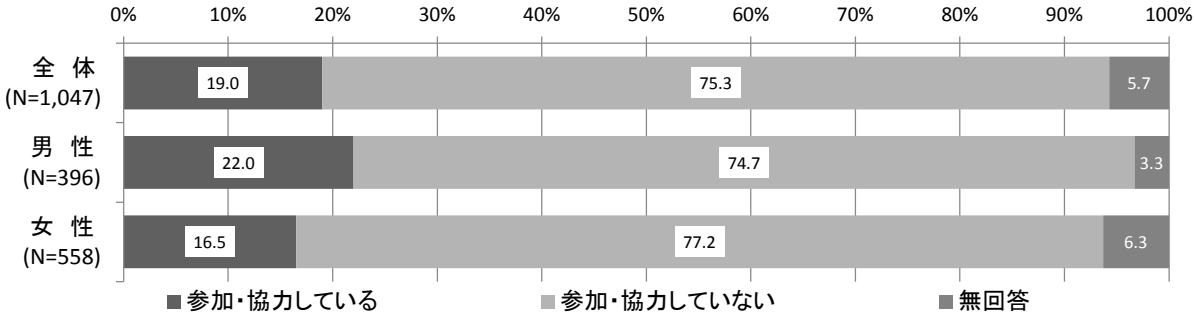
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 19.0%で 2 割弱である。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力している」の比率がやや高い。



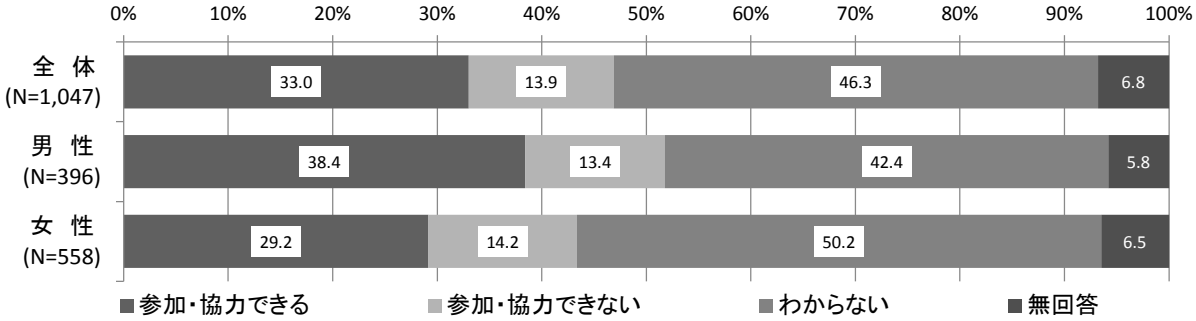
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 33.0%で「参加・協力している」よりも 14 ポイント高い。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力できる」の比率が高い。



（13）地域の防犯活動への参加

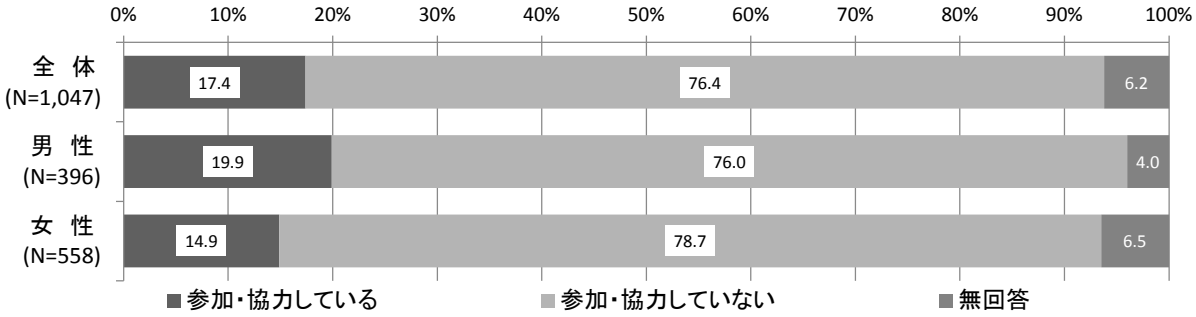
<現　状>

【全　体】

「参加・協力している」が 17.4%である。

【男女別にみた特徴】

〔男性〕の方が「参加・協力している」の比率が高い。



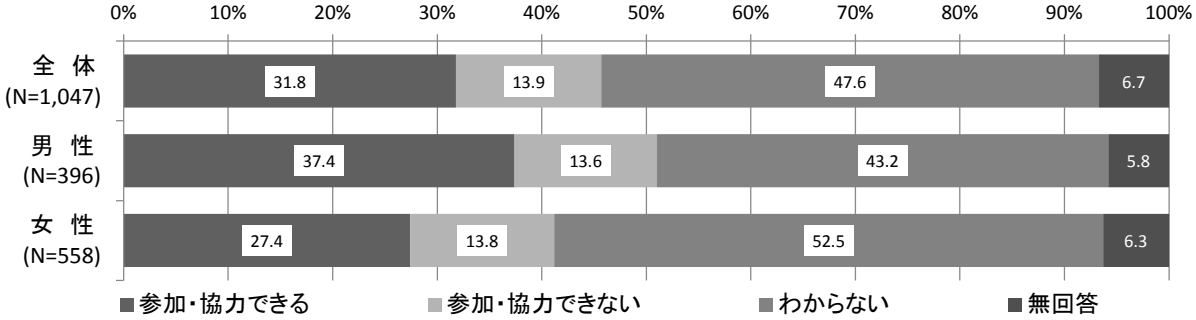
<今　後>

【全　体】

「参加・協力できる」が 31.8%で「参加・協力している」より 14 ポイント程度高い。

【男女別にみた特徴】

「参加・協力できる」は〔男性〕が〔女性〕より１０ポイント高い。



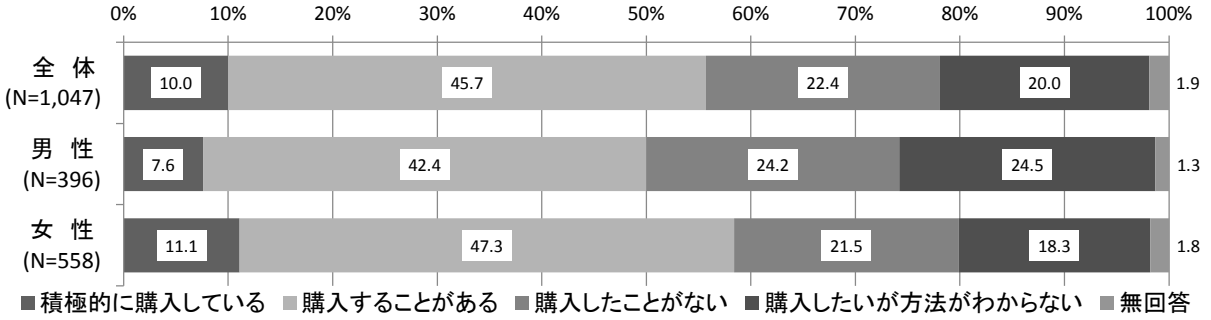
17　地場野菜の購入について

【全　体】

「積極的に購入している」は 10.0%で、「購入することがある」の 45.7%を合わせると 5 割以上を占める。一方で「購入したことがない」は 22.4%、「購入したいが方法がわからない」は 20.0%となっている。

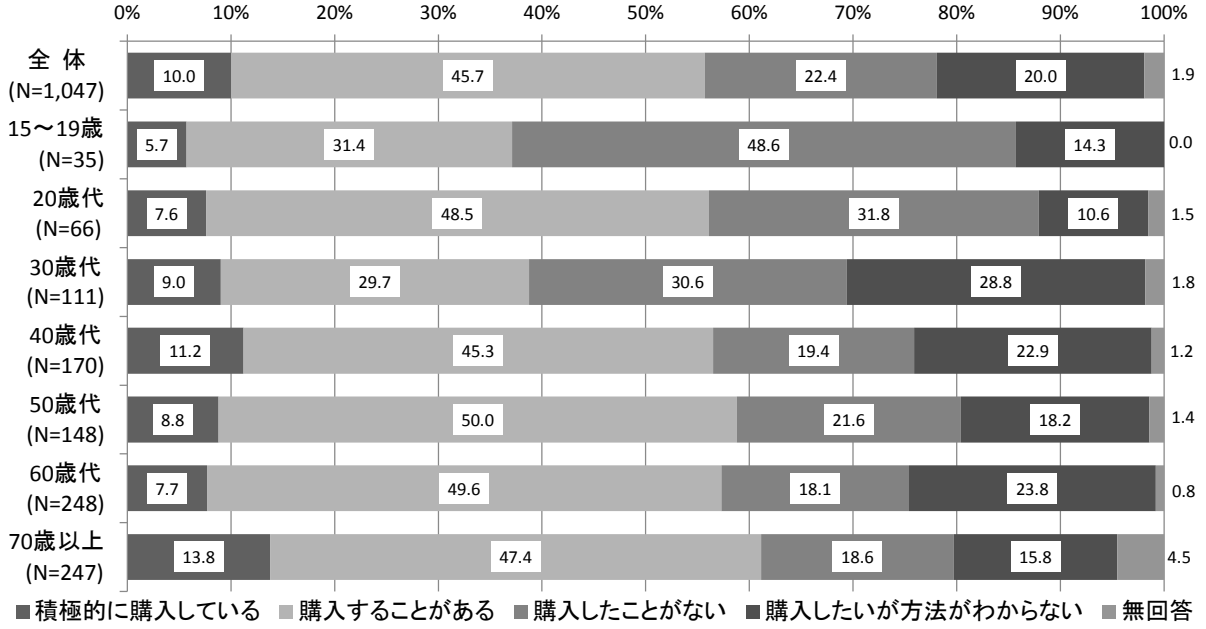
【男女別にみた特徴】

〔女性〕の方が購入している傾向にあるが、「積極的に購入している」では〔男性〕と 3.5 ポイントの差にとどまっている。



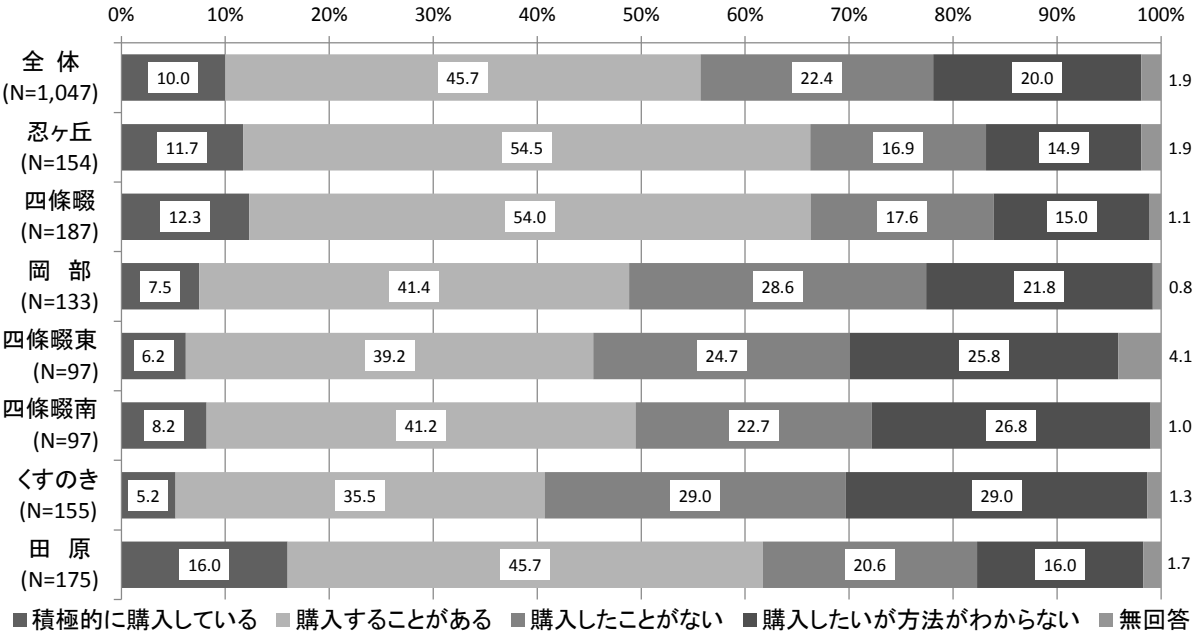
【年齢別にみた特徴】

「積極的に購入している」の比率が最も高いのは〔70 歳以上〕である。「購入したことがない」は〔15～19 歳〕〔20 歳代〕〔30 歳代〕で 3 割を超えている。



【居住校区別にみた特徴】

「積極的に購入している」の比率は〔田原〕〔四條畷〕〔忍ヶ丘〕の順に高く、「購入することがある」を合わせるといずれも６割を超えている。



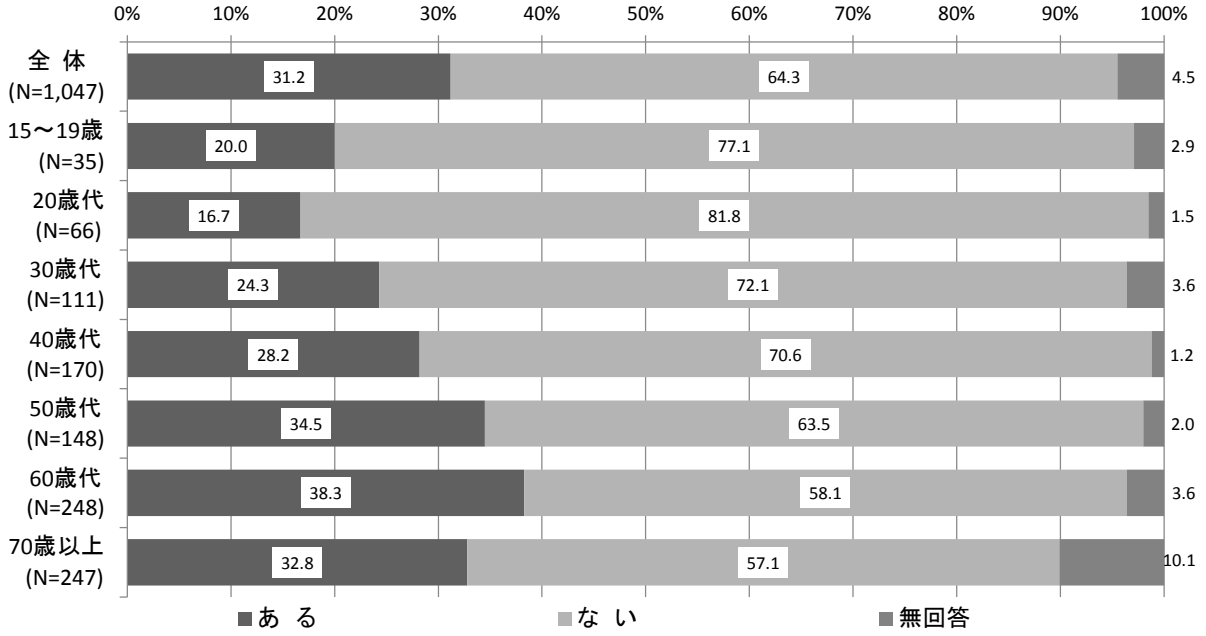
18　知人・友人を案内したい市内の観光地

【全　体】

「ある」の 31.2%に対して、「ない」は 64.3%となっている。具体的には、「四條畷神社」、「緑の文化園」、「室池」、「飯盛山」が多い。

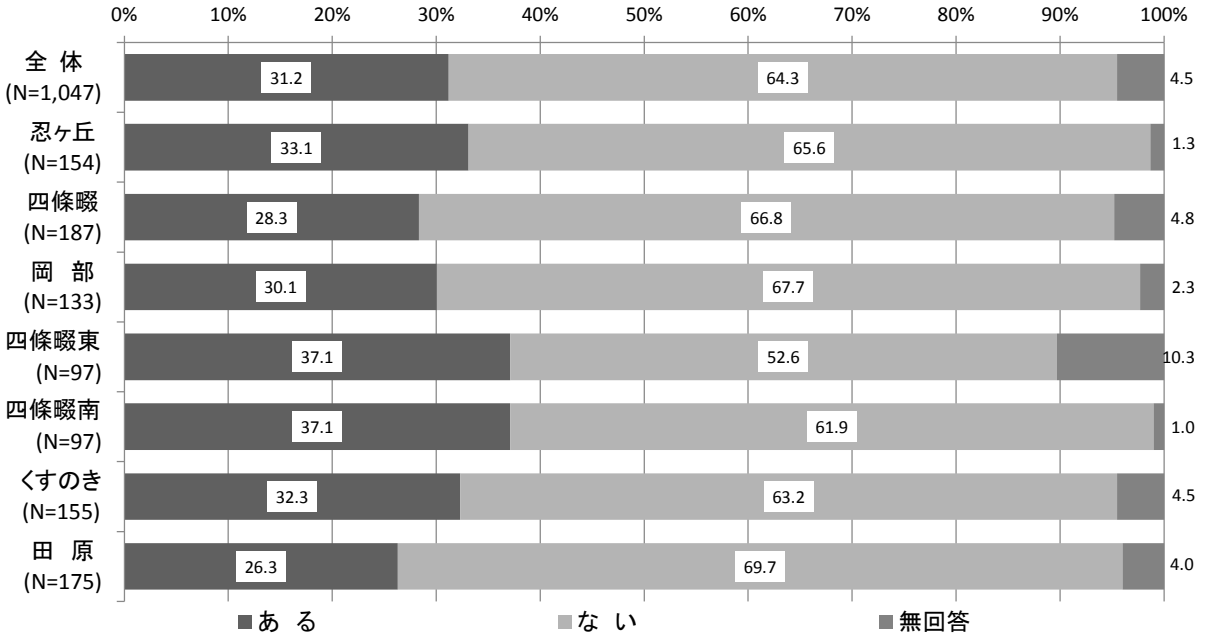
【年齢別にみた特徴】

〔20 歳代〕から〔60 歳代〕にかけて「ある」の比率が高くなる傾向にある。



【居住校区別にみた特徴】

「ある」の比率は〔四條畷東〕〔四條畷南〕〔忍ヶ丘〕〔くすのき〕〔岡部〕で 3 割を超えている。



19　安全・安心活動

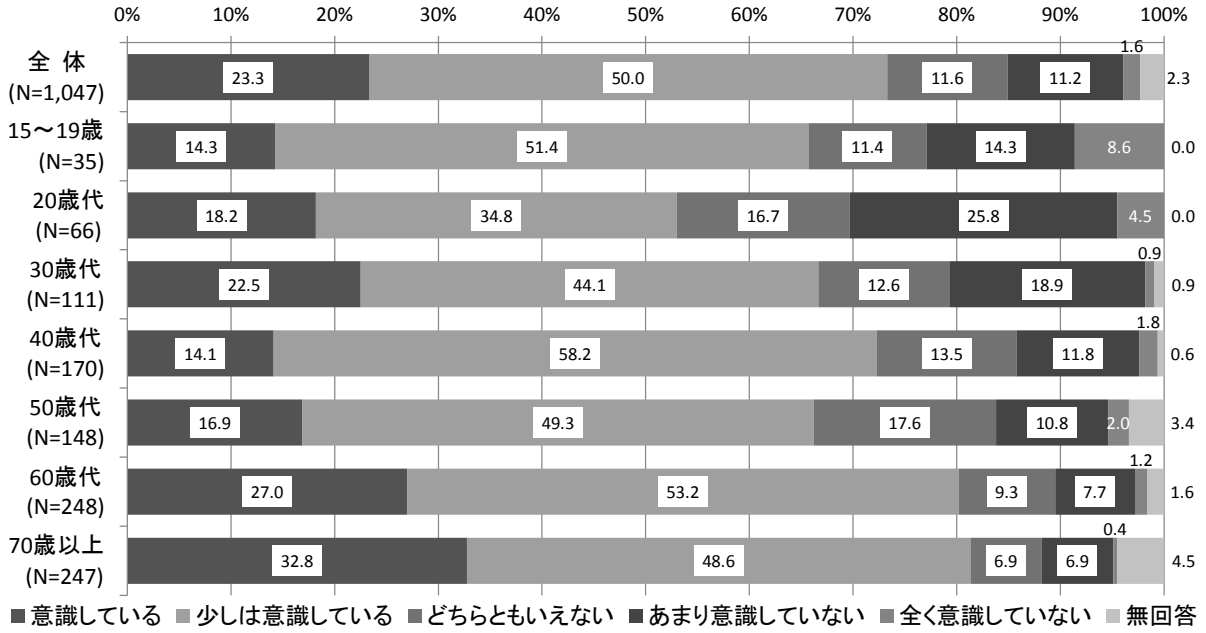
（1）災害時の備えや避難場所の位置等に注意すること

【全　体】

「意識している」は 23.3%で、「少しは意識している」の 50.0%を合わせると 7 割以上が意識している。

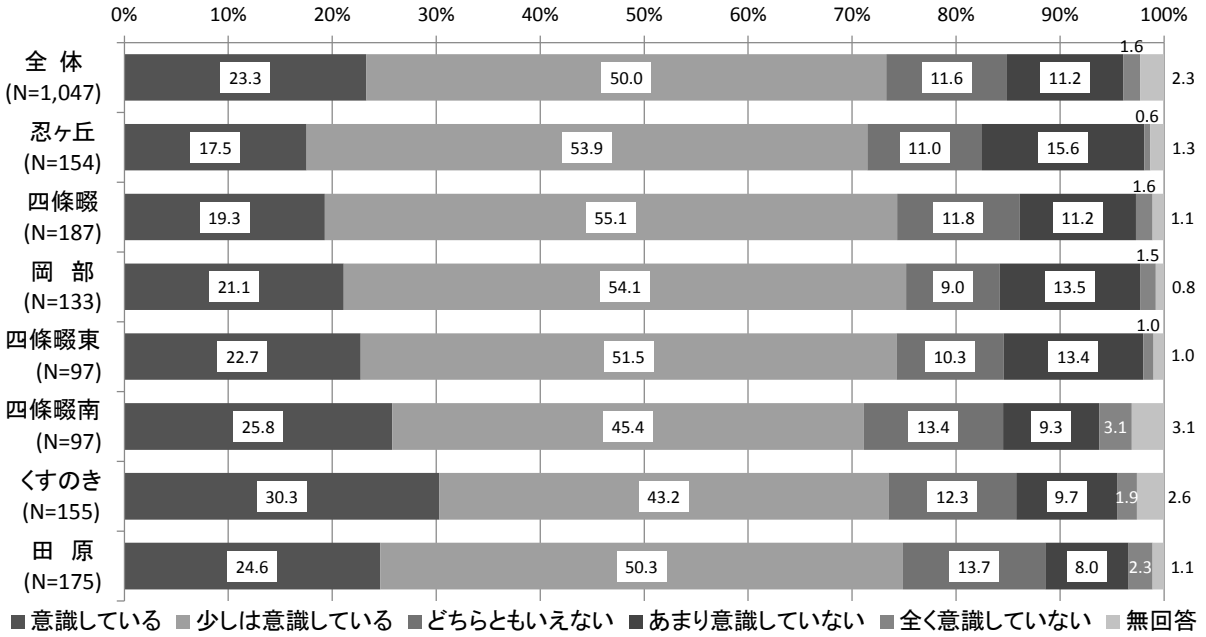
【年齢別にみた特徴】

「意識している」と「少しは意識している」を合わせた比率は〔70 歳以上〕〔60 歳代〕〔40 歳代〕の順に高い。一方で、「あまり意識していない」と「全く意識していない」を合わせた比率は、〔20 歳代〕〔15～19 歳〕〔30 歳代〕の順に高い。



【居住校区別にみた特徴】

「意識している」は〔くすのき〕〔四條畷南〕〔田原〕〔四條畷東〕〔岡部〕の順に高い。「意識している」と「少しは意識している」を合わせた比率は、居住校区による大きな違いはない。



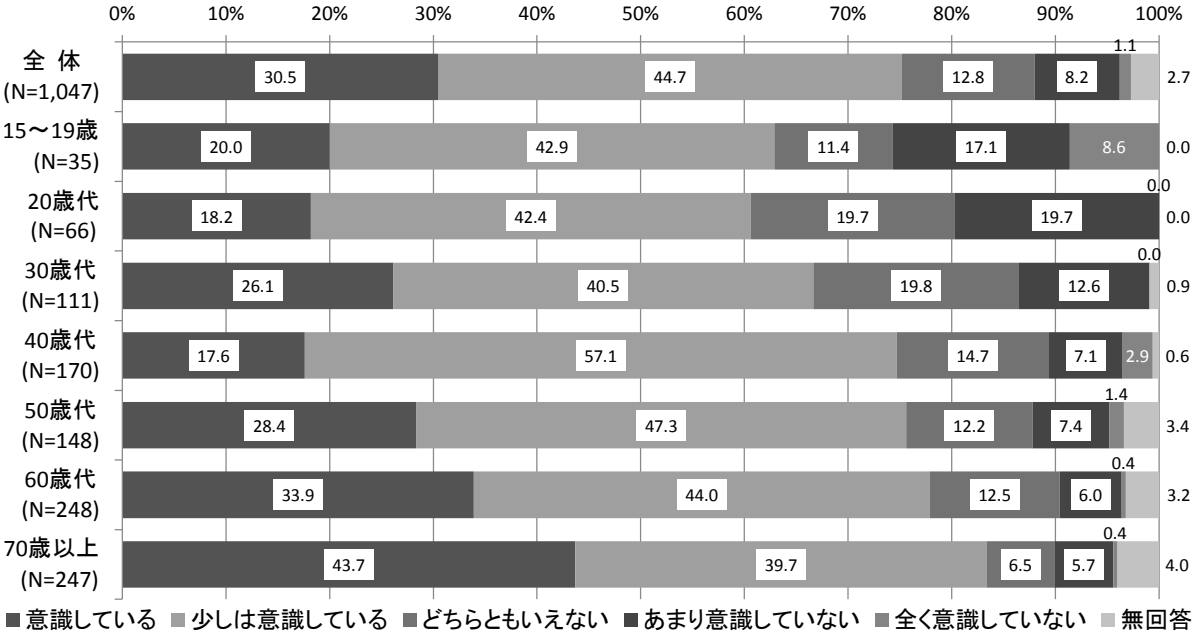
（2）防犯体制に気を配ること

【全　体】

「意識している」は 30.5%、「少しは意識している」の 44.7%を合わせると７割以上が意識している。

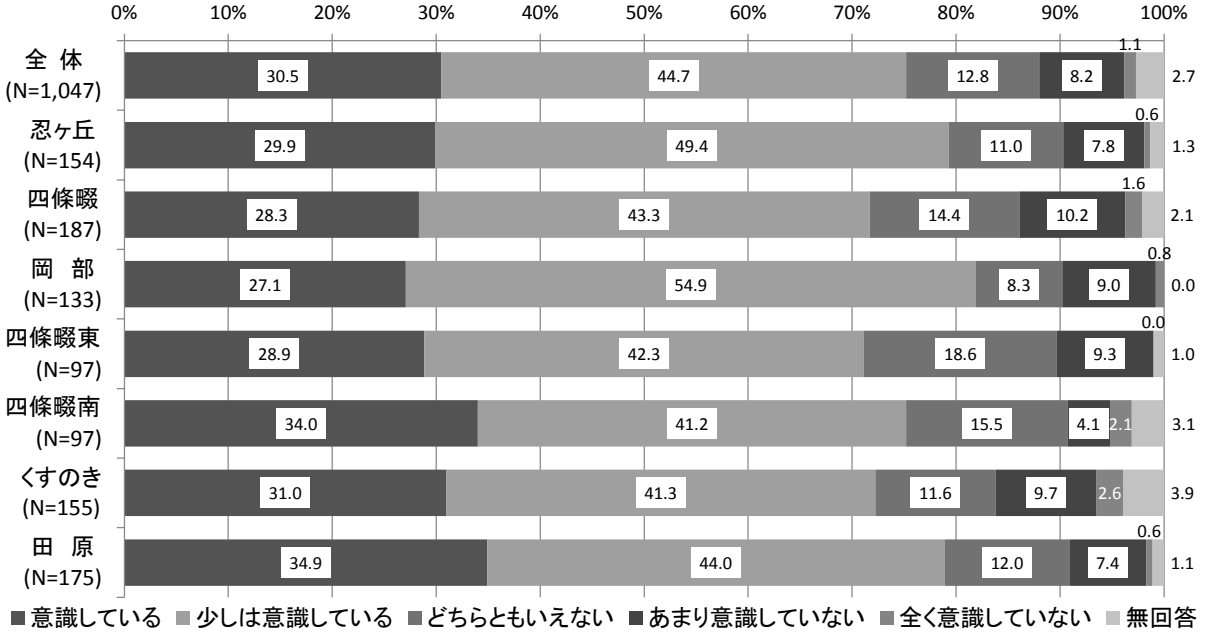
【年齢別にみた特徴】

60 歳代以上で〔全体〕よりも「意識している」の比率が高い。



【居住校区別にみた特徴】

「意識している」と「少しは意識している」を合わせた比率は〔岡部〕〔忍ヶ丘〕〔田原〕の順に高い。一方で、「あまり意識していない」と「全く意識していない」を合わせた比率は〔くすのき〕〔四條畷〕〔岡部〕の順に高い。



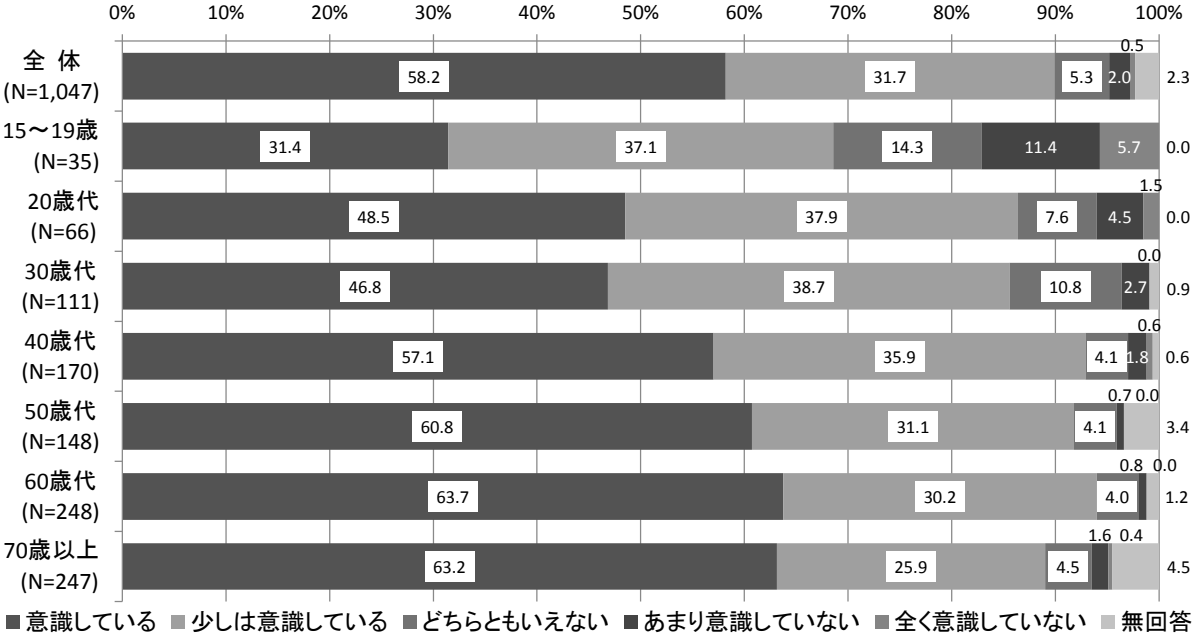
（3）自分や家族の健康管理に心がけること

【全　体】

「意識している」は 58.2%、「少しは意識している」の 31.7%を合わせると 9 割弱が意識している。

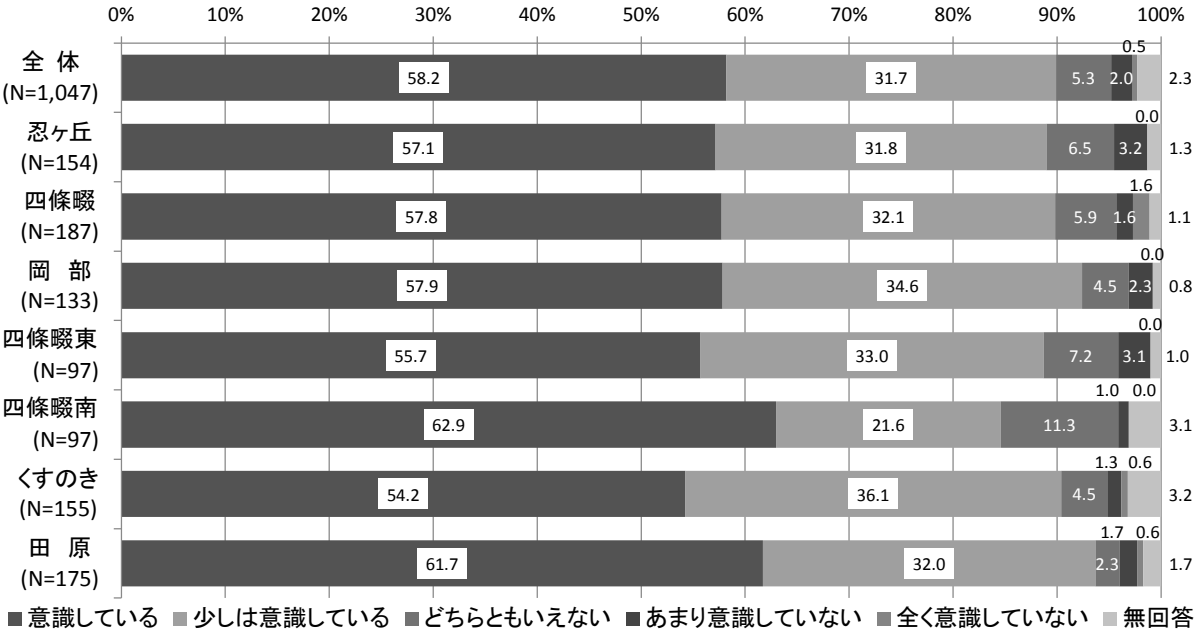
【年齢別にみた特徴】

50 歳代以上で〔全体〕よりも「意識している」の比率が高い。



【居住校区別にみた特徴】

「意識している」と「少しは意識している」を合わせた比率は〔田原〕〔岡部〕〔くすのき〕の順に高い。



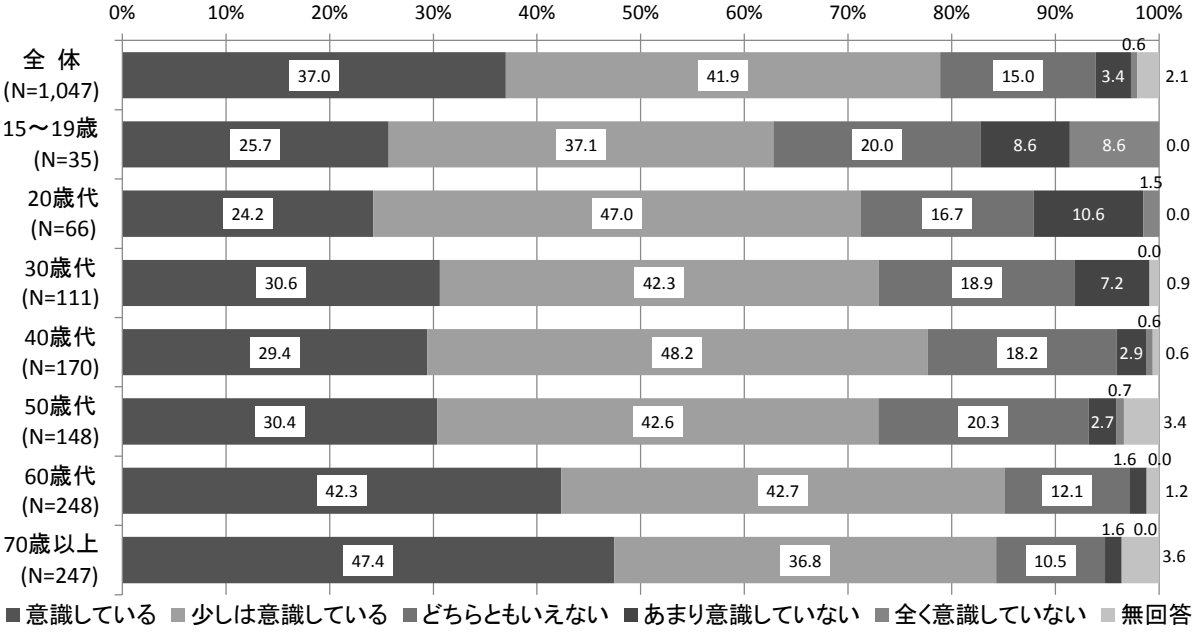
（4）高齢者や障がい者が困っていたら声を掛けること

【全　体】

「意識している」は 37.0%、「少しは意識している」の 41.9%を合わせると 8 割弱が意識している。

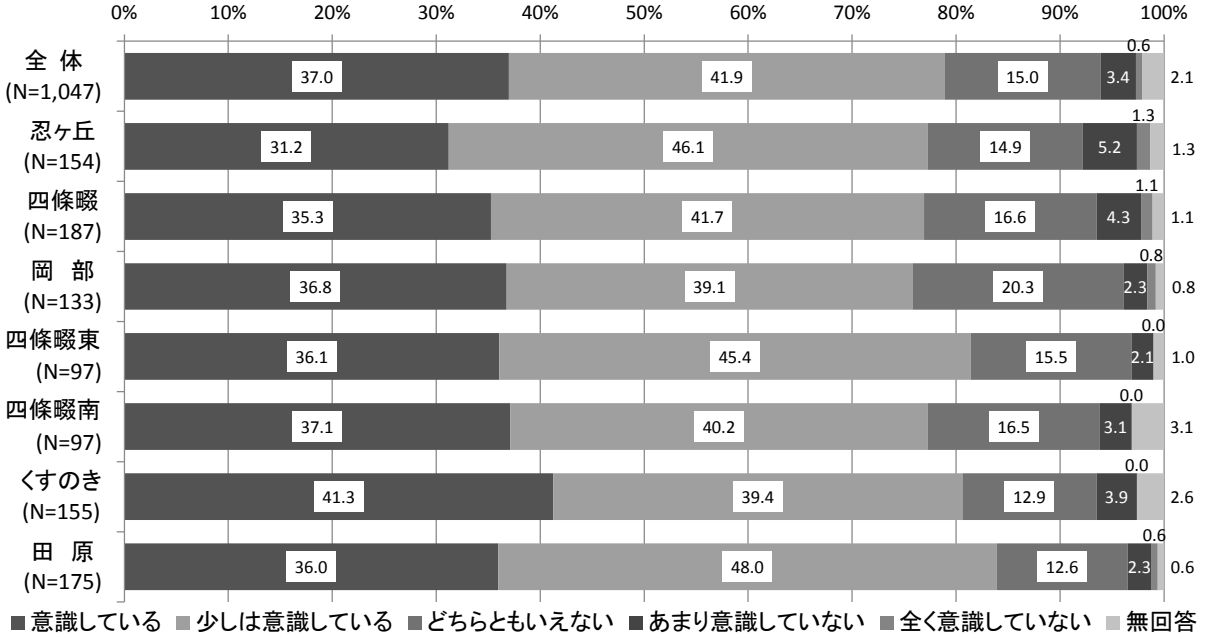
【年齢別にみた特徴】

60 歳代以上で〔全体〕よりも「意識している」の比率が高い。



【居住校区別にみた特徴】

「意識している」と「少しは意識している」を合わせた比率は〔田原〕〔四條畷東〕〔くすのき〕の順に高い。



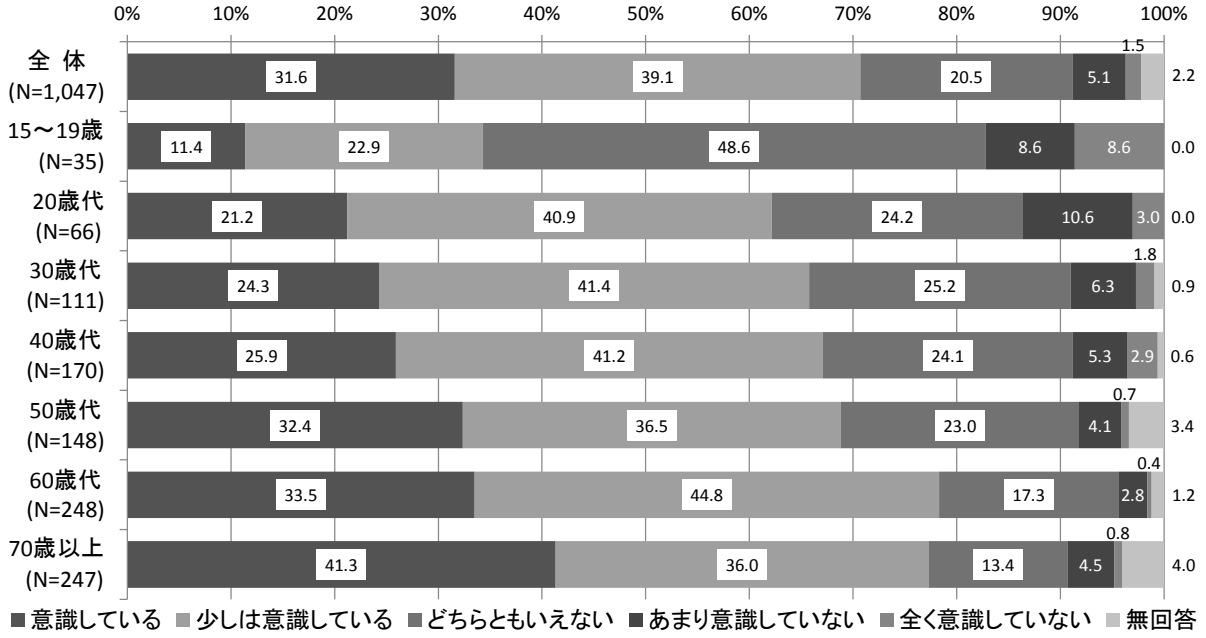
（5）食育に関心を持って生活すること

【全　体】

「意識している」は 31.6%、「少しは意識している」の 39.1%を合わせると７割程度が意識している。

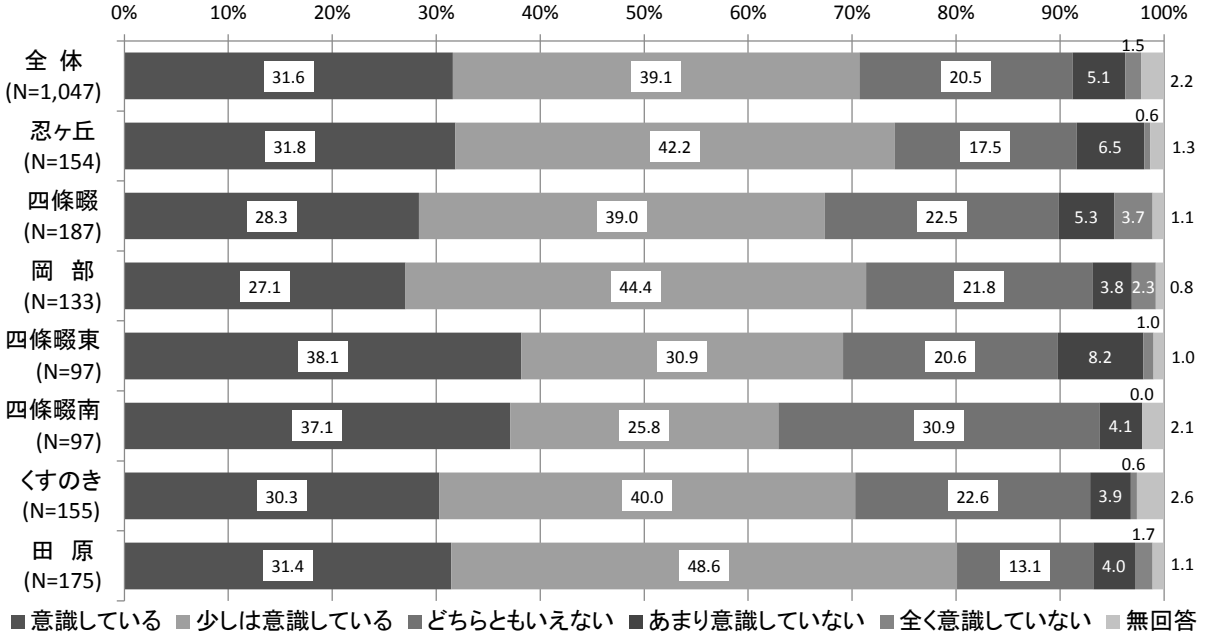
【年齢別にみた特徴】

「意識している」と「少しは意識している」を合わせた比率は年齢が上がるにつれて高くなる傾向にある。



【居住校区別にみた特徴】

「意識している」と「少しは意識している」を合わせた比率は〔田原〕〔忍ヶ丘〕〔岡部〕〔くすのき〕の順に高い。



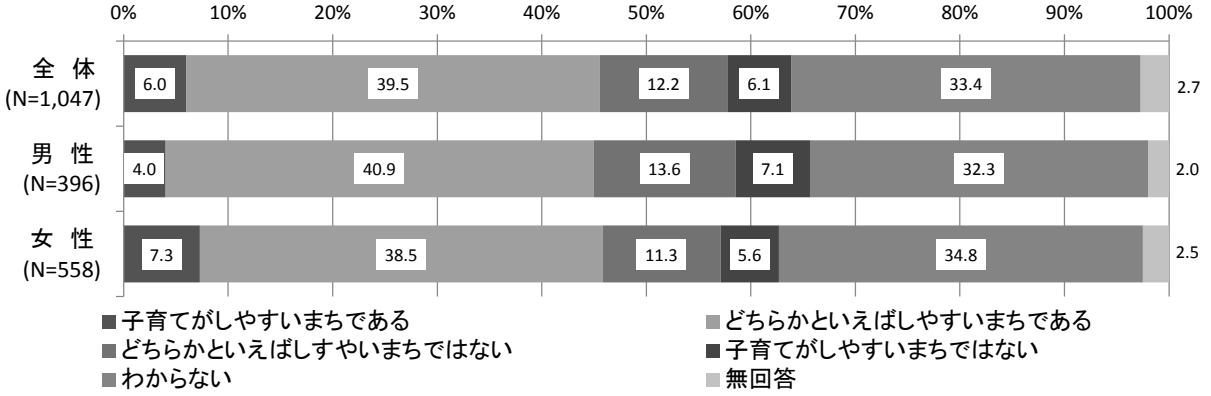
20　子育てのしやすさ

【全　体】

比率の高いものから順に「どちらかといえばしやすいまちである」が 39.5%、「わからない」が 33.4%、「どちらかといえばしやすいまちではない」が 12.2%、「子育てがしやすいまちではない」が 6.1%、「子育てがしやすいまちである」が 6.0%となっている。

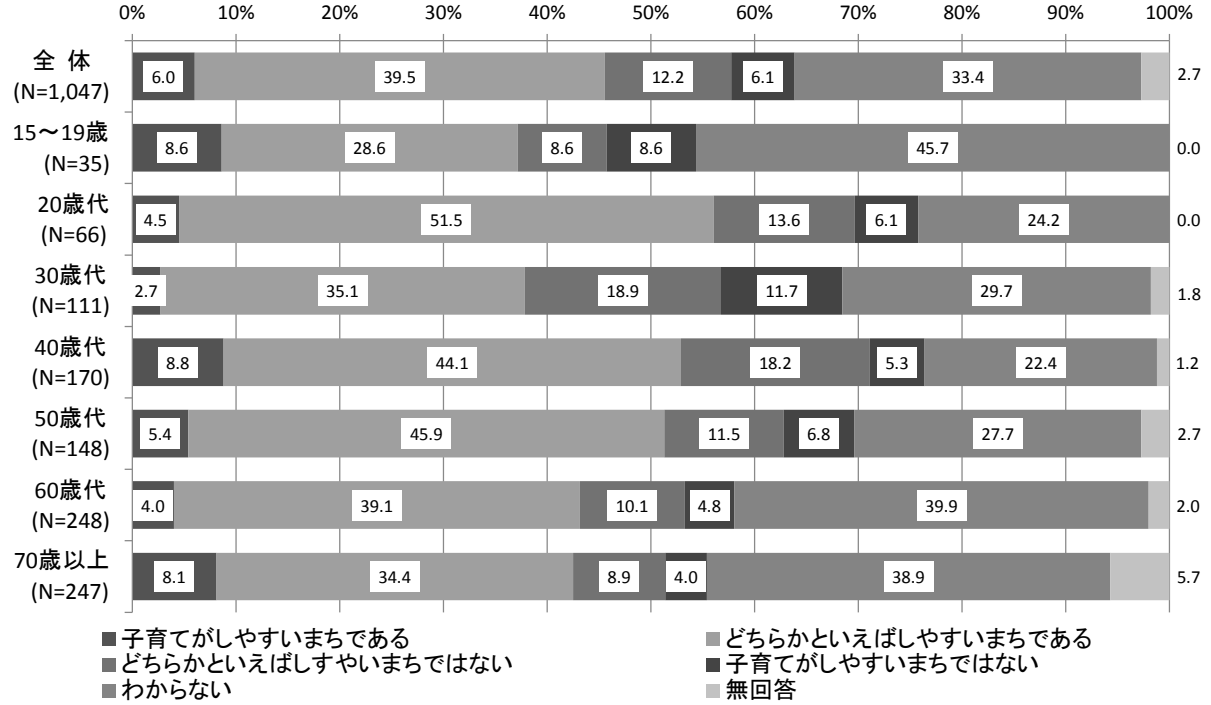
【男女別にみた特徴】

〔女性〕の方が「子育てがしやすいまちである」の比率がやや高い。



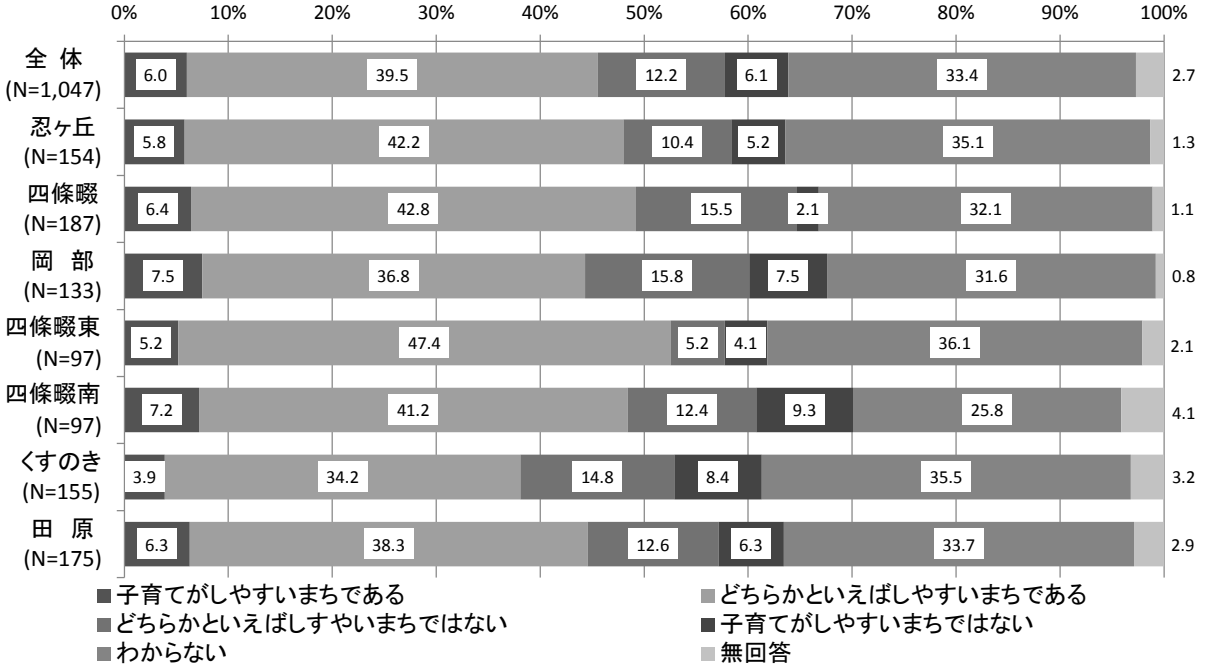
【年齢別にみた特徴】

「子育てがしやすいまちである」の比率は〔40 歳代〕〔15～19 歳〕〔70 歳以上〕の順に高く、「子育てがしやすいまちではない」の比率は〔30 歳代〕が 11.7%で最も高い。



【居住校区別にみた特徴】

「子育てがしやすいまちである」と「どちらかといえば子育てがしやすいまちである」を合わせた比率は〔四條畷東〕が最も高く５割を超えている。一方で、「どちらかといえばしやすいまちではない」と「子育てがしやすいまちではない」を合わせた比率は〔岡部〕が最も高い。



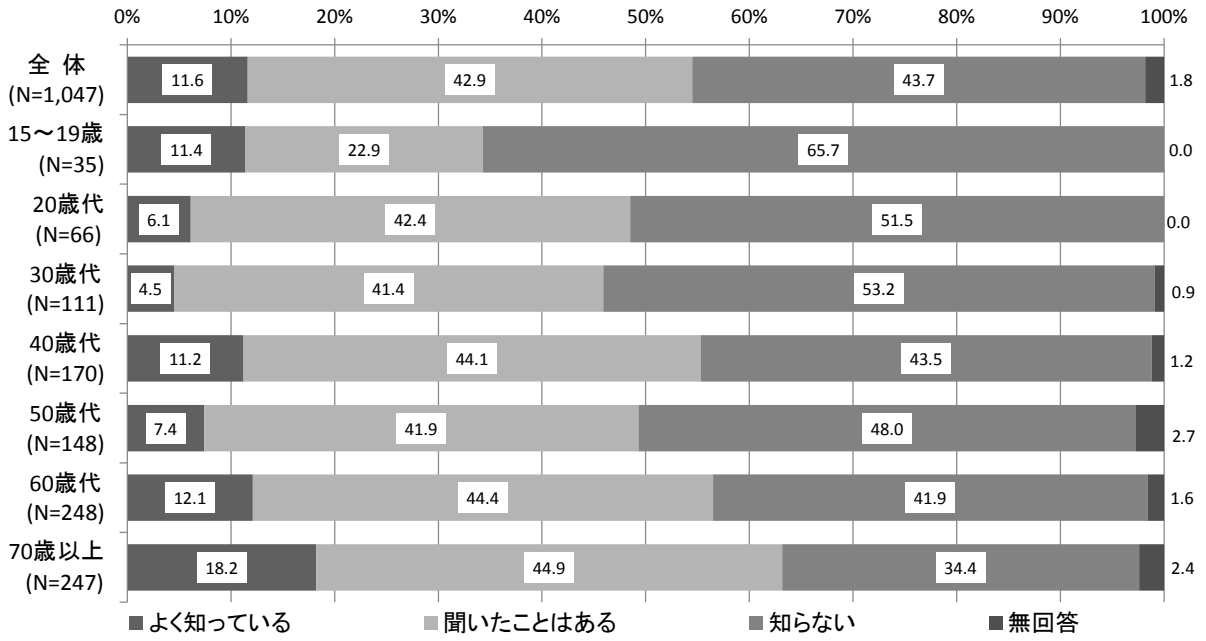
21　市民が高齢者や障がい者、子どもなどを見守る仕組みやネットワークについて

【全　体】

「よく知っている」は 11.6%、「聞いたことはある」は 42.9%、「知らない」は 43.7%で 5 割程度の認知度である。

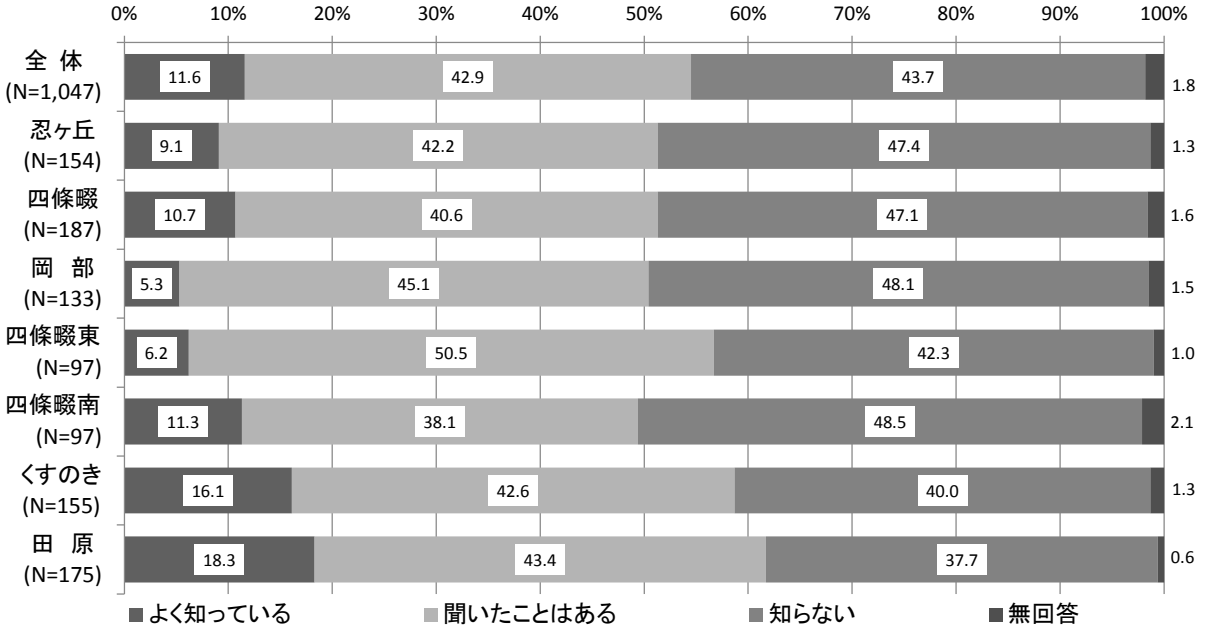
【年齢別にみた特徴】

〔70 歳以上〕の認知度が高く、「知らない」は〔15～19 歳〕〔30 歳代〕〔20 歳代〕の順に比率が高い。



【居住校区別にみた特徴】

「よく知っている」は〔田原〕〔くすのき〕の順に比率が高く、「知らない」は〔四條畷南〕〔岡部〕の順に比率が高い。



22　生涯学習等に関する活動や行動

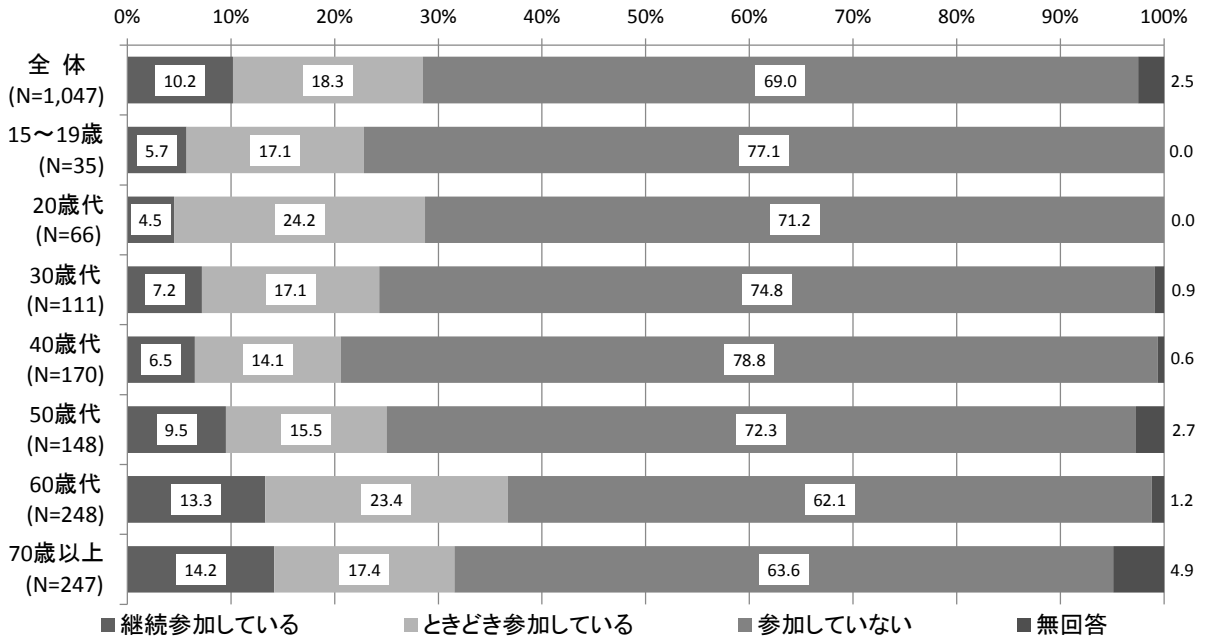
（1）生涯学習への参加

【全　体】

「継続参加している」は 10.2%、「ときどき参加している」は 18.3%、「参加していない」は 69.0%で３割弱の参加率である。

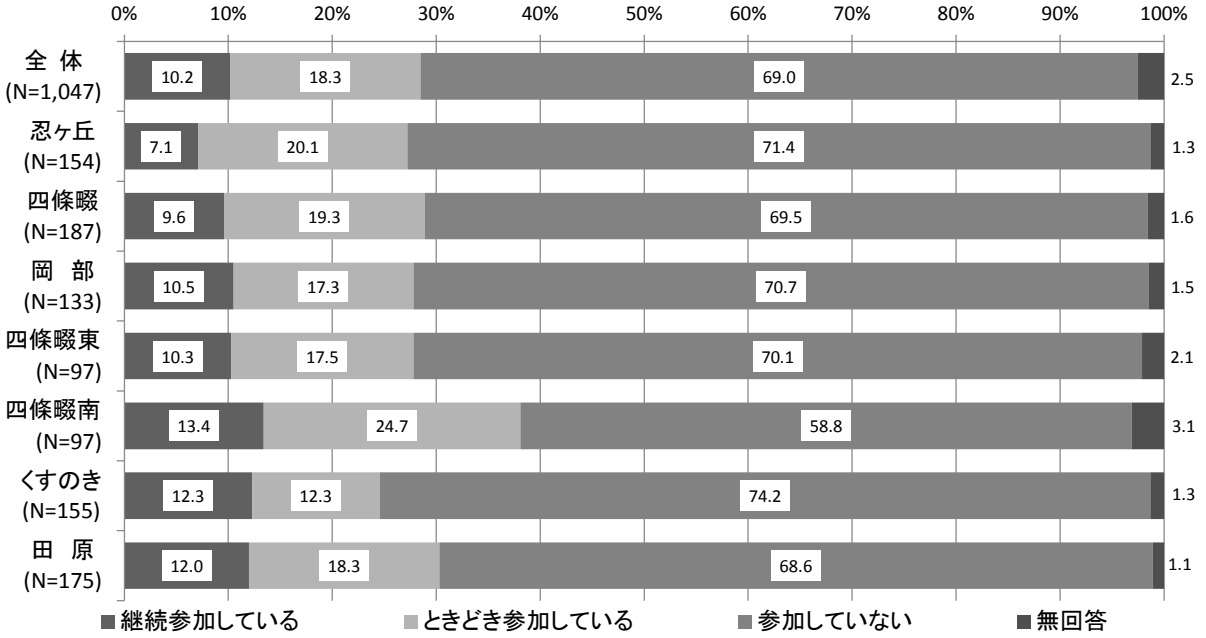
【年齢別にみた特徴】

「継続参加している」と「ときどき参加している」を合わせた比率は〔60 歳代〕が最も高い。



【居住校区別にみた特徴】

「継続参加している」と「ときどき参加している」を合わせた比率は〔四條畷南〕が最も高い。



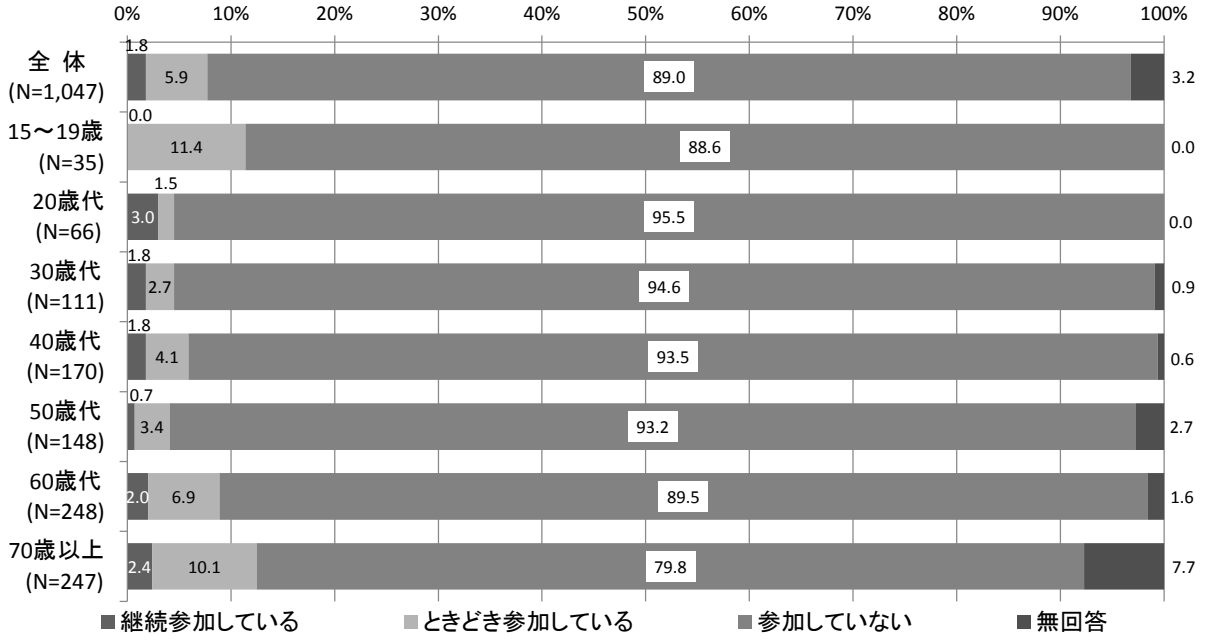
（2）市の歴史・文化の継承活動への参加

【全　体】

「継続参加している」は 1.8%、「ときどき参加している」は 5.9%で参加率は 1 割以下である。

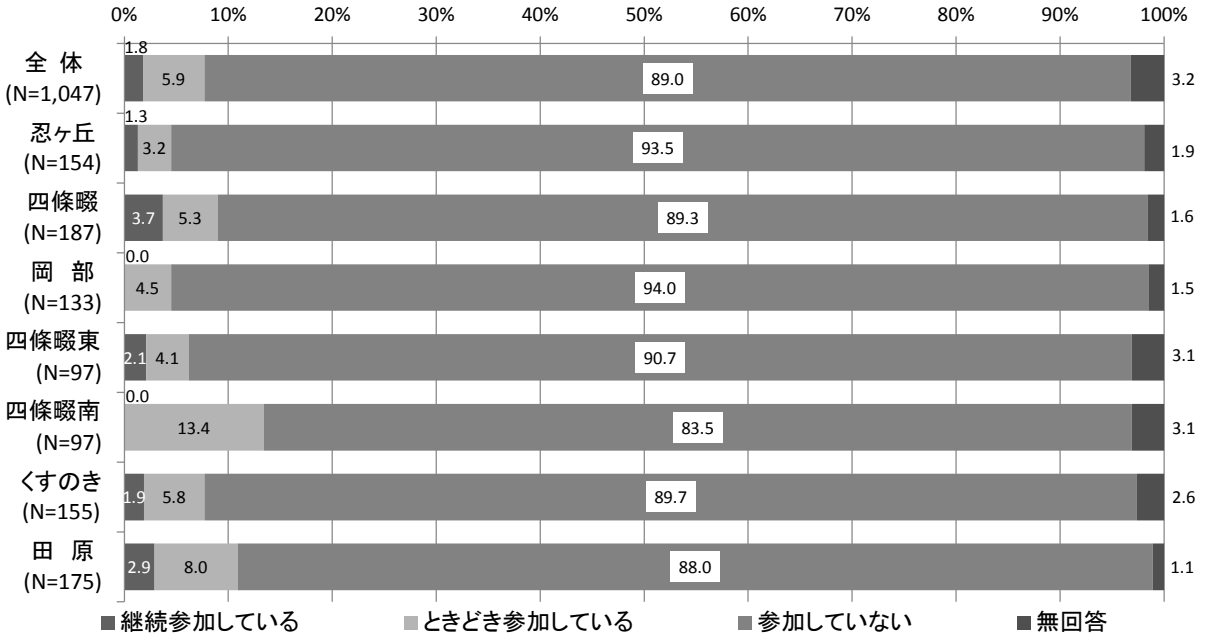
【年齢別にみた特徴】

「継続参加している」と「ときどき参加している」を合わせた比率は〔15～19 歳〕と 60 歳代以上で高い。



【居住校区別にみた特徴】

「継続参加している」と「ときどき参加している」を合わせた比率は〔四條畷南〕が最も高い。



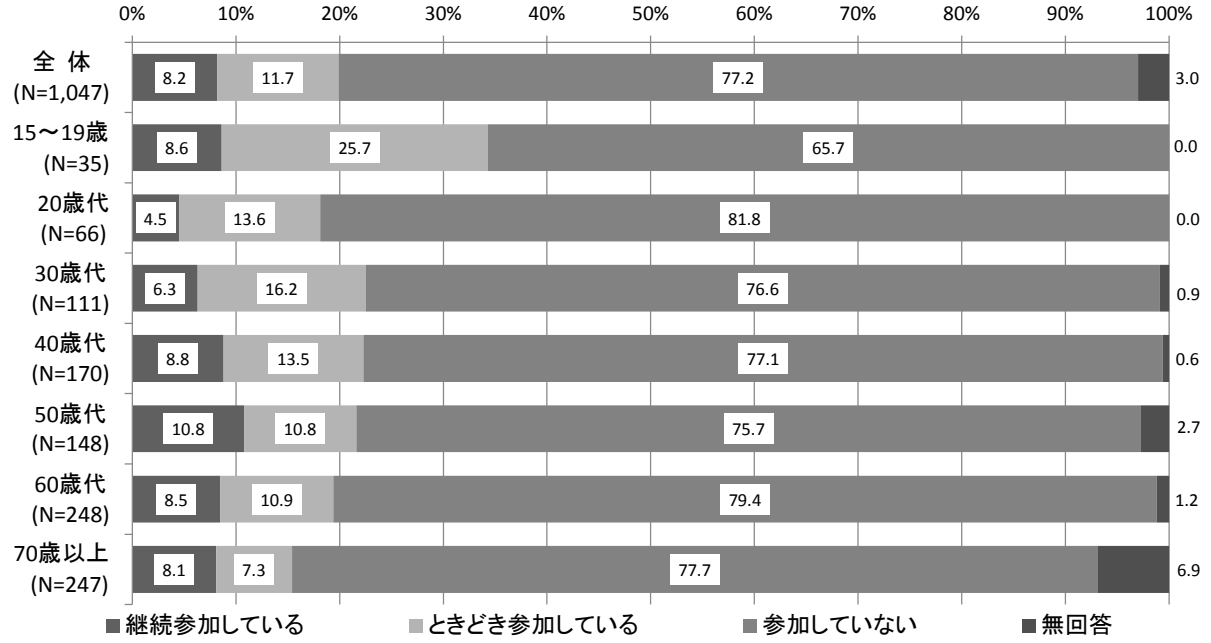
（3）スポーツ活動への参加

【全　体】

「継続参加している」は 8.2%、「ときどき参加している」は 11.7%、「参加していない」は 77.2%で 2 割弱の参加率である。

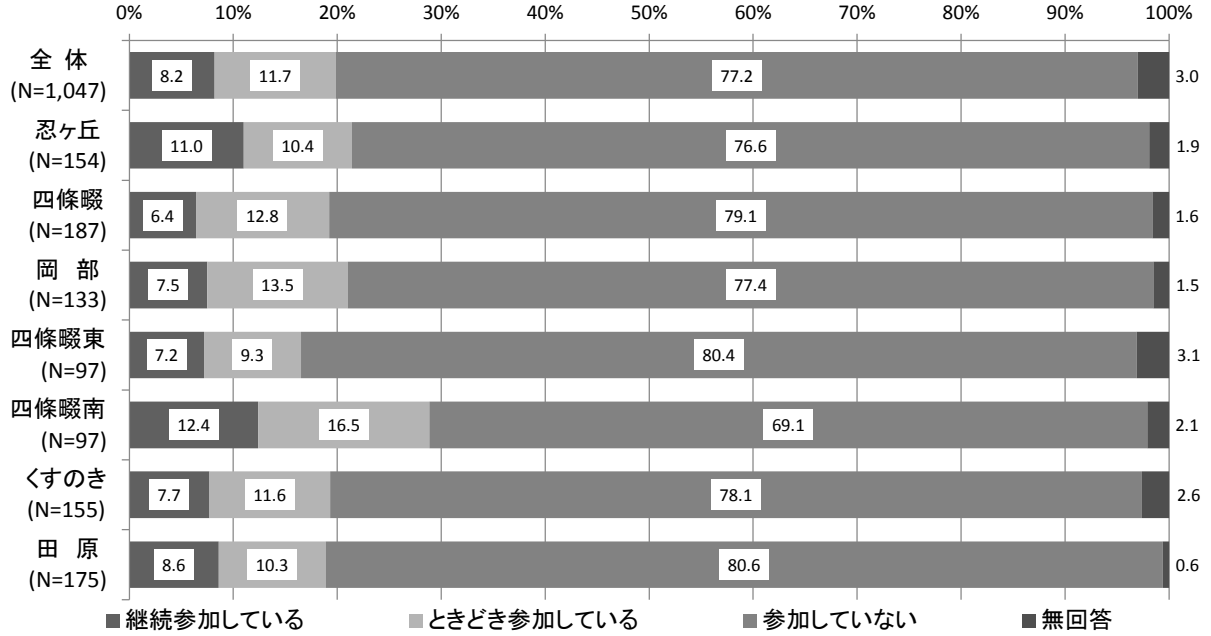
【年齢別にみた特徴】

「継続参加している」が最も高いのは〔50 歳代〕で、「ときどき参加している」を合わせた比率は〔15～19 歳〕が最も高い。



【居住校区別にみた特徴】

「継続参加している」と「ときどき参加している」のどちらの比率も〔四條畷南〕が最も高い。



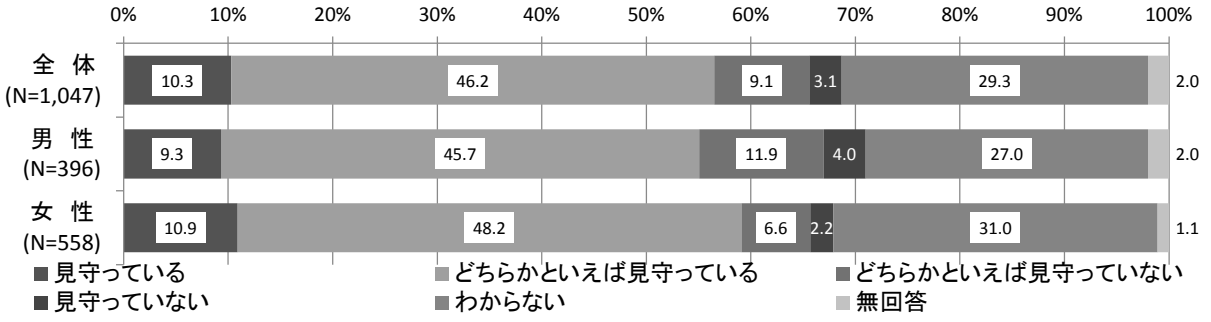
23　子どもたちの見守りについて

【全　体】

「見守っている」が 10.3%、「どちらかといえば見守っている」が 46.2%で 6 割弱が見守りを行っている。

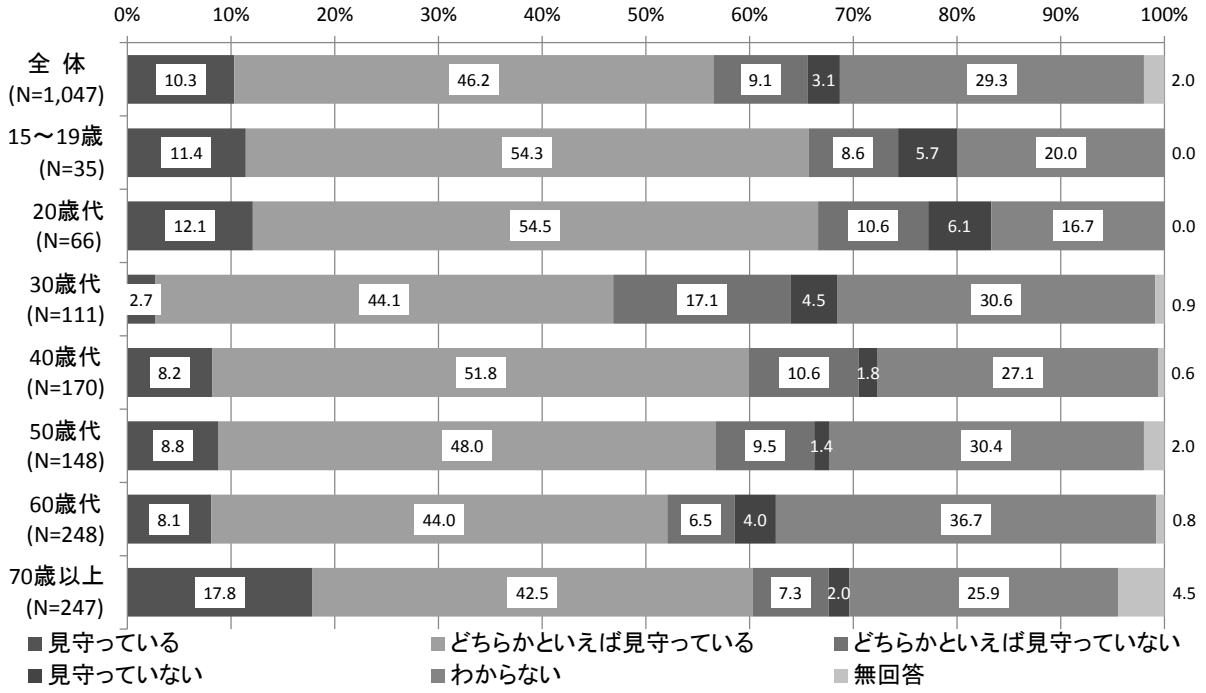
【男女別にみた特徴】

「見守っている」と「どちらかといえば見守っている」を合わせた比率は〔女性〕の方がやや高い。



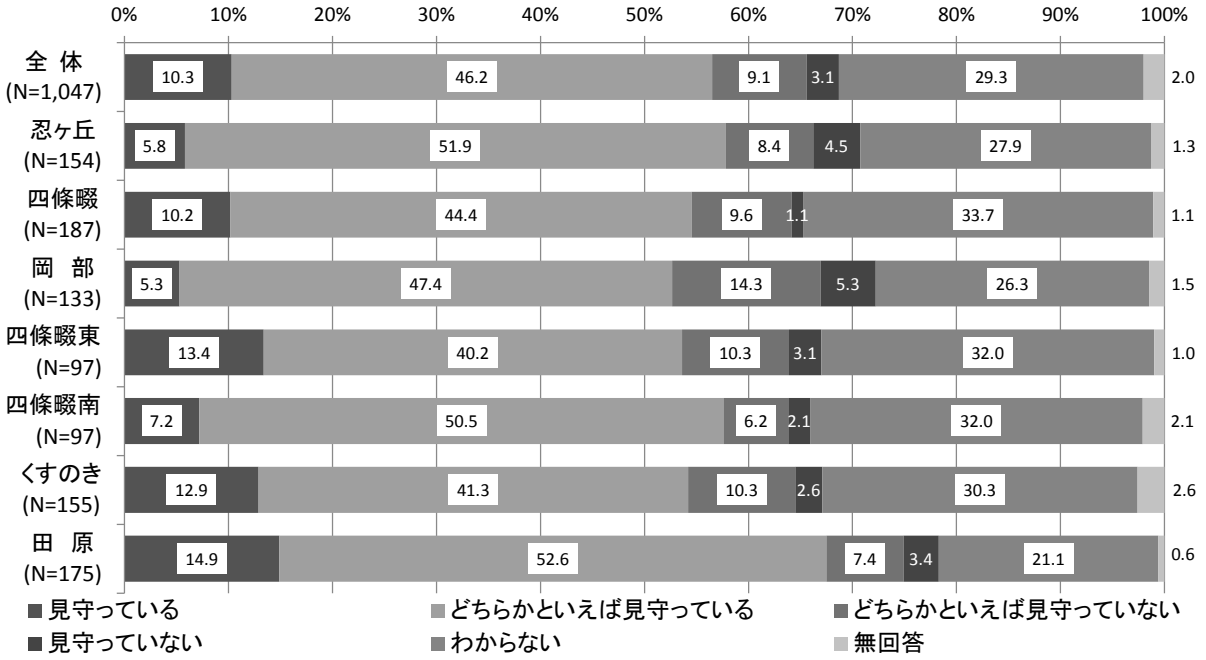
【年齢別にみた特徴】

「見守っている」と「どちらかといえば見守っている」を合わせた比率は〔20 歳代〕〔15～19 歳〕〔70 歳以上〕の順に高く、〔30 歳代〕が最も低い。



【居住校区別にみた特徴】

「見守っている」と「どちらかといえば見守っている」を合わせた比率は〔田原〕が最も高い。



24　身の回りの 10 年間の変化

各項目の結果を整理すると次表のようになる。

【『よくなった』】

「よくなった」と「ややよくなった」の合計を『よくなった』（以後『よくなった』と表す）とすると、最も『よくなった』が高かったのは、「生活環境」が 45.6%、次いで「交通環境」が 45.0%となっている。

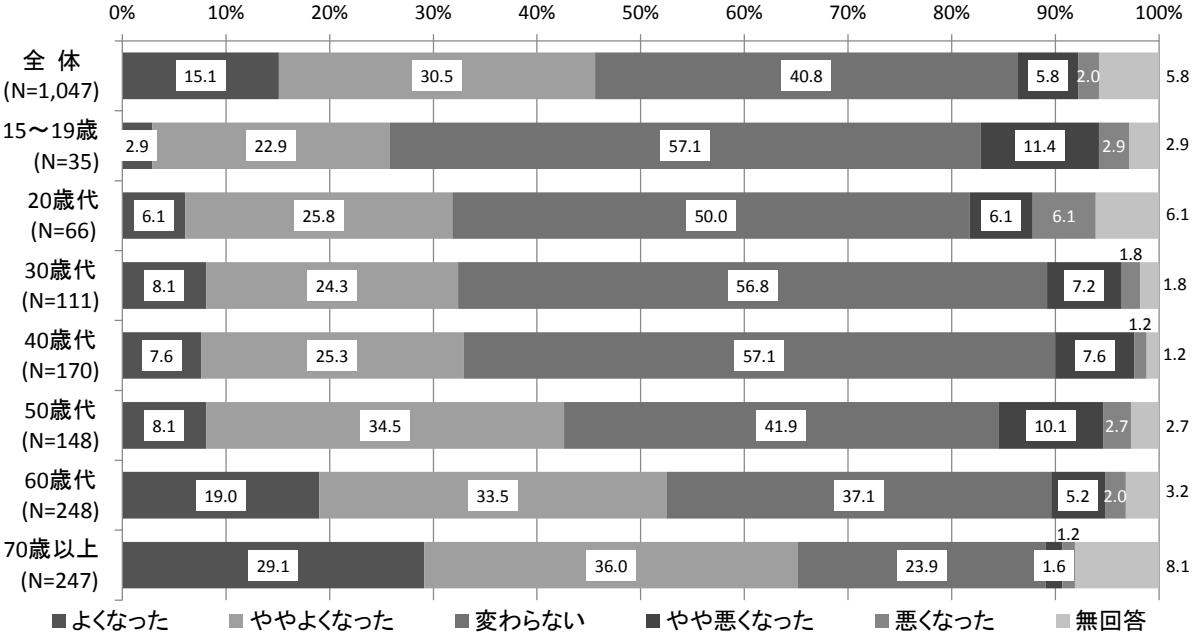
【『悪くなった』】

「悪くなった」と「やや悪くなった」の合計を『悪くなった』（以後『悪くなった』と表す）とすると、最も『悪くなった』が高かったのは、「教育環境」が 12.6%、次いで「産業活動」が 11.3%となっている。

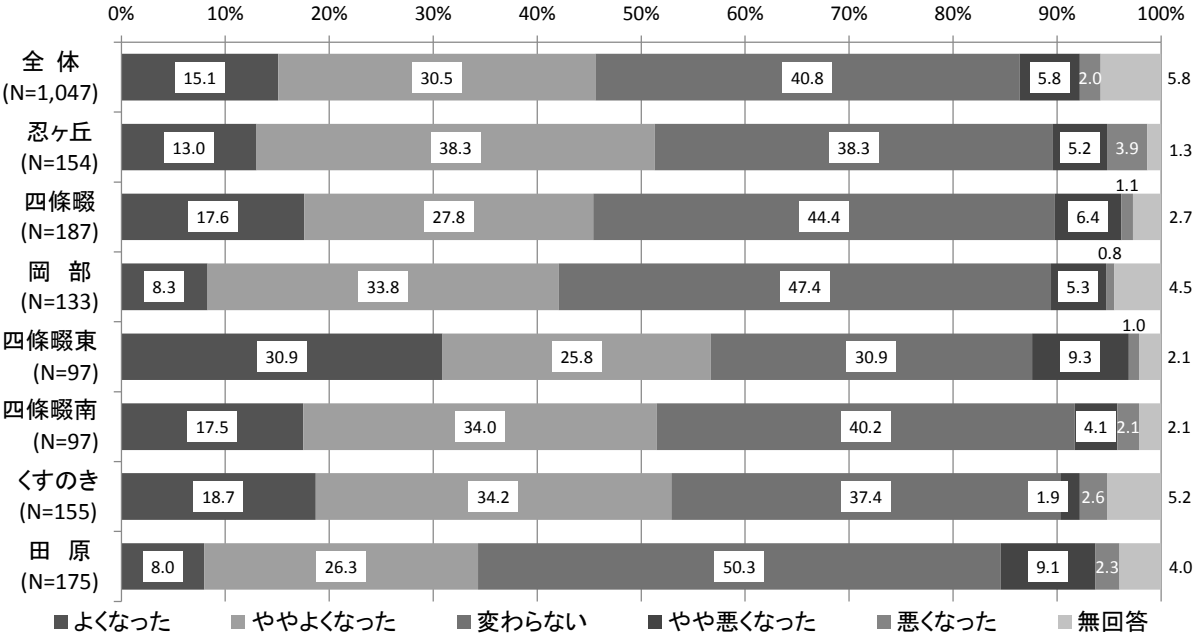
項　目	『よくなった』	『悪くなった』
（1）生活環境（緑地、環境、ごみ・し尿）	45.6%	7.8%
（2）福祉サービス（地域福祉、高齢者、障がい者、児童）	32.3%	2.7%
（3）健康づくりへの意識	30.1%	2.0%
（4）交通環境（道路、公共交通）	45.0%	7.3%
（5）暮らしの安全性（防災、消防、防犯）	24.1%	6.7%
（6）地域の交流活動（コミュニティ活動、文化交流）	21.8%	3.2%
（7）産業活動（商工業、農業、観光）	10.6%	11.3%
（8）教育環境（幼稚園、小中学校）	16.2%	12.6%
（9）生涯学習環境（スポーツ活動、文化活動）	16.1%	4.2%

（1）生活環境

【年齢別】

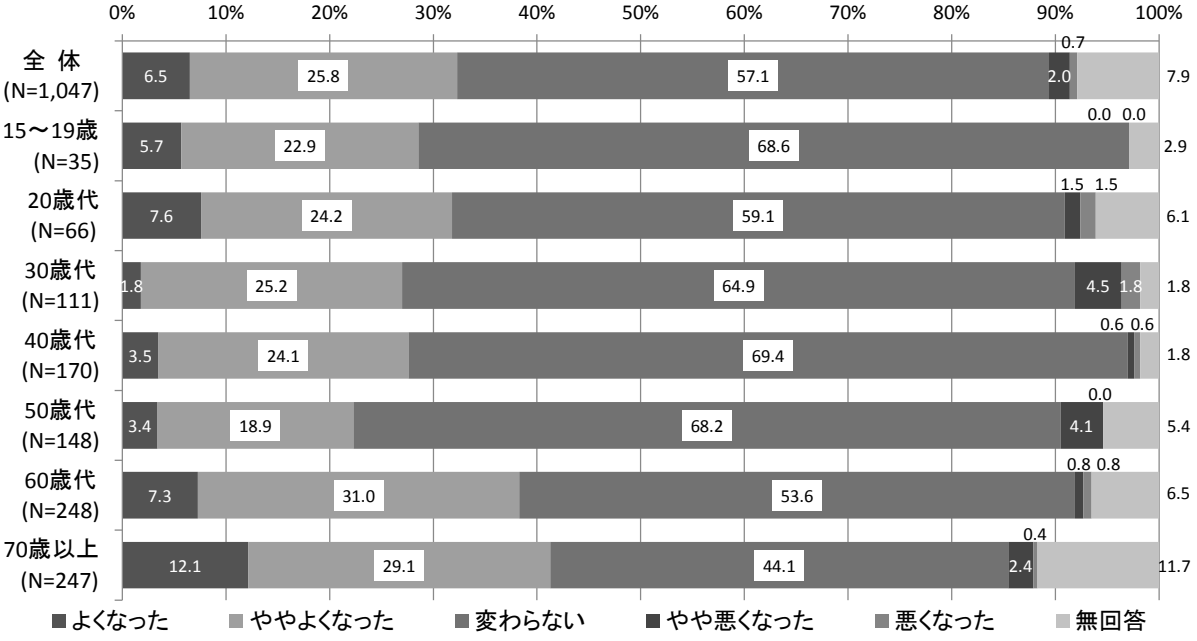


【居住校区別】

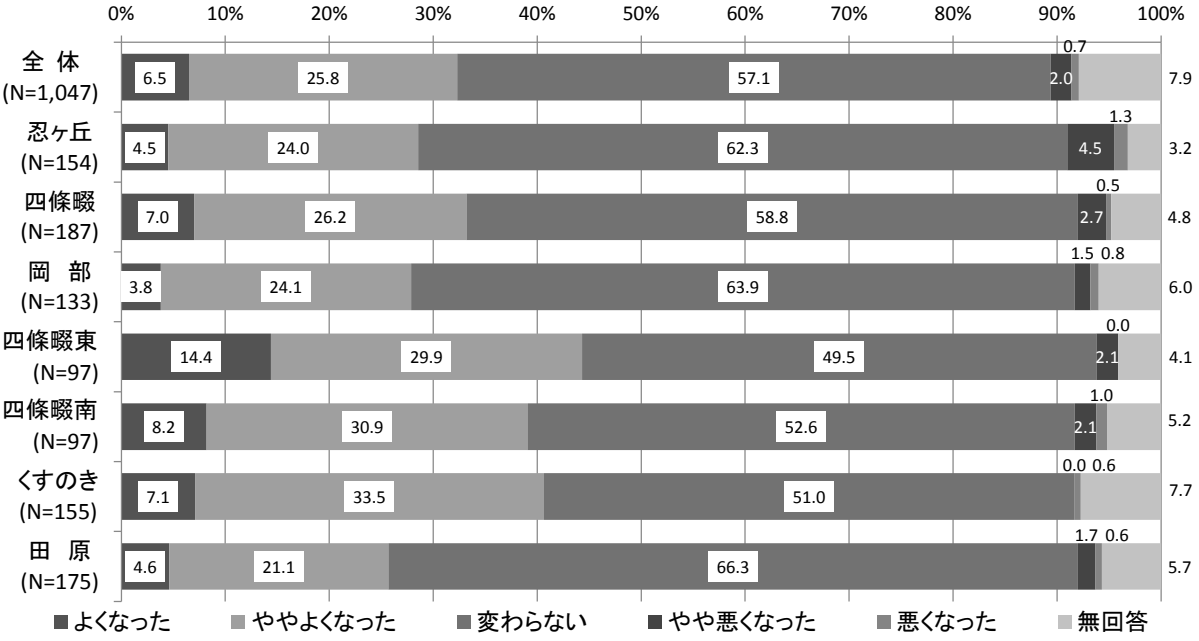


（2）福祉サービス

【年齢別】

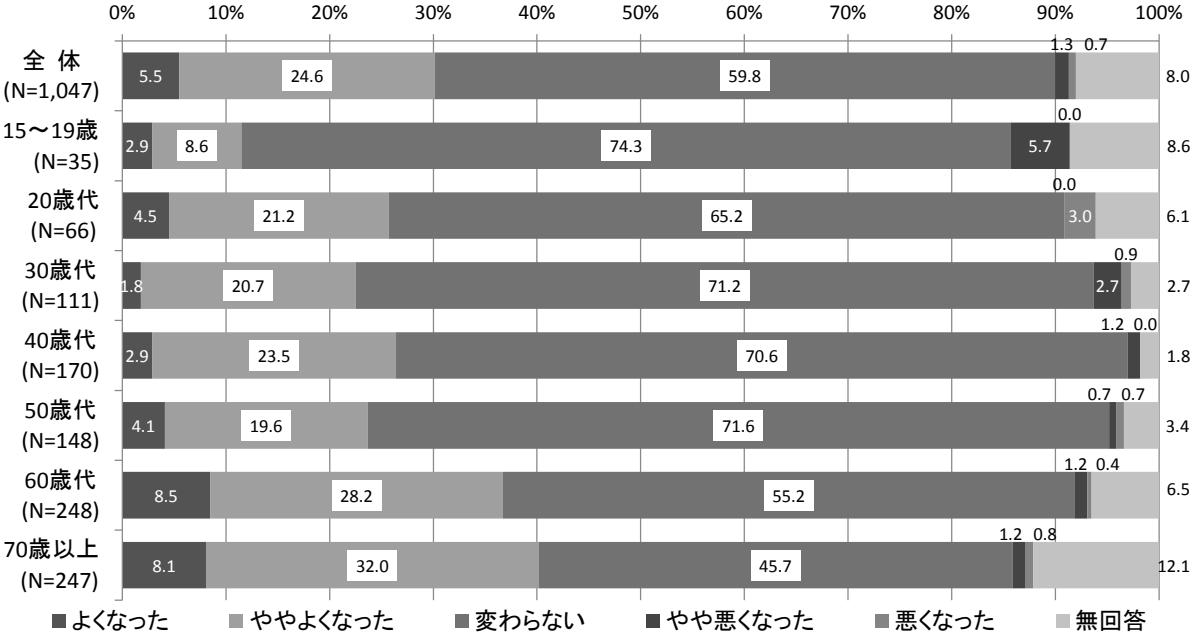


【居住校区別】

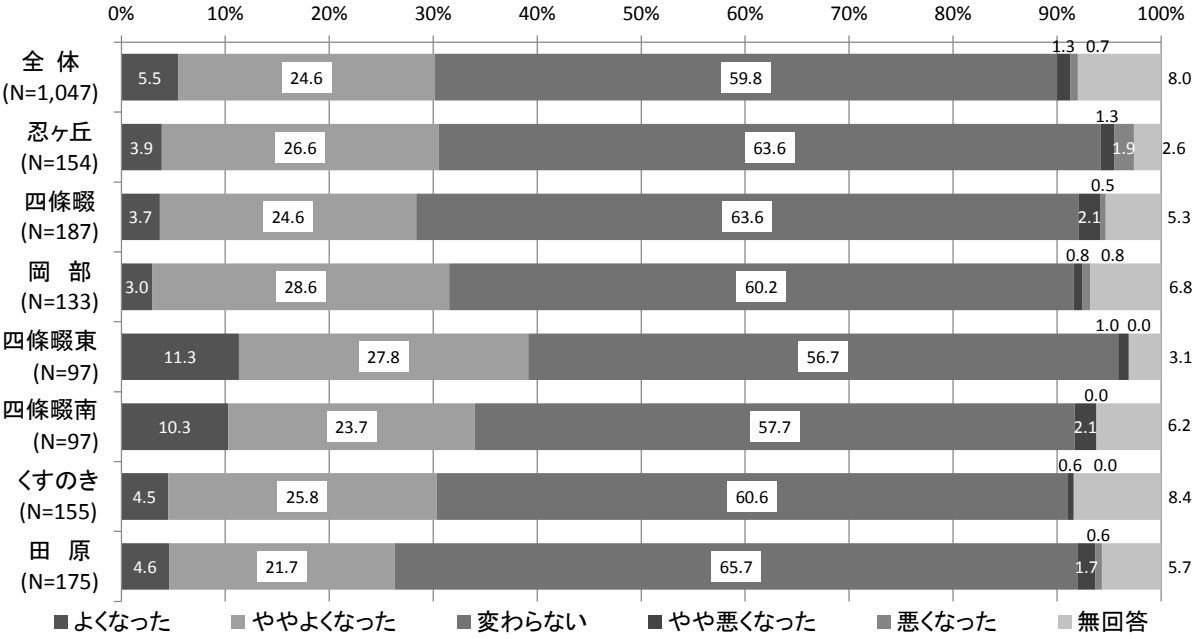


（3）健康づくり意識

【年齢別】

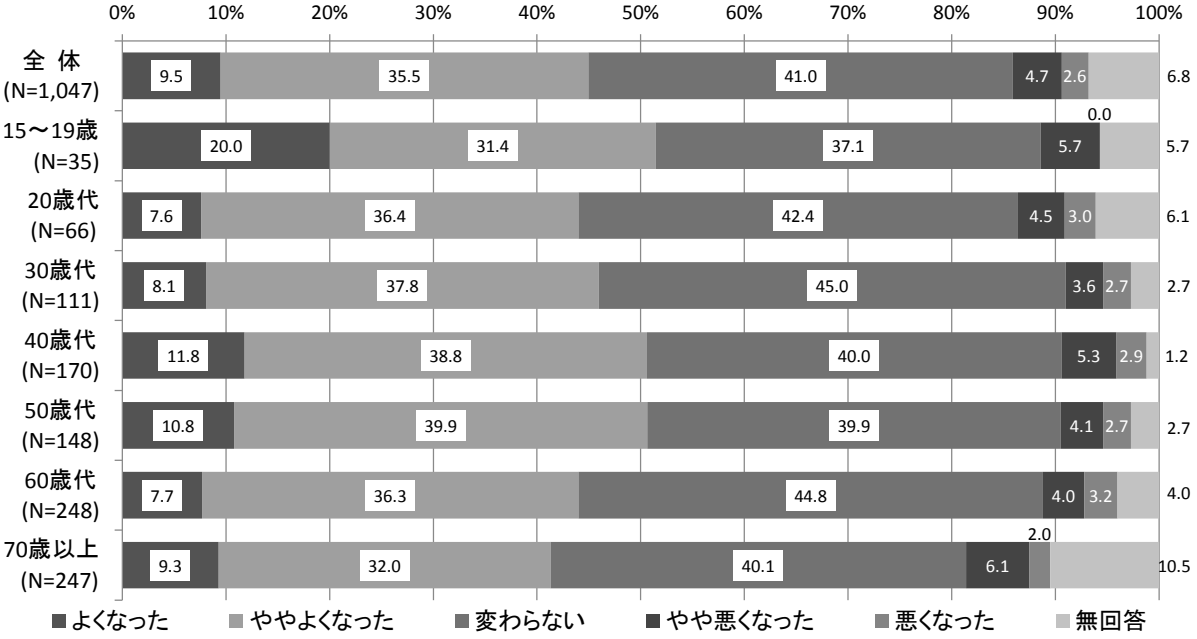


【居住校区別】

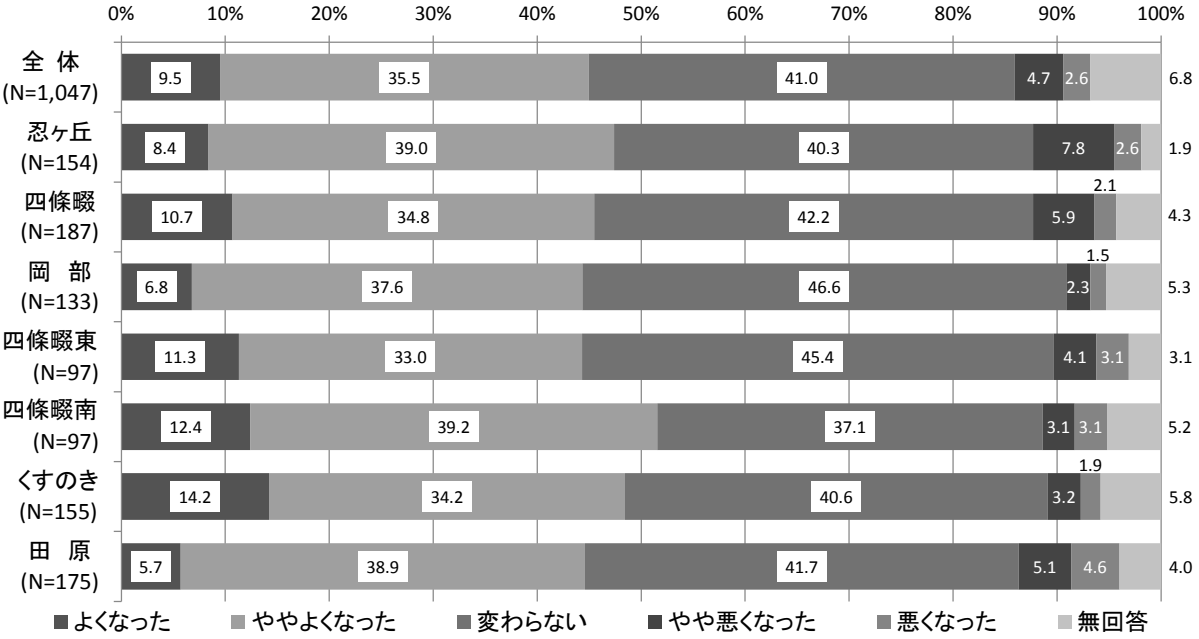


（4）交通環境

【年齢別】

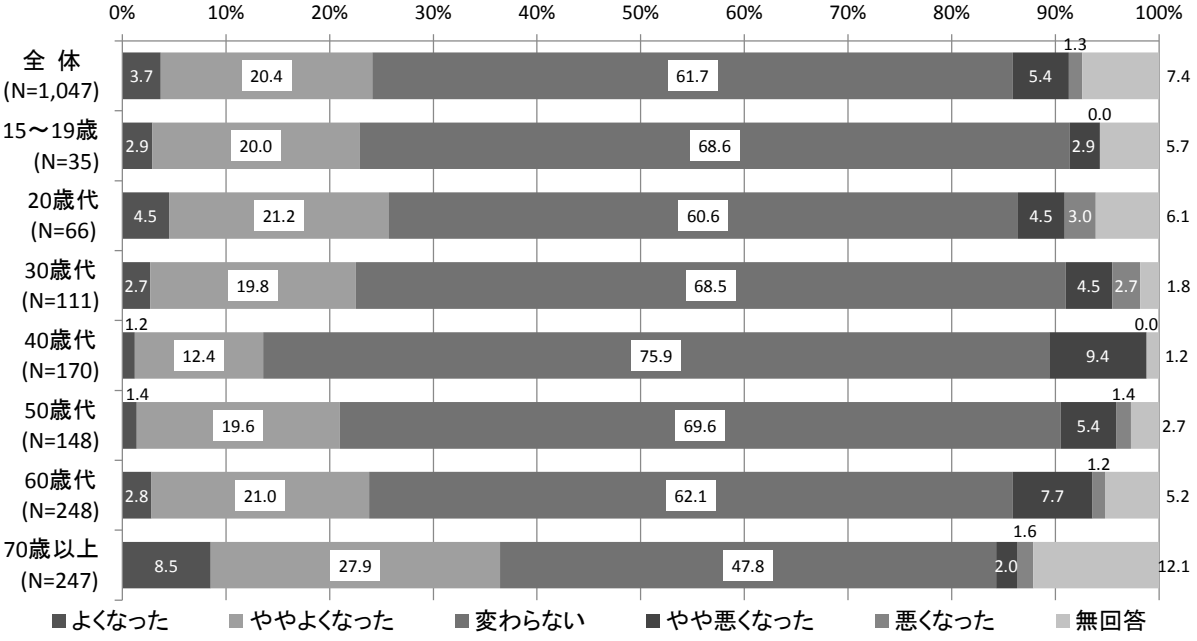


【居住校区別】

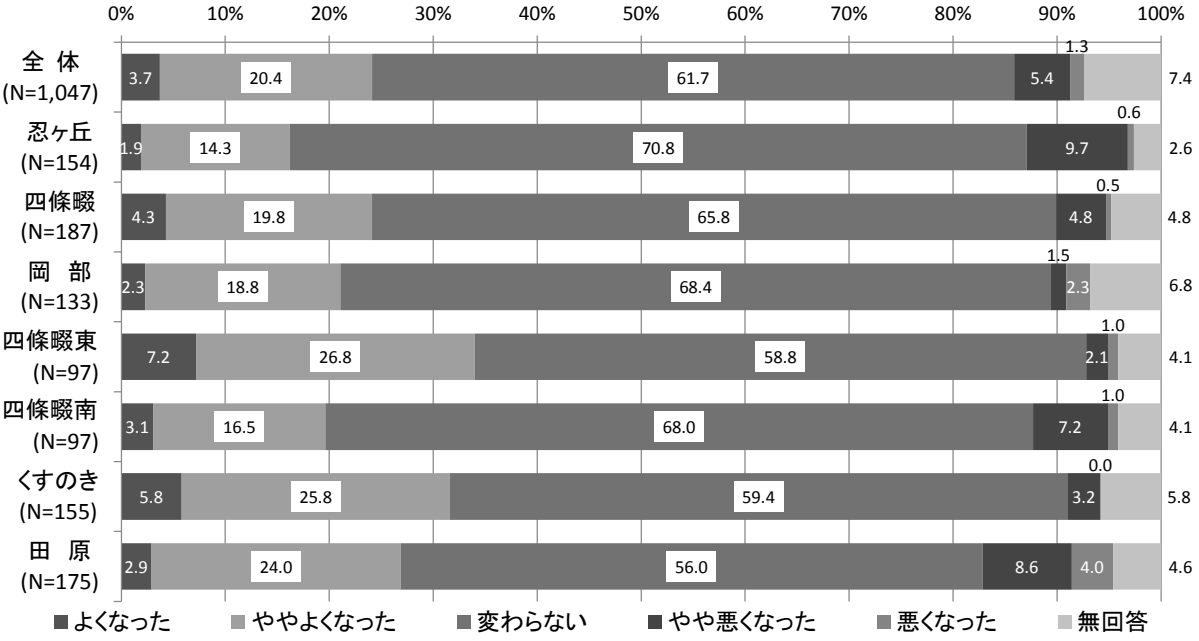


（5）暮らしの安全性

【年齢別】

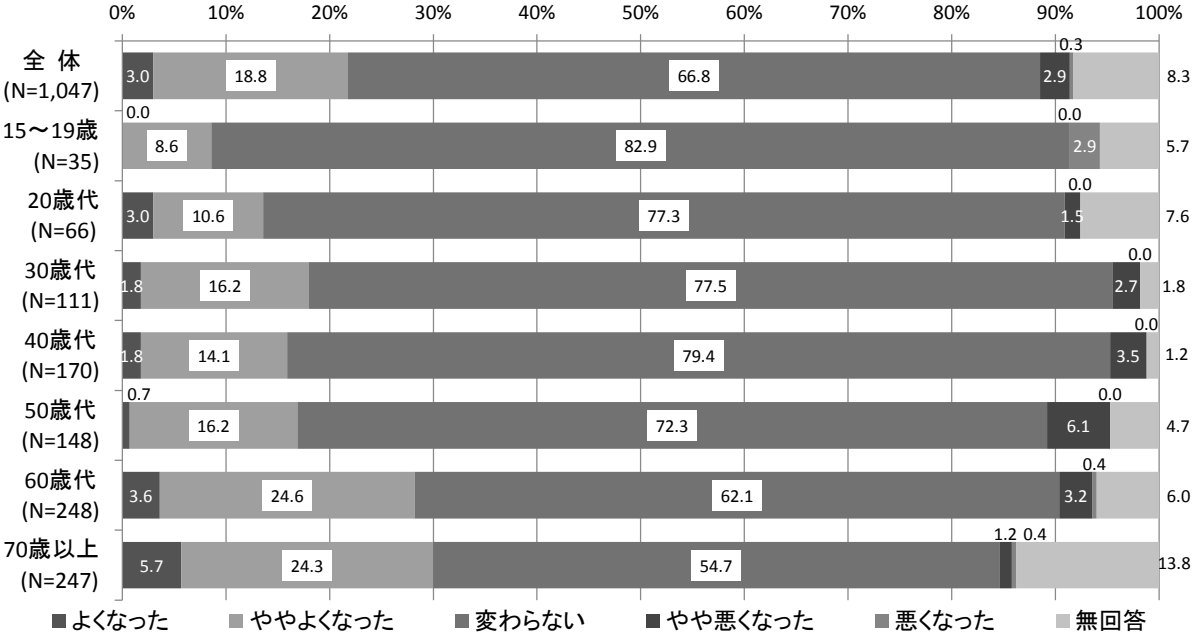


【居住校区別】

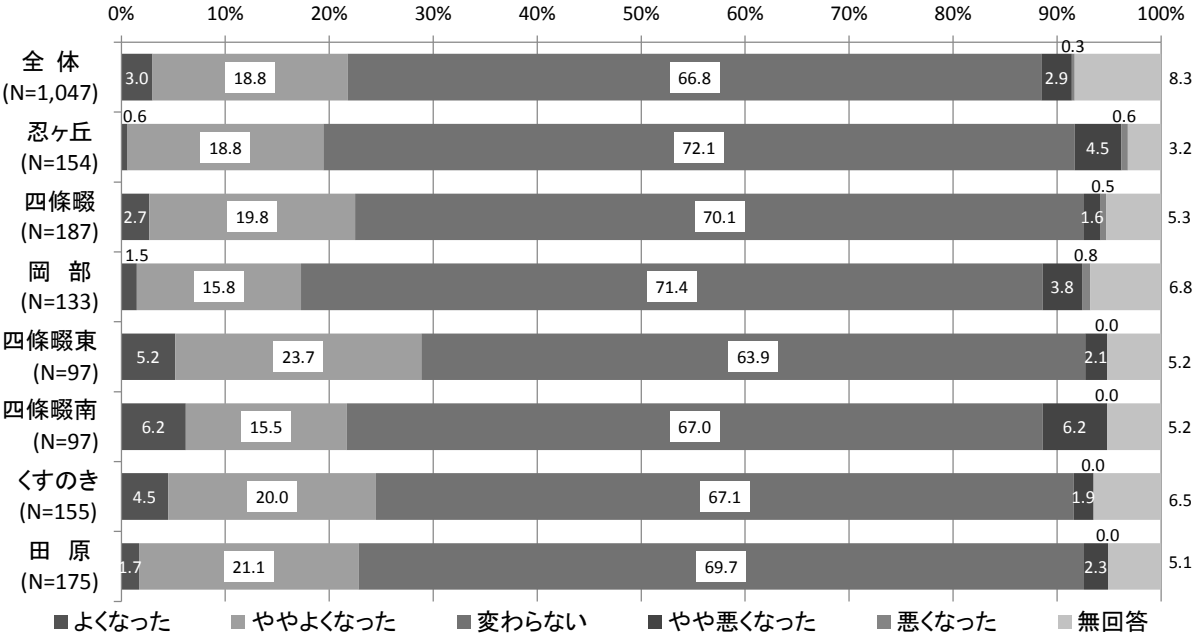


（6）地域の交流活動

【年齢別】

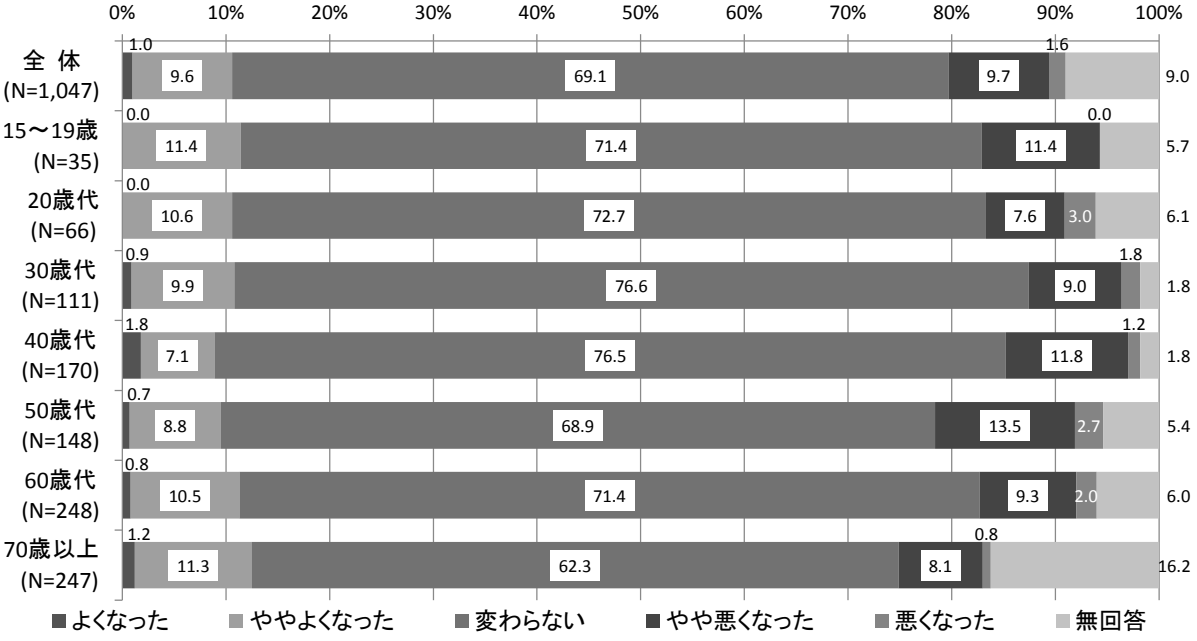


【居住校区別】

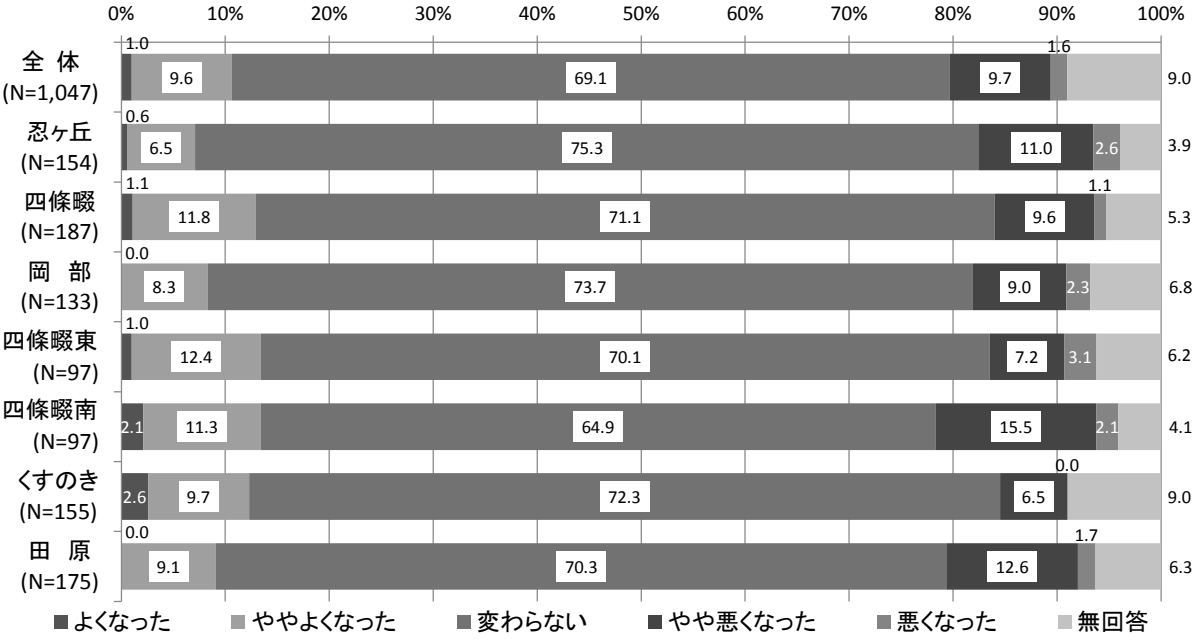


（7）産業活動

【年齢別】

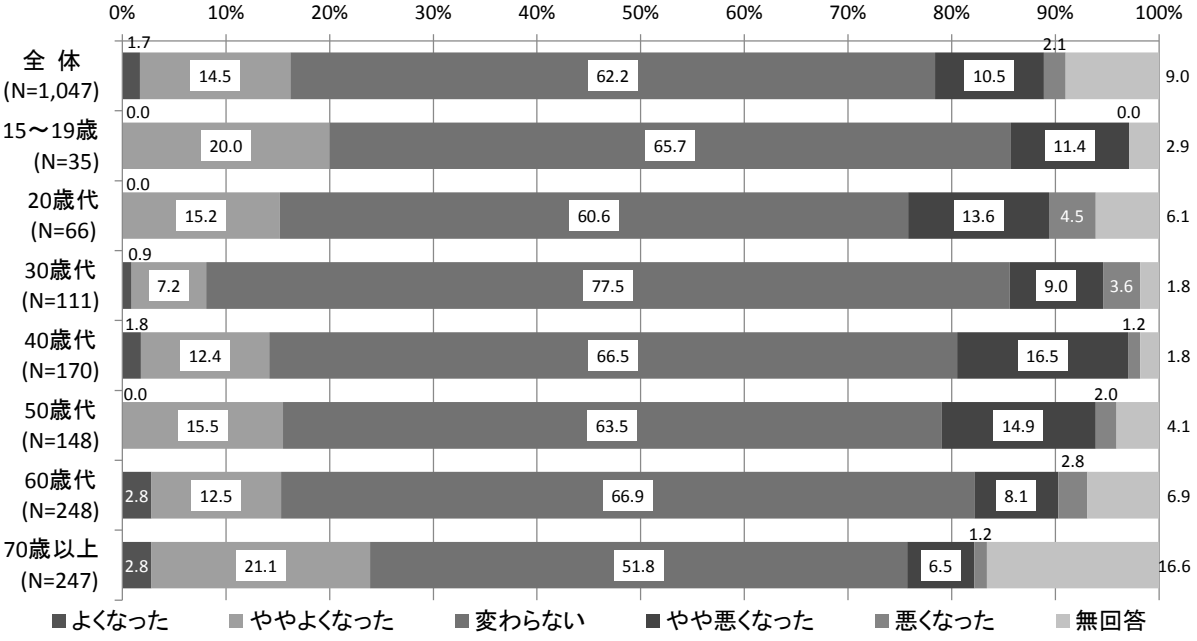


【居住校区別】

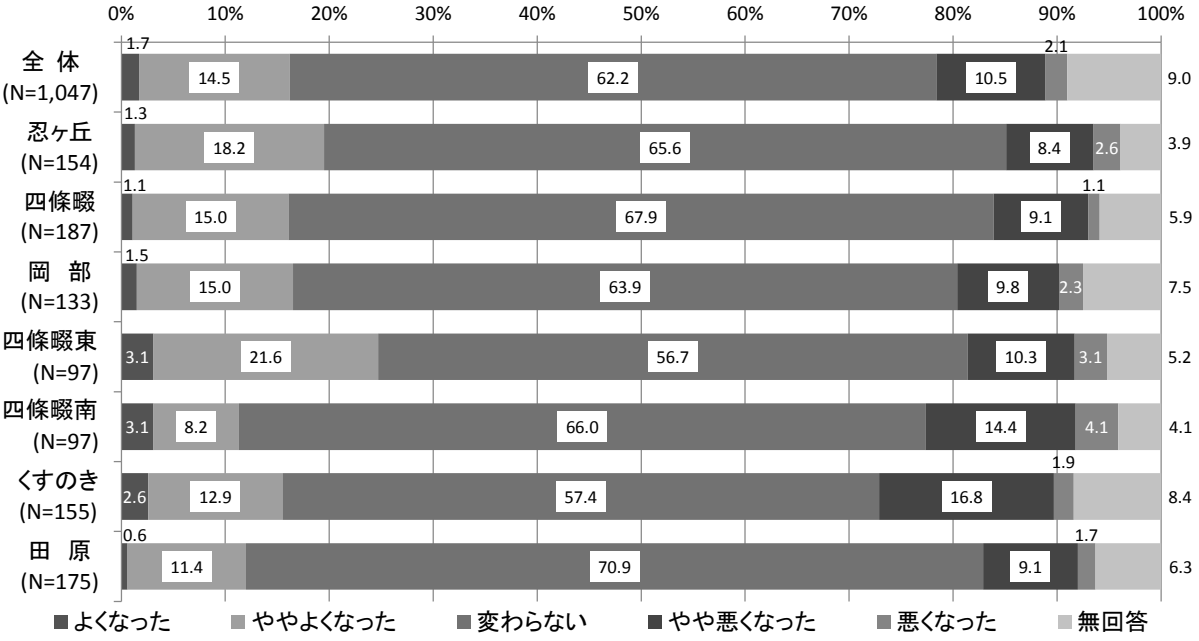


（8）教育環境

【年齢別】

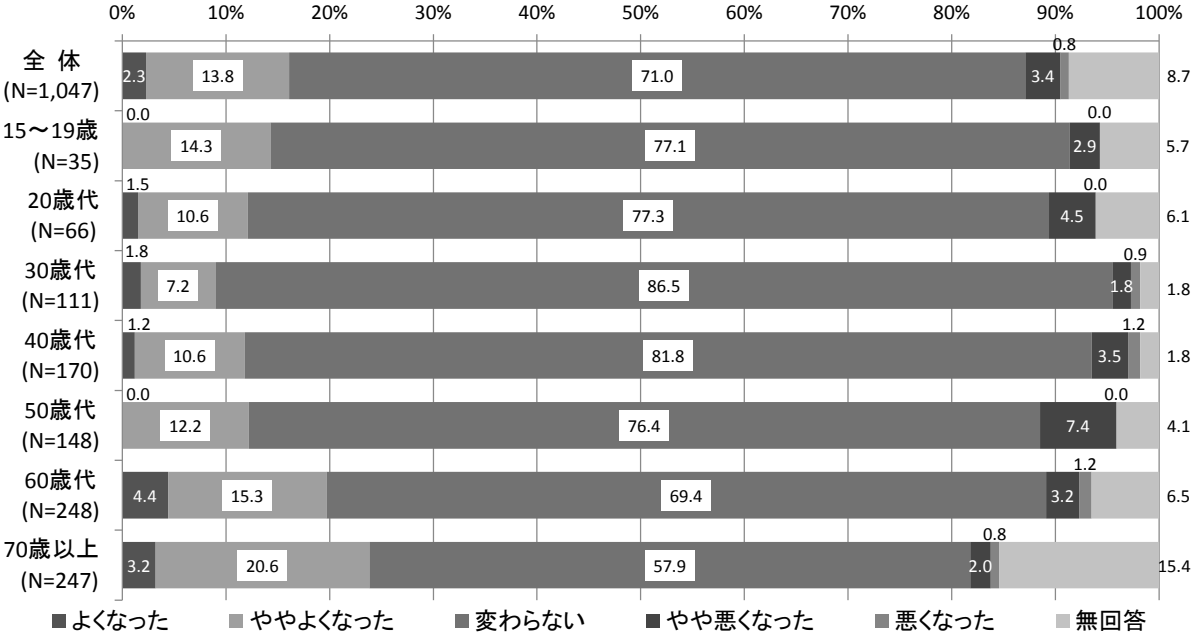


【居住校区別】

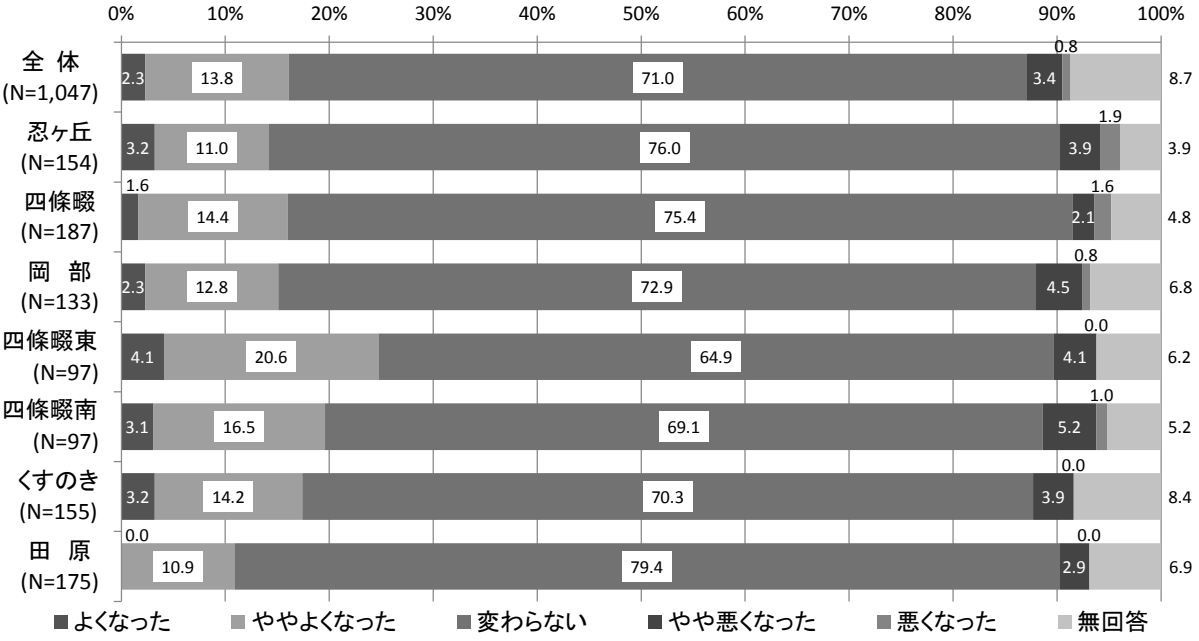


（9）生涯学習環境

【年齢別】



【居住校区別】



Ⅳ 主な自由意見

自由意見を施策ごとに整理すると以下のとおりである。

分野	施策	件数	主な意見（概要抜粋）
自然環境の保全を図り、快適な暮らしを実現する基盤づくり	緑地／道路整備／環境／ごみ･し尿処理／水	７９	・ハイキングコース整備を含めた自然の保全活用に関すること ・公園整備に関すること ・生活道路の整備等に関すること ・犬のフンやまちの美化、マナーに関すること など
賑わいと魅力を創造し、まちを元気にする活力づくり	男女共同参画／コミュニティ／住民参加／産業振興／観光／消費／労働／交通／都市整備	１１１	・ボランティアの活性化に関すること ・住民参加のシステムに関すること ・交通、主にコミュニティバスの利便性に関すること ・歩道等の整備を含めた安全性の確保に関すること ・大型商業施設の誘致を含めた買い物の利便性に関すること ・田原台の住環境に関すること　など
地域が、潤い、安らぎ、生きがいに包まれる環境づくり	人権／防災／消防／防犯／地域福祉／児童福祉／生活支援／高齢者福祉／障がい者福祉／社会保障／保健・衛生	９２	・防災行政無線に関すること ・防犯灯の設置等に関すること ・子育て支援に関すること ・高齢者への配慮に関すること ・子どもの医療費に関すること　など
学び、文化、スポーツから働きかける夢づくり	就学前教育／学校教育／青少年健全育成／文化活動／スポーツ振興	３７	・教育の振興に関すること ・子どもの学力向上に関すること ・学校の統廃合に関すること ・海外の人との交流に関すること ・スポーツ施設の充実に関すること　など
その他		１４５	・職員、議員の資質等に関すること ・市役所内の情報共有に関すること ・市民への情報発信に関すること ・まち全体やまちのイメージに関すること ・アンケートの内容や調査方法等に関すること など

アンケート調査票

第６次四條畷市総合計画策定のための市民意識調査

市民の皆さまには、日ごろから本市の市政運営に対し、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、平成 18 年に策定した第５次総合計画において、まちの将来像に「夢と希望が輝く活力都市　四條畷」を掲げ、市民一人ひとりの人権尊重のもと市民と行政の協働により、計画の推進とその進捗管理を図ってまいりました。

このたび、第５次総合計画が平成 27 年度末で計画期間の終了を迎えることから、平成 28 年度を初年度にまちづくりの方針を定める第６次総合計画を策定することとしています。

策定に際しては、市民と行政が知恵をしぼりながら、市民の皆さまが誇れるまち、住みよいまちの実現をめざし、より良い計画づくりに努めてまいりたいと考えております。

本アンケートは、第６次総合計画の策定にあたり、市民方々からまちづくり全般についてのご意見をお聞かせいただくために実施するものです。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

平成 26 年６月

四條畷市長　土井　一憲

アンケートに回答いただき、同封の返信用封筒に入れて、

６月 25 日（水）までにご返送ください。（切手を貼る必要はありません）

※本調査は、無作為に抽出した 15 歳以上の市民 3,000 人を対象に実施しています。

また、調査の結果はまちづくりの統計資料としてのみ活用させていただきます。

●ご記入にあたってのお願い●

1　回答は、あて名のご本人にお願いします。
　なお、病気などやむを得ない事情によってご本人に回答いただけない場合は、同居しているご家族に代筆していただいても結構です。

2　回答は、選択肢の番号に「○」をつけてください。
　設問によっては、回答が「○は１つ」、「○は３つまで」などと限定されている場合があります。

3　「その他」にあてはまる場合は、（　）内にその内容を具体的にご記入ください。

4　設問によっては、回答いただく必要がない場合があります。

5　返信用封筒に、住所・名前をご記入いただく必要はありません。

●問い合わせ先●

四條畷市政策企画部企画調整課
TEL：072(877)2121（内線 261）　　FAX：072(877)2074
TEL：0743(71)0330　※田原方面にお住まいの方
E-mail：kikaku@city.shijonawate.lg.jp

◆ 四條畷市のまちづくりについて

問１　四條畷市は住みよいまちですか。（○は１つ）

１　住みよい	２　まあまあ住みよい
３　やや住みにくい	４　住みにくい
５　わからない	

問 1-1　前問で「5　わからない」以外を答えた方にお聞きします。
そう感じる理由について教えてください。

具体的に（　　）

問２　現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

１　住み続けたい	２　市内で他に移りたい
３　市外へ移りたい（市区町村名：　　）	４　わからない

問 2-1　前問で「4　わからない」以外を答えた方にお聞きします。
そう感じる理由について教えてください。

具体的に（　　）

問３　四條畷らしさをイメージする時、どのような言葉が浮かびますか？　単語または箇条書きでお願いします。（例：山・川・文化・四條畷神社など）（○は１つ）

１　具体的に（　　）
２　特にない

問４　四條畷市の好きなところ・誇れるところはどれですか。（○は３つまで）

１　交通の便利さ	２　通勤・通学の便利さ
３　まちに歴史や伝統が感じられる	４　自然環境がよい
５　病院などの医療施設が充実している	６　保健・福祉施設やサービスが充実している
７　文化・スポーツ施設が充実している	８　まちのイメージがよい
９　人とのつながりがある	10　子育て環境がよい
11　買い物に便利	12　防災の体制が整っている
13　防犯の体制が整っている	14　余暇（よか）を楽しむ場所が充実している
15　住民活動が活発に行われている	16　住環境がよい
17　行政のサービスがよい	18　その他（　　）

問５　四條畷市のよくないところ・改善すべきところはどれですか。（○は３つまで）

１　交通の不便さ	２　通勤・通学の不便さ
３　まちに歴史や伝統が感じられない	４　自然環境がよくない
５　病院などの医療施設が不足している	６　保健・福祉施設やサービスが不足している
７　文化・スポーツ施設が不足している	８　まちのイメージがよくない
９　人とのつながりがうすい	10　子育て環境がよくない
11　買い物に不便	12　防災の体制が不十分
13　防犯の体制が不十分	14　余暇を楽しむ場所が少ない
15　住民活動が活発ではない	16　住環境がよくない
17　行政のサービスがよくない	18　その他（　　）

問６　あなたは、四條畷市が将来どのような特色をもったまちになることを期待しますか。
（○は３つまで）

１　人と人が心ふれあうコミュニティ豊かなまち	２　子育てがしやすいまち
３　商工業が盛んな活力あるまち	４　史跡や文化財、伝統などを大切にする歴史のまち
５　教育・文化活動の盛んなまち	６　大学などを生かした学術研究のまち
７　自然環境に恵まれた住み心地のよいまち	８　住環境が整備された暮らしよいまち
９　スポーツや余暇活動の盛んなまち	10　福祉・医療体制が整った安心して暮らせるまち
11　交通安全施設や防犯・防災体制の整った安全なまち	12　その他（　　）
13　わからない	

問７　四條畷市を活性化するためには、どのような地域資源を活かしていけばよいと考えますか。
（○は１つ）

１　地域の特産品	２　ゆかりのある著名人
３　森林や花などの自然資源	４　史跡などの歴史遺産
５　祭りなどの伝統文化	６　市外の人材（四條畷に在勤、在学の人など）
７　その他（　　）	８　わからない

問８　これからの社会変革への対応は重要な課題であると考えますが、以下の項目の中で、特に重要かつ優先的に対応すべきと考えるものは何ですか。（○は３つまで）

１　少子高齢化	２　地球環境・エネルギー問題
３　地域福祉の充実	４　防災など安全・安心な都市整備
５　国際社会・社会経済活動の広域化	６　情報化
７　地域経済の活性化	８　人権意識の高揚、男女共同参画の社会づくり
９　人を育む生涯学習の充実	10　小中学校における学力向上等の充実
11　その他（　　）	12　わからない

◆ 自然環境の保全を図り、快適な暮らしを実現する基盤づくりについて

問９　現在、四條畷市が取り組んでいる施策、または取り組もうとしている施策について、その重要度と現状の満足度の両方をお聞きします。（項目ごとに○は１つずつ）

	重要度					現状の満足度				
	重要	やや重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満
緑地　自然緑地や公園の保全、市街地緑化の推進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
道路整備　幹線（かんせん）道路や生活道路の整備など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境　美化活動の推進や公害防止対策など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ごみ・し尿処理　ごみの適正処理や減量化の推進、し尿処理の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
水　良質な水の安定供給や下水道の管理、河川の保全など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 10　あなたの日頃の行動や活動についてお聞きします。（項目ごとに○は１つ）

	意識している	少しは意識している	どちらともいえない	あまり意識していない	全く意識していない
部屋の温度設定（夏は 28℃以上、冬は 20 度以下）の適正化など省エネに協力する	1	2	3	4	5
ごみの分別収集や地域の資源回収に協力する	1	2	3	4	5
地域の美化活動に参加する	1	2	3	4	5

問 11　地球環境問題の解決に向けて、世界では二酸化炭素（CO2）の削減や石油依存度の低減への取組みが進められています。個人レベルでの取組みとしては、太陽光発電など石油以外の再生可能エネルギーを活用した機器の設置などが挙げられますが、あなたの今後の考え方として賛同できるものはどれですか。（○は１つ）

1　個人レベルでも太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に取り組んでいきたい	2　機会があれば再生可能エネルギーの電力を使いたい
3　特に関心はない	4　その他（　　）

問 12　前問で「3　特に関心はない」以外を答えた方にお聞きします。
環境の取組みで期待することはなんですか。（○は１つ）

1　災害時における自立分散型電源（※）の確立	2　再生可能エネルギーの自給率の向上
3　環境産業による雇用の創出	4　その他（　　）

※自立分散型電源
災害時などの電力ネットワーク停止時にもある程度の電源供給が期待できる電力供給の一形態。
例：家庭用燃料電池（エネファーム）等。

◆ 賑わいと魅力を創造し、まちを元気にする活力づくりについて

問 13　現在、四條畷市が取り組んでいる施策、または取り組もうとしている施策について、その重要度と現状の満足度の両方をお聞きします。（項目ごとに○は１つずつ）

	重要度					現状の満足度				
	重要	やや重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満
男女共同参画　男女共同参画社会の推進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
コミュニティ　コミュニティ活動の推進や交流機会の創出など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
住民参加　住民参加の促進や情報公開など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業振興　商工業及び農業の発展など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
観光　地域観光施策の展開など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
消費　自立した消費者の育成など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
労働　雇用の促進や福利厚生の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
交通　公共交通の充実や交通安全対策など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市整備　計画的な土地利用や市街地整備など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 14　あなたは、本市が、みんなでつくる協働のまちづくり指針（※）を策定し、協働のまちづくりを進めていることを知っていますか。（○は１つ）

1　知っている	2　聞いたことはある
3　知らない	

※みんなでつくる協働のまちづくり指針
市民と行政が協働でまちづくりを行うための基本的なルールや考え方などをまとめたもの。本市ではこの指針をもとに様々な施策を実施しています。

問 15　四條畷市で今後も安心して生活するためには、どのような組織が中心となって身近な地域の課題解決を図るべきだと思いますか。（○は３つまで）

１　一人ひとりや家族	２　隣近所
３　自治会や婦人会、老人クラブ等の地域団体	４　子ども会やＰＴＡ、青少年指導員など
５　民生委員・児童委員や地区福祉委員	６　社会福祉協議会
７　防犯委員会や自主防災組織	８　ＮＰＯやボランティア団体
９　企業や商工会、農協などの事業者	10　行政
11　その他（　　）	

問 16　あなたは、市民と行政が協力して行う取組みに、これまで参加や協力をされたことがありますか。参加や協力をされていない場合は、今後の可能性をお答えください。

（項目ごとに○は１つずつ）

	現在の状況		今後の可能性		
	参加・協力している	参加・協力していない	参加・協力できる	参加・協力できない	わからない
市が実施するアンケートへの協力や市の施策に対して提言を行う	1	2	1	2	3
市が公募する検討委員会や説明会、懇談会に参加する	1	2	1	2	3
市が実施するイベントなどにスタッフとして参加する	1	2	1	2	3
生涯学習などの講座で、講師・補助員等にボランティアとして参加する	1	2	1	2	3
非営利の活動団体で公共のために活動する（地域・自治会の活動やＮＰＯ活動など）	1	2	1	2	3
子ども安全見守り隊や子ども110番の家など学校の安全対策に協力する	1	2	1	2	3
青少年の健全育成など教育に関する取組みに協力する	1	2	1	2	3
高齢者・障がい者などへの支援に関する取組みに協力する	1	2	1	2	3
子育て支援に関する取組みに協力する	1	2	1	2	3
環境に配慮した取組み（古紙等の資源回収、市が主催する環境イベントへの参加、節電など）を行う	1	2	1	2	3
公園・道路・駅周辺など公共施設の環境美化活動に参加する	1	2	1	2	3
地域の防災活動に参加する	1	2	1	2	3
地域の防犯活動に参加する	1	2	1	2	3

問 17　あなたは、地産地消（ちさんちしょう）を意識し、地場野菜などの市内で生産した農作物を購入していますか。（○は１つ）

１　積極的に購入している	２　購入することがある
３　購入したことがない	４　購入したいが、方法がわからない

問 18　　あなたの知人や友人を案内したいと思う市内の観光地がありますか。（○は１つ）

１　ある（具体的に　　）	２　ない

◆　地域が、潤い、安らぎ、生きがいに包まれる環境づくりについて

問 19　現在、四條畷市が取り組んでいる施策、または取り組もうとしている施策について、その重要度と現状の満足度の両方をお聞きします。（項目ごとに○は１つずつ）

	重要度					現状の満足度				
	重要	やや重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満
人権　基本的人権の尊重や平和意識の高揚など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
防災　災害対策の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
消防　消防力や火災予防活動の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
防犯　防犯活動の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域福祉　地域福祉活動の推進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
児童福祉　福祉サービスの充実や仕事と子育ての両立支援など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活支援　相談窓口の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
高齢者福祉　福祉サービスの充実や社会参加の促進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
障がい者福祉　福祉サービスの充実や社会参加の促進、就労支援など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
社会保障　生活保護の適正運用や国民健康保険制度の運営など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
保健・衛生　保健事業の推進や医療体制の充実、感染症対策など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 20　あなたの日頃の行動や活動についてお聞きします。（項目ごとに○は１つ）

	意識している	少しは意識している	どちらともいえない	あまり意識していない	全く意識していない
日頃から災害時の備えや避難所の位置などについて注意する	1	2	3	4	5
自分の住まいなどの防犯体制に気を配る	1	2	3	4	5
あなたや家族の健康管理に心がける	1	2	3	4	5
高齢者や障がい者が困っているのを見かけたら、声を掛ける	1	2	3	4	5
食育（しょくいく）に関心を持って生活する	1	2	3	4	5

問 21　四條畷市は子育てがしやすいまちですか。（○は１つ）

1　子育てがしやすいまちだ	2　どちらかといえば子育てがしやすいまちだ
3　どちらかといえば子育てがしやすいまちではない	4　子育てがしやすいまちではない
5　わからない	

問 21-1　前問で「5　わからない」以外を答えた方にお聞きします。
そう感じる理由について教えてください。

具体的に（　　）

問 22　地域の中に、市民が高齢者や障がい者、子どもなどを見守る仕組みやネットワークがあることを知っていますか。（○は１つ）

1　よく知っている	2　聞いたことはある
3　知らない	

◆ 学び、文化、スポーツから働きかける夢づくりについて

問 23　現在、四條畷市が取り組んでいる施策、または取り組もうとしている施策について、その重要度と現状の満足度の両方をお聞きします。（項目ごとに○は１つずつ）

	重要度					現状の満足度				
	重要	やや重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満
就学前教育　幼稚園や保育所等での就学前教育の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
学校教育　人権教育や基礎学力の向上、教育環境の整備など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
青少年健全育成　相談・支援体制の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文化活動　施設や文化活動の充実、歴史的な遺産の保護と活用など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
スポーツ振興　施設やスポーツイベントの充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 24　あなたの日頃の行動や活動についてお聞きします。（項目ごとに○は１つ）

	継続して参加	ときどき参加	参加していない
生涯学習（習い事、講座・講習会など）に参加している	1	2	3
四條畷市の歴史や文化を次世代に引き継ぐ活動に参加している	1	2	3
スポーツ活動に参加している	1	2	3

問 25　四條畷市では、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちの成長を見守っていると思いますか。（○は１つ）

1　見守っている	2　どちらかといえば見守っている
3　どちらかといえば見守っていない	4　見守っていない
5　わからない	

◆ 身の周りの 10 年間の変化についておたずねします（第 5 次総合計画関連）

問 26　身の周りの 10 年間の変化についてお聞きします。
（10 年前に本市に居住していなかった人は、居住当初からの変化についてお答えください）
※居住 1 年未満の方についてはお答えいただかなくて結構です。（○は 1 つ）

	よくなった	ややよくなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった
生活環境（緑地、環境、ごみ・し尿）	1	2	3	4	5
福祉サービス（地域福祉、高齢者、障がい者、児童）	1	2	3	4	5
健康づくりへの意識	1	2	3	4	5
交通環境（道路、公共交通）	1	2	3	4	5
暮らしの安全性（防災、消防、防犯）	1	2	3	4	5
地域の交流活動（コミュニティ活動、文化交流）	1	2	3	4	5
産業活動（商工業、農業、観光）	1	2	3	4	5
教育環境（幼稚園、小中学校）	1	2	3	4	5
生涯学習環境（スポーツ活動、文化活動）	1	2	3	4	5

問 27　前問で「3　変わらない」以外を答えた方にお聞きします。
そう感じる理由について教えてください。

生活環境	
福祉サービス	
健康づくりへの意識	
交通環境	
暮らしの安全性	
地域の交流活動	
産業活動	
教育環境	
生涯学習環境	

◆ あなたご自身のことについておたずねします

（○は１つ）

性別	1　男性　　2　女性
年齢	1　15～19 歳　　2　20～29 歳　　3　30～39 歳　　4　40～49 歳 5　50～59 歳　　6　60～69 歳　　7　70～79 歳　　8　80 歳以上
家族構成	1　単身世帯（ひとり暮らし） 2　１世代世帯（夫婦だけ） 3　２世代世帯（親と子）→→→→→→18 歳未満の子どもの人数（　　）人 4　３世代世帯（親と子と孫）→→→→18 歳未満の子どもの人数（　　）人 5　その他
職業 （兼業の方は主なもの）	1　会社員、会社役員　　2　公務員、団体職員 3　自営業（商業・工業・サービス業）　4　農林業 5　自由業（医師・弁護士・芸術家など）6　学生、生徒 7　主婦（夫）などの家事従業者　　8　内職・パート・アルバイト 9　無職　　10　その他（　　）
住居	1　持ち家（一戸建て）　　2　持ち家（マンション） 3　公営住宅　　4　民間の借家（一戸建て） 5　民間の借家（マンション・アパートなど）　6　社宅・官舎・寮 7　その他（　　）
市内での居住年数	1　３年未満　　2　３年以上～5 年未満 3　５年以上～10 年未満　　4　10 年以上～20 年未満 5　20 年以上
現在お住まいの校区	1　忍ヶ丘小学校区　　2　四條畷小学校区　　3　岡部小学校区 4　四條畷東小学校区　　5　四條畷南小学校区　　6　くすのき小学校区 7　田原小学校区

小学校区	地　区
忍ヶ丘	大字岡山・岡山一丁目（1～3・21～25・57 番）・岡山二丁目（1～7 番(7 番 15～32 号除く)）・岡山三丁目・岡山四丁目・岡山東一丁目～岡山東五丁目
四條畷	大字清瀧・清滝新町・清滝中町・大字逢阪・中野本町（1～27・33～40 番）・中野一丁目（1～4 番・5 番 1～6 号）・中野二丁目・中野三丁目・大字中野のうち西日本旅客鉄道株式会社片町線（学研都市線）以東の各地域
岡　部	中野本町（28～32 番）・岡山一丁目（4～20 番）・岡山二丁目（7 番 15～32 号・8～21 番）・岡山五丁目・砂一丁目・砂二丁目・砂三丁目・砂四丁目・大字蔀屋・大字中野のうち国道 170 号（外環状線）以東で国道（旧）170 号以西の各地域
四條畷東	中野一丁目（5 番 7～17 号）・南野一丁目～南野六丁目・大字南野・塚脇町
四條畷南	中野新町・米崎町・楠公一丁目・楠公二丁目・美田町
くすのき	雁屋北町・雁屋南町・雁屋西町・二丁通町・蔀屋本町・蔀屋新町・北出町・江瀬美町
田　原	大字上田原・大字下田原・田原台一丁目～田原台九丁目・さつきヶ丘・緑風台

◆ 四條畷市のまちづくりについて、ご自由に意見をお書きください

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。